

מגילת המקדש

『神殿の巻物』 11Q19 (11QTemple^a)⁽¹⁾

Col. 2

- 1] כי נורא הוא אשר אנ' עוש'ה עמכה [vacat
- 2 [הנני גורש מפניכה] את הא'מורי ואת הכנעני
- 3 [ואת החתי ואת הגרגש'י ואת הפ'רזי ואת החוי ואת]
- 4 [היבوسی הש]מר לכה פן תכרות בר'ית ליושב הארץ
- 5 [אשר אתה] בא אליהם פן יהיו למו'קש בקרבכה כי
- 6 [את מזבחו]תיהם תתוצון ומציבות'יהמה תשברון ואת
- 7 [אשריה]מה תכרותון ואת פסילי אל'והיהמה תשרפון
- 8 [באש ל]וא תחמודו כסף וזהב אש'ר תוקש בו כי תועבה הוא
- 9 [לי לוא] תקח ממנו ולוא תב'יא תועבה אל ביתכה
- 10 [והייתה]חרם כמוהו שקץ תשק'צנו ותעב תתעבנו
- 11 [כי]חרם הוא ולוא תשתחוו לא[ל אחר כי יהוה קנא]
- 12 [שמו] אל קנא הוא השמר פן תכרות' ברית ליושב הארץ
- 13 [וזנו] אחרי אל'והיהמה ו[זבחו ל]אלוהיהמה וקראו לכה
- 14 [ואכלתה מזבחימה ולק]חתה [מבנותיו לבניכה וזנו]
- 15 [בנותיכה אחרי אלוהינ]ה וה[זנו את בניכה אחרי]

⁽¹⁾ この名はイガエル・ヤディンがつけたものである。この巻物のほぼ半分は神殿の設計図、犠牲、神殿都市の法規で占められているからである。Y. Yadin, "Temple Scroll," in F. Skolnik (eds.), *Encyclopaedia Judaica Second Edition*, Vol. 9, Jerusalem: Keter Publishing House, 2007, p. 633.

2 欄

- 1 [実に]私[があなたと共に]行[う]は[る]こと[は]恐[る]べきものだから。 []⁽²⁾
- 2 [見よ私はあなたの前から追ひ払う]ア[モリ人、カナン人]⁽³⁾
- 3 ヘテ人、ギルガシ人⁽⁴⁾、]ペ[リジ人、ヒビ人、
- 4 エブス人]を。 ([あなたが]行[く]ところの⁽⁵⁾) [地に住む民と契]約を結ばないよう注[意]しな
さい。]⁽⁶⁾
- 5 [あなたの内で畏]となつて⁽⁷⁾はいけ[な]いから。 [実に]
- 6 彼らの[祭壇]⁽⁸⁾を破壊し、彼らの[記念柱を壊し、]

⁽²⁾ Col. 2 は出 34:10-16 をもとに復元されている。W はこの行を出 34:10b の広範囲の逐語的引用とする。MT 出 34:10b は、**כי נורא הוא אשר אני עשה עמך**、Col. 2:1 は、**כי נורא]** **כי נורא הוא אשר אני עושה עמכה** と復元。ただし 2QExod^b frg. 8 は、**כי נורא הוא אשר אנוכי** と復元されている。

⁽³⁾ MT は最初のアモリ人の前に **את** を付け、その後の民族の名の前には付けない。だがここはすべての民族の名の前に **ואת** を付けている。

⁽⁴⁾ MT にはギルガシ人はない。だが、SamP 出 34:11b には **הנני גרש מפניך את הכנעני והאמרי והגרגשי** と「ギルガシ人」があり、LXX にも **ἐγὼ ἐκβάλλω πρὸ προσώπου ὑμῶν τὸν Ἀμορραῖον καὶ Χαναταῖον καὶ Χετταῖον καὶ Φερεζαῖον καὶ Ευαῖον καὶ Γεργεσαῖον** とギルガシ人を加えている。ただペシッタは、**אני גרש את כל בני הארץ הכנעני והאמרי והגרגשי** で、MT と同じように「ギルガシ人」を欠く。CH によればこの行の長さからすると前者の「ギルガシ人」を入れる方をとる。また SamP とペシッタは「カナン人」と「アモリ人」の位置が入れ替わっている。

⁽⁵⁾ 原文は、**אשר אתה בא עליהם**。出 34:12b は、**אשר אתה בא עליה**、SamP は、**בא עליו אתה**、ペシッタは、**אני אתה בא עליהם**、LXX は、**εἰσπορεύη εἰς αὐτήν** である。ここは LXX とペシッタに類似していて、LXX が **αὐτήν** となっていて女性形人称語尾、ペシッタが **אני** であり、男性形人称語尾でヘブライ語と一致しているので、ペシッタに類似している。

⁽⁶⁾ W は 2 行目からこの前半までを出 34:11b の MT ではない他の古代訳からの広範囲の逐語的引用とする。

⁽⁷⁾ 原文は、**פן יהי**。MT および SamP の出 34:12b は **פן יהיה**、NFT は **רלא יהוון** であり、ここと同じ。W は 4 行目の後半からこの行を出 34:12 の MT ではない他の古代訳からの広範囲の逐語的引用とする。

⁽⁸⁾ 原文は、**מזבחותיהם**。本来使用すべきでないメムの語尾形が使われている。MT は、**מזבחתם** である。

- 7 彼ら[のアシラ像]を⁽⁹⁾ ⁽¹⁰⁾切り倒し、[彼らの]神[々]の像を⁽¹¹⁾
- 8 [火で焼くように。そ]れによって[あなたを]畏にかける⁽¹²⁾銀や金をあなた方は欲しない
ように⁽¹³⁾。[実にそれは私にとって忌むべきことだからである。]
- 9 それを取っては[ならない]。[またあなたの家に忌むべきものを]⁽¹⁴⁾持ってきてはなら
ない。
- 10 そのようにあなたも聖絶されるものようになる。あなたは全く[それを]忌み嫌い[厭
わなければならない]。
- 11 [実に、]それは聖絶のものだからである。また⁽¹⁵⁾[他の]神を礼拝してはならない。[実に

⁽⁹⁾ 原文は **מִזַּבְחֵיהֶם**[אשריהם]。MT 出 34:13b は **וְאֵת אֲשֶׁרֵיהֶם**、4QpaleoExod^m Col. 40:32 は **וְאֲשֶׁרֵיהֶם**、SamP は **וְאֲשֶׁרֵיהֶם**、LXX は τὰ ἄλση αὐτῶν、ペシッタは **וְאֵת אֲשֶׁרֵיהֶם**、TO は **וְאֵת אֲשֶׁרֵיהֶם**。ここは SamP に類似。

⁽¹⁰⁾ Q 及び M はここに 出 34:13 に基づき **וְאֵת** を挿入している。文法的に必要ではないが、聖書の再構成の中で **וְאֵת** があった可能性を否定できないためである。

⁽¹¹⁾ MT 及び SamP の 出 34:13 は **וְאַתָּה חָתְקֵם** あなたは切り倒すように、で終わるが、LXX は τὰ γλυπτὰ τῶν θεῶν αὐτῶν κατακαύσετε ἐν πυρί、NFT は **וְאַתָּה חָתְקֵם** 偶像を破壊するように。LXX は火で焼くようにとあり、ここと類似。

⁽¹²⁾ Y は金銀を修飾する句を、**וְאֵת אֲשֶׁר תִּקַּח בְּךָ כִּי תִעָבֵד הוּא** 「[それによってあなたを畏にかける。それは彼に忌むべきものである]」と復元し、それを Q や M は、**אֲשֶׁר עֲלֵיהֶם** 「それらの上にある金銀」と復元している。共に、MT 申 7:25 の **פְּסִילֵי אֱלֹהֵיהֶם תִּשְׂרֹפֵן בְּאֵשׁ לֹא תַחְמַד כֶּסֶף וַזְּהָב עֲלֵיהֶם וְלִקַּחְתָּ לָךְ פֶּן תִּקַּח בְּךָ כִּי תִעָבֵד יְהוָה אֱלֹהֶיךָ הוּא** 「あなたがたは彼らの神々の像を火で焼くように。それらにかぶせた銀や金を欲しがってはならない。それをあなたに取ってはならない。あなたが畏にかけられないために。それは、あなたの神、主の忌みきらわれるものである」がその根拠となっている。前者が 7:25 全体を敷衍したものであるのに対して、後者は直接的復元である。W は 5 行目後半からここまでを出 34:13 の MT ではない他の古代訳からとする。

⁽¹³⁾ ここは 2 人称複数 **וְאֵת אֲשֶׁרֵיהֶם**。MT と SamP の 申 7:25 は 2 人称単数で **לֹא תַחְמַד**、LXX は οὐκ ἐπιθυμήσεις で MT/SamP と同じ。TJ と NFT は **לֹא תַחְמַדוּן** でここと類似している。4QpaleoDeut^r frgs. 7–10 の 6 行に **וְאַתָּה חָתְקֵם** がある。CH の p.14 註 14 参照。

⁽¹⁴⁾ Q は **וְאֵת** を削除し **וְאֵת אֲשֶׁרֵיהֶם** と **וְאֵת** を加える。W は 8 行目の後半からここまでを 申 7:25 の MT ではない他の古代訳からの広範囲の逐語的引用とする。

⁽¹⁵⁾ **וְלֹא**、MT 出 34:14 は **וְאֵת** である。W は 8 行目の後半からここまでを 申 7:26 の広範囲の逐語的引用とする。MT 申 7:26 は、**וְלֹא תִבְיָא תִעָבֵד אֱלֹהִים אֲלֵהֶם כִּי תִעָבֵד יְהוָה אֱלֹהֶיךָ**、Col. 2:9b–11a は、**וְלֹא תִבְיָא תִעָבֵד אֱלֹהִים אֲלֵהֶם**、**וְלֹא תִבְיָא תִעָבֵד אֱלֹהִים אֲלֵהֶם** [וְהַיִּיתָ] [כִּי] [חָרָם הוּא] である。

(16)主(その名)¹²は妬み(だからである。)]

- 12 彼こそ妬む神である⁽¹⁷⁾。(これらのこと) ないよう注意しなさい。[この地に住む者⁽¹⁸⁾と契約を]結び⁽¹⁹⁾、
- 13 [そして彼らの]神[々の]後[を(慕い)姦淫し、彼らの神々に]犠牲を捧げ、[彼らがあなたを呼び、]
- 14 [彼らの犠牲をあなたが食べ⁽²⁰⁾、彼らの娘たちをあなたの息子らに娶]り⁽²¹⁾、
- 15 [あなたの娘たちが]彼[ら⁽²²⁾の神々の後を(慕い)姦淫⁽²³⁾]し、[またあなたの息子らを後に(慕わせ)姦淫させ]⁽²⁴⁾

Col. 3

1]אשר ב[
2]תכלת וארגמן[
3 כו]ל אויביכה מסי]

⁽¹⁶⁾ Q は以下「主(その名)は妬み」を省き אלוהיכה 「あなたの神」とする。

⁽¹⁷⁾ W は、11 行目の後半からこの行を出 34:14 の MT ではない他の古代訳からの広範囲の逐語的引用とする。MT 出 34:14 は אל קנא שמו אל קנא, Col. 2:11b-12a は אל קנא הוא [שמון] קנא כי יהוה אל אחר כי יהוה אל אחר לא תשתחוה לא אל אחר כי יהוה אל קנא הוא, Col. 2:11b-12a は אל קנא הוא [שמון] קנא כי יהוה אל אחר כי יהוה אל אחר לא תשתחוה לא אל אחר כי יהוה אל קנא הוא。

⁽¹⁸⁾ Q と CH は ליושביו 住む者らと復元。この復元は、LXX 出 34:15a μήποτε θῆς διαθήκην τοῖς ἐγκαθημένοις πρὸς ἀλλοφύλους ἐπὶ τῆς γῆς、ペシッタ אלוהיכה מסי, NFT לא דלא תקיימון קיים עם דיירי ארעא に近い。

⁽¹⁹⁾ CH は、MT 出 34:15b には השמר がなく、前の 34:11-12 に出てくるので、『神殿の巻物』が 34 章の類似の戒めと一致させようとしていると考えている。

⁽²⁰⁾ W によると 12 行目の後半からここまでは出 34:15 の MT ではない他の古代訳からの広範囲の逐語的引用としている。MT 出 34:15 は、פן תכרת ברית ליושב הארץ וזנו אחרי, אלהיהם וזבחו לאלהיהם וקרא לך ואכלת מזבחן פן תכרת ברית ליושב הארץ [ו]זנו אחרי לאלהיהם וזבחו לאלהיהם וקרא לכה [ואכלתה מזבחיהם]。Col. 2:12b-14a は、פן תכרות [ברית] ליושב הארץ [ו]זנו אחרי לאלהיהם וזבחו לאלהיהם וקרא לכה [ואכלתה מזבחיהם]。

⁽²¹⁾ 原文は「息子たちのために、あなたが娶り」

⁽²²⁾ Q による。Y は אלוהיהנה 「彼女らの神」と復元している。

⁽²³⁾ この語は 14 節の最後の語である。

⁽²⁴⁾ W は 13 行目の後半からここまでは出 34:16 の広範囲の逐語的引用とする。MT 出 34:16 は、ולקחת מבנותיו לבניך וזנו בנותיו אחרי אלהיהן והזנו את בניך אחרי אלהיהן, Col. 2:13b-15 は、ולקחת [מבנותיו] לבניכה וזנו [בנותיה] אחרי אלוהיהנה [ו]זנו את [בניכה] אחרי。

4	בי]ת לשׁום שמי עליו כ]ול
5] בו כסף וזהב מכול א]
6]ולוא תטמאנו כי אם מן ה]
7]נחו]שת וברזל ואבני גזית לב]
8] ו]את כול כליו יעשו זהב טהו]ר
9]ה]כפרת אשר עליו זהב טהו]ר
10] מזבח] קטורת הסמים ואת השולח]ן
11] לוא ימוש מן המקדש קעו]ותיו
12]ומנ]קותיו יהיו זהב טהור ומחתו]ת
13]לה]ביא בהמה אש פנימה והמנורה וכל]
14] ו] <i>vacat</i> וכול מזבח העול]ה
15]נחו]שת טהור והמכב]ר א]שר] מלמעלה ל]
16]ש]ת נחושת] לראות פ]
17] נחו]שת] ו] ימס]
18] וב]

3 欄

11Q21 Iと平行している。

- 1]その中[
- 2]青と紫⁽²⁵⁾[
- 3 す]べてのあなたの敵⁽²⁶⁾[
- 4]私の名をその上に置く [家] すべて [の⁽²⁷⁾

⁽²⁵⁾ Qはこの後に ותולעת שני「深紅」を挿入している。出 25:4 及び 35:6 による復元。Y も CH もそのことに言及しているが Q のように挿入はしていない。

⁽²⁶⁾ Q は 1996 年版では、脚注に [לבב] מסי と復元の可能性を示し、「あなたの敵は心の内に絶望する」と解する。これに対し Y は代上 22:9 の איביו מסביב מכלなどを引用し、[מס]ביב と解する。

⁽²⁷⁾ Q はこの後に הימים「日々」を挿入する。これは元々 Y が MT 王上 9:3、11:36、代下 7:16 をもとに同様の復元をし、脚注に入れたものを本文に載せたものである。CH も同様の指摘をしている。

- 11]神殿から[その]皿⁽³⁴⁾を絶やしてはならない。
 12]その鉢は純金であり、火皿⁽³⁵⁾ [も⁽³⁶⁾
 13 その内側に火を入れて持って来るこ[と。]また燭台とすべて [の]⁽³⁷⁾
 14 -空白-[純粋な]⁽³⁸⁾ また全焼の生贄の祭壇すべてを⁽³⁹⁾

טהור והב זה השלחן יעשו זהב טהור と復元している。上記の聖句との関連は、すでに Y が示唆している。

⁽³⁴⁾ Q はこの後に וקשותיו וכפותיו וקשותיו וקשותיו 「その柄杓とその壺」を挿入している。Y もすでに上記のヘブライ語を 12 行目の初めに置いている。

⁽³⁵⁾ Q はこの後に והמנורה יהיו זהב טהור ומחתותיו יהיו זהב טהור 「その火皿も純金であるように」と復元している。CH は 10 行目で自身が参照として挙げた出 25:29 や 37:16、民 4:7 をもとに以下のように復元している。[ומנקותיו יהיו זהב טהור ומחתות] [「その鉢は純金であり、火[皿と台座も]」]。

⁽³⁶⁾ W はこの行を、自由作文または出 25:29 の引用なしのパラフレーズとする。MT 出 25:29 は、ועשית קערותיו וכפותיו וקשותיו ומנקותיו אשר יסך בהן זהב טהור תעשה אתם。Col. 3:12 は、ומנקותיו יהיו זהב טהור ומחתות]。

⁽³⁷⁾ Q は Y の復元 וכליה והמנורה וכליה 「燭台とすべての」に対して זהב וכליה והמנורה וכליה 「燭台とその器も純金であるように」と読みを変えている。Y 自身は詳細な解説の中で、והמנורה וכליה וכליה 「燭台とすべての器も」の可能性を示唆する。その根拠に MT より、LXX 出 35:14 の και τῆν λυχνίαν τοῦ φωτός και πάντα τὰ σκεύη αὐτῆς 「そして燭台とすべての器」および SamP 出 35:14 の את מנורת המאור וכול כליה את מנורת המאור וכול כליה 「そして輝く燭台とすべての器を」を根拠に挙げている。W はこの行の後半を自由作文または出 35:14 と 30:27 の引用なしのパラフレーズとする。MT 出 35:14 は、ואת מנורת המאור ואת כליה、MT 出 30:27 は、ואת המנורה ואת כליה、Col. 3:13b は、והמנורה וכליה。

⁽³⁸⁾ Y は本文には入っていないが脚注で、Q、CH、M と同じように、ここを [זהב טהור] 「純金」と復元している。11Q21 fig. 1 の 1 行目は、ב טהור וכליה。

⁽³⁹⁾ Q と M はこの後に יעשו を挿入し、「また全焼の生贄の祭壇すべてを純粋な青銅で作るように」と読み替えている。Y は出 27:1、38:1 をもとに、וכל מזבח העולה תעשה עצי וכל מזבח העולה תעשה עצי 「また全焼の生贄の祭壇すべてをあなたは、アカシアの木で作るように」としている。だが CH は、多分 וכל מזבח העולה וכל כליו 「また全焼の生贄の祭壇すべてとそのすべての器具を」と復元すべきとする。筆者はトラーを再構成している『神殿の巻物』の特徴から Y が正しいように思う。W はこの行を出 31:9 の引用なしのパラフレーズか自由作文とする。MT 出 31:9 は ואת מזבח העולה、Col. 3:14 は וכל מזבח העולה。

15 純粋な[青]銅⁽⁴⁰⁾で、また⁽⁴¹⁾上方の網格子を⁽⁴²⁾

16]青銅⁽⁴³⁾ 見るために[

17]青[銅] ⁽⁴⁴⁾

18 ⁽⁴⁵⁾

⁽⁴⁰⁾ Y は **טהור נחושת** 「純粋な青銅」という表現が聖書に現れないことを指摘し、**זהב טהור** 「純金」に類似させるための新造語とする。CH は 15 行目の始まりを **טהור יהיו נחושת** 「純粋な青[銅とするように]」と復元している。

⁽⁴¹⁾ Q は、この後に **לו והכיוור וכנו וכול כליו** を挿入し、16 行目の **מרוק נחושת** 「磨かれた青銅」と結び付け、「その上方の網格子、洗盤とその台座、またすべての器を磨かれた青銅で」と復元している。M は **לנו והכיוור וכנו** と復元、CH は本文には **לנו** と記入し、脚注と TSCT において、**לו והכיר** と復元している。彼が洗盤を **הכיוור** とせず、**הכיר** とするのは、11Q21 fig. 1 の 2 行に **לו והכיר** が出てくるためである。

⁽⁴²⁾ W はこの行を出 35:16 の引用なしのパラフレーズか自由作文とする。MT 出 35:16 は **ואת לו נחושת טהור והמכבר א[שר] מלמעלה לו** **מכבר הנחשת אשר לו**、Col. 3:15 は **לו**。

⁽⁴³⁾ Q は、15 行目からの続きで、**נחושת מרוק כמראות לראות פנים** 「磨かれた青銅で、顔を見るための鏡のごとくに」と復元している。M は、**לראות [מראות] לראות**、**פנים [פנים]** 「青銅は[顔]を見るための[鏡のように磨かれている]」と復元している。Y の本文は上記のままであるが、注解において、出 38:8 **ואת כנו נחשת ואת כנו נחשת במראת** 「また彼は、青銅の洗盤を、また青銅のその（洗盤の）台座を作った。会見の天幕の入口で務めをした女たちの鏡でそれを作った」をもとに **נחושת [והכיוור]** と復元し、**נחושת [והכיוור]** **וכנו כמראות** [そして洗盤とその台座は鏡のように]と復元している。CH は 11Q21 (11QTemple^c) fig. 1 の 2 行と比較して、**וכנו [נחושת מרוק כמראות]** 「台座は磨かれた青銅で、私の神殿で彼らの顔を見るための鏡のようにせよ」と復元している。ただし後半の **פניהם במקדשין** を如何にして復元したか説明がない。CH が度々引用する、研究者 Ben Zion Wacholder（以下ヴァッホルダーと表記）の復元の影響の可能性がある。

⁽⁴⁴⁾ CH は出 27:4、38:4 と 11Q21 fig. 1 の 3 行を比較して、**על מבזח נחושת ברור מחושק** **בכסף ומסגרת נחושת** 「[浄めた]青[銅の祭]壇[の上に銀]の[輪と青銅の格子]」と復元している。

⁽⁴⁵⁾ CH は 18 行目のヘブライ語の断片を **וב** とせず **יב** とする。死海文書の古代文字 **ו** と **י** は殆ど判別できないほど似ている。それで **עולת להקריב** 「[捧げる]祭[壇]」と復元している。Q も **להקריב** までは同様に復元している。Q は 19 目行を **לתמיד מאת בני ישראל** 「[イスラエルの子らによる常供の]祭[壇]」、20 目行を **בבית אשר אשכין שמי** 「[私の名を]住まわせる家に]」と復元している。

Col. 4

1]שמ[
2] יוצאים לו[
3]בית רחבים אר[
4]ים ורובד {הי} בין ה[
5]יזן הששי רובד לו[
6]הה vacat
7]ה הרחב וקומת הק[
8]אמה ובאתה את האולם]
9]ב עשר באמה וקירות[
10] וגובה ששים באמה[
11]שמים עשרה באמה וג[
12] אחת ועשרים אמה]
13] עשרים באמה מרבע]
14]צף[זה]ב vacat
15]מחציתו[
16]בדי[
17]

4 欄⁽⁴⁶⁾

⁽⁴⁶⁾ CH は TSCT においてヴァツホルダー、MR、W の説を参考にして、4Q365^a fig. 3. 1-5 行と 11Q21 fig. 1 の 6 行に基づき、01-04 行を下記のように復元している。ただし同時に 4Q365^a fig. 3 が『神殿の巻物』と重複していないことも記している。

01] ישראל יום ביומו vacat ועשי]תה את הבית אשר
02 תבנה]לי במקום אשר[אשכון]שמי עליו
03]על [ה]יסוד גרוע(ג'ר'ע) שלוש אמות]מן הקירות ()内は DJD 4Q365a
04 ועשי]תה את

- 01 [イスラエルは日々 -空白-]あなたは神殿を[造るように。]
02 あなたが[私に(神殿を)建てる場所は]私が[私の名をそこに]住まわせる(所)
03 基礎の[上]は[壁から]3 アンマ引けている。
04 [また]あなたは を[造るように。]

- 1 (47)
- 2]へつき出る。[(48)
- 3](49)家、幅(50)[
- 4]そして、テラス(51) 間に(52)[

(47) Yはおそらくここには数字が入ったと仮定する。שמ[ונה]「8」もしくはשמ[ונה]עשרה「18」は門の入り口の幅を表していると考えている。比較として『神殿の巻物』の以下の行を挙げる。Col. 5 の 5 行目 ה בשמ[ונה] ועשרה 「8 と 10」。

Col. 6 の 3 行目 ם ש[מ]ונה ועשרים באמנה שמונה ועשרים
「28 アンマにおいて 28」。CH も שמ[ונה] 「8」と復元している。CH はヴァッホルダーの説に基づき TSCT には以下のように復元している。

1 הקיר שבע א[מ]ות יוצאים למזרחה עשרים ושמ[ונה] ויוצאים

「壁は 7 アン[マ]東へつき出る。2]8[そしてつき出る]」。

(48) CH は לצ[פונה] 「[北]へつき出る」と復元しているが、全体は TSCT において以下のごとく復元している。

2 [לנבה ארבע עשרה ולימה עשרים ושמנה] יוצאים לצ[פונה]

「[南へ 14 西へ 28] [北]へつき出る」。

とする。これはヴァッホルダーの説によっている。ヴァッホルダーは 4Q365a frg. 3 の 4 行目に עש[רה]רים ולימה עשרה とあることをもとに復元している。

(49) Y は王上 6:5 ולדביר להיכל את קירות הבית סביב להיכל ולדביר ויעש צלעות סביב: «**ובן על קיר הבית יצוע סביב את קירות הבית סביב להיכל ולדביר ויעש צלעות סביב:**「また神殿の壁に対して周囲に脇間を設け、即ち、宮と至聖所のある神殿の壁の周囲に脇廊を造った」に基づき 3 行目の最初に בית[ה] לקירות[ה] を持って来ている。

(50) Y は広さと訳した רחבים の後に אר があることから אר[בע] באמה 「4 アンマ」もしくは אר[בע] עשרה 「14 アンマ」と推測する。CH はヴァッホルダーの説に基づき TSCT において以下のごとく復元している。

3 [ארבע עשרה אמה סביב לקירות ה]בית רחבים אר[בע] אמה

「[その]神殿[の壁の周囲に 14 アンマ]幅が[4 アンマ]」。

רחבים の後の אר を אר[בע] と復元しているのは、Q と M も同様である。

(51) רובר を M は tiled pavement 「タイルを張った舗装道路」とし、Y と CH は terrace と理解している。マルクス・ジャストロウの辞書はこれを「モザイク模様の歩道、特に神殿の広間における踏段の間の平らに舗装された空き場所、踊り場、テラス」としている。M. Jastrow, *A Dictionary of the Targum, Talmud Babli, Yerushalmi, and Midrashic Literature; With Index of Scriptural Quotation*, N. Y.: The Judaica Press, 1992 (1903), p. 1455. またテラスの語の後には写字者によって消されるべき、הי の文字が消されずに残っていた。

(52) CH はヴァッホルダーの説に基づき TSCT において以下のごとく復元している。

- 5]第6⁽⁵³⁾、テラス[
 6 -空白-
 7]広さと高さ[
 8 ア]ンマ⁽⁵⁴⁾ あなたは廊を建て⁽⁵⁵⁾よ。[
 9 幅]⁽⁵⁶⁾は 10 アンマ。そして壁の]⁽⁵⁷⁾

4 [לכול הבא בכרית מן הגוים ורובד בין ה[ראשון]

「[他国民]たち[と契約に入るものすべてに。]そしてテラスとその[初め]との間に」。
 と復元している。

⁽⁵³⁾ CH は第 6 のテラスと訳しているが、Y、M は第 6 とテラスを分けている。Y はここでは第 6 のテラスではなく、4 行目の ה בין の後に来る単語（おそらく数字）と הששי 「第 6」の間にテラスを造れと復元している。

⁽⁵⁴⁾ 一般にキュビトと訳されている。ほぼ 45 cm くらいの長さを表す。長窪専三『古典ユダヤ教事典』教文館、2008、79 頁。

⁽⁵⁵⁾ ヘブライ語は ובאתה であるが、Y は、この文章の中で意味が無いと主張する。エゼ 40:48 の הבית אלם אל-אבני ויבאני אל-אלם הבית 「彼は私を神殿の廊に連れていった」がこの文に影響をあたえこの語を間違させたとする。本来なら ובניתה את האולם 「あなたは廊を建てよ」と読むべきことを主張する。代上 22:11 に ובנית בית יהוה אלהיך 「あなたはあなたの神、主の神殿を建てよ」をその証拠とする。さらに Col. 20:4 にある בבית אשר תבנה 「あなたが建てる所の神殿に」などを引用して、持論を補強する。CH も Y の説を受け入れ、M はテキストそのものに ובאתה の後に(בניתה)を入れている。

⁽⁵⁶⁾ Y は最初の語を復元した時に רחב 「幅」であったらうとしている。最後の ב の文字も判読不可能だが、前の 8 行目には廊を建てる命令があり、廊の度量が書かれていたはずと考える。それで עשר באמה ב[רח]... ארך [עשרים אמה ארך] 「[長さ 20 アンマ…幅]10 アンマ」と復元すべきと主張する。これは王上 6:3 に基づく。 והאולם על פני היכל הבית עשרים: והאולם על פני ארכו על פני רחב הבית עשר באמה רחב ועל פני הבית: 「神殿の本堂の前の廊は神殿の幅に従って長さ 20 アンマ、その幅は神殿の前に 10 アンマであった」。『神殿の巻物』のこの尺度はソロモンの神殿と符合する。これは、ヨセフス『古代誌』8:65 の記事とも平行している。しかしその尺度はミシュナとは異なっている。ミドット 4:7 は、 והאולם אחת עשרה 「そして廊（の幅）は 11（アンマ）」となっている。このミシュナの度量は、エゼ 40:49 の、 ארך האולם עשרים אמה ורחב עשתי עשרה אמה 「廊の長さは 20 アンマそして幅は 11 アンマ」との記述に基づくためであると主張する。

⁽⁵⁷⁾ W はこの行を自由作文か王上 6:3 の引用なしのパラフレーズとする。MT 王上 6:3 との類似点は עשר באמה、Col. 4:9 は ב[עשר באמה וקירות] である。

- 10]また60アン[マ]の高さ⁽⁵⁸⁾
 11]1[2]アンマそして⁽⁵⁹⁾、 [
 12]1と20⁽⁶⁰⁾アンマ[
 13]20アンマの正方形⁽⁶¹⁾[
 14]金で覆う⁽⁶²⁾[-空白-
 15]その半分⁽⁶³⁾[
 16 ⁽⁶⁴⁾

Col. 5

] דבקים [1

⁽⁵⁸⁾ ここはヘブライ語であるが、エズラ 6:3 のアラム語 **רומה אמין שתין** に類似している。W も同じ場所を引用なしのパラフレーズとしている。Col. 4:10 は **וגובה ששים באמנה** °[。]

⁽⁵⁹⁾ CH、Q と M はこの後に **וג[בוה]** 「高さ」と復元している。

⁽⁶⁰⁾ CH と M は 21 アンマと読む。Y は 1 が前の行の文章に属するか、ここに属するか決定するのは難しいとしている。Y の読みを採用した。

⁽⁶¹⁾ Y は断片の読みの難しさを主張しながら、王上 6:20 上句に、**ולפני הדביר עשרים אמה** 和訳「至聖所の内部は、長さ 20 アンマ、幅 20 アンマ、その高さ 20 アンマ」とあることから、**מרבע** 「正方形」と **הדביר** 「至聖所」の寸法を関連付けている。W もこの行を自由作文か王上 6:20 の引用なしのパラフレーズまた代下 3:8 の引用なしのパラフレーズとしている。王上 6:20 は **ולפני הדביר עשרים אמה ארך**、また代下 3:8 は **ויעש את בית קדש הקדשים ארכו על פני רחב הבית אמות עשרים**、Col. 4:13 は **עשרים באמה מרבע** °[。]

⁽⁶²⁾ Q、CH と M はこの行を判読不能のままにしている。M は可能性のある文字さえ復元していない。Q と CH は Y が判読した文字 **ב [ן] [ף]** は、14 行目のヘブライ語本文に入れている。Y は、前の行で参照した王上 6:20 下句に **סגור זהב ויצפהו** 「純金でこれを覆った」とあることから 13 行目からの関連で **ב [זהב] [ץ] [ן]** [金]で[覆]う、と復元している。

⁽⁶³⁾ Y の主張どおり最初の **מ** は明らかではない。しかし **הציתו** に関してはかなり確実と言える。Y の復元 **מהציתו** は、Q、CH と M のすべての版で受け入れられている。

⁽⁶⁴⁾ Y は、出 37:4、15 を参考に、聖所内の契約の箱や机を運ぶ棒が **בדי** であることからその可能性を示唆しているが、このテキスト全体が聖所の建物本体について語っており、契約の箱や机などの器具について論議していないことと、ミシュナのタミード 1:1 とミドット 1:8 で **של אבן (ן) רוברים** 「石のテラス」が言及されていることから、ここを **רון ברין** 「テラス」の複数ではないかと考えている。

2	[אָמה ש]
3	[עובי שלוש]
4	[בה כמדת]
5	[ה בשמונה ועשר]ים
6	[ה ומקראה גם]
7	[אמות כול גובה]
8	[וִיכָה וארבעה שערים]
9	[השער שתיים עשרה]
10	[באמה וכול הכיון]
11	[התח]תון והכול מצופה]
12	[vacat]
13	[ת ועשית] [פרור]
14	[בכול]

5 欄

『神殿の巻物』6:4-8 と平行している

- 1]接触する [(65)
- 2]アンマ? [(66)
- 3]厚さは3 [(67)
- 4]と同じ大きさの[(68)
- 5]8 と 2[0]で[(69)

⁽⁶⁵⁾ Y は、代下 3:12 の **האחר הכרוב לכנף הכרוב האחד** ... **דבקה** 「また一方のケルブの一つの翼も 5 アンマで、…他のケルブの翼に接触していた」と比べ、**דבקים** を説明している。

⁽⁶⁶⁾ **אמה** を表す最初のヘブライ文字は写真やインターネットの 11Q19 の画像でも判読しがたい。

⁽⁶⁷⁾ Y はここにある数字 **שלוש** を壁の厚さと理解し、「厚さは 3 手幅」と復元。

⁽⁶⁸⁾ CH のように「の長さに従って」とも訳せる。

⁽⁶⁹⁾ Col. 6:3 に従い、Y と CH は注で、Q と M はテキスト自体に以下のごとく復元している。

שמונה ועשרים באמה שמונה ועשרנים באמה

「28 アン]マさらに 28[アンマで」

- 6]そして、その天井もまた⁽⁷⁰⁾
 7] アンマ。すべての高さは⁽⁷¹⁾
 8]そして4つの門は⁽⁷²⁾
 9]その門は12⁽⁷³⁾

⁽⁷⁰⁾ **מקרא** となっているが、聖書ヘブライ語では **מקרה** 「梁」コヘ 10:18 である。Col. 6:4 に従い、Y と CH は注で、Q と M はテキスト自体に以下のごとく復元している。

]גובהה ארבעים באמה ומקראה גם]

「[そしてその高さは 40 アン]マ、その天井もまた[」

⁽⁷¹⁾ Col. 6:5 に従い、Y と CH は注で、Q と M はテキスト自体に以下のごとく復元している。

]ועשר אמות כול גובה כיור]

「10 アンマ。すべてその台の高さは[」

ただし CH、Q と M は、**כיור** の後に **וחלונות** 「窓 (複数)」を加えている。**כיור** については 10 行目の台の注で説明する。

⁽⁷²⁾ Col. 6:6 に従い、Y と CH は注で、Q はテキスト自体に以下のごとく復元している。

]תוכה וארבעה שערים לעליה לארבע רוחותיה

「その中[央]、および[その上の 4 方 (の部屋) への]4 つの門」

M は **תוכה** を欠く。CH と Q と M は **רוחותיה** を 9 行目の最初に置いている。

⁽⁷³⁾ Col. 6:7 に従い、Y と CH は注で、Q と M はテキスト自体に以下のごとく復元している。

]ורוחב השער שתים עשרה באמה וגובהה

「門の[幅は]12[アンマとし、その高さは]」

なお Y、CH、Q と M は 10 行目の最初に、**באמה** [אחת ועשרים] 「[21]アンマ」によって「その高さは 21 アンマ」と復元している。

- 10]アンマ。すべての[台⁽⁷⁴⁾]⁽⁷⁵⁾
 11 下]部とすべては覆われ(なければならぬ)⁽⁷⁶⁾。 [
 12 -空白⁽⁷⁷⁾
 13]そしてお前は(柱)廊⁽⁷⁸⁾を[]造らねばならぬ。 [
 14]すべてにおいて[

Col. 6

1]יה םׁׁׁ

2]ׁׁׁׁ למעלה ל ׁׁׁ

3]ם ׁׁׁׁ ש[מונה ועשר]ם בא[מ]ה

4]בה[ה אר[בעים] בא[מ]ה ומק[ר]

⁽⁷⁴⁾ ヘブライ語は **כיוור** が使用されているが、神殿の境内にある洗盤ではない。Y の註解にある通り明らかに門に関する説明にあるもので、彼は *entablature* 「エンタブラチュア」と訳している。エンタブラチュアとは、柱頭の上部へ水平に構築される部分で、モールディングや帯状装飾で飾られる。エンタブラチュアは古代建築の重要な要素であり、一般的にはアーキトレーブ、フリーズ、コーニスの部分に分かれる。この情報は 2019 年 5 月 9 日現在の、「エンタブラチュア」『フリー百科事典 ウィキペディア日本語版』を参照した (<https://ja.wikipedia.org/wiki/エンタブラチュア>)。CH は *platform* と理解し (代下 6:13 参照)、M は *framework* としている。ヘブライ語の **כיוור** が「エンタブラチュア」や *framework* と理解されていた記録はこれまでにない。TDOCH には死海文書の研究から *panelling* 「板の羽目張り」や、*eaves of gate of temple court* 「神殿境内の門の軒」の意味も考えられている。**כיוור** は 4Q287 を除くと、後は『神殿の巻物』関連の 11Q19、11Q20、11Q21 に現れる。M. G. Abegg, Jr., with J. E. Bowley and E. M. Cook, in consultation with E. Tov, *The Dead Sea Scrolls Concordance the Non-Biblical Texts from Qumran*, Vol. 1, Leiden: Brill, 2003, p. 379. その意味はすべて *laver*, *basin*, *platform* である。よって、この訳では CH のように *platform* 「台」を使用した。

⁽⁷⁵⁾ Col. 6:7-8 に従い、**וכול הכיוור** 以下を CH は注で、Q と M はテキスト自体に下記のごとく復元している。**וכול הכיוור וחלונותיו** 「すべての[台とその窓]。しかし、Y は Col. 6:8 に従い **ודלתותיו וכול הכיוור** 「すべてのエ[ンタブラチュアとその扉]と復元している。CH も Q もその可能性も示唆している。

⁽⁷⁶⁾ Q は「金で覆われなければならぬ」と復元している。CH もその可能性を示唆し、Y は Col. 36 と 41 から「純金で覆う」という復元を示唆している。M も Y と同じくテキスト自体に **[זהב טהור]** を復元している。

⁽⁷⁷⁾ 元来ここには何も書かれなかった。Y によると新しい題が次の行から始まる。

⁽⁷⁸⁾ CH と Q は Col. 35:8 に従い **[עמודים עמודים פרור] ת ועשתה פרור** 「そしてお前は立っている柱の廊を[]造らねばならぬ[]と復元している。

5] עשר אמות כול גובה הכיור והחלל]
 6] וארבע[ה שערִים לעליה לארבע]רוחותיה
 7] שתים[עֶשְׂרֵה]באמ[ה ו]גוב[הו אחת]
 8] דלתותיו[]התחתון והכול
 9]○○○○ ל○○○○○[]○○○○○[

6欄⁽⁷⁹⁾

『神殿の巻物』 V, 6-11と平行している

- 1] 厚さは3⁽⁸⁰⁾
- 2] 上 ⁽⁸¹⁾
- 3] 8[と20]アンマ ⁽⁸²⁾
- 4] 4[0]アンマ。そして、 ⁽⁸³⁾
- 5] 10アンマとしなければならない、すべて台の高さと⁽⁸⁴⁾
- 6] 上の四方にある4つの門⁽⁸⁵⁾

⁽⁷⁹⁾ 11Q19 は二人の写字者によって写本されている。おそらく存在したであろう Col. 1 から Col. 5 までの写字者 A と Col. 6 から Col. 66 を写本する写字者 B。写字者 A は Col. 5 から Col. 6 の初めを重複させ写本している。

⁽⁸⁰⁾ Y には復元はないが、Col. 5:3 からの復元。

⁽⁸¹⁾ Y はこの欄が殆ど上の階の部屋か **היכל** について扱っているので、推測にすぎないと但し書きしながらも **לְהִיכֹל לְמַעְלָה עֲלֶיהָ** 「[あなたは宮]のその上方に[作らなければならない]」と復元している。しかし CH と Q は 2-3 行にかけて Col. 5:4 の **בַּה כְּמִדְתָּהּ**] に基づき、「]と同じ大きさの]」と復元している。

⁽⁸²⁾ Y は Col. 5:5 に基づき **שְׁמוֹנֵה וְעֶשְׂרִים בְּאֵמָה בְּשִׁמּוֹנֵה וְעֶשְׂרִים**] 「[28 アン]マさらに 28[で」と復元。CH と Q も同様。

⁽⁸³⁾ Y は Col. 5:6 に基づき **בְּאַמָּה ... וְגוֹן בְּהָה אֲרָבַעִים בְּאֵמָה וּמִקְרָאָה גַם**] 「[アンマ... [そして]その[高]さは 40 ア[ンマ]、その天[井] も[また]」と復元。Y が 3 行目の最後に置いた、**וְעֶשְׂרִים** が行の最初に来る以外、CH、Q と M も同様。

⁽⁸⁴⁾ Col. 5:7 と対応する。Y、CH、Q、M とともに、**וְעֶשְׂרֵה אֲמֹת כּוֹל גּוּבַה כִּיּוֹר וְהַחֲלוֹנוֹת**] のように復元している。Y は王上 6:4 **לְבֵית חֲלוֹנֵי שְׁקִפִּים אֲטָמִים** 「神殿に閉じられているが、見える窓を」(ユダヤの伝承による。参照 **מִקְרָאוֹת גְּדִלוֹת**) から **וְהַחֲלוֹנוֹת יְהִיוּ**] と復元している。**וְעֶשְׂרֵה אֲמֹת כּוֹל גּוּבַה כִּיּוֹר וְהַחֲלוֹנוֹת**] と窓以下を復元している。

⁽⁸⁵⁾ Col. 5:8 に基づき CH と Q は、**וְאַרְבַּעַת שְׁעָרִים לְעֲלִיָּה לְאַרְבַּע רְחוֹתֶיהָ**] と復元している。Y は、**וְאַרְבַּעַת שְׁעָרִים לְעֲלִיָּה לְאַרְבַּע רְחוֹתֶיהָ**] でなく (?), **וְאַרְבַּעַת שְׁעָרִים לְעֲלִיָּה לְאַרְבַּע רְחוֹתֶיהָ**] としている。

- 2] 板⁽⁸⁹⁾
- 3] 木の板⁽⁹⁰⁾
- 4] アンマそして10⁽⁹¹⁾
- 5] 80⁽⁹²⁾
- 6] すべての上に⁽⁹³⁾
- 7] 100⁽⁹⁴⁾

⁽⁸⁹⁾ CH、Q と M による。

⁽⁹⁰⁾ Y は、この読みは確かだが、主題はそうでないとしている。出 31:18, 32:15, 34:29 を基に、**לוחות הענין** [**לוחות הענין**] 「証の板 (十戒の板)」であると示唆しながら、この箇所は契約の箱について語っていないだけでなく十戒についても扱っていない。ゆえに「十戒の板」の可能性は低いとし、おそらくここでは至聖所の内部を覆う方法について扱っていると主張する。よって、**לוחות הענין** [「木の板 (木、板ともに複数)」、**לוחות הענין** [「その木の板 (板、複数)」、**לוחות הענין** [「直立する板 (形容詞と板は複数)」という幾つかの復元の可能性を示唆する。CH、Q と M はテキストそのものに **לוחות הענין** [と復元している。

⁽⁹¹⁾ Y は最初は **ה מאה ועשרן** [「100 と 10」] と復元。しかし、**המאה ועשרן** [のコンビネーションはありそうもないとし、たぶん **האמה ועשרן** [「]アンマそして 10 [」] と修正。おそらくここでは出 26:16 に記されているような至聖所の上に横たわる木の板を扱っている。**ואמה וחצי** 「長さは 10 アンマ…そして 1 アンマ半」。よって 1 行目から 3 行目を、**ורוחב הלוח האחר אמה וחצי** [**האמה ועשרן**] 「そして、板の幅は 1 アンマ半、[その長さは]10[アンマ]」と復元する。しかし Q、CH と M は以下のよう復元。**ה מאה ועשרן** [「100 と 10」]。

⁽⁹²⁾ Y は可能な復元を **לוחות שמונים** [「]80 の板[」] としながら、説明で最初の文字を **ם** ではなく **ו** と変える **לוחות שמונים** [「そして]80 の[板]」と復元し、「著者／編纂者」は至聖所に裏張りする木の板の全体の数を考えていたのではないかとする。Q、CH と M は、**לוחות שמונים** と復元。

⁽⁹³⁾ Y はエゼ 41:7 から最初の単語を **למעלה** と考え、おそらく『神殿の巻物』には木の板の上に、何らかの作業をすることが示唆されていたと考えた。Q、CH と M も同様。

⁽⁹⁴⁾ Y は可能な復元を **מאה [ו]עשרים** [**מאה [ו]עשרים**] とし、代下 3:16 を参照している (CH は 3:13 としているが誤植)。**ויעש שרשרות בדביר ויתן על** 「至聖所に鎖をつくり柱の頂きに渡し、またザクロ 100 個を鎖につけた」。Q は自信を持って Y より優れているとして、**לא תהיה**

8]すべてで、5アンマ^[95]

9]^[96]その高さ^[97]と上[方]の贖いの蓋

10] その幅^[98]、および二つのケルビム^[99]

[ן] [ע] [שיתה ארן] כול טמאה [ן] [ע] [שמה] 「[そこに]いかなる穢れ[があっても]いけない。また[] [契約の箱を[つく]る]ように」と復元。CHとMは、[ן] [ע] [שמה] כול טמאה 「[いかなる穢れ]」と復元している。

^[95] CHは כול חמש אמות אורכו [「[その長さは]すべてで、5アン[マ]」]と復元している。Yも祭壇の寸法という可能性で、CHと同様の復元に言及しているが、祭壇をこの箇所^[96]の主題とは考えていないようである。Wはこの行を契約の箱の贖罪所を作る命令が書かれているとして、出 25:10 の引用なしのパラフレーズもしくは出 37:1 の引用なしのパラフレーズとするが、これらの聖句に5アンマという言葉はない。Yは5アンマという言葉がヘブライ語聖書の中で以下の8回登場することを示唆する。①出 27:1 では、アカシア材の祭壇の寸法。②王上 6:24 では、ケルビムの翼の長さ。③王上 6:10 では、神殿の周囲の脇間の高さ。④エゼ 41:9,11 では、脇間の外壁の厚さ及び脇間の出入り口の空地の隔壁の厚さ。⑤出 38:18 では、中庭の門に垂らす帳の高さ。⑥王上 7:16、エレ 52:22 では、青銅の柱頭の高さ。⑦エゼ 40:48 では、通廊の壁柱の高さ。⑧代下 6:13 では、青銅の壇の寸法。Yは契約の箱の可能性を示唆しながらも、MTの契約の箱の長さ^[97]と異なるため疑問を呈している。

^[96] Yはこの箇所を欠落したままだが、CHは出 20:10 ואת רוחב ואמה וקמתו 「その幅1ンマ半、その高さ1アンマ半」を根拠に [אמות רוחב ואמה] を挿入する。

^[97] Yは参照として、出 25:21 を用い、40:3 を参考に挙げている。ונחת את הכפרת על הארן מלמעלה 「贖いの蓋を上方に、契約の箱の上に置く」。QとCHはこの箇所を אמות אשר מלמעלה אשר מלמעלה [רוחב ואמה] 「アンマ[その幅とアンマ]その高さ^[98]と上[方]の贖いの蓋[は2]」と復元。Mは אשר מלמעלה אשר מלמעלה [אמות...] 「アンマ[...]その高さ。そして先端にある覆い[は]」と復元している。

^[98] Wも9行目からここまでを出 25:21 の引用なしのパラフレーズ?とする。出 25:21 是 מלמעלה על הארן הכפרת את ונחת, Col. 6 I:9-10a 是 קומותו והכפרת אשר... [מלמעלה]... רוחבה

^[99] Yは רוחבה 以前を出 25:17 をもとに、רוחבה ואת רוחבה ואת רוחבה [「[その長さは2アンマ半、]その幅は[1アンマ半]」]と、כרובים 以降を同 25:18 をもとに ושנים [תעשה משני קצות הכפורת] כרובים 「二つのケルビムを[作りなさい。贖いの蓋の両端から]」と復元しているが、25:18にある זהב מקשה זהב 「金の打ち出し細工」がこの行の終わりか、次の行の初めの欠落部分にはなかったとしている。理由は王上 6:23に עצי שמן 「油の木。即ち、オリーブの木」でケルビムを作ったとあるのでそれと調和させるために故意に「著者/編纂者」が書かなかった可能性を示唆している。Qは רוחבה の前の欠如部分を [אורכה] [אמת] として、[אמת] [ת רוחבה ושנים כרובים] とするには十分な場所がないとして、

	Col. 8
]○○○○[1
]נֹזְכָה אַרְוֹס[2
] שבע [3
] vacat ? [4
] אֲרֹכּוּ וְאַמְהָ[] vacat [5
] וְעִשִּׂית[6
] לִטְּ○○[7
] וְתִשְׁנִי[8
] עַל שְׁתֵּי הַמַּעֲרֻכּוֹת[9
] הַלְּבֹנָה הַזֹּאת לֶלֶחֶם לְאֻזְכָּרָהּ 10
] לְמִזְבֵּחַ הַקְּטֹרֶת בְּהַסִּירְכָהּ 11
] לֶחֶם תִּתֵּן עָלָיו לְבֹנָה לְוָא[12
] עוֹלָם לְדוֹרָתָם וְהִיא הַלְּחָם הַזֶּה 13
] יָבֹאוּ אֲ[14
] אוּ [

8 欄

1]...[

2] 対して ⁽¹⁰⁴⁾3] 7 ⁽¹⁰⁵⁾4] -空白- ? ⁽¹⁰⁶⁾

vacat [ועשׁן]תה פרוכת זהבן]מ]עשי חושןב [היה Col. 7:13–14, המנורה הפרוכת. ただし 曼ורה と פרוכת の違いがある。

⁽¹⁰⁴⁾ Q、CH と M はここを]]נוכח ארון [「(契約の)箱]に対して[] と復元している。これについては Y も脚注で示唆しているが、断定はしていない。

⁽¹⁰⁵⁾ Q、CH と M は、]לולאות שבען [「7つの輪]。לולאה の複数形。紐でつくる輪や結び目。A. E. Shoshan, *Milon Even Shoshan: Mechudash: Umeudkan, Lishnot HaAlpaim*, M. Ezer, et al., (eds.), Vol. 3, Jerusalem: Milon, HeChadash, 2006, p. 829 による。

⁽¹⁰⁶⁾ Q、CH と M はここを]]עמודים [「柱(複数)] と復元している。Q のみが「Col. 9 の写真を参考にした」と復元の理由を説明している。

- 5 [-空白-] その長さ。 そしてアンマ [(107)]
- 6]あなたは、作るように。 [(108)]
- 7] [(109)]
- 8] 2[(110)]
- 9]2列の上に [(111)]

⁽¹⁰⁷⁾ Y と CH は注において出 25:23 をもとに、次のように復元している。[ועשית שולחן עצי [あなたはアカシアの木で机をつくるように、]その長さ[は2アンマ。その幅は]1アンマ]。ただし Y は MT に従い שתי אמות 「2アンマ」を双数形で、אמתים と復元している。Q はここから 7 行目までを出 25:23 とヨセフス『古代誌』12:2:9 (64)により復元したとしている。W もこの行を出 25:23 の広範囲の逐語的引用? とする。出 25:23 は ארכו ואמה、Col. 8:5 は]ארכו ואמה::[となっている。

⁽¹⁰⁸⁾ Y は出 25:23, 24 をもとに [ועשית]ה לו [その高さは1アンマ半、そしてそれを純金で覆い、それに枠を]作るように」と復元している。CH もほぼ同じであるが、彼はさらに、לו זר זהב סביב [それに金で周囲に枠を作るように] とする。さらに Q は ואמה の前に רוחבו 「その幅は」を加える。W もこの行を出 25:24 の広範囲の逐語的引用? とする。出 25:23-24 は、קמתו וחצי ואמה וצפית אתו זהב טהור ועשית לו זר זהב סביב である。

⁽¹⁰⁹⁾ Q、CH と M はこの行を復元せず。Y は復元の困難さを認識し断言せず、おそらくこの行は出 25 より短いテキストがあったとしている。おそらくもっと短いテキストだっただろうが、出 37:27 のようなものだったとする。アルファベットの ט と ל を復元しているが、ט は 37:27 にある טבעות 「輪」ではないかと考える。

⁽¹¹⁰⁾ Y はレビ 24:5 から [עשרונים אותה שתיים עשרה חלות שני]עשרונים יהיה [あなたは上等の小麦をとり、12のケ]ーキ[を焼くように。]2[10となるように]と復元。CH と Q も同様であるが、Col. 8:15 より [עשרונים תהיה] と復元し、以下を 9 行目の先頭に持ってくる。Y は MT に従い、יהיה にした。W もこの行をレビ 24:5 の広範囲の逐語的引用? とする。レビ 24:5 は ולקחת סלת ואפית אותה שתיים עשרה חלות שני עשרנים יהיה。

⁽¹¹¹⁾ Y は 10 行目を見て、純粹の乳香に巻物の話題が移っていることを確認する。9 行目の最初は 8 行目の文章の完結で、ここは MT よりも短いテキストであるとする。行の長さを考え、次のように復元している [החלה האחת ושמתה אותם שתיים מערכות ונתת]ה על שתי [一つのケーキに]2[10となるように。] [それらを 2 列に置くように。また]2 列の上に[乳香を添えるように]。CH と Q はレビ 24:6, 7 から、[לבונה זכה vacat והיתה] [純粹の乳香-空白-あるよ

10] パンのためのこの乳香は記念のものである。 [(112)

11] 香壇の上で。あなたが取り去る時 [(113)

12] パン。その上に乳香を置き ないように [(114)

13 このパンは]彼ら世代を[通しての永]遠の [(115)

うに]] を復元し、10 行目の最初に置く。W もこの行をレビ 24:6-7a の引用なしのパラフレーズ? とする。レビ 24:6-7a は **ושמת אותם שתים מערכות שש המערכת על השלחן הטהר** 和 **לפני יהוה ונחת על המערכת לבנה זכה**。

(112) Y はレビ 24:6、7 から最終的に **והיתה הלבונה הזאות ללחם** (?) **זכה ומלח** [(112)] 「[純粋な乳香と塩を(?)-空白-]パンのためのこの乳香は記念[となる。]」と復元している (LXX には MT がない ἄλα 塩が挿入されている)。CH と Q は塩を除く。W はこの行をレビ 24:7 の短い引用を含む節かその一部のパラフレーズとする。レビ 24:7 は **לבנה זכה לאזכרה** **והיתה ללחם לאזכרה**、Col. 8:10 は **לבונה הזאות ללחם לאזכרה**。

(113) Y は **אשה ליהוה וקטרתה ביום השבת ביום השבת על מזבח הקטורת בהסירכה** [(113)] 「[主の火に焚く供犠である。安息日に焚くように。安息日に]香壇の上において。あな[た]が取り除く時」と復元している。最後の文、「あな[た]が取り除く時」は 12 行目の文と結びつく。Q と CH は短い形で復元している。**אשה ליהוה ביום השבת על מזבח הקטורת בהסירכה** 「[安息日に]香壇の上で(捧げる)[主の火に焚く供犠である。]あな[た]が取り除く時」。

(114) Y は **את הלחם (הישן?) מן השלחן ובעורככה את הלחם תתן עליו לבונה לוא** [(114)] 「[机の上から(古い)パンを]あな[た]が取り除く時、[そして]パン[を供える時は]乳香をその上に置くように。[絶やしては]ならない」と復元している。CH は Y の復元が巻物のスペースには長すぎるとし、Q の復元を採用する。**את הלחם ובעורככה את הלחם תתן עליו לבונה לוא** 「[パンを]あな[た]が取り除く時、[そして]パン[を供える時は]乳香をその上に置くように。一ない」。Q の復元は最後の否定詞 **לוא** が次の行にかかる。W はこの行をレビ 24:7 の引用なしのパラフレーズとする。レビ 24:7 は、**ונחת על המערכת לבנה זכה** **ללחם**、Col. 8:12 は、**לחם תתן עליו לבונה לוא**、**והיתה ללחם**。

(115) Y はレビ 24:8 を使いながら以下のごとく復元している。**הלחם מלפני תמיד מאת בני ישראל ברית ען[ל]ם להניחם** 「[イスラエルの子らによる常に私の前にあるパンは]彼ら代々にわたる永[遠の契約]である。そしてこのパン[は] [祭司ら]に属する」と復元しているが、CH はこの長さのスペースはないとする。彼はレビ 24:9 と Col. 9:14 を参照し、**זה הלחם והיה לדורותם חוקות ען[ל]ם לוא** 「このパンは彼ら代々にわたる永[遠の掟]である」と復元している。Q は、**חוקות ען[ל]ם לדורותם** **לוא** から訳すと、「乳香を絶やしてはならない。このパンは彼ら代々にわたる永[遠の掟]である」との復元になる。W はこの行をレビ

	Col. 9
[] 1
[] ופּרַחִי]] 2
משני צדיה [] 3
שֵׁה שְׁלוֹשֶׁה] 4
וּפּרַחִי] 5
○○○○○] 6
] vacat [] 7
שלושה ○○○] 8
כֹּל הקנה] 9
נְאוֹת שלושה] 10
ה ומלקחיה כולה ככרים] 11
י] אִירו כול נרותיה ונתתה] 12
י] וערכו הכוהנים בני] 13
י] חוקות עול[ם לדורו]תמה] 14

9欄

1 ⁽¹¹⁷⁾

24:4 の引用なしのパラフレーズ? とレビ 24:9 の引用なしのパラフレーズ? とするレビ 24:4 は類似点が見られない。レビ 24:9 は עולם

⁽¹¹⁶⁾ Y はレビ 24:9 の、קדש קדשים הוא לו מאשי יהוה חק ואכלהו במקום קדש כי קדש קדשים הוא לו מאשי יהוה חק 「そして聖なる場所でそれを食べるように。それは主の火に焚く供犠で最も聖なるものだから。永遠の定め」に基づき、以下のように復元している。[ואכלהו במקום קדש] או [ואכלהו במקום קדש] 「[それを彼らはその場所で食べる。] 彼が来る[時]」。Q は Col. 18:16 と出 35:27-28 をもとに [ואכלהו במקום קדש] 「祭司たちのために」彼らはそれ[を]持つて来るように。[の長]たち」と復元している。CH も「祭司たちのために」以外は Q と同じ。
⁽¹¹⁷⁾ Y、CH と Q は出 25:31a に基づき、[ועשיתה מנורת זהב טהור מקשה] 「[そして、打ち出し細工により、純金で燭台を作るように]」と復元している。

- 7 []-空白-[
 8 []3⁽¹²³⁾
 9 []すべての枝⁽¹²⁴⁾
 10 []3⁽¹²⁵⁾
 11 []そしてその芯切りばさみの（全体の重さは）2タラント（でなければならない）
 (126)。

[(?)] תחת שני גביעים משוקדים הקנים ממנה כפתור תחת ארבעה(?)
 「1本の枝にはアーモンド花のような受け皿、それから2本の枝の下には萼がある。(それから出る)4本の(枝)の下に萼があり、(?)」と復元している。

⁽¹²³⁾ Yはこの行の最後の文字 שלושה が赤外線写真ではっきり読めるとする。3本の枝や3つの受け皿についても、まだ説明が続いていると考える。出 25:33 と LXX の並行記事により、[הקנים ממנה וכן לששת הקנים היוצאים ממנה כפתורים] として復元している。7行目の最後の 4 を考慮に入れて訳すと、「[それから出る(4)⁷本の枝、そして確かに6本の枝がそれから出て、]3[つの萼がある]」となる。6行目から8行目は続いており、訳出の都合上、他の行の語を説明的に挿入する場合は()で補い、右肩に元の行番号を記す。CH は Y と同じ。Q と M は復元せず。

⁽¹²⁴⁾ Y、Q、CH と M は、共に כול הקנה [のみ]。

⁽¹²⁵⁾ Y は先ず失われた最初の文字が נ であることに確信を持っているが、ז である可能性も示唆し巻物の中でよく使われる הזאות [ה] を想定する。そして復元した句が、עשיתה במנורה
 עשיתה הזאות שלושה 「この燭台を3つ作るように」である。しかし、このような記述は燭台の構造の説明の最後には相応しくないし、その上、その意味は曖昧であるとする。それで נ である可能性を重く見て、קנה ではなく קנה の方で、קנאות שלושה 「茎」は3本」と復元する。Q は、ומזאות שלושה [מזאות שלושה] 「そこから3本」またこちらから3本」と復元している。基本的には CH も M もこの復元を支持している。因みに CH は ומזאות שלושה [と、M は ומזאות שלושה [ו] と復元している。

⁽¹²⁶⁾ Y は残りの語を見て、明らかに出 25:38-39 と関係があるとする。ただし MT は1タラントで燭台とそれに関連するすべての器具を作るよう命じているように見えるので、ラビたちの間で論争がある。したがって、この箇所は2タラントで燭台と関連するすべての器具を作るよう命じていると主張する。よって以下のごとく復元している。ועשיתה את המנורה
 ככרים ומלקחיה ומלקחיה כולה ככרים ונרותיה שבעה ומחתותיה [「また燭台、7つのランプ」、その[器]、芯切りばさみすべてを2タラント(の純金)[で作るように]。「(の純金)」は12行目の最初に来る。CH は Y と同様の復元。Q は本文に ומלקחיה ומלקחיה כולה ככרים [のみ] 復元。M はさらに短く ומלקחיה כולה ככרים [だけである。W もこの行を出 25:38-39 の引用なしのパラフレーズ? とする。出 25:38-39 は、זהב טהור ככר זהב טהור ומחתיה וזהב טהור ככר זהב טהור ומלקחיה ומלקחיה כולה ככרים、Col. 9:11 は、אתה את כל הכלים האלה [である。

- 12 []そのすべてのランプを輝かさせるように。[]あなたは置くように⁽¹²⁷⁾。
 13 []そして祭司たち[]の子らを整えるように⁽¹²⁸⁾。
 14 []彼らの世代を通しての永遠の掟⁽¹²⁹⁾。

		Col. 10
כו[]	1
[]	2
ת[]	3
עמוד(?) []	4
ן[]	5

⁽¹²⁷⁾ Y は出 25:37 と民 8:2 から以下のごとく復元している。זהב שהור ונרותיה שבעה ואל זהב נתתה מול פניהן אירו כול נרותיה נתתה [「の純金。そして7つのランプをその前に対して(置き)すべてのランプを輝[か]せるように。置くように」。Q と CH は出 25:39 と代下 8:2 をもとに次のように復元している。זהב שהור בערב יבעירו כול נרותיה נתתה [「の純金。夕べに]すべてのランプに火を灯すように。置くように」。M による復元の本文部分は Y と同じ、נתתה נתתה מול פניהן אירו [である。Q と CH の復元に関しては、引用された聖句と復元された形が極めて異なる。W はこの行を出 25:37 の引用なしのパラフレーズと出 40:5 の引用なしのパラフレーズとする。出 25:37 は והעלה את נרותיה והאירעל עבר פניהן、出 40:5 は יאירו כול נרותיה ונתתה את מזבח הזהב נתתה [である。ただし出 40:5 は נתתה 以外、類似点はない。

⁽¹²⁸⁾ Y は、出 27:21、40:5、24、レビ 24:3、王上 7:49 から、以下のごとく復元している。את המנורה לפני הדביר נוכח השלוחן וערכו הכהנים בני 12 行目の終わり と 14 行目の初めの語を考慮して訳すと、「[至聖所の前、机の正面に燭台を](置くように。)また彼らは祭司たちを(アロン)の子らを整える」。Q、CH も同じ。W はこの行を王上 7:49 の広範囲の逐語的引用?、出 40:24 からの広範囲の逐語的引用? と出 27:21b の引用なしのパラフレーズであるとする。これらは Y の復元のもとになった聖句である。残存するテキストと類似しているのは、王上 7:49 の לפני הדביר、Col. 9:13 の לפני הדביר、出 40:24 の שלוחן נכח וערכו ובני הכהנים [と Col. 9:13 の שלוחן נוכח、出 27:21b の ובניו אהרן יעריך אתו אהרן וערכו ובני הכהנים [と Col. 9:13 の וערכו ובני הכהנים [である。

⁽¹²⁹⁾ Y、Q と CH は出 27:21、レビ 24:3 をもとに、אהרן את הנרות לפני תמיד חוקות עולם]ם לדרון תמה [「アロン。ランプを私の前に常]に(置くように)。(これは、)彼らの世代を通しての永遠の掟。と復元。冒頭のアロンは 13 行目の続き。M も אהרן... תמיד חוקות עולם]ם לדרון תמה [でほぼ同様の復元。W はこの行をレビ 24:3 の広範囲の逐語的引用とする。レビ 24:3 は、חוקות עולם לדרון תמה、Col. 9:14 は、חוקות עולם לדרון תמה [と復元。

o[] 6
[] 7
ו[שְׁעָרִי]] 8
ועשי]תמה מעל השער] 9
ים] ם[ף הולך תולע] 10
ומל]מ[עלה מזה עמודים] 11
ים ארגמן אדום וראשי] 12
ש של] [ל]מ[עלה] 13
[ותול]ע] 14
[] 15
[] 16
[] אמה(?) 17
[]oooooooooooooooo 18

10 欄

- 1 (130)
- 2 []
- 3 []
- 4 []柱(?)⁽¹³¹⁾
- 5 [] 記念のために(?)⁽¹³²⁾
- 6 []
- 7 []
- 8 []門(?)⁽¹³³⁾
- 9 []そして]あなたは門の上に[作る]ように⁽¹³⁴⁾。

⁽¹³⁰⁾ Yによればこの欄は極端に悪い保存状態である。

⁽¹³¹⁾ QとCHは**עמוד**をこの行の最後に置く。

⁽¹³²⁾ QとCHは**זכרון**をこの行の最後に置く。

⁽¹³³⁾ QとCHは**השער יהיו**「この]門 彼らはなるだろう」と復元。

⁽¹³⁴⁾ Y、Q、CHとMも復元は同じである。Yはこの行の主題が何かスクリーンを吊るすことに関するものとしている。

- 10 [] [] 連続的な？深紅の⁽¹³⁵⁾
 11 [] そしてその上[方]行に柱が⁽¹³⁶⁾
 12 [] 紫、赤、そして の頂点に⁽¹³⁷⁾
 13 [] 上[方]行に⁽¹³⁸⁾
 14 [むら]さき(?) 深[紅]⁽¹³⁹⁾
 15 []
 16 []⁽¹⁴⁰⁾
 17 [] アンマ(?)⁽¹⁴¹⁾
 18 []

Col. 11

[]] 1-7
ים []] 8
בְּשִׁבְתּוֹת וּבְרֵאשֵׁי ○○○○○○[] 9
וּבְחֶגְגְּ הַמִּצּוֹת וּבְיוֹם הַנֶּהֱפָקָה הָעוֹמֵר ○○○○○○[] 10

⁽¹³⁵⁾ Y は写真に基づき、ף の前に ים という文字があると述べているが、何かは複数であること以外解らない。Q と CH は תולע דף הולך ברמז [[מסך] 「幕 [] 高き場所において、深紅の板が」と復元している。ただし Y は Q の復元には疑問を呈している。M も מסך を除けば Q、CH と同じ。

⁽¹³⁶⁾ Y、Q と CH は同じ復元。

⁽¹³⁷⁾ Y は ים に関しては חשוקים 「桁」の一部と考える。また、 ארגמן אדום 「紫、赤」という組み合わせは他にはなく、このみとする。 ורשאי に関しては、出 36:38 や 38:19 を比較し、 עומדים ורשאי 「柱の頂点」と復元。Q、CH は、次のように復元している。 עומדים ים ארגמן אדום ורשאי [] 「は立ち [] 紫、赤、そして 頂点に」。M も עומדים を除けば Q、CH と同じ。

⁽¹³⁸⁾ Q と CH は、 לה [לן] מן סבה שיש לן 「ま]わりに大理石」と復元している。M も מן סבה を除けば Q、CH と同じだが、訳は to which there is と שיש を名詞ではなく副詞として理解。

⁽¹³⁹⁾ Q、CH と M は על [ותלן] ארגמן ותלן 「むらさき、そして深[紅] 上」と復元。

⁽¹⁴⁰⁾ Q、CH と M は、 לן ומלמעלה לן 「そして上の」と復元。

⁽¹⁴¹⁾ Y は אמה וקומה が読み取れるとする。出 38:18 から ברחב אמה ארך אמה וקומה ברחב אמה 「長さ、また高さ 20 アンマ、幅 5 アンマ」のような寸法が記されていたとする。Q、CH と M は、 הן אבן בתוך הן [] 「中心に石が []」と復元。Q は Y の אמה が Col. 12:16 にあると主張する。

- 12 そして最上の油の祭、そして6日間の⁽¹⁴⁶⁾
 13仮庵の[祭]りにおいて、そして祝会において⁽¹⁴⁷⁾。
 14 ...[内]庭⁽¹⁴⁸⁾

		Col. 12
[]ooo[] 1
[]ooooo[] 2
[]ooooooooo[] 3
[ooo]ooooooooo[] 4
[oo]o oooooooooo[] 5
[oooooooo]ooooooooooooooooo	6
[]ooooooooooooooooooooooooo	7
מִדֹּתָיו יִהְיֶה	לooooooooooooooooooooooooo	8
פנה ואמה [נה]]ooooooooooooooooooooooooo	9
בנוי כולו	ooooooooooooooooo[] 10
[ת]עשה כול]ooooooooooooooooooooooooo[] 11 [א]בנים
ו	ooooooooooooooooooooooooo	12 שׁוֹרֹת(?)
תע]שה לו	ooooooooooooooooooooo	13 וקר(?) [ז]ו ופנו]תיו
[]ooooooooooooo	14 א ל]]oooo

⁽¹⁴⁶⁾ Y は Col. 43:9 をもとに次のように復元している。[[?]חדש] יין לנסך [ובמועד התירוש לנסך יין חדש(?)] ובמועד היצהר ובששת ימי [「ブドウ汁(?)の祭において、新しいブドウ酒を注ぐ。]また最上の油の祭において、また6日の」。CH は Y の復元を受け入れるが、「ブドウ汁(?)」は削除する。Q は ימי ובששת ימי ובמועד היצהר ובמועד [ובמועד התירוש] [「ブドウ汁の祭において、]また最上の油の祭において。また6日の」と復元している。M は Y の本文にある文章のみを復元。

⁽¹⁴⁷⁾ Y は Col. 25:2f と 10f との比較から次のように復元している。[קורבן העצים וביום הזכרון הכפורים ובחג הסוכות ובעצרת] [木々の捧げ物。そして記念日において、贖いの日において、また]仮庵の[祭]りにおいて、集会において。Q もほぼ同様。CH は、脚注において、Q の復元を引用している。Q と CH の本文の復元は以下の通り。

[קורבן ה]עצים וביום הזכרון וביום הכפורים ובחג הסוכות ובעצרת

M は Y の本文にある文章のみを復元。ובחג הסוכות ובעצרת。

⁽¹⁴⁸⁾ Y によればこの行の復元は Col. 11 の裏の赤外線写真による。Q、CH と M も同様の復元である。

]oooo ע ועשיתה oooooooooo זקיו [מ] 15
 [יoooo[] 16

12欄⁽¹⁴⁹⁾

01 ⁽¹⁵⁰⁾

1 ⁽¹⁵¹⁾

5 ⁽¹⁵²⁾

7 ⁽¹⁵³⁾

8 その寸法は⁽¹⁵⁴⁾

9 [] []角、アンマ⁽¹⁵⁵⁾

⁽¹⁴⁹⁾ Y の解説どおりにこの欄の状態はかなり悪く、わずかな語が残るのみである。Q、CH、M は読みの範囲を広げているので、脚注にて解説する。

⁽¹⁵⁰⁾ この欄で Q と CH は Y の復元にはない、01 行というものを導入している。詳しい説明がないが、Q の脚注に、原本と写真を重ね合わせる必要が書いてあることから、そこからの新しい復元がこれであろう。Q と CH の復元は以下の通り。באו [] 「彼らは来た」。

⁽¹⁵¹⁾ Y は 1 から 7 行まで復元していない。Q、CH と M はその内いくつかを復元している。この行には זהב [] 「金」と復元。

⁽¹⁵²⁾ Q、CH は ימין ואחד מן [] 「右、そしてもう 1 つは—から」と復元している。Y も 1-7 行目の説明の中で ימין ואחד [] 「右、そしてもう 1 つ」と復元しているが、これは Col. 13:5 であるとする。Q はさらに 6 行目の初めに שמאול 「左」を復元している。そうすると、Q の読みは、「]右、そしてもう 1 つは左から」となり、CH と僅かに異なる復元をしているといえる。

⁽¹⁵³⁾ Q、CH と M は、ה וארבע אן [] 「そして 4」] と復元。

⁽¹⁵⁴⁾ Y はこの読みは確かではないとしながらも、この読みが正しければ、エゼ 43:13 の形に近いとする。ואלה מדות המזבח 「そしてこれが祭壇の寸法である」。Q、CH、M も Y と同じ。

⁽¹⁵⁵⁾ Q と M は Y のテキスト上の復元と同じである。しかし、Y によれば、ただ פנה ואמה の読みだけが確かであるが、主題は何かの寸法である。פנות が意図されたのであれば、エゼキエル書(Y は箇所を明記せず)と Col. 16:03 と 17、Col. 23:13 において言及され、祭壇の上方の突き出した角との関係があるとする。もし רים という復元が正しければ、祭壇の角が語られており、復元は次の如くなるとする。ועשרים [באמה מפנה אל] פנה ואמה 「そして 2]0[アンマ 隅か]ら、隅[へ]。また 1 アンマを」。CH は Y の主張から ועשרים [פנה ואמה] [מפנה אל] 「そして 2]0[隅か]ら、隅[]。また 1 アンマを」と復元している。

- 10 [] すべて築かれた⁽¹⁵⁶⁾
- 11 [数]々[の]石。 すべてを作る[よう]に⁽¹⁵⁷⁾。
- 12 (その)数々の列(?)⁽¹⁵⁸⁾
- 13 そしてその(?) []また[その]角。 [あなたは]それを[作]る[よう]に⁽¹⁵⁹⁾。

⁽¹⁵⁶⁾ Y はここに現れる語 **בנה** 「築く」が聖書の祭壇との関係で繰り返し使用されていることに注目する。申 27:5-6 には、**לא תניף מזבח ליהוה אלהיך מזבח אבנים** **לא תניף** 「またあなたはそこにあなたの神、主の祭壇を築くように。祭壇の石には鉄を当ててはならない。全き石であなたの神、主の祭壇を築くように」とある。また、出 20:25 (Y の Ex. xx:22 は誤植) には、**ואם מזבח גזית אתהן גזית לא תבנה אתהן גזית** 「もし石の祭壇を私に作るのなら切石で築いてはならない」と記されている。これらに基づき、**ועשיתה את מזבח אבנים בנוי כולו** 「あなたはその全てが石で築かれた祭壇を作るように」と復元している。CH は Y と同様の復元を示唆。Q と M は Y のテキスト上の復元と同じ。

⁽¹⁵⁷⁾ Y は先の申 27:5-6 から、**אבנים שלמות** [א] **בנים** [א] 「[全]き[石]」と復元している。また、2QNew Jerusalem ar (2Q24) frg. 8 の 3 行 (D. バイエによる *DJD* III 参照) に、祭壇に関して **כותליא אבן חונר** 「壁 (祭壇の壁面?) は自然の石」との記述があるので、Y はこの行がどこからか採石された石と関連があるのではないかと考える。Y の参照箇所のみドット 3:4 には祭壇の石の採石について記されている。**וכן תעשה כול** [ת] **עשה כול** 「[そして確かに]全て作るように」と復元している。CH も同様。Q と M は Y のテキスト上の復元と同じ。

⁽¹⁵⁸⁾ Y は行の初めが、かろうじて解読できるとする。ここも先の New Jerusalem の祭壇に関して、同じく frg. 8 の 2 行に、**עשרא שורא ארבנעא** 「[1]0 の行と 4[の]」とあることから、11 行目の終わりから含めて、**וכן תעשה כול / שורותיו** 「[そして確かに]全て[その]列を作るように」と復元している。Y はさらにこの場合クムランのヘブライ語はラビのヘブライ語の用法と同様に **שורה** を祭壇を構成する石の列の意味で用いていると考える。しかし Q、CH と M はここを **קירות [ה]מזבח** 「[その]祭壇の壁面[]」と復元している。残念ながら理由は説明されていない。

⁽¹⁵⁹⁾ Y は最初の単語 **וי** [](?) **וקר** を Col. 16:16-17、Col. 23:12-14 を参照して **וקרנותיו** としてその[角は]と復元している。この語は CH、Q、M も同様である。Y によれば **תעשה לו** である。この語は出 22:21-22 の影響でこの言葉遣いとなっているとする。Q、CH、M はこの行を以下のごとく復元している。**ויקרנותיו ופנותיו מןמנו ומזבח נחשת תעשה לו** 「そしてその角と[その側面をそれから]そして青銅の[祭壇]を私に作るように」。CH によれば出 27:2 に基づきこの復元をしたとする。出 27:2 は、**ועשית קרנתיו על ארבע** **פנתיו מןמנו תהיין קרנתיו וצפית אתו נחשת** となっている。

14⁽¹⁶⁰⁾

15 その(?)[水]差し。 またあなたは作るように。 []⁽¹⁶¹⁾

16⁽¹⁶²⁾

Col. 13

[]	ooooooooooooo[]	1 למען
[]	ooooooooooooo[]	2 [ו]עשר א]מות
[]	ooooooooooooo[]	3 תעשה]
[]	ooooooooooooo[]	4 ודלתו]תיו
[]	ooooooooooooo[]	5 אחד ◦ (?) לימין ואחד ל]שמאול
[]	ooooooooooooo[]	6 מצופים]
[]	ooooooooooooo[]	7 לו שער כ]ן
[]	ooooooooooooo[]	8]◦ vacat
◦ []	ooooooooooooo[]	9]◦ והקור◦
נה[]	ooooooooooooo[]	10 ה]ד◦ לעם]
		11 תמימים ש]נים ליום עולת תמיד את הכבש האחד תעשה בבוקר ומנחתו עש]רון
		11a [ואת הכבש השני תעשה בין הערכים (?)]
		12 סולת בלולה]בשמן כתית רביעית ההין עולת תמיד לריח ניחוח אשה]
		12a ונסכו יין רב]יעית ההין]
		13 ליהוה vacat]והכוהן המקריב את העולה עור]
		14 העו]לה] אשר לו לו]יהיה vacat ואת הכבש השני תעשה בין הער]בם]

⁽¹⁶⁰⁾ Yはこの行に何も保存されていないとする。Q、CH、Mは「קרנותיו」[] [] []と復元。最後の語「[その]角(複)」のみ判読可能。

⁽¹⁶¹⁾ Yは14行目からこの行まではCol. 33:13-14がそうであるように、祭壇の器具について扱っていると考えが、自身の判読に関しては絶対的ではないとする。Q、CHとMは出36:36に基づき、] [] []「そしてあなたは4[本]の柱を作るように」と復元。Yはこれを否定。

⁽¹⁶²⁾ Yはこの行の主題を「הגלי הכהנים הילוך רגלי」[] []「祭司たちの足どり」だったのではと考える。Yが参照箇所としている、ミドット 3:1を見ると、祭司が祭壇に登るための道が、「祭司たちの足どり」と呼ばれていたようである。CH、MはQの再調査による復元を支持する。Col. 10:17でQが主張した「אמה」がここにあるというものである。彼らの復元は以下の通り。[] [] []「アンマそして[] []祭[壇]」。Yはこの読みも否定。

- 15 כמנה[ת ה]בוקר [יכנסכה תעשה לו אשה רי] ה [ניתוח] ל[יהוה]
 16 לוא תא] עולת תמיד לדורותיכמה]
 17 ובימי הש[בתות] תקריבו שני [כבשים בני שנה תמימים ושני]

13 欄

01 行⁽¹⁶³⁾

- 1 のために。 [] []⁽¹⁶⁴⁾
 2 [そして]10 ア[ンマ] []⁽¹⁶⁵⁾
 3 作るように。 [] []⁽¹⁶⁶⁾
 4 そして[その]扉 [] []⁽¹⁶⁷⁾
 5 1つは(?)右にもう1つは[左]に []⁽¹⁶⁸⁾
 6 覆われる。 [] []⁽¹⁶⁹⁾

⁽¹⁶³⁾ この欄でも Q と CH は Y の復元にはない、01 行というものを導入している。ただし CH は 1 の前に突然 07 となっている。CH に特に説明がないため Q の 01 を採用した。復元されているのは ללא であり、前置詞の ל + 否定の לא にも見えるが、CH は訳していない。Y は脚注において 0 行として אנ が読み取り可能とする。

⁽¹⁶⁴⁾ Y はプレート 7 から見ると למען が見て取れるが、詳細な写真の試験をすると、最後の ׀ が不確とする。Q、CH と M も למען と読むが、CH は訳さず。

⁽¹⁶⁵⁾ Y と CH は [ו]עשר אןמות [そして]10 ア[ンマ] と復元しているが、Q と M は、[ו]עשר אן [そして]10 と復元。Y は、この 7 行目まで、巻物の「著者／編纂者」は扉のある何らかの建物について書いていたと推測する。

⁽¹⁶⁶⁾ Y はこの単語のみで、文章を復元していることは難しいとする。

⁽¹⁶⁷⁾ Y はこの復元はかなり可能性があるとする。Col. 36:11 と Col. 41:16、17 の参照比較から、全体を [טהור זהב מצופות תיו ודלתון] 「そして[その]扉は[純金で覆われ]」と復元。M の復元は Y の本文と同じく ודלתון תיו である。Q と CH は、[ו]דלתון 「そして扉[]」と復元。

⁽¹⁶⁸⁾ Y は ל אחד לימין ואחד が Col. 12 にくっついていた断片とする。Col. 12:5 の脚注を参照。よって Q と CH はここを [ו]ן אחד 「1 と[]」と復元。M は Y と同じである。W はこの行を自由作文もしくは代下 3:17 の引用なしのパラフレーズとする。代下 3:17 は、אחד מימין ואחד אחר ל [שמאול]、Col. 13:5 は、אחד (?) לימין ואחד [שמאול] である。

⁽¹⁶⁹⁾ Y は מצופים の語が男性形で והקיר であることに着目し、主語が女性形である ודלתות を除外することと、5 行目の何かを修飾することを示唆している。

- 7 そのために門を[] []⁽¹⁷⁰⁾
- 8 -空白-[] []⁽¹⁷¹⁾
- 9 そして[] []⁽¹⁷²⁾
- 10 民のための血(?)。 []さて、 [これが、あなたが祭壇の上に供すべき、1]歳[の雄の子羊]⁽¹⁷³⁾、
- 11 傷のない2[頭を、日ごとに常供の燔祭として⁽¹⁷⁴⁾。あなたは1頭の雄の子羊を朝に捧げるように。また、]1[0分の1の穀物の供物を]⁽¹⁷⁵⁾
- 11a [2頭目の羊を夕べに供すように(?)]⁽¹⁷⁶⁾。

⁽¹⁷⁰⁾ Yは可能な復元を以下とする。 [... כשער הרשאון] [ועשיתה] [לו שער] 「そしてあなたは]それに門を[第1の門として作るように]」。Q、CHとMはYの本文にあるのみの復元。

⁽¹⁷¹⁾ Yによると写字者はこの行の初めに5文字の間を開けている。犠牲を捧げる義務の命令はここから始まるとする。

⁽¹⁷²⁾ QとMは、ここを והקיר 「そしてその壁」と復元している。Yはその復元の可能性はあることを示唆するが、その場合はそれまでと話題が変わることになるとして、 והקור[בן] 「捧げ[物]ないし והקור[בנות] 「捧げ[物(複)]」を提案。

⁽¹⁷³⁾ Yの復元は出29:38と民28:3に基づく。Q、CH、Mは短い復元をしている。 הרם לעם כבשים בני שנה] 「民のための血。 [] [、 1]歳[の羊]」。

⁽¹⁷⁴⁾ Wは10行目の後半からここまでを民28:3の広範囲の逐語的引用とする。ただしWにおいては、Yのテキストにある11aはない。民28:3は לה אשר תקריבו ליהוה ואמרת תמיד וזוה אשר תעשה על] כבשים בני שנה תמימים שנים ליום עלה תמיד Col. 13:10b-11aは על] כבשים בני שנה תמימים שנים ליום עולת תמיד である。

⁽¹⁷⁵⁾ Yは出29:41と民28:8に基づいて תמימים שנים ליום עולת תמיד とする復元は明白であるとする。しかし、 תמיד から שרון] の間は狭すぎて全てのテキストが入らないとする。それゆえ後半部の文章を行間に差し挟んだと推測する。よって11行と12行には11aと12aを挿入する。ただしQとCHは את הכבש האחדתעשה בבוקר] 「傷のない2[匹を日ごとに。あなたは1匹の雄の子羊を朝に捧げるように。また、]1[0分の1の穀物の捧げ物を]」と復元。Mは שנים ... עשרון] 「傷のない2[匹を] 1[0分の1]」とする短い復元である。

⁽¹⁷⁶⁾ Q、CHとMはここを復元していない。

- 12 [4分の1ヒンのすり潰された油と]混ぜられている、上質の小麦粉⁽¹⁷⁷⁾。[それは常供の燔祭、宥めの香り、火に焚く供犠となる。]⁽¹⁷⁸⁾
- 12a 灌奠が[4分]の1[ヒンの]ブドウ酒⁽¹⁷⁹⁾
- 13 主の⁽¹⁸⁰⁾。-空白-[そして燔祭を捧げる祭司。]⁽¹⁸¹⁾
- 14 彼の燔[祭の皮¹³]は彼の[ものとなる⁽¹⁸²⁾]。-空白-そして第2の羊を]夕[べに供しなけ

⁽¹⁷⁷⁾ Wは11行目の後半からここまでを民28:5bの広範囲の逐語的引用?とする。だが実際は民28:5全体に類似している。民28:5は **ועשירית האיפה סלת למנחה בלולה בשמן**。כתית רביעת ההין。Col. 13:11b-12aは **עש[רון סולת בלולה]בשמן כתית רביעת ההין**。

⁽¹⁷⁸⁾ Yによると、**סולת בלולה**の最後の**ה**以外は確かに読めるという。また、巻物の「著者/編纂者」は、出29:40の**סלת בלול**と、民28:20の**סלת בלולה**という2つのソースを調和させようとしていると主張する。また、Qは以下のごとく復元している **סולת בלולה** [שה] **ניחוח לריח ולשןעיר לכבשים ולשןעיר לריח ניחוח אשה** [「[4分の1ヒンの油と]混ぜられている、上質の小麦粉、羊のためのまた山[羊のための宥めの香り、火に焚く供犠となる]」。私見では、言うまでもないことであるが、これは羊や山羊への捧げ物ではなく、それらの動物の犠牲に伴う穀物の捧げ物を指したものとみられる。CHは脚注と Composite Text において Q の復元を支持。本文は M と同じく、**סולת בלולה לכבשים ולשןעיר** [] [「 []混ぜられている、上質の小麦粉、羊のためのまた山[羊のための(もの)である]」]としている。

⁽¹⁷⁹⁾ Q、CH、MもYと同様に12行と13行の行間に12行aとして文章を復元している。これは13行の**ליהוה**以降に挿入するためのものである。民28:7aに基づくが、MTは**יין**を欠く。NFT民28:7aは、**ונסוכוי חמר רביעות הינה**、ウルガタ民28:7は、**a et libabitis vini quartam partem hin**、ペシッタ民28:7aは、**אחמנה נחלה זחבלה ההחלל**である。ここはウルガタ、NFT、ペシッタに近い。CHは類似例にLXXおよびMSSを加える。Wはこの行をMTではない他の古代訳からの民28:7aの広範囲の逐語的引用とする。また、民28:7aは、**ונסכו** **יין רביעות ההין**、Col. 13:12aは、**ונסכו יין רביעות ההין**である。

⁽¹⁸⁰⁾ Wは12行目の後半からここまでを民28:6の著しい削除による逐語的引用とする。民28:6は **עולת תמיד העשיה בהר סיני לריח ניחוח אשה ליהוה**、Col. 13:12b-13aは **עולת תמיד לריח ניחוח אשה** **ליהוה**。

⁽¹⁸¹⁾ **ליהוה**まではY、Q、CH、M同じである。それ以降Q、CH、Mは**החלה האחת** [「その]ケーキ1つ」と復元し、Yとは異なる。

⁽¹⁸²⁾ レビ7:8参照。Wも13bからここまでをレビ7:8の短い引用を含む節かその一部のパラフレーズ?とする。レビ7:8は、**הכהן המקריב את עלת איש עור העלה אשר הקריב**、Col. 13:13b-14aは、**והכוהן המקריב את העולה עור[העון]ל[ה] אשר לו** **לכהן לו יהיה** [יהיה] **לו**となっている。

- 3 [ת] צי ההין ל[פר האחד ומנחה סולת בלולה בשמן שני]
- 4 [עשרונים] בשלישית [ההין ויין לנסך שלישית ההין לאיל האחד]
- 5 [ועשרון] עשרון מנחה סולת בלולה ברביעית ההין ויין רביעית]
- 6 [ההין] לכבש האחד [ריח]
- 7 ניחוח ליהוה ברא[שי חודשיכמה vacat זאת עולת חודש בחודשו]
- 8 לחודשי השנה]∞ [
- 9 ובאחד לחודש ה[ראישון ראוש חודשים ראישון הוא לכמה לחודשי]
- 10 השנה כול מלאכת ע[בורה לוא תעשו ועשיתמה שעיר עזים לחטאת]
- 11 לבד הוא יעשה לכפ[ר עליכמה ועשיתמה עולה פר בן בקר אחד]
- 12 איל אחד כבשים בני[שנה שבע תמימים [
- 13 [מ]ל[כר עו]ל[ת] החודש ומנחה שלושה עשרונים סולת בלולה בשמן]
- 14 מחצית ההין [לפר האחד ויין] לנסך [מחצית ההין ריח ניחוח ליהוה ושני]
- 15 עשרונים סולת מנחה בלולה[ה] בשמן שלישית ההין ויין לנסך תקריבו]
- 16 של[ישית] ההין לאיל ה[אחד אשה ריח ניחוח ליהוה ועשרון]
- 17 [סולת] מנח[ה] בלולה בשמן רביעית ההין ויין לנסך תקריבו]
- 18 [רביעית ההין לכבש] האחד [כבשים ולשע]יר [

14 欄⁽¹⁸⁷⁾

- 01 [油と混ざっている、穀物の供物のための 1/10 の上質の小麦粉、そしてその灌奠、これは毎安息日の燔祭である。]⁽¹⁸⁸⁾

⁽¹⁸⁷⁾ この欄の読みは Y と Q で、かなり異なっている。

⁽¹⁸⁸⁾ Y によると、前の欄は安息日の犠牲の命令で終わっている。その戒めは失われた欄の上部にもあったはずだと述べる。よって彼は MT により 01 と 02 として復元している。Y とはかなり異なるが、CH も、民 28:9-10, 15:5, 28:13-14、出 29:40-42 を基に以下の通り 01-04 を復元している。

- 01 [עשרונים סולת מנחה בלולה ברביעית ההין שמן]
- 02 [לכבש האחד ונסכיהמה רביעית ההין לכבש יין עולה(ת)] ()内は筆者による修正。
- 03 [שבת בשבתו על עולת התמיד ונסכה vacat(?)]
- 04 [ובראשי חודשיכמה תקריבו עולה ליהוה פרים בני בקר שנים]
- 01 [1/4 ヒンの油と混ざっている、穀物の捧げ物のための 1/10 の上質の小麦粉を]
- 02 [1 匹の雄の子羊のために。またそれらの灌奠、1/4 ヒンのブドウ酒を雄の子羊のために。]
- 03 [これは毎安息日(に捧げるべき)燔祭であり、日ごとの燔祭とその灌奠である。-空白-(?)]

- 02 [常供の燔祭とその灌奠については[[]]またあなたたちの月の初めにおいて主の燔祭をささげるように]
- 1 [2頭の若い雄牛、1頭の雄羊、傷のない1歳の7頭の子羊。]⁽¹⁸⁹⁾
- 2 [1/2ヒンの油と混]ざっている、穀[物の供物のための3/10の上質の]小麦粉、[また灌奠のためのブドウ酒。]⁽¹⁹⁰⁾
- 3 [各々の雄牛に]対して 1[2]ヒン[の油と混ざっている、穀物の供物のための上質の小麦粉 2]⁽¹⁹¹⁾
- 4 [1/10。]1/3[ヒンの灌奠のためのブドウ酒。雄羊1頭に対し1/3ヒン。]⁽¹⁹²⁾
- 5 [そして1/10、]穀[物の供物。そのための1/4ヒンの(油)と混ざっている、上質の小麦粉

04 [またあなたたちの月の初めにおいて、主への燔祭として牛の群れから取った2頭の雄牛を捧げるように。]

⁽¹⁸⁹⁾ YもCHも復元の根拠を民28:11としている。それぞれの学者による1行の復元は異なる。本文ではCHとMは אחדのみ復元。QはYとは、異なる復元をしている。ואיל אחד [ואיל אחד לחטאת] [כשבים בני שנה שבעה תמימים ושעיר אחד לחטאת] 「1[匹の雄羊、傷のない1歳の7匹の雄の子羊また、雄山羊1匹を浄罪の供犠として。]」 Yは若い雄牛2匹を入れるが雄山羊と浄罪の供犠は欠き、Qは若い雄牛2匹を欠くが雄山羊と浄罪の供犠を入れる。CHは脚注ではQの復元を採用。

⁽¹⁹⁰⁾ QとCHはYの読みと明らかに異なる。違いは以下。ומנחה סולת בלולה בשמן [ומנחה סולת בלולה בשמן] [שלושה עשרונים סולת בלולה] 「[油と混]ざっている、穀[物の捧げ物のための上質の小麦粉。(1/2ヒンの油)と混ざっている、3/10の上質の小麦粉。]」 () 内には3行目の初めの文章を入れた。

⁽¹⁹¹⁾ 以下はQの読み。במן חצית ההין לפר ושני עשרונים [במן חצית ההין לשמן ויין לנסך מחצית ההין לפר ושני עשרונים] [סולת] 「[1/2ヒンの[油。また灌奠のためのブドウ酒1/2ヒン。若い雄牛に対して2/10の上質の小麦粉]」。脚注にあるCHの読みもこれと同じである。Mの復元は短い、出だしはYと同じで、[ח] צי ההין である。Wは2行目からここまで民28:12aの再配列された語順による逐語的引用と民15:9bの再配列された語順における逐語的な引用?と自由作文とする。民28:12aは אחד לפר האחד ושלושה עשרונים סלת מנחה בלולה בשמן לפר האחד、民15:9bは מנחה [ומנחה סולת בלולה שלושה עשרונים בלולה בשמן] Col. 14:2-3は שלושה עשרונים בלולה בשמן חצי ההין עשרונים בחצי ההין שמן ויין לנסך [ח] צי ההין [לפר האחד ומנחה סולת בלולה בשמן שני] ⁽¹⁹²⁾ Qの読み。בלולה בשלושית ההין שמן ויין לנסך שלשית ההין לאיל [בלולה בשלושית ההין שמן ויין לנסך שלשית ההין לאיל] 「1/3[ヒンの油と混ざっている。また灌奠のためのブドウ酒1/3ヒン。雄羊に対して。]」 CHの脚注も同様。CHによると民15:6-7aに基づく。

1/10。そしてブドウ酒、1/4]⁽¹⁹³⁾

6 [ヒ]ン。各々の雄羊に対し。[

香り⁽¹⁹⁴⁾]⁽¹⁹⁵⁾

7 [あなたたちの月々の初めにお]ける、主への宥めの[(香り⁶)-空白- これはその月における燔祭]⁽¹⁹⁶⁾

8 この年の月々の(ものである)。[]⁽¹⁹⁷⁾

9 また、最初の月の 1 日は[月々の初めとなる。それはあなたたちの]年 ⁽¹⁹⁸⁾の正月である。⁽¹⁹⁹⁾

⁽¹⁹³⁾ Q は、[ול]כבש עשרון מנחה [בלולה ברבע ההין שמן ויין לנסך רבע] 「[また子羊]に[対して]1/10 穀物の捧げ物 1/4 ヒンの油と混じっている。また灌奠のためのブドウ酒 1/4」と読む。脚注で、CH も同様。CH によると民 15:4-5a, 28:13 に基づく。

⁽¹⁹⁴⁾ 日本語の構文では 7 行に持っていかないと文章にならない。

⁽¹⁹⁵⁾ Q は [ה]הין לכבש האחד ל[שבעת הכבשים ולשעיר העזים אשה ריח] 「[ヒ]ン。1 匹の雄の子羊に対して。[7 匹の雄の子羊に対し、雄山羊に対し、火に焚く供犠、(主への宥めの)香り。]」と復元。() 内には 7 行目の初めの文章を入れた。脚注で CH も同様。雄山羊の復元には Y も脚注で可能性を述べている。W は 5 行目からここまで民 28:13a の広範囲の逐語的引用と民 15:5 の再配列された語順による逐語的引用とする。民 28:13a は ועשרין ריח עלה האחד לכבש האחד בשמן בלולה ברבע ההין שמן ויין לנסך רבעיהת 5, 民 15:5 は עשרון סלת מנחה בלולה בשמן לכבש האחד עלה ריח, Col. 14:5-6 は מנחה סולת בלולה ההין תעשה על העלה או לזבח לכבש האחד ברביעית ההין ויין רביעית] [ההין] לכבש האחד [ריח

⁽¹⁹⁶⁾ Y と Q は殆ど同じである。CH は ניהוח ליהוה בראנשי, M は ניהוח ליהוה בראנשי חודשיכמה と復元。

⁽¹⁹⁷⁾ Q は vacat (?) ליהוה [אשה הוא] לחודשי השנה 「この年の月々の主への火に焚く供犠(である)」と復元。CH の脚注も同様。W は 7 行目からここまで民 15:13b の広範囲の逐語的引用と民 28:11a の広範囲の逐語的引用? とする。民 15:13b は、ניהוח ליהוה, 民 28:11a は、ניהוח ליהוה בראנשי חודשיכם תקריבו עלה ליהוה, Col. 14:7-8 は、ניהוח ליהוה בראנשי חודשיכם תקריבו עלה ליהוה [vacat] זאות עולה חודש בחודש לחודשי השנה。]

⁽¹⁹⁸⁾ 本来この語は 10 行目の最初に来る。

⁽¹⁹⁹⁾ この行での Y と Q には大差がない。Q は Y の復元から לכמה 「あなたがたの」を除いたものである。CH は脚注で、Y と Q の 2 通りの復元を記している。M は ובאחד לחודש [ה] と 1 番短い復元。ここから 10 行目の最初の השנה までは出 12:2 に基づく。W は 9 行目からこの行の前半まで出 12:2 の短い引用を含む節かその一部のパラフレーズと自由作文とする。出 12:2 は הזה לך ראש חדשים ראשון הוא לך לחודשי השנה, Col. 14:9-10a は ובאחד לחודש הןראשון ראש החדשים ראשון הוא לכמה לחודשי השנה。

- 10 すべて働きの[業はなしてはならない。また 1 頭の雄山羊を浄罪の供犠とするように。]⁽²⁰⁰⁾
- 11 それのみが、[あなたたちの]贖いをするために捧げられる。また、あなたは 1 頭の若い雄牛を燔祭とするように。]⁽²⁰¹⁾
- 12 1 頭の雄羊、[傷のない 1]歳[の 7 頭の雄の]子羊⁽²⁰²⁾。
- 13 [新月の燔]祭の他[に、また、穀物の供物のための](1/2 ヒン)¹⁴[の油と混ざっている上質の小麦粉 3/10。]⁽²⁰³⁾

⁽²⁰⁰⁾ Q と CH は Y と לוא תעשו 以降が異なる。11 行 a までかかるこの文章は、明らかに 12:16b に基づく Q と CH の復元が正しく思える。復元は以下の通り。כול מלאכת עבונך לוא תעשו אך אשר יאכל לכול נפש לבר הוא יעשה[「すべて働きの[業はしてはならない。しかし皆の者が食べるものだけは]あなた方[のために作るように]」。Y の復元は民 29:1b, 5 に基づくが、9 行目から 10 行の話題は過越祭についてである。何故第 7 の月の 1 日の浄罪の供犠という観点から復元するのか説明されていない。過越祭の過越の子羊をラッパの祭の山羊と同様に浄罪の供犠を捧げたと Y は考えているのかもしれない。ただし Y の言う通り 11Q19 の「著者／編纂者」は יום תרועה יהיה לכם を削除して聖句を使用した可能性もある。

⁽²⁰¹⁾ Q は 10 行と 11 行目において、自身も記しているように、以下の通り Y と大きく異なる復元をしている。ועשיתמהעולה ליהוה פר בן בקר אחד「[あなたがたは牛の群れから取った 1 匹の若い雄牛を主への燔祭とするように]」。CH の脚注も同様。W は、10 行目の後半からここまでを民 29:1b の広範囲の逐語的引用と自由作文、および民 29:5b の短い引用を含む節かその一部のパラフレーズとする。民 29:1b は לא תעשו יום כל מלאכת עבודה לוא תעשו יום である。W は民 29:5b としているが、民 29:5 全体である。民 29:5 は、ושעיר עזים אחד חטאת לכפר עליכם כול מלאכת עבודה לוא תעשו ועשיתמה ושעיר עזים לחטאת לבר הוא יעשה לכפר עליכם ועשיתמה עולה פר בן בקר אחד となっている。

⁽²⁰²⁾ Q は איל אחד כבשים בני שנה [תמימים] שבעה [ושעיר] אחד ל[חטאת] 1 匹の雄羊、[傷のない] 1 歳の 7 匹の雄の子羊また 1 匹の[雄山羊。]浄[罪]の供儀のための」と復元。CH も同様。W はこの行を民 29:2 の再配列された語順による逐語的引用とする。民 29:2 は איל אחד כבשים בני שנה שבעה תמימים [שבעה תמימים である。

⁽²⁰³⁾ CH によるとこの行の皮が擦り切れているようである。復元に関しては、Y と Q に大きな違いはない。Q には最後の בשמן が欠けており、また、החודש と ומנחה の間に小さな vac. (?) -空白- を挿入する。CH は Q の復元を支持する。前半は民 29:6、後半は民 15:9 に基づくとする。しかし後半は עשרונים סולת בלולה בשמן に対して民 15:9

Col. 15

01 [וה]קריבו [על המן]זבח

1 [בכו]ל יום ויום

2 שנה שבעה וש[ע]יר עזים לחטאת ומנחתמה ונסכמה

3 כִּמְשַׁפֵּט הַזֶּה *vacat*? [ולמלואים איל איל לכול] [יום ויום]

3a [ו]סלי לחם לכול א[י]לי המלואים סל אחד לאיל

4 [ה]אחד וחצו את כ[ו]ל האילים והסלים לשבע[ת] ימי המלואים לכול

5 [יום] ויום כמחלקו[ת]יהמה [יהיו מקריבים ליהוה את שוק הימין]

6 עולה מן האיל ו[את החלב המכסה את הקרב ואת] [שתי]

7 הכליות ואת [ה]חלב [אשר עלי] [הנה ואת החלב אשר על]

8 הכסלים ואת הא[י]ה תמימה [לעומת עציהה ואת יותרת הכבד]

9 ומנחתו ונסכו כמ[ש]פט ולקחו חלת מצה אחת מן ה[סל וחלת]

10 לחם שמן אחת ורק[יק] [אחד ושמו הכול על החלבים]

11 עם שוק התרומה אשר לימין ויניפו המקריבים את

12 האילים ואת סלי הלחם [ת]נופה [ל]פני יהוה עולה היא

13 אשה ריח ניחוח לפני יהוה [והקטירו הכול המזבחה על]

14 העולה למלא על נפשותמה שב[ע]ת ימי[] המלואים *vacat*

15 ואם הכוהן הגדול יהיה עומד [לשרת לפני יהוה אשר] מלא

16 [א]דו[]ל[ל]ב[ו]ש את הבגדים תחת אב[י]הו ויקרי[ב] פר

17 [אחד ע]ל כול הע[ם] ואחד על ה[כ]והנים ויקרב את אשר

18 [לכוה] [ני]ם בריאשונה וסמכו זקני הכוהנים את ידיהמה

של[ישית] ההין לאיל ה[א]חד אשה ריח ניחוח ליהוה ועשרון [סולת] מנחנה בלולה בשמן רביעית ההין ויין לנסך תקריבו[ן] である。

⁽²⁰⁸⁾ Q は、[ヒンは雄の子羊]1 匹[に対するもの。7]匹の雄の子羊に対して、雄[山羊]に対して」。CH は脚注において民 15:4-5 に基づいたと記しているが、ヘブライ語文は Q と同じ復元をしている。しかし英文への翻訳において、ヘブライ語を誤訳していると思われる。[a hin for the lamb,] the one for [the Sabb]ath, the lambs and the bil[ly-goats ...] ל[שב]עת 「7 匹の」が原文なのだが、「安息日のために」と訳している。もしそうならヘブライ語文は ל[שב]ת とすべきである。これは後半の p. 288 の TSCT の 18 行も同様に訳している。ע を見落とした誤訳ではないだろうか？

15 欄

11Q20 Iと平行している。

01 [そして彼らは][祭]壇の上で[捧げねばならない。]⁽²⁰⁹⁾

1 [日]ごとに⁽²¹⁰⁾。

2 [浄罪の供犠のための]1歳(の雄の子羊と)⁽²¹¹⁾ 7匹と [1匹の]「雄」山[羊。またそれらの穀物の供物と灌奠。]⁽²¹²⁾

3 この規定に従って-空-⁽²¹³⁾[日ごとに、]「任職の儀式⁽²¹⁴⁾のための 1 匹の雄羊」⁽²¹⁵⁾。

3a [また、任職の儀式のすべての雄羊のための]パンのかご、[雄羊 1 匹⁴に対して 1 個の籠]⁽²¹⁶⁾

⁽²⁰⁹⁾ M と Q は 11Q20 からこの行を復元。M の編集した *DJD XXIII*, 11Q20, Col. 1:10 によると、[וה קרבו על המנזבח לכול יום ויום] とあり、01 と 1 はつながってる。CH も TSCT で同じように復元しているが、番号は 04。

⁽²¹⁰⁾ Q、CH、は [לכּוּן ליום ויום] 「日ご[とに]」と読む。M は 11Q20 からこの後に、[פּר בן בקר אחד איל אחד כבשים] 「[1 匹の若い雄牛と 1 匹の雄羊]」を挿入する。Q は 2010 年版で、CH も TSCT で M と同じように復元した後、さらに בני を加えている。

⁽²¹¹⁾ ()内は 11Q20 の Col. 1:11 からの挿入。

⁽²¹²⁾ W は 1b からここまでを、民 29:2-6 の引用なしのパラフレーズとしている。類似点は MT 民 29:2 שנה שבעה、MT 民 29:5 ושעיר עזים אחד חטאת、MT 民 29:6 ומנחתה ונסכיהם、Col. 15:2 は [שנה שבעה ושעיר עזים לחטאת ומנחתמה ונסכמה]。

⁽²¹³⁾ Y は [[?]] としているが、DE は *vacat?* となっている。Q は 1996 年版では -空白- を欠くが、2010 年版では挿入している。M はここに -空白- を挿入する。CH が注に記すように、*DJD XXIII*, 11Q20, Col. 1:11 を参照した挿入。また M は本文も 11Q20 を参照して לכול 以下を [יום ויום] 「[日ごと]」とせず、[יום ואחד] 「[それぞれの日]」とする。

⁽²¹⁴⁾ ヘブライ語は מלוּאים。Koehler, L., and, Baumgartner, W., *The Hebrew & Aramaic Lexicon of the Old Testament* によると祭司の任職式を指している。出 29:22、レビ 7:37 参照。出 28:41 ומלא את ידם 「そして彼らの手を満たすように」が聖職者の地位への任職行為を表す専門用語。旧約聖書翻訳員会、木幡藤子・山我哲雄 (訳)『旧約聖書 II 出エジプト記 レビ記』岩波書店、2000 年、146 頁、注 5 参照。

⁽²¹⁵⁾ W はここを民 29:35 + 29:2, 15 の引用なしのパラフレーズでレビ 8:33b + 8:18, 22 と比較しているが、テキストは類似していない。

⁽²¹⁶⁾ Y によれば 13:11a や 12a のように写字者によって行間に入れられたもの。W はここを出 29:2-3, 23 の引用なしのパラフレーズ。レビ 8:3, 26 の引用なしのパラフレーズ、としているが、テキストは類似していない。

- [また彼らは種入れないパンケーキ]1つをその「かご」[から取るように]。また⁽²²⁶⁾
- 10 1つの油を塗ったパン(「ケーキ」)⁹と[1つの]ウエ「ハース」[とをすべて脂肪の上におくように]。⁽²²⁷⁾
- 11 「右の」腿の捧げ物と共に。「またこれらの犠牲、¹(雄羊、パンのかごを)¹²「差し上げるように」。¹ ⁽²²⁸⁾
- 12 これは主の御「前」の差し[上げる供物。]「それは燔祭、」¹
- 13 火に焚く供儀、主の御前の宥めの香り。[またすべてを祭壇²²⁹の上で焼いて煙にするように]。⁽²³⁰⁾

⁽²²⁶⁾ Y が示す通り、この行の後半は出 29:23 の改訂である。だが、MT と異なり、**וככר לחם אחת** が欠落している。LXX でも同様に欠落しているため、LXX 型のヘブライ語聖書を使用した可能性がある。Q の 1996 年版と CH は **וּמְנַחְתּוֹ וְנִסְכּוֹ כִּמְנַשְׁפֵּט וַיִּקְחוּ מִצֶּה אַחַת מִן הַסֵּל** 「またその穀物の捧げ物とその灌奠を規[定に従って、(捧げるように。)]また彼らは種入れぬパン」1つをその[籠]から取るように」と復元している。しかし Q は、2010 年版では、**הַסֵּל מִן הַמִּצֶּה חֲלַת מִצֶּה וְלִקְחוּ חֲלַת מִצֶּה** 「またその穀物の捧げ物とその灌奠を[規定]に従って、(捧げるように。)]また彼らは種入れぬパンケーキ」1つをその籠から取るように」と復元し直している。Y と CH の違いは復元におけるヘブライ語文法の違いである。ここのみならずこの後にも現れる。真ん中にある **מִצֶּה חֲלַת מִצֶּה וְלִקְחוּ** と **מִצֶּה וַיִּקְחוּ** の違いに関していえば、前者は **suffixed verbal form** + 連語形の「種入れぬパンケーキ」、後者は **prefixed verbal form** + 名詞の「種入れぬパン」である。CH, p. 46. 注 176 参照。だが M は **לִקַּח** という動詞そのものを省く。9 行目全体は 10 行目の **וְשָׂמוּ** という動詞にかかる。「その穀物の捧げ物と灌奠をこの[規定]に従って、[彼らは種入れないケーキ]1つをその「籠」[から]、また1つの油を塗ったパン(「ケーキ」と[1つの]ウエ「ハース」[とをすべて脂肪の上におくように])」。

⁽²²⁷⁾ Y と M は **וְשָׂמוּ** で同じ。Q と CH は Y と M に対して、9 行と同様の動詞形態の違いがある。**וְשָׂמוּ** と **וַיִּשְׂמוּ** である。CH は 11 行に **וַיִּנְיִפוּ** という動詞が出てくることから、Q の復元を支持する。W は 9 行目からこの行をレビ 8:26 の広範囲の逐語的引用としている。MT レビ 8:26 は **לִקַּח חֲלַת מִצֶּה אַחַת וְחֲלַת לֶחֶם שֶׁמֶן אַחַת וְרִקִּיק אֶחָד וַיִּשֶׂם עַל וְלִקְחוּ**、Col. 15:9b-10 は **אַחַד** 「[**חֲלַת מִצֶּה אַחַת מִן הַסֵּל וְחֲלַת לֶחֶם שֶׁמֶן אַחַת וְרִקִּיק**]」**אַחַד** 「[**חֲלַת מִצֶּה אַחַת מִן הַסֵּל וְחֲלַת לֶחֶם שֶׁמֶן אַחַת וְרִקִּיק**]」**אַחַד**」である。

⁽²²⁸⁾ W はこの行を出 29:22 と 29:21b の引用なしのパラフレーズとしている。類似点は以下の通り。MT 出 29:22 は、**וְאֵת שׁוֹק הַיַּמִּין**、他方、Col. 15:11 は、**אֲשֶׁר לַיַּמִּין**、**שׁוֹק הַתְּרוֹמָה אֲשֶׁר לַיַּמִּין** となっており、両者の内容がかなり異なっている。

⁽²²⁹⁾ 11Q20 は **הַמְּזַבְּחָה** の代わりに **הַמִּזְבֵּחַ** となっている。ただ、M はここでは **הַמְּזַבְּחָה** 。

⁽²³⁰⁾ W は 12 行とこの行を出 29:24b と 29:25b の再配列された語順による逐語的引用とする。

- 14 燔祭(に関して)¹³。自分自身の任職の儀式を完成⁽²³¹⁾するために、7「日の間」の [任職の儀式 -空白-]⁽²³²⁾
- 15 またもし、[大祭司が主に仕えようとし、] (任職)¹⁵⁻¹⁶ し⁽²³³⁾、
- 16 その父に替わり衣服を[身]につけるなら、[雄牛]⁽²³⁴⁾
- 17 [1 頭]をすべての民のために、もう 1 頭を祭司「たちのために」(捧げるように)¹⁶。彼は⁽²³⁵⁾
- 18 先「ず」[祭司「たち」]のために 1 頭を(捧げるように)¹⁷。また祭司[たち]の長老たちは[彼らの手を置くように。] ¹ ⁽²³⁶⁾

Col. 16

01 [על ראון] שו ואחריהמה הכן[הן] הגדול וכול הכוהנים אחר ושחטו את

MT との違いは以下の通り。MT 出 29:24b は、תנופה לפני יהוה、MT 出 29:25b は、ולקחת אתם מידם והקטרת המזבחה על העלה לריח ניחוח לפני יהוה אשה הוא ליהוה האלים ואת סלי הלחם תננופה ל[פני יהוה עולה היא] אשה ריח、Col. 15:12-13 は、ניחוח לפני יהוה [והקטירו הכול המזבחה על] となっている。

⁽²³¹⁾ M は 11Q20 の למלא によって {למלו;א} と、Q はその脚注で למלה と復元している。

⁽²³²⁾ Q、CH、M は Y の復元の vacat שב[עת ימים] שמ[עת ימי] [המלואים] を vacat と復元している。訳すと、「燔祭 (に関して) 自身の任職の儀式を完成するために、7 日の間」となる。W はこの行を出 29:35 の引用なしのパラフレーズとする。MT 出 29:35 は、שבעת ימים ידם、תמלא ידם、Col. 15:14 は、שב[עת ימי] [המלואים] である。

⁽²³³⁾ Y、Q、CH は同じ復元。だが M は DJD XXIII, 11Q20, Col. 21-22 に基づき lacuna の部分が異なる。מלא [ו] יהוה [לכהן לפני יהוה] עומד הגדול וואם הכוהן הגדול עומד לפני יהוה [ו] מלא [ו] יהוה [לכהן לפני יהוה] (任職)し。

⁽²³⁴⁾ Y の復元の最後に Q、CH、M は、פרים שנים [2[匹の雄牛を]]と復元している。Q は、[שני פרים] より可能性が高いとする。また W は、15 行とこの行をレビ 16:32b と 21:10a の広範囲の逐語的引用としている。MT レビ 16:32b は、ימלא את ידו לכהן תחת אביו ולבש、Col. 15:15b-16a は、ומלא את ידו ללבש את הבגדים、MT レビ 21:10b は、מלא ידו לל[בן] ש את הבגדים、Col. 15:15b-16a は、ומלא ידו ללבש את הבגדים となっている。

⁽²³⁵⁾ Y と M は同じ。Q と CH は、(בני) הכוהנים と復元。つまり、「[1 匹]をすべての民のために、もう 1 匹を祭司の子らのために」と読む。W はこの行をレビ 16:23b の再配列された語順による逐語的引用としているが、類似点は全くない。

⁽²³⁶⁾ Q と CH は、Y と M が Col. 16:1 の最初に置く על をこの行の最後に置いている。W はこの行をレビ 4:15a の広範囲の逐語的引用としている。MT レビ 4:15a は、וסמכו זקני העדה、Col. 15:18 は、את ידיהם וסמכו זקני הכוהנים את ידיהמה である。

- 02 הפרן לפני יהוה ולקחו זקני הכוהנים] מדם הפר ונתנו על
- 03 [קרנות המזבח באצבעם מן הדם] ישפוכו סביב על
- 04 ארבע פנות עזרת המזבח [
- 1] שׁוּׁ [
- 2 [ולקחו מדמו ונתנו מן הדם על תנוך אוזנו הימנית ועל בוהן ידו]
- 3 [הימנית ורגלו] הימנית ויזון מן הדם אשר על המזבח עליו ועל בגדיו]
- 4 [קדוש יהיה כול ימיו] ועל כול נפשות מת לוא יבוא
- 5 [לאביו ולאמו לוא יטמא כי קדוש הוא ליהוה אלוהיו
- 6 [והקריב על המזבח והקטיר את חלב הפר הראישון
- 7 [את כול] החלב אשר על הקרב ואת יותרת הכבד ואת שתי
- 8 [הכליות ואת החלב אשר עליה] ואת החלב אשר על
- 9 הכסלים ואת מנחתו ואת נסו] כו כמשפטמה] ויקטיל רמה המזבחה
- 10 [עולה הוא אשה ריח ניחוח לפני יהוה vacat ואת בשר הפר
- 11 ואת עורו עם פרשו ושרופו מחולץ ל] עיר המקדש(?) על עצים באש(?)
- 12 במקום מובדל לחטאות שמה ישו] ופיו אותו על ראשו וכרעיו]
- 13 עם כול קרביו ושרפו כולו שמה לבד מחלבו חטאת]
- 14 הוא ויקח הפר השני אשר לעם ויכפר בו] על כול עם]
- 15 הקהל בדמו ובחלבו כאשר עשה לפר הראישון] כן יעשה]
- 16 לפר הקהל ויתן מדמו באצבעו על קרנות המזבח ואת כול
- 17 דמו יזרוק על ארבע פנות עזרת המזבח ואת חלבו ואת
- 18 [מנחתו ואת נסו] ויקטיל המזבח חטאת קהל הוא

16 欄

11Q20 IIと平行している。

01 その[頭]の上に。]また彼らの後に大[祭司]、またすべての祭[司]たちに。その後には][主の御前に。]雄牛を)⁰² [屠るように。] ⁽²³⁷⁾

⁽²³⁷⁾ 01–04 までの挿入は M によるが、11Q20 Col. 24–26 (*DJD* XXIII, p. 367) を参照し、復元し直した。Y もロックフェラー博物館にあった断片をもとに復元しているが、おそらくは 11Q20 のこと。Q、CH もこの箇所を復元しており、内容に大きな違いはないが、4 人とも微妙に復元が異なる。Y と Q は 3 行にまとめ、CH と M は 4 行である。M を中心に違いを説明すると、1996 年版の Q は 01 を 14、02 を 15、03 を 16 とする。14 の על は前の欄の最

- 02 また祭司の長老たちは雄牛の血をとり⁽²³⁸⁾、([祭壇の角に彼らの指で])⁰³塗るように⁽²³⁹⁾。
 03 [(また残りの)]血は⁽²⁴⁰⁾
 04 [祭壇]の周囲の台座に(注ぐように⁽²⁴¹⁾)⁰³

後。[הַכֹּהֲנִים] の後にスペースを入れ、**אֶת וַיִּשְׁחֲטוּ** と読んでおり、時制が異なる。15 の [לִפְנֵי יְהוָה] を省き、**וַנִּתְּנוּ** 後に **בְּאַצְבָּעִם** を挿入。行の終わりに、M にはない **וְהִנּוּחַתְּ** を挿入し、**מִן הַדָּם** と合わせ、「残りの血」と復元している。ところが Q は 2010 年版では行数は元のままであるが、文章は M と同じに変更している。Y は 01 の **הַכֹּהֲנִים** の後、**אַחַר** を省き、**אֶת וַיִּשְׁחֲטוּ** と時制が異なる。M だと 02 の最初にくる **הַפֶּר** が最後。02 の **וַנִּתְּנוּ** 後に、**עַל קַרְנוֹת מִן הַדָּם בְּאַצְבָּעֵי** を挿入。03 の **הַמְזֻבַּח** の後に **וְאֶת הַדָּם** を挿入。04 は空白。CH では 01 の **עַל** は前の欄の最後。**הַכֹּהֲנִים** 後は次の行へ。02、M と異なり **אַחַר הַפֶּר בְּאַצְבָּעֵי עַל קַרְנוֹת מִדָּם הַפֶּר וַנִּתְּנוּ** を最初に置き、03 の **וַנִּתְּנוּ הַפֶּר** と **מִדָּם הַפֶּר** を最初に置き、**עַל קַרְנוֹת הַמְזֻבַּח** と語順が異なる。また 1996 年版の Q と同じく M にはない **וְהִנּוּחַתְּ** を挿入。04 の **עַל סְבִיב כּוֹל הַדָּם** [**וְאֶת כּוֹל הַדָּם**] を最初に置いている。

⁽²³⁸⁾ W は 01 行目からこの行の前半を自由作文と出 29:11b の広範囲の逐語的引用と分析しレビ 4:15 とも比較するが、実際は出 29:10b-12 のパラフレーズである。MT 出 29:10b-12 は、**אֶת יְדֵיהֶם עַל רֹאשׁ הַפֶּר וַיִּשְׁחֲטוּ אֶת הַפֶּר לִפְנֵי יְהוָה פֶּתַח אֹהֶל מוֹעֵד וּלְקַחַת מִדָּם** [**עַל רֹאשׁוֹ וְאַחֲרֵיהֶם**]、Col. 16:01-03a は、**וְאַחֲרֵיהֶם**、**הַפֶּר וַנִּתְּנוּ עַל קַרְנוֹת הַמְזֻבַּח בְּאַצְבָּעֵי הַכֹּהֲנִים הַגְּדוֹל וְכוֹל הַכֹּהֲנִים אַחַר וַיִּשְׁחֲטוּ אֶת הַפֶּר לִפְנֵי יְהוָה** [**וּלְקַחוּ זִקְנֵי הַכֹּהֲנִים**] [**מִדָּם הַפֶּר וַנִּתְּנוּ עַל קַרְנוֹת הַמְזֻבַּח בְּאַצְבָּעֵי מִן הַדָּם**] である。

⁽²³⁹⁾ W はこの行の後半を自由作文と出 29:2a の広範囲の逐語的引用と分析しているが、類似点が全く見いだせない。

⁽²⁴⁰⁾ W はこの行を出 29:12b の広範囲の逐語的引用とエゼ 43:20 の再配列された語順による逐語的引用としている。MT 出 29:12b は、**מִדָּם הַפֶּר וַנִּתְּנוּ עַל קַרְנוֹת הַמְזֻבַּח** であり、また、MT エゼ 43:20 は **וְאַחֲרֵיהֶם עַל אַרְבַּע קַרְנוֹתָיו וְאֵל אַרְבַּע פְּנוֹת הָעֶזְרָה וְאֵל הַגְּבוּל** **וּלְקַחַת**

מִדָּם הַפֶּר וַנִּתְּנוּ עַל である。Col. 16:02b-03 は、**עַל הַפֶּר וַנִּתְּנוּ עַל** である。[**עַל קַרְנוֹת הַמְזֻבַּח בְּאַצְבָּעֵי מִן הַדָּם**] **יִשְׁפּוּכּוּ סְבִיב עַל**

⁽²⁴¹⁾ Y や Q の復元ではこの行は 03 に含まれる。M と CH は 04 行で終わるため、W の聖句との比較、出 29:12b の広範囲の逐語的引用はここまで続く。MT 出 29:12b は、**וְאֶת כּוֹל הַדָּם** [**וְאֶת כּוֹל הַדָּם**] **יִשְׁפּוּכּוּ סְבִיב**、Col. 16:04 は **יִשְׁפּוּכּוּ סְבִיב אֶל הַמְזֻבַּח בְּאַצְבָּעֵי יְסוּד הַמְזֻבַּח** **עַל אַרְבַּע פְּנוֹת עֶזְרַת הַמְזֻבַּח** である。

- 10 それは[燔]祭。火に焚く供犠。[主の御前]の宥め香りである。-空白-[しかし雄牛の肉、]⁽²⁵¹⁾
- 11 またその皮をその糞と共に[神殿の都]「¹」の外で(?)、[火の点いた木々の上で] (?)焼くように⁽²⁵²⁾。
- 12 浄罪の供犠のとして取り分けられた場所、そこで、[それをその頭と足と一緒に焼]くように⁽²⁵³⁾。
- 13 すべてその内臓と共に、そこでそのすべてを焼くように。その脂肪のみ除外して。(それが)¹⁴贖[罪]の供え物⁽²⁵⁴⁾。
- 14 また彼は民のための第 2 の雄牛をとり、それで[すべての(集会)¹⁵の民を] (その血と脂肪によって。) ¹⁵浄めるように⁽²⁵⁵⁾。

⁽²⁵¹⁾ Q は中央に来る語 **לפני** を省き、**ליהוה** と復元。CH と M は Q と同様。W は 8 行目の後半からこの行の前半をレビ 3:10b の広範囲の逐語的引用、出 29:25b の再配列された語順による逐語的引用と民 29:6 の広範囲の逐語的引用を加えたものとする。MT レビ 3:10b は、**ואת החלב אשר עלהו**、Col. 16:8b は、**ואנת החלב אשר על**、MT 出 29:25b は、**והקטרת המזבחה על העלה לריח ניחוח לפני יהוה**、Col. 16:9b–10a は **ויקטיף רמה**、**המזבחה [עו]לה הוא אשר ריח ניחוח [לפני יהוה]**、MT 民 29:6 は、**לריח ניחוח אשה**、**ליהוה** である。

⁽²⁵²⁾ まず、Y、Q、CH、そして M も前半部 **ל מחוץ** までは同じであるが、後半部の復元には多少の異読がある。Q は、レビ 8:17 に基づき、**למחנה הקודש**「聖所の宿営」と復元。CH、M は、**לעיר המקדש**。Y は、レビ 4:12 に基づき、**לעיר המקדש על עצים באש**と復元。ただし、レビ 4:12 は **למחנה** を用いている。Y は、Q の復元を MT から可能性を示唆しながら、Col. 46:13 に **מן העיר מן מחוץ** とあり、Col. 45:11–12、16–17 に **עיר המקדש** とあることから、**לעיר המקדש** の有利さを主張。また、W は 10 行目の後半からこの行を出 29:14 の再配列された語順による逐語的な引用とする。MT 出 29:14 は、**ואת בשר הפר ואת הוא**、Col. 16:10b–11a は **ואת בשר הפר ואת ערו ואת פרשו תשרף אש חוץ למחנה חטאת הוא**、**ואת ערו עם פרשו ישרופו מחוץ לעיר המקדש** である。

⁽²⁵³⁾ Q はレビ 4:11–12 に基づき、後半部を、**על רואשו וכרעיון** と復元。CH は Q に同意。M は Y と同じ。W はこの行をレビ 4:12 の引用なしのパラフレーズとする。ただし共通部分と見えるのは **אתו** と **ושרף** で、Col. 16:12 は **ושרופו אותו**。

⁽²⁵⁴⁾ Q と M は最後に **כוהן** 祭司を挿入。CH は Y を支持。W はこの行をレビ 4:11b の広範囲の逐語的引用と自由作文とする。ただし、類似しているのは MT レビ 4:11b の **וקרבנו** と、Col. 16:13 の **וקרביו** のみ。W の分類に疑問。

⁽²⁵⁵⁾ Y と Q、M は同じ。CH は復元を本文で再現はしていないが、脚注において Y を支持。W はこの行の最初の **הוא** を 13 行目の **חטאת** とつなげ、レビ 4:24b の広範囲の逐語的引

- 15 最初の雄牛に行ったように、(集会の雄牛にも)¹⁶ [そのように行うように。]⁽²⁵⁶⁾
 16 また彼の指でその血を[祭壇の]角に塗るように。[また(残りの)]⁽²⁵⁷⁾
 17 血は祭壇の台座の[四]隅に打ち掛けるように。また[その脂肪と]⁽²⁵⁸⁾
 18 その[穀]物の供物と飲[み]物の捧げ[物]は、祭壇で焼いて[煙にする]ように。これは集会の
 ための浄罪の供犠である⁽²⁵⁹⁾。

Col. 17

[ה] כֹּהֲנִים וַיִּתְּנוּ עֹטְ[רֹת(?)]	1
[וַיִּשְׂמְחוּ כִּי כֹפֵר עָלֶיהֶמָּה]		2
[מִקְרָא קוֹדֵשׁ יֵה] יֵה הַיּוֹם הַזֶּה לְהִמָּה [חֻקֹּת עוֹלָם]		3
[לְדוֹרוֹתֶיהֶמָּה] כְּזֹל מוֹשְׁבוֹתֶמָּה וַיִּשְׂמְחוּ וַיִּשְׂ		4
	<i>vacat</i> [5
	וַעֲשׂוּ] [בְּאַרְבַּע] עֶשְׂרֵי בַחֲדָשׁ הַרְאִישׁוֹן [בֵּין הָעֲרֻבִים]		6

用としている。MT レビ 4:24b は **חֲטָאת הוּא**。またこの行の後半はレビ 16:15a の短い引用を含むその節かその一部のパラフレーズとレビ 16:33b の再配列された語順による逐語的な引用とする。MT レビ 16:15a との共通性はただ **את דמו** と Col. 16:14 の **ברמו** のみ。MT レビ 16:15a の **עַל כָּל עֵם הַקְּהָל** は Col. 16:15 の最初の **הַקְּהָל** と関連づけられれば 14 行最後の **[עַל כָּל עֵם]** は理解できる。

⁽²⁵⁶⁾ W はこの行の前半を自由作文とし、後半をレビ 4:20b の広範囲の逐語的引用としている。MT レビ 4:20b は **כֹּאשֶׁר עָשָׂה לְפָר הַחֲטָאת כֵּן יַעֲשֶׂה לוֹ**、Col. 16:15 は、**כֹּאשֶׁר עָשָׂה** **[לְפָר הַרְאִישׁוֹן] כֵּן יַעֲשֶׂה** である。

⁽²⁵⁷⁾ Q、M、CH は最後のラインを **[הַמְזֻבַּח וְאֵת]** と復元し、**כֹּל** を欠く。W はこの行を出 29:12 の再配列された語順による逐語的な引用とする。MT 出 29:12 は **וְלִקְחַת מִדָּם הַפָּר** と **וְלִקְחַת מִדָּם הַפָּר וְיִתֵּן מִדָּמוֹ בְּאַצְבָּעוֹ עַל קַרְנֹת הַמְזֻבַּח בְּאַצְבָּעַךְ וְאֵת כָּל הַדָּם** で、Col. 16:17 の最初の **דְּמוֹ** とこの行を合わせると、**לְפָר הַקְּהָל הַפָּר וְיִתֵּן מִדָּמוֹ בְּאַצְבָּעוֹ עַל קַרְנֹת הַמְזֻבַּח וְאֵת כֹּל**、**[מִדָּמוֹ]** となる。

⁽²⁵⁸⁾ W はこの行の前半をエゼ 45:19 の広範囲の逐語的引用としている。MT エゼ 45:19b は **עַל אַרְבַּע פְּנוֹת עֲזֵרַת הַמְזֻבַּח**、**וְאֵל אַרְבַּע פְּנוֹת הָעֲזָרָה לְמִזְבֵּחַ**、Col. 16:17 は **עֲזֵרַת הַמְזֻבַּח** である。

⁽²⁵⁹⁾ W は 17 行目の後半からこの行をレビ 4:19a の広範囲の逐語的引用および自由作文、レビ 4:19b の広範囲の逐語的引用とレビ 4:21b の広範囲の逐語的引用としている。MT レビ 4:19a は **וְהִקְטִיר הַמְזֻבַּח**、**וְאֵת כָּל חֶלְבוֹ**、Col. 16:17b は **[חֶלְבוֹ] וְאֵת**。MT レビ 4:19b は **וְהִקְטִיר הַמְזֻבַּח**、**וְאֵת כָּל חֶלְבוֹ**、Col. 16:18a は **וְהִקְטִיר הַמְזֻבַּח**、**וְאֵת כָּל חֶלְבוֹ**、MT レビ 4:21b は **וְאֵת כָּל חֶלְבוֹ**、**וְאֵת כָּל חֶלְבוֹ**、Col. 16:18b も同様に **וְאֵת כָּל חֶלְבוֹ** である。

7 [פסח ליהוה] וזבחו לפני מנחת הערב וזבחו [במועדו(?)]
 8 מִבֶּן עֶשְׂרִים] שנה ומעלה יעשו אותו ואכלוהו בלילה
 9 בַּחֲצֹרֹת [ה]קִדְשׁ והשכימו והלכו איש לאוהלֹו] [
 10 vacat ובחמשה עשר לחודש הזה מקרא קן]דש]
 11 כֹּל מְלֹאכֶת עבודה לוא תעשו בו חג מצות שבעת ימים
 12 ליהוה והקרבתמה בכול יום ויום לשבעת הימים הא[לה]
 13 עולה ליהוה, פרים שנים ואיל וכבשים בני שנה שבעה
 14 תמימים ושעיר עזים אחד לחטאת ומנחתמה ונסכמה
 15 [כמש]פט לפרים ולאלים ול[כב]שים ולשעיר וביום השביעי
 16 [עצרת] ל[יהוה] כול מלאכת עבודה לוא תעשו בו

17 欄

11Q20 IIIと平行している。

- 1 [祭]司たち。彼らは[冠(?)]を置くように⁽²⁶⁰⁾。
- 2 []また彼らは喜ぶように。実に彼らの贖いがなされたから。[]⁽²⁶¹⁾
- 3 この日、彼らのために[聖なる集会がある]ように。[[彼らの世代を通しての]⁴永遠の掟である⁽²⁶²⁾。

⁽²⁶⁰⁾ ビクリーム 3:3 には、「雄牛は彼らの前に行く。その角は金で覆われ、オリーブの冠がその頭にある」。パレスチナタルムード・ビクリーム 11a には、「ラビ・ゼラは、留められ、来たらなかった唯一ものを求め、銀で角が覆われ、オリーブの冠がその頭にある子山羊を連れてきた」。Y はこれらのラビ文献の記述と、この 11Q19 の記述を関連付けている。M は Y と同じ復元。Q は、[**ה]כּוּהַנִּים**] [ה]כּוּהַנִּים] [**בראשיהמה**] [**ויתנו עטןרת** **בראשיהמה**] [**祭**]司たち。彼らはそれらの匹に[冠]を置くように」と復元。CH は Q を支持。

⁽²⁶¹⁾ W はこの行をレビ 9:24 の引用なしのパラフレーズとしている。本文に類似性はないが、両方とも、民が、その犠牲が受け入れられたことを喜ぶ内容である。MT レビ 9:24 は、「**וירא** [である。 **וישמחו** **כי כופר עליהמה**] [**כל העם** **וירנו** **ויפלו** **על פניהם**」

⁽²⁶²⁾ Q は、「この日は、彼らにとって[記念]となる[よ]うに。[[彼らの世代を通しての]⁴永遠の掟]」と復元。CH はこれを支持。M は最初の動詞を **יה**] **יה**] と復元。

- 4]すべて(?)彼らの居留地において。また彼らは喜ぶように。また[]⁽²⁶³⁾
- 5 []-空白-
- 6 第1の月の14日の2つの夕の間に(主の過越し)⁷を行うように⁽²⁶⁴⁾。
- 7 また夕べの捧げ物の前に彼らは犠牲を捧げるように。彼らはその定められた時に犠牲を捧げるように⁽²⁶⁵⁾。
- 8 2[0]歳からその上はそれを行うように。(聖所の庭で)⁹夜にそれを食べるように⁽²⁶⁶⁾。
- 9 彼らは朝早く起き、人それぞれ、自分のテントに行くように⁽²⁶⁷⁾。
- 10 -空白- この月の15(日)⁽²⁶⁸⁾は聖なる集会である。
- 11 それにおいて、あなたはすべてのなすべき仕事を行ってはならない。7 日の間(主の)¹²種入れぬパンの祭である⁽²⁶⁹⁾。

⁽²⁶³⁾ Y は注において、終わりの語を、[וישמו וישתחוון]「また彼らは喜び、平[伏するように]」と復元。Q は、[וישמו וישתחוון]「また彼らは[そこで]喜び、歡[喜すように]」と復元。CH もこれを支持。M は Y と同じ。W はこの行を出 12:14 の広範囲の逐語的引用としている。

MT 出 12:14 は、והיה היום הזה לכם לזכרון וחגתם אתו חג ליהוה לדרתכם חקת עולם תחגוהו [מקרא קודש יהיה היום הזה להמה [חוקות עולם]]。Col. 17:3 は、

⁽²⁶⁴⁾ W はこの行を、レビ 23:5 の再配列された語順による逐語的引用とする。7 行目の前半の空白まで合わせると、以下のようなになる。MT レビ 23:5 は、בחדש הראשון בארבעה עשר בחודש הראשון [בין]、לחדש בין הערבים פסח ליהוה ועשו בארבעה עשר בחודש הראשון [בין]、לחדש בין הערבים פסח ליהוה [הערבים פסח ליהוה] である。

⁽²⁶⁵⁾ Q は民 1:20 に基づき、[וזבחו לפני מנחת הערב יזבחוןהו כול זכר]「また夕べの捧げ物の前に彼らは犠牲を捧げるように。すべて(20 歳からその上)⁸[の男はその]犠牲を捧げるように」と復元。CH および M はこの復元を支持。

⁽²⁶⁶⁾ W はこの行を出 30:14b の広範囲の逐語的引用と出 12:8 の広範囲の逐語的引用としている。MT 出 30:14b は、מבן עשרים שנה ומעלה יתן תרומת יהוה、Col. 17:8a は、[מבן עשרים] שנה ומעלה יעשו אותו ואכלו את הבשר בלילה הזה、Col. 17:8b は、ואכלוהו בלילה、4QpaleoExod^m Col. 9:8 は、[יאוכלו אותו] である。

⁽²⁶⁷⁾ すべての版が同じ復元であるが、Q は、[הקודש] の 2 つの文字に十分なスペースがあることを考え、元来は המקדש がここにあったと注記している。また W はこの行を申 16:7 の短い引用を含む節かその一部のパラフレーズとする。MT 申 16:7 は、ופנית בבקר והלכת לאהליך、Col. 17:9 は、ואהלו איש לאהלו、והשכימו והלכו である。

⁽²⁶⁸⁾ ヘブライ語テキストに「日」はない。Y が主張するように、MT レビ 23:7 にある יום を削除して文章を短くしている。参照する聖句は、ביום הראשון מקרא קודש יהיה לכם。

⁽²⁶⁹⁾ MT に対してここでは בו を挿入。

[ה א]] 1
	[לאיל הזה]] 2
[מקרא קודש יהיה להמה] היום ה זה ו]] 3
[שעיר] עזים לחטאת ל'] 4
	מנחתו ונ] סכו כמשפט עשרון סולת] 5
	בלולה בשמן רביעית ההין ו] יין לנסך רביעית ההין] 6
	יכפר ע] ל עם הקהל מכול אשמת] מ]] 7
	ונסלח להמה לדורותמה חו] קות עולם יהיה זה להמה] 8
	בכול מושבותיה] מה ואחר יעלו את האיל אחד פעם] 9
	אחת] ביום הניפת העומר <i>vacat</i> וספרתה] 10
	לכמה] שבוע שבתות תמימות מיום הביאכמה את העומר] 11
	התנופה תס] פורו עד ממוחרת השבת השביעית תספורו] 12
	חמשים] יום והביאותמה מנחה חדשה ליהוה ממושבותיכמה] 13
	לחם סו] ל] ת] חמץ חדש בכורים ליהוה לחם חטים שטים] 14
	עשרה] (?) חלות שני] עשרונים סולת תה] יה] החלה האחת] 15
	והביאומה ראושי ה] מט] ו] ת לשבטי ישראל ויקריבו] 16

18 欄

11Q20 IIIと平行している。

1 (274)

の逐語的引用と民 28:25b の広範囲の逐語的引用とし、レビ 23:8b を参照している。MT 申 16:8a は、**לא תעשה מלאכה ביום השביעי עצרת ליהוה אלהיך לא תעשה מלאכה**、Col. 17:15b-16 は **וביום השביעי עצרת] לניה]וה כול מלאכת עבודה לוא תעשו בו**、MT 民 28:25b は、**כל ביום השביעי מקרא קדש כל מלאכת**、MT レビ 23:8b は、**מלאכת עבודה לא תעשו** [ש]בעת ימים מצות תאכלון **ליהוה אלהיך]**、4QDeut^c frgs. 48-50 は、**עבודה לא תעשו** ששת ימים תאכלו מצות ביום **לא תעשה מלאכת** である。ちなみに MT 申 16:8 は、**שבת ימים תאכלו מצות ביום**、**לא תעשה מלאכת** である。

⁽²⁷⁴⁾ Q は、1996 年版では、[**כבשים בני שנה אר]בעה]** 「[4]匹[の 1 歳の雄の子羊]」と復元していたが、2010 年版では削除している。CH は、Col. 20:2、21:1-3、22:3 を基に **כבשים בני שנה** 「[14]匹[の 1 歳の雄の子羊]」と復元。

- 9 彼ら[のすべての居住地で。]また、その後、彼らは 1 匹の雄羊を(11)¹⁰ 度捧げるように⁽²⁸²⁾。
- 10 束を差し上げる日に。-空白- また⁽²⁸³⁾、
- 11 あなたたちが[差し上げる供物]¹²の束を持ってきた日から、完全な 7 回の安息日を。[あなたたち自身が](数えるように)¹⁰ ⁽²⁸⁴⁾。
- 12 [あなたは、]7 回目の安息日の翌日まで数えるように⁽²⁸⁵⁾。
- 13 あなたは[50]日間数えるように。また、あなたは新しい穀物の供物をあなたの居住地から主に持って来るように⁽²⁸⁶⁾。

⁽²⁸²⁾ Q は、最初の **מושבותיהמה** [בכול] **והעלו את השעיר** 「雄[山羊を燔祭とするように]」と復元する可能性も記している。また Q、CH と M は行の最後の数字を **אחת** に変えている。この数字が雄羊 **איל** にかかるので、Q の主張通り Y の間違い。W は、8 行目からこの行の前半を、民 15:25 の広範囲の逐語的引用と、レビ 23:14b の短い引用を含む節ないしその一部のパラフレーズであるとする。MT 民 15:25 は、**ונסלח להם**、Col. 18:8 は、**ונסלח להמה**、MT レビ 23:14b は、**כל משבתיכם בכל לדרתיכם עולם חקת עולם יהיה זה להמה** [בכול משבתימה] **חוקת עולם יהיה זה להמה** [בכול משבתימה] である。

⁽²⁸³⁾ Q、CH と M は、**וספרתה vacat העומר** [בשנה ביום הניפת העומר וספרתה] 「年に(1 回)⁹、束を差し上げる日に。-空白- また数えるように。」と復元。W は、9 行後半からこの行の前半を、自由作文と、レビ 23:12a の短い引用を含む節ないしその一部のパラフレーズとする。MT レビ 23:12a は、**את העומר הניפת העומר**、Col. 18:10 は、**הניפת העומר**。9 行後半に類似点は全くないので、ここが自由作文か。

⁽²⁸⁴⁾ 最初の人称代名詞を Y と M は [לכמה]、Q は [לכם]、CH は [לכה] と復元。レビ 23:15 を参照すると Y と M の復元の方が正しく見えるが、10 行目の最後の動詞が 2 人称単数であるから CH が好ましい。CH は、**שבע שבתות תמימות מיום שבע שבתות תמימות מיום** が MT の **שבע שבתות תמימות תהיינה** より LXX の **ἑπτὰ ἑβδομάδας ὁλοκλήρους** 「完全な 7 週間」の方に近いと主張。W は 10 行目後半からこの行をレビ 23:15 の広範囲の逐語的引用とする。MT レビ 23:15 は、**וספרתם לכם ממחרת השבת מיום הביאכם את עמר התנופה שבע שבתות תמימות תהיינה**、Col. 18:10–11 は、**וספרת [לכמה] שבע שבתות תמימות מיום הביאכם את העומר** である。

⁽²⁸⁵⁾ レビ 23:15–16 参照。W はこの行をレビ 23:16 の広範囲の逐語的引用とする。MT レビ 23:16 は、**עד ממחרת השבת השביעת תספרו** で、Col. 18:12b は、**עד ממחרת השבת השביעת תספורו**。これらは正字法の違いを除き殆ど同じである。

⁽²⁸⁶⁾ W はこの行の前半をレビ 23:16 の広範囲の逐語的引用とする。MT レビ 23:16 は、**חמשים יום והביאותמה מנחה חדשה ליהוה**、Col. 18:13a は、**יום וחמשים יום והביאותמה מנחה חדשה ליהוה**、LXX レビ 23:16b は、**εντήκοντα ἡμέρας καὶ προσοίσετε θυσίαν νέαν τῷ κυρίῳ**。これらは LXX に近いのか？ **והביאותמה מנחה** / **προσοίσετε θυσίαν** 参照。

- 14 新しい発酵している[上質の]小麦[粉のパン]は主への初物、小麦粉のパン。[12]の⁽²⁸⁷⁾
- 15 [ケーキ]。1/[12]の上質の小麦粉は1つ1つのケーキとなる[ように。]⁽²⁸⁸⁾
- 16 また、それらはイスラエルの部族、支[族の頭によって持ってこさせるように。]また、捧げるように⁽²⁸⁹⁾。

Col. 19

[קר]] 1
[את עול]ת] 2
[שנים עש]ר] 3
[מנח]תמה ונ[סכמה [כמשפט והניפ]ו] 4
[בכורים] [כונהנים יה]יו [ואכלום בחצ]ר] 5
[הפנימית מנחה חד]ש לחם הבכורים ואחר]ו] 6
[ל]ם לחם חדש א[כיבות ומלילות והיה היו]ם הזה]] 7
[מקרא קודש(?) חוקות עו]לם לדורותם כול מלאכת עב[ודה לוא]] 8
[עשו חג ש]בועות הוא וחג בכורים לזכרון לעול]ם]] 9
	<i>vacat</i>] 10
[וספר]תמה לכמה מיום הביאכמה את המנחה חדשה ליהו]ה]] 11
[את] לחם הבכורים שבעה שבועות שבע שבתות תמימות] 12
[תהיינה ע]ד ממוחרת השבת השביעית תספורו חמשים יום] 13

⁽²⁸⁷⁾ この行の初めの復元において Q、CH と M は同様に לחם [חלות]。Q はレビ 7:13 を基に Y の復元、[לחם סו]ל[ת] を否定する。

⁽²⁸⁸⁾ この行の初めにおいて Q、CH と M は同様に לחם שני [חלות] と復元している。Q はレビ 23:17 を基に Y の復元、[עשרה חלות שני] を否定。W は 13 行目の後半からこの行をレビ 23:17 の再配列された語順による逐語的引用と自由作文とする。MT レビ 23:17 は、**ממושבתים תביאו לחם תנופה שתים שני עשרנים סלת תהיינה חמץ תאפינה בכורים ממושבותיכמה [לחם סו]ל[ת] חמץ חדש בכורים ליהוה לחם**、Col. 18:13b–15 は、**לחם סו]ל[ת] חמץ חדש בכורים ליהוה לחם**、**ליהוה חטים שתים [עשרה חלות שני] עשרנים סלת תהיינה החלה האחת** である。

⁽²⁸⁹⁾ この行の最初の復元部分を Y は、[והביאומה ראשי ה] מט [ו]ת と復元したが、Q の 1996 年版は [והביאום ראשי ה] מטות、2010 年版は [והביאות ראשי ה] מטות と復元している。M は、[והביאומה ראשי ה] מטות。CH は Y の復元を支持。すべて正字法の違いで、訳は「部族、支[族の頭によって持ってこさせるように]」であるが、Q の 2010 年版は「父祖たちの頭、支[族によって持ってこさせるように]」で他の復元とは異なる。

- 01 [אי]לים ומנחתמה כמשפט שנים
 02 [עשרונים סולת בלולה בשמן שלשית הה]ין שמן לאיל על הנסך הזה
 03 [ויקריבו עולה פרים שנים איל אחד וכבש]ים בני שנה שבעה ושעיר
 04 [עזים אחד לחטאת לכפר על כול עם ה]קהל *vacat*
 05 [מנחתמ]ה ונסכמה כמשפט לפרים ואיל
 06 [ולכבשים ולשעיר עזים אשה ריח ניחוח] ליהוה ברובע היום יקריבו
 1 [א]ת[ה] [הא]ילים ואת הנסך ויקריבו[ן] [מים] []
 2 [] [כבשים] [בני] [שנה ארבע] העשר []
 3 [] [העולה] יעשום []
 4 [] ואת חלבם [יקטירו] עלהמזבח[את]
 5 [החלב המכסה את הקרב] ואת כול החלב[ב] אשר על הקרבים
 6 [ואת] [יותרת הכבד על] הכליות יסירנה ואתהחלב [אשר] [ע]ליהנה
 7 [ואת אשר על הכסלים] ואת האליה לעומת העצה ויק[טירו]
 8 [הכול על המזבח] עם מנחתמה ונסכמה אשה ריח ני[ח]ן[ח]
 9 [לפני יהוה] והקריבו כול מנחה אשר קרב עמה נסך כ[משפט]
 10 [וכן] [ל מנחה] [א]שר קרב עליה לבונה או חרבה יקמוצו ממנה את
 11 [אזכר]תה ויקטירו על המזבח ואת הנותר מהמה יוכלו בחצר
 12 [הפני]מ[ית] [מצות] יא[וכ]לום הכוהנים לוא תאכל חמץ ביום ההוא תא[כל]
 13 [ולוא תבו]א ע[ל]יון השמש ועל כול קורבנכמה תתנו מלח ולוא תשב[ית]
 14 [ברית מלח לעולם] *vacat* וירימו ליהוה תרומה
 15 [מן] האיל[ים] ומן הכבשים את שוק הימין ואת החזה ואת
 16 [הלחיים ואת הקב]ה ואת האזרוע עד עצם השכם ויניפו אותמה תנופה

20 欄

11Q20 IVと平行している⁽³⁰³⁾。

01 [雄]羊とそれらの穀物の供物は規定に従って、([油と混ざっている])^{02 2 (304)}

⁽³⁰³⁾ 01–06 行は M の編集した *DJD XXIII 11Q20* による。

⁽³⁰⁴⁾ M を中心に比較すると Y と M は単語の位置においては行が異なることはあるが、01–02 行は同じ。03 行で Y は、**אחד פרים שנים איל אחד** を欠く。04 行でも、**אחד** **ה** **ולכבשים** **ולשעיר** **עזים** **אשה** **ריח** **ניחוח** を欠く。06 行でも、**לחטאת** **לכפר** **על** **כול** **עם** **ה**

- 02 [1/10の上質の小麦粉、1/3ヒ]ンの油は(それぞれの)雄羊と共に、この灌奠と共に(捧げるように)。
- 03 [また彼らは燔祭を捧げるように。2頭の雄牛、1匹の雄羊、]1歳の7匹の[小]羊、また([1匹の])⁰⁴
- 04 (雄)⁰³]山羊を浄罪の供犠として、すべて]集会[の民を浄めるために。]-空白-⁽³⁰⁵⁾
- 05 [彼らの穀物の捧げ]物と、彼らの灌奠を規定に従って。雄牛、雄羊⁽³⁰⁶⁾、
- 06 [雄の子羊、また雄山羊を]主へ[の宥めの香り、火に焚く供犠として、]1日の1/4に捧げるように。
- 1 [雄]羊と灌奠を。また彼らは]⁽³⁰⁷⁾
- 2 []14匹の1[歳]の「子羊を (捧げるように。)]⁽³⁰⁸⁾

を欠く。QとMでは番号の付け方が異なる。Qは01を5、02を6、03を7、04を8、05を9、06を10とする。01では、**ונסכמה עליה**「彼らの飲み物の捧げものをその上に」を加える。CHとMでも単語の位置において行が異なることはある。大きな違いは、CHが01行の先頭に**את והקריב**「また彼は～を捧げるように」を加えた点。

⁽³⁰⁵⁾ Wは、03行目からこの行を民28:27b-28aの再配列された語順による逐語的引用と、民28:30bの短い引用を含む節ないしその一部のパラフレーズとする。MT民28:27b-28aは、**והקרבתם עולה לריח ניחח ליהוה פרים בני בקר שנים איל אחד שבעה כבשים בני שנה ומנחתם סלת כלולה בשמן שלשה עשרנים לפר האחד שני עשרנים לאיל האחד**である。民28:30bは、**ושעיר עזים אחד לכפר עליכם**、Col.20:03-04は、**ויקריבו עולה פרים שנים איל אחד וכבשים בני שנה שבעה ושעיר עזים אחד לחטאת לכפר על קהל עם ה]**である。また、SamP民28:30bと4QNum^b Col.23: frgs. 48-50の28:30bは、11Q19と同じように**אחד**と**לכפר**の間に**לחטאת**を挿入する。SamPは、**ושעיר עזים אחד**と**לחטאת לכפר עליכם**、4QNum^bは、**על[לכמה]**である。⁽³⁰⁶⁾ Wは04行後半からこの行を、民29:37の再配列された語順による逐語的引用とする。MT民29:37は**מנחתם ונסכיהם לפר לאיל ולכבשים במספרם כמשפט לפרים ואיל**は、**[מנחתמ]ה ונסכמה כמשפט לפרים ואיל**である。

⁽³⁰⁷⁾ M、CH、Qは殆ど同じ復元をしている。Mは**ואת האילים ואת נסך ויקריבו [של]מים**「[雄]羊と灌奠を、また彼らは[和解]の犠牲を捧げるように」と復元しているが、CHは「和解の犠牲」に定冠詞を付け、**השלמים**とする。Qは最後に、**[ביום הזה אילים ארבע]**を挿入する。Yも、注において、最後の**מים**が**[של]מים**「[和解]の犠牲」であることを示唆している。

⁽³⁰⁸⁾ CHとMは殆ど同じ復元。**[א וכבשים בנין] שנה ארבעה עשר [ומנחתמה ונסכמה]**「14匹の1[歳]の雄の子羊、[また穀物の捧げ物と灌奠を](捧げるように)」と復元しているが、しかしQは、**[עשר לזבח וכבשים בני שנה אר]בעה עשר [ומנחתמה ונסכמה]**「[犠牲の

- 01 [לפני יהוה *vacat* ולכוהנים] יהיה שוק התרומה וחזה
 02 [התנופה... האזרועות והלחיים והקבאות למנות
 03 [...לחוק עולם מאת בני ישראל] ואת השכם הנשאר מן האזרוע
 04 [...לחוק עולם להמה ולזרעמה ומן
 05 [...] [שרי האלפים] [מן] האילים ומן
 1 [הכבשים לכוהנים איל אחד כבש אחד ולויים אי]ל אחד כבש אחד ולכול
 2 [המטה ⁷ איל אח]ד כבש אחד לכול המט[ות שנים ע]שר שבטי
 3 [ישראל ואכלום] ⁸ [ביום הזה בחצר החיצו]נה לפני יהוה *vacat?*
 4 [הכוהנ]ים ישתו שמה ⁹ והלויים [שנים(?)]
 5 [ל נשיאי הדגלים בל]אי שו[נה] ¹⁰
 6 [שם ואחריהמה כול העם מגדו]ל ו[עד] אקטן
 7 [יחלו לשנות יין חדש] ¹¹ [ולוא יאוכלו] כול ענב פ[ר]י ב[ו]סר מן הגפנים [כי
 8 [בין]ם הזה יכפּו על ה[ת]ירוש וישמחו ¹² בני ישראל לפ[ני] יהוה
 9 [חוק] עולם לדורותי[מה] בכול מושבותיהמה ושמחו ¹³ ב[יום הזה]
 10 [כי החלו] לנסך נסך ש[כר] יין חדש על מזבח יהוה שנה בשנ[ה]
 11 *vacat* ¹⁴
 12 וספ[ר]תמ[ה] [לכמ]ה מיום הזה שבעה שבעות שבע ¹⁵ פעמים תשעה
 13 וארבעים יום שבע שבתות תמימות תהיינה עד ממוחרת השבת
 14 השביעית ¹⁶ תספורו חמשים יום והקרבתמה שמן חדש ממשבות
 15 [מ]טות ב[ני ישראל] מחצית ההין ¹⁷ אחד מן המטה שמן חדש כתית
 16 [יצהר על מזבח העולה בכורים לפני יהוה]

21 欄

11Q20 Vと平行している⁽³²⁶⁾。

01 [主の御前に。-空白- また祭司たちのために、]ももの供え物と胸⁽³²⁷⁾

⁽³²⁵⁾ テキスト内のアラビア数字は平行箇所 の 11Q20 V の行を表す。

⁽³²⁶⁾ 01-05 行は M の編集した *DJD XXIII* 11Q20 による。Y の版にもロックフェラー 43, 975 (後の 11Q20) によって 01-06 行が復元されているが、01 行は完全な「-空白-」で、その後は M の復元に近い。

⁽³²⁷⁾ Y は לפני יהוה 「主の御前に」を欠く。CH はこの行の最後の語、「胸」を 02 行の最初に移動。

- 02 の[差し上げる供物]([が]ある。) ⁰¹ [前]脚、両頬、胃を、部分として⁽³²⁸⁾。
- 03 [イスラ]エル[の子らの永遠の定めとして。]また前脚より残った肩を⁽³²⁹⁾
- 04 彼らと彼らの子孫に永遠の定め[として。]⁽³³⁰⁾
- 05 千人隊長たち 雄羊からまた(雄の子羊)¹[から]⁽³³¹⁾

⁽³²⁸⁾ Y は、最初の語 התנופה 「差し上げる捧げ物」を欠く。CH は、次のように復元。 וחזה והלחיים [התנופה ולראשית ויתנו את האזרועות] 「と胸の[差し上げる捧げ物。また第 1 に前脚]そして両頬を([与えるように])」。だが、CH は英訳の方で חזה 「胸」を訳していない。Q は וחזה を 01 行の最後に置き、後は CH と同じ復元。W はこの行をレビ 7:32-33 の短い引用を含む節かその一部のパラフレーズとする。MT レビ 7:32-33 は、 ואת שוק הימין תתנו ואת שוק הימין לתרומה לכהן מזבחי שלמיכם המקריב את דם השלמים ואת החלב מבני אהרן לו [התנופה... האזרועות] והלחיים והקבאות למנות、Col. 21:02 は、 תהיה שוק הימין למנה למנות。最後の למנה と למנותのみか？

⁽³²⁹⁾ Y は [שרן] מאת בני ישראל ... לחוק עולם מאת בני ישראל] を欠く。Q は [שרן] אל ואת השכם הנשאר מן האזרוע [ל]חוק עולם מאת בני ישראל] 「[彼らにとってイスラ]エル[の子らにおける永遠の定めとなるように。]また前脚より残った肩を」と復元。CH は内容は Q と同じであるが、行が異なる。 ואת השכם הנשאר מן האזרוע をこの行の先頭へ持ってきて、 W はこの行を申 18:3a の広範囲の逐語的引用とする。MT 申 18:3a は、 וזה יהיה משפט הכהנים מאת העם מאת זבחי הזבח、Col. 21:03 は、 ...] לחוק עולם מאת בני ישראל] となっており、類似点を欠く。CH は出 29:28 を比較聖句としてあげている。この、 לחוק עולם מאת בני ישראל] の方は近い。

⁽³³⁰⁾ Y は、 לחוק] の ל を欠く。Q は、 לחוק עולם] מאת העם [ל]חוק עולם] ולזרעמה [ל]חוק עולם] 「[レビ人らにわたすように。彼らにとって民における、]また彼らの子孫にとっての永遠の定めとなるように」と復元。CH は、 לחוק עולם] מאת העם [ל]חוק עולם] ולזרעמה [ל]חוק עולם] 「[後で彼らがそれらを(イスラエル)⁰⁶の子らに出したら]」と復元。

⁽³³¹⁾ Q は、 [אחר יוציאום אל בני ישראל ונתנון שרי האלפים] [מן] האילים ומן [אחר יוציאום אל בני ישראל ונתנון שרי האלפים] 「[後で彼らがそれらをイスラエルの子らに取り出し、]千人隊長たちは雄羊[から]また...から与えるように」と復元。CH は、 [אחר יוציאום אל בני ישראל ונתנון שרי האלפים] [מן] האילים ומן [אחר יוציאום אל בני ישראל ונתנון שרי האלפים] 「[イスラエル(の子ら)⁰⁵]千人隊長たちは雄羊[から]また[雄の子羊]から[与えるように。雄羊]」と復元。

- 1 [を祭司たちのために、雄羊 1 匹と雄の子羊 1 匹をレビ人たちのために、雄]「羊 1 匹と雄の子羊 1 匹をそれぞれの」⁽³³²⁾
- 2 [部族のために、雄羊]1[匹]と雄の子羊 1 匹をすべての[諸]部族、(イスラエル)³の「1」[2]「部族」⁽³³³⁾
- 3 [この日]主の御前の[外庭]で (彼らはそれらを食べるように。)⁽³³⁴⁾。-空白⁽³³⁵⁾
- 4 []先ず[祭司]「たちがそこで飲むように、」そしてレビたちが[次に。]⁽³³⁶⁾
- 5 []先ず連隊の指導者が⁽³³⁷⁾
- 6 []名のある者が、彼らの後すべての民が大いな[る]者から「小さき者」まで。
- 7 「新しいブドウ酒を飲み始めるように。」¹ 彼らはすべてブドウのまだ熟さない果実[を食べ]て[はならない。]実に⁽³³⁸⁾

⁽³³²⁾ Q、CH と M の復元は、M が 1 行目の最初に置く איל הכבשים を前の行に置く以外、意味は同様である。総合すると復元は以下の通り。איל אחד כבש אחד לאהרון ולבנו「[雄羊 1 匹と雄の子羊 1 匹をアロンとその]子のため。また[雄]羊 1 匹と雄の子羊 1 匹をレ[ビ]の子らのために」。

⁽³³³⁾ Y と M は同じ。Q と CH も Y と M がこの行の最初に置く ולכול を前の行の最後の置くことと、最後に置かれている שבטי を次の行の最初に置くだけの違いである。以下、意味上大きく異なるもののみ記す。

⁽³³⁴⁾ この括弧は筆者のものでなく DE 版による。

⁽³³⁵⁾ Y は Col. 22 の 13 行より復元。Q と CH の復元は以下の通り。שבטי ישראל אכלום בחצר החיצונה לפני יהוה [וישתן]「イスラエルの部族。また彼らは外庭の主の御前でそれらを食べるように。[また彼らは飲むように]」。M は殆ど Q と CH と同じであるが、最後の [וישתן] を欠き、その場所を Y と同じく [vacat?] とする。

⁽³³⁶⁾ Q と CH は、[שנים] והלויים וראשונים ישתו שמה [מן התירוש הכהנים]「[ブドウ汁から。祭司た]ちはそこで最初に飲むように。またレビ人たちは次に」と復元。M は最初の [מן התירוש] と最後の [שנים] を欠く。

⁽³³⁷⁾ Q と CH は、[שנים] וראשונים וראשונה בני ישראל נשיאי הדגלים בראשונה「[彼らの後にすべてのイスラエルの子らは飲むように。先ず連隊の指導者]」と復元する。M は בני [שנים] וראשונה וראשונה בני [שנים] を欠く。

⁽³³⁸⁾ Q、CH と M は、Y と反対の意味にとれる復元をしている。[שנים] וראשונה וראשונה בני ישראל נשיאי הדגלים בראשונה「新しいブドウ酒を飲み、ブドウのまだ熟さない果実と熟した果実を食べるように[じつに]」。CH によると Q は 22:14-16 行との比較で「新しい油とオリーブの果実を食することに」は肯定文なのでここも肯定文とする。また M も 11Q20 Col. 5, figs. 10 i-11 の 10-11 行の注解の中で לא לאכול の לא を入れる余白がないとして否定。

- 8 この[日]ブドウ汁⁽³³⁹⁾「を彼らは浄めるように。[イスラエルの子らは主の御[前]で喜ぶように。
- 9 彼らの世代を通しての永遠の[定め]である。すべて彼らの居住地において、[この日]には喜ぶように⁽³⁴⁰⁾。
- 10 [実に彼らは]年ごと「と」に主の祭壇の上に灌奠、強い酒、新しいブドウ酒、を注ぐことを[始めたから。]⁽³⁴¹⁾
- 11 -空白-
- 12 また、[あなたたち]はこの日から7週間で、7回を数えなければならない。9日と⁽³⁴²⁾
- 13 40日、7回の完全な安息日があるように。(第7回目)の安息日の翌日まで

⁽³³⁹⁾ この行に記される תירוש に関して、Koehler, L., and, Baumgartner, W., *The Hebrew & Aramaic Lexicon of the Old Testament*, Vol. 2, Leiden: Brill, 2001, pp. 1717–1728 も、発酵したのか否かの論争について記している。חדש יין との区別のためにも「ブドウ汁」とした。この祭は聖書に記されていないクムラン独特の祭の可能性がる。

⁽³⁴⁰⁾ Y と M は同じ。Q と CH は Y と M が単数としている最初の語 חוק 定めが חוקה 掟の複数の חוקות。W はこの行をレビ 3:17 の広範囲の逐語的引用と自由作文とする。MT レビ 3:17 は חקת עולם לדרתיכם בכל מושבתיכם כל חלב וכל דם לא תאכלו、Col. 21:9 は、[חוק] עולם לדורותימה בכול מושבותיהמה ושמחו ביןום הזה。

⁽³⁴¹⁾ Q の 1996 年版と CH は次のように復元している。יין שכר נסך לנסוך [החלם] במועד [החלם] חדש על מזבח יהוה שנה ושנה 「定まった時に彼は年ごとに主の祭壇の上に灌奠、強い酒、新しいブドウ酒、を注ぐことを[回復した]」。CH は Q の復元を受け入れているが、訳では החלם を when they begin としており、Y と M の復元にある החלו と同じである。M は次のように復元している。שנה לנסוך [החלם] לנסוך נסך שכר יין חדש על מזבח יהוה שנה ושנה 「定まった時に彼らは年ごとに主の祭壇の上に灌奠、強い酒、新しいブドウ酒、を注ぐことを[始めた]」。CH の訳が M の訳に近いものになっていることが解る。W はこの行を民 28:7b の短い引用を含む節かその一部のパラフレーズとする。MT 民 28:7b は、הסך נסך [כי החלו] לנסוך נסך שכר יין חדש על מזבח ליהוה שנה、Col. 21:10 は、בשנה [כי החלו] לנסוך נסך שכר יין חדש על מזבח ליהוה שנה、Q は 2010 年版では、[החלם] במועד [ם] במועד 「[それらの]定まった時に」と復元し直している。

⁽³⁴²⁾ Y と M は同じ。ただし M は、frgs. 10 i-11 の 14 行を参考に Y が שבעות を weeks と訳しているものを שבועות と復元している。Q と CH は、ספר[תזמה לכ]ם מיום הזה שבעה שבועות [כי החלו] לנסוך נסך שכר יין חדש על מזבח ליהוה שנה ושנה 「また、[あなたがた]は、その日から7週間で、7回を数えるように」と復元。Y と M が לכמה としているところを לכם とする。

- 14 50 日を数えるように。また、あなたたちは[イス]ラエルの子[ら]の各部族の居住地から新しい油を捧げるように⁽³⁴³⁾。
- 15 各部族から1/2ヒンの新しく抽出された油。
- 16 []燔祭の祭壇の上に油。主の御前に、初物の捧げ物である⁽³⁴⁴⁾。

Col. 22

- 01 ׀ אילים שנים
- 02 [וכפ]ר בו על כול העדה לפני
- 03 [יהוה ... שלושה עשרונים סולת בלול]ה בשמן הזה מצחית ההין
- 04 [...] כמן]שפט עולה הואה אשה ריח
- 05 [...] ניהוח ליהוה ...]
- 1 איבעירו בנרות ל[] [רות ⁶ בה]מה
- 2 [׀ שרי האלפאים עם נש[אי] ⁷
- 3 [כבש]ם בני שנה] ארבעה עשר ומנחתמה ונסכמה[]
- 4 [לכבשים ⁸ ו]לאלים vac? ושחטו בני לוי א[ת]
- 5 [וזר]קו [הכוהנים בני] אהרון את דמם [על ⁹המזבח סביב
- 6 [וא]ת חלבמה יקטירו על מזבח ה[עולה
- 7 [ומנחתמה] ונסכמה יקטירו על החלבין]ם אשי ריח
- 8 ניהוח[ל]יהוה vacat וירימו מן[]
- 9 את שוק הימין ואת חזי* התנופה ולראשית[את האזרוע ו]את
- 10 הלחיים ואת הקבה לכוהנים יהיה למנה כמשפטמה ² וללויים
- 11 את השכם אחר יוציאום אל בני ישראל ונתנו בני ³ ישראל לכוה[נ]ים
- 12 איל אחד כבש אחד וללויים איל אחד כבש אחד ולכול מטה
- 13 ⁴ ומטה איל אחד כבש אחד ואכלום ביום הזה בחצר החיצונה

⁽³⁴³⁾ W は 12 行目からこの行をレビ 23:15–17a の広範囲の逐語的引用と自由作文とする。MT レビ 23:15–17a は、**שבתם לכם ממחרת השבת מיום הביאכם את עומר התנופה שבע**、**שבתות תמימות תהיינה עד ממחרת השבת השביעת תספרו חמשים יום והקרבתם מנחה** **וספר[תמה] [לכמן]ה מיום הזה שבעה**、Col. 21:12–14 は、**חדשה ליהוה ממושבתים** **השבעות שבע פעמים תשעה וארבעים יום שבע שבתות תמימות תהיינה עד ממחרת** **השבת** **השבת השביעת תספרו חמשים יום והקרבתמה שמן חדשה ממשבות**。

⁽³⁴⁴⁾ Y がこの行の始めを欠損部分としている場所を Q、CH と M は、**את ראשית** [ויקריבו את ראשית] **היצהר** 「また彼らは最初の最上の油を捧げるように」と復元。

- 14 לפני יהוה חוקות ⁵ עולם לדורותיהמה שנה בשנה אחר
 15 יואכלו ויסוכו מן השמן החדש ומן הזתים ⁶ כי ביום הזה יכפרו
 16 אֲלֵלָא [כול]ל [יצ]הר הארץ לפני יהוה פעם אחת בשנה וישמחו

22 欄

11Q20 V-VIと平行している。

- 01 [] 2 匹の雄羊⁽³⁴⁵⁾
 02 [] また彼はそれによって、すべての会衆を([主])⁰³の御前に[浄める]ように⁽³⁴⁶⁾。
 03 [] 1/2 ヒンのこの油と[混ざっている、3/10の上質の小麦粉、]⁽³⁴⁷⁾
 04 [] 規定に[従って。]これは燔祭、火に焚く供犠⁽³⁴⁸⁾。

⁽³⁴⁵⁾ Yは殆ど復元していない。Qの1996年版は6行で復元して、その2行目として、[פריים] **ם**[שנים] **אילים** **שנים**「[2匹の雄牛]2匹の雄羊」と復元していたが、2010年版では、[פריים שנים]「[2匹の雄牛]」を削除。CHも6行で復元している。この箇所は02となり、以下1行ずつずれる。[ושעיר עזים אחד לחטאת] **ם**⁰²[אילים שנים] **01** **פריים**「([2匹の雄牛])⁰¹ 2匹の雄羊[また雄山羊 1匹浄罪の供犠として]」。

⁽³⁴⁶⁾ YとMは同じ。Qの1996年版は、[ושעיר עזים אחד לחטאת לכפר בו על כול] **פני** **עדה**「[また雄山羊 1匹浄罪の供犠として]それにより、すべての会衆を御前に[贖うために]」と復元していたが、2010年版では、この行の先頭は[עשרושעיר]と復元している。つまり01行目は「12匹の雄羊」となる。CHは、[כול עדה לפני] **לכפר בו על כול עדה לפני** **היהוה**「それにより、すべての会衆を[主]の御前に[贖うために。またその穀物の[捧げ物、3/(10)⁰⁴の上質の小麦粉]」と復元。Wはこの行をレビ10:17bの短い引用を含む節ないしその一部のパラフレーズ?とする。MTレビ10:17bは、**את עון העדה** **וכפר בו על כול העדה לפני יהוה**、Col. 22:02は、**לכפר עליהם לפני יהוה**である。

⁽³⁴⁷⁾ YとQは[יהוה ... שלושה עשרונים סולת כלול] **ה**を欠く。ただしQは2010年版では先頭に **יהוה** を復元している。CHは、[יהוה] **ה** **ההין** **עשרונים** **סולת** **כלול** **ה**「この1/2ヒンの油と[混ざっている (3)⁰³/10の]」と復元。Wはこの行を民15:10の短い引用を含む節かその一部のパラフレーズとする。MT民15:10は、**והין תקריב לנסך חצי ההין** **יהוה**...**שלושה עשרונים סולת כלול** **ה** **בשמן הזה**、Col. 22:03は、**אשה ריח ניחח ליהוה** **מצחית ההין**、MTは「ブドウ酒の灌奠。ここは油について述べている。前者が **חצי ההין** と記すのに対し後者は **מצחית ההין** と記す。

⁽³⁴⁸⁾ Y、QとMは殆ど同じだが、指示代名詞 **הואה** をYは **הוא**、Qは **היאה** とそれぞれ違う。Mは *The Dead Sea Scrolls Study Edition* では **הוא**。CHは、**והקטיר את חלבו ואת מנחתו**

05 [主の御前の宥めの](香り)⁰⁴ (349)。

- 1 「彼らはランプに火を灯すように。」 [それ]によって[]⁽³⁵⁰⁾
- 2 千人隊長「たち、の指導」[者たち]と共に、 []⁽³⁵¹⁾
- 3 14 匹の[1]歳の[雄の子羊]「とそれらの穀物の供物と灌奠。」 []⁽³⁵²⁾
- 4 [雄の子羊をまた]雄羊を -空白-? またレビの子らは を屠るように。 []⁽³⁵³⁾

הואה עולה לריח ניחוח לפני יהוה ונסכו כמן שפט עולה הואה 「[また、その脂肪、その穀物の捧げ物と灌奠を規定]に従って [焼いて煙にするように。]これは燔祭である」と復元。Wはこの行を、出 29:25b の再配列された語順による逐語的引用とする。MT 出 29:25b は、על העלה לריח ניחוח לפני יהוה である。Wは言及していないが、次の 05 行まで入れると、出 29:25b に似てくる。Col. 22:04-05 は、[... כמן שפט עולה הואה אשה ריח ניחוח ליהוה ...] である。

⁽³⁴⁹⁾ Yはこの行の終わりに הזה השמן הזה この油を復元。Qは ומן לפני יהוה 「[主の御前の宥め(の香り)⁵また…から]、CHは vacat לפני יהוה 「火に焚く供犠。[主の御前の宥めの香り -空白-]と復元。

⁽³⁵⁰⁾ Yは脚注で可能性のある復元として、[יבעירו בנרות להננות רות בהמה יאירו] 「彼らは[燭]台のランプに火を灯すように。それ[らによって輝かせるように]」を示唆する。Q、MとCHは前の行でYが復元した הזה השמן をこの行の最初に持ってきて、以下のごとく復元している。[השמן הזה יבעירו בנרות בה] 「彼らはこの油でラ]ンプに火[を灯すように]」。

⁽³⁵¹⁾ YとMは同じ。QとCHの復元は以下の通り。[ם שרי האלפים עם נשיאי הדגלים] 「[千人隊長たち、[連隊の]指導者たちと共に]。しかし Q は 2010 年版では、ויקריבו] [הדגלים] עליהם שרי האלפים עם נשיאי הדגלים 「[彼らは彼らのために犠牲を捧げるように] 千人隊長たち、[連隊の]指導者たちと共に」と復元し直している。

⁽³⁵²⁾ Mの復元ではYにある。[בני שנה] 「1歳の」が欠除。QとCHの復元は以下の通り。[אילים ארבעה עשר וכבשים ארבעה עשר ומנחתמה ונסכמה] 「[雄羊 14 匹また雄の]子羊 14 匹とそれらの穀物の捧げ物とそれらの灌奠」。Wはこの行を民 29:13b の広範囲の逐語的引用と自由作文とする。MT 民 29:13b は、כבשים בני שנה ארבעה עשר תמימים יהיו、Col. 22:3 は、[כבשים בני שנה] ארבעה עשר ומנחתמה ונסכמה]。

⁽³⁵³⁾ QとCHの復元は以下の通り。[כמשפט אלים ולכן בשמים ושחטו בני לוי את האלים] 「雄羊と雄の[子]羊を[規定通]り。またレビの子らは[雄羊と雄の子羊を]屠るように。Mは [האלים ואת הכבשים] を欠く。注:この箇所の אלים は אילים であるが、原文のまま記した。

- 5 [また]「祭司たち、⁷アロンの「子ら」はそれらの血を[祭壇の周囲の側面に打ち]掛けるように。[]⁽³⁵⁴⁾
- 6 またそれらの脂肪[を燔祭]の祭壇の上で焼いて煙にするように。[]⁽³⁵⁵⁾
- 7 [それらの穀物の供物]と灌奠を脂肪の上で焼いて煙にするように。[] 火に焚く供犠⁽³⁵⁶⁾]⁽³⁵⁷⁾
- 8 主の宥めの(香り)⁷。-空白- 彼らは []か[ら]上げるように⁽³⁵⁸⁾。
- 9 差し上げる供物の右の腿を胸を。第 1 のものとして[前脚をまた]⁽³⁵⁹⁾

⁽³⁵⁴⁾ W はこの行をレビ 3:2 の再配列された語順による逐語的引用とする。MT レビ 3:2 は、**וּזְרְקוּ בְנֵי אֹהֶרֶן הַכֹּהֲנִים אֶת הַדָּם עַל הַמִּזְבֵּחַ סָבִיב** [] **וּזְרְקוּ בְנֵי אֹהֶרֶן אֶת דָּמָם עַל הַמִּזְבֵּחַ סָבִיב** である。

⁽³⁵⁵⁾ Q、CH と M は、Y が次の行の最初に置く [**וְאֵת**] をこの行の最後に置いている。**בְּשֵׂרָמָה** [**וְאֵת כֹּל חֵלְבֵמָה יִקְטִירוּ עַל מִזְבֵּחַ הָעֹלָה**] **כַּמִּן שֶׁפֶט וְאֵת** 「[それらの肉と]それらの脂肪を[規定]に従って、[燔祭]の祭壇の上で焼いて煙にするように。[また]」と復元したが、Q は 2010 年版では、[**וְאֵת כֹּל חֵלְבֵמָה יִקְטִירוּ עַל מִזְבֵּחַ הָעֹלָה**] **כַּמִּן שֶׁפֶט וְאֵת** 「[そして全ての]脂肪を[規定]に従って、[燔祭]の祭壇の上で焼いて煙にするように」と変更した。W はこの行を民 18:17b の再配列された語順による逐語的引用と自由作文とする。MT 民 18:17b は、**אֶת דָּמָם תִּזְרַק עַל הַמִּזְבֵּחַ וְאֵת חֵלְבֵמָה תִּקְטִיר אֵשָׁה לְרִיחַ נִיחַח לַיהוָה**、Col. 22:6 は [**וְאֵת חֵלְבֵמָה יִקְטִיר עַל הַמִּזְבֵּחַ הָעֹלָה**] である。

⁽³⁵⁶⁾ **אֵשִׁי** が使われている。**אֵשָׁה** の複数連語形。レビ 7:30、21:16、申 18:1 参照。

⁽³⁵⁷⁾ M は Y と同じ。Q の 1996 年版と CH は、**עַל חֵלְבֵינָם וְהַבָּשָׂר מִן אֲשֵׁירֵיחַ** 「[それらの穀物の捧げ物]と灌奠を脂肪と[肉]の上で焼いて煙にするように。[火に焚く供犠]」と復元していたが、Q は 2010 年版で **אֵשִׁי** と **רִיחַ** の間に **הוּאָה** を挿入し、**אֵשִׁי רִיחַ הוּאָה** と復元している。訳せば、「[それらの穀物の捧げ物]と灌奠を脂肪と[肉]の上で焼いて煙にするように。[それは、火に焚く供犠]」となる。

⁽³⁵⁸⁾ Y は脚注において **מִן וִירִימוּ** 以降の可能な復元をしている。Col. 20, 14–15 行を参照して、**מִן הָאֵילִים וּמִן הַכִּבְשִׂים תְּרוּמָה** 「[彼らは雄羊か]ら[また雄の子羊から]供え物を」上げるように」とする。Q、CH と M は、**מִן הָאֵילִים וּמִן vacat לַיהוָה** **וִירִימוּ** 「[彼らは雄羊か]ら[また雄の子羊から]上げるように」と復元。

⁽³⁵⁹⁾ 原文は **לְרֵאשִׁית**。Y はそのまま for the *reshith*、CH は the *prime parts*、M は as the *choicest parts* と訳している。ここは序数であるので「第 1 のもの」と訳した。

- 10 両頬(を)⁹ 胃をそれらの規定に従って、祭司たち彼らのために与えるように。またレビ人たちのために⁽³⁶⁰⁾、
- 11 肩を(与えるように)。後で彼らは、それらをイスラエルの子らに取り出すように。またイスラエルの子らはそれを祭[司]たちに
- 12 雄羊 1 匹雄の雄の子羊 1 匹を、レビ人たちにも雄羊 1 匹、雄の子羊 1 匹を、すべて
- 13 それぞれの支族にも雄羊1匹雄の雄の子羊1匹を(与えるように。) ¹¹また、この日彼らは(主の御前)¹⁴の外庭でそれらを食べるように。
- 14 年ごとの彼らの世代を通しての永遠の掟。後に⁽³⁶¹⁾
- 15 彼らはオリーブから食べ、新しい油から灌奠を注ぐように。実にこの日
- 16 主の御前に、年に 1 度、彼らは[すべ]て地の[最上]の油を(浄める)¹⁵ から。彼らは喜ぶように⁽³⁶²⁾。

Col. 23

כול	[ב]ני ישראל	[כול] מושבותיהמה	01
		[vacat] ואחר מועד יצהר יקריבו	02
		למזב[ח] את עצי[ם] [שנים עשר מטות בני ישראל והיו המקריבים]	03
		[ביום הרישון] מתות [לוי] ויהודה [יום השני בנימן ובני]	04
	[]מ[] 1
	[]אשר יבין[] 2
	[]עולה ליה[וה]] 3

⁽³⁶⁰⁾ 11Q20 の כמשפטמה の後には「-空白-」が来る。W は、8 行目からこの行の前半までを自由作文、並びにレビ 7:31b-32 の短い引用を含む節ないしその一部のパラフレーズ、並びに申 18:3b の短い引用を含む節ないしその一部のパラフレーズとする。MT レビ 7:31b-32 は、והיה החזה לאהרן ולבניו ואת שוק הימין תתנו תרומה לכהן מזבחי שלמיכם、申 18:3b は、אם שור אם שה ונתן לכהן הזרע והלחיים והקבה、Col. 22:8-10a は、ניחוח [ל]יהוה vacat וירימו מן [את שוק הימין ואת חזי התנופה ולראשיתן את] となっており、類似点は少ない。

⁽³⁶¹⁾ W は 10 行後半からこの行の前半までをレビ 3:17a の広範囲の逐語的引用と申 15:20a の広範囲の逐語的引用とする。MT レビ 3:17a は、חקת עולם לדרתיכם、MT 申 15:20a は、שנה בשנה、Col. 22:14b は、חוקות עולם לדרתיהמה שנה בשנה。

⁽³⁶²⁾ 21:8 のブドウ汁を浄める祭と同じように聖書にはないクムラン独特の祭であった可能性がある。新しい(オリーブ)油の祭? 1QSa1:3 と 1QS8:6 には、22:16 にあるように共同体の者が地を浄める話が登場する。

[ש]עִירי עִזים שְׁנַיִם] 4
[ומנחת]מה ונסכמה כמ]שפט] 5
[פר אחד איל אחד כב]ש אחד] 6
[מ]טה ומטה [ש]נים עשר בני יעקן]ב] 7
[ם על ה]מזבח אחר עולת הת]מיד ונסכה] 8
	וה]קרי]ב הכוהן הגד[ו]ל את] עולת הלויים] <i>vacat</i>	9
	לראישונה ואחריה יקטיר את עולת מטה יהודה וכ]אשר הוא	10
	מקטיר ושחטו לפניו את שעיר העזים לראישונה והעלה את	11
	דמו למזבח במזרק ונת]ן מ]דמו באצבעו על ארבע קרנות מזב]ח	12
	העולה ועל ארבע פנות עזרת המזבח וזרק את דמו על יסו]ד	13
	עזרת המזבח סביב ואת חלבו יקטיר המזבח החלב המכסה את	14
	הקרב ואת אשר על הקרבים ואת יותרת הכבד עם הכליות	15
	יסירנה ואת החלב אשר עליהמה ואת אשר על הכסלים ויקטר	16
	הכול על המזבח עם מנחתו ונסכו אשי ריח ניחוח ליהוה ואת	17

23 欄

11Q20 VI と平行している。

- 01 すべてのイスラエルの[子]ら、すべての彼らの[居住地]において。[-空白-]⁽³⁶³⁾
- 02 [-空白-最上の油の祭の後、彼ら]⁽³⁶⁴⁾
- 03 [イスラエルの子らの 12 の支族は]祭[壇に木]々を([捧げる者らであるように。])⁰²⁽³⁶⁵⁾

⁽³⁶³⁾ Y と CH は同じ。Q は Y と CH が次の行に置く [לדרותיהמה] をこの行に入れるが。基本的には 3 人は同じ復元である。 יהוה לפני יהוה [מושבותיהמה לכול] כול [ב]ני ישראל בכול [מושבותיהמה לפני יהוה] חוק עולם לדרותיהמה [すべてのイスラエルの[子]ら、すべての彼らの[居住地]において、主の御前に、彼らの世代を通しての永遠の定め]。

⁽³⁶⁴⁾ Q の 1996 年版と M は、[ואחד מועד היצהר יקריבון] という同じ復元であるが、Q は 2010 年版ではこの行の文を全て削除し、次の行の後半に復元している。CH はこの文章を次の行の初めに置く。

⁽³⁶⁵⁾ Q は 1996 年版でこの行に置いた [ביום הרישון] 「[第 1 日に]」を 2010 年版では、M と同じように次の行に置く。CH は内容的には Q や M に近いのであるが、前の行から文章がズれてくるので、04 行の終わりに復元。M は 11Q20 では正しい記述をしているが、*Study Edition* の本文では、「支族(複数)」を表す מטות が誤植により מטוה となっている。

04 [第1日にはレビ]とユダの支族が、[第2日]には[ベニヤミンと⁽³⁶⁶⁾

1 ⁽³⁶⁷⁾

2 []であるところの[]⁽³⁶⁸⁾

3 []主への燔祭[]⁽³⁶⁹⁾

4 [2]匹の雄山[羊]⁽³⁷⁰⁾

5 [また]それらの[穀物の供物]と灌奠を[規定]に従って[]⁽³⁷¹⁾

6 []1頭の雄牛、1匹の雄羊と[1匹の雄の小]羊。[]⁽³⁷²⁾

⁽³⁶⁶⁾ CHはこの後に、[ובני יוסף יחד אפרים]「[またヨセフの子らエフライムと共に]」を加える。

⁽³⁶⁷⁾ QとMは、次のように復元。[ויוסף וביום השלישי ראובן ושמנעון וביום הרביעי יששכר]「[ヨセフ。また第3日にはルベンと]シメ[オンの 第4日にはイッサカル]。CHは最初の名前が「[יוסף]」でなく、[ומנשה]「[マナセ]」。前の行がエフライムであるからそれと調和する。[ובני יוסף יחד אפרים ומנשה]「[またヨセフの子らエフライムとマナセと共に]」という復元テキストは Col. 24 の 13 行に現れる。

⁽³⁶⁸⁾ Q、M と CH は、[ויזבולן וביום החמשי גר ואשר וביום הששי דן ונפתלי]「[とゼ]ブルン、[第5日にはガドとアセル、第6日にはダン]とナフタリ」と復元。

⁽³⁶⁹⁾ QとCHは、[ועל העצים עולה ליהוה] *vacat*「[-空白- 彼らは]木々の[上に主]への燔祭を[捧げるように]」と復元。Mは、[ועל העצים עולה ליהוה] *vacat*「[-空白- お前たちは]木々の[祭に主]への燔祭を[捧げよ]」と復元。

⁽³⁷⁰⁾ QとCHは[שעירי עזים שנים לחטאת לכפר]「2匹の[雄]山羊は[浄めのための浄罪の供犠]」と復元。Mは[לכפר חטאת]を欠く。Wはこの行を民 7:87b の広範囲の逐語的引用と何かを加えたとする。MT 民 7:87b は、[שעירי עזים ושעירי עזים שנים עשר]、Col. 23:4 は、[שעירי עזים שנים]である。ただし W の主張する読みならば、[]12匹の雄山[羊]と復元すべきであるが、Yは 11Q20 Col. 6, frags. 10 ii, 12 の 16-17 行に、[שעירי עזים שנים ל]とあるため[שעירי עזים שנים לחטאת]と復元している。

⁽³⁷¹⁾ Qの1996年版とCHは、[ומנחתמה ונסכמה כמשפט ויעשו] *עולה*「[それらによって、イスラエルのすべての子らまた]それらの[穀物の捧げ物]と灌奠は規定に従って、また燔祭をなすように」。しかしQの2010年版は、[ויביאו ויעשו]と変更。よって、「また燔祭を持ってくるように」となる。Mは、[ומנחתמה ונסכמה כמשפט] *עולה*「[またそれらの穀物の捧げ物と灌奠は規定に従って]燔祭である」と復元。Wはこの行を民 29:6 の広範囲の逐語的引用と何かを加えたものとする。MT 民 29:6 は、[ומנחתה ונסכיהם כמשפט] *ומנחתמה ונסכמה כמשפט*、Col. 23:5 は、[ומנחתמה ונסכמה כמשפט] *ומנחתה*。

⁽³⁷²⁾ QとCHは、[פר אחד איל אחד וכבש אחד בן שנתו] *פר אחד*「雄牛1匹、雄羊1匹、また[1歳の雄の子羊1匹]」と復元している。Mは、[פר אחד איל אחד] *הוא אשה ריח ניחוח ליהוה*「雄牛1匹、雄羊1匹、また[1歳の雄の子羊1匹]」と復元している。

- 7 []ヤコ[ブ]の子らの1[2]の支族[ごとに]⁽³⁷³⁾
- 8 []常[供]の燔祭と[その灌奠]の後、[祭]壇の上で⁽³⁷⁴⁾
- 9 [-空白- 大]祭司は(初めに)¹⁰ [レビたちの燔祭]を[焼い]て煙にするように⁽³⁷⁵⁾
- 10 そしてその後、ユダの支族の燔祭を焼いて煙にする。[彼が]
- 11 焼いて煙にしている([間]に、)¹⁰彼らは初めに雄山羊を彼の前に屠るように。また彼は⁽³⁷⁶⁾
- 12 その血を小鉢に入れ祭壇の上に(上げるように)¹¹ その血から(取り)彼の指で(燔祭)¹³ の祭壇]の4つ角に塗[る]ように。⁽³⁷⁷⁾
- 13 また祭壇の台座、彼はその血を⁽³⁷⁸⁾基部[の]上に打ち掛けるように。

[שנתו בן אחד וכבש אחד]「[これは、火に焚く供犠。主の御前の宥めの香り]雄牛1匹、雄羊1匹、また[1歳の雄の子羊1匹]」と復元。Wはこの行を民7:15の広範囲の逐語的引用と何かを加えたものとみている。MT民7:15は、פר אחד בן בקר איל אחד כבש אחד、Col. 23:6はפר אחד איל אחד כבש אחד⁽³⁷³⁾である。

⁽³⁷³⁾ Q、CHとMは、[תמימים לכול מןטה ומטה שנים עשר בני יעקוב]「[傷のない、それぞれの支族に]またヤコ[ブ]の子らの12の支族」⁽³⁷⁴⁾と復元している。

⁽³⁷⁴⁾ CHは、[ויעשום ברובע היום על המזבח אחר עולת התנמיד ונסכה]「[また彼らは1/4日に日[ごと]の燔祭と[その灌奠]の後で祭壇の上にそれらを作すように]」と復元している。ただしCHの英訳には、「[また彼らは第4日に1匹の日[ごと]の燔祭と[その灌奠]を祭壇の上に準備するように]」とある。ヘブライ語と異なるので訂正した。Qの復元は殆どCHと同じであるが、この行の[היום]に[]を入れるスペースがないとして、[הים]とする。ただ、「海」を意味するとは思えない。恐らくQereのように、[הים]と書いて[היום]と読ませるのだろう。Mは最初の動詞を[וישום]としているが、訳はCHと同じようにthey shall prepare「彼らは準備するように」である。[וישום]は[ויעשום]の誤植。

⁽³⁷⁵⁾ QとCHは、[והקריב את עולת הלויים] *vacat*「-[空白- 大祭司は[レビ人たち]の燔祭を焼いて[煙]にするように]」と復元している。MはYと同じで最初の動詞は[והקריב]。YとMはwaw継続法が11Q19で使われていたと認識している。

⁽³⁷⁶⁾ Wはこの行の前半をレビ5:8の短い引用を含む節ないしその一部のパラフレーズ、並びに自由作文とする。MTレビ5:8は、והקריב את אשר לחטאת ראשונה、Col. 23:11aは、מקטיר ושחטו לפניו את שעיר העזים לראשונהである。類似点は最後のראשונהのみ。

⁽³⁷⁷⁾ Wはこの行をレビ4:25の広範囲の逐語的引用と自由作文とする。MTレビ4:25は、ולקח הכהן מדם החטאת באצבעו ונתן על קרנת מזבח העלה ואת דמו ישפך אל דמו למזבח במזרק ונתן מןדמו באצבעו על ארבע、Col. 23:12は、יסוד מזבח העלה [ח]קרנות מזבח]となっている。

⁽³⁷⁸⁾ 写本ではאתדמוという1つの単語となっている。

- 14 また祭壇の台座の周囲、またその脂肪を祭壇の上で焼いて煙にするように⁽³⁷⁹⁾。
 15 内臓を(覆う脂肪)¹⁴、諸々の内臓の上にあるもの、また腎臓とともに肝臓の付属物を
 16 取り去るように。それらの上にあるところの脂肪、また腰の上にあるところ(すべてを
 祭壇の上で)¹⁷ 焼いて煙にするように。
 17 その穀物の供え物とその灌奠を火に焚く供犠、主の宥めの香り⁽³⁸⁰⁾。

Col. 24

[את הראו]ש] 1
[]ת ואת ה] 2
[]החזה עם ה] 3
[]י הכרעים ויק[טירו] 4
[מנ]חת שמנו ונסך [יינו] 5
[]הבשר לריח [ניחוח אשה]] 6
[]הוא ליהוה וככה יעשו לפר ו[פר ולאיל ואיל ול[כבש וכבש]] 7
[]וארביה לבד יהיו[ומנח]תה ונסכה עליה חוקות[עולם]] 8
[לדורותיכמה לפני יהוה vacat] 9
[]ואחר העולה הזואת יעשה עולת מטה יהודה לבד כאש[ר]] 10
[]עשה לעולת הלויים כן יעשה לעולת בני יהודה אחר הלויים] 11
[וביום השני יעשה עולת בנימין לראישונה ואחריה vac] 12

⁽³⁷⁹⁾ W は 13 行目からこの行をエゼ 45:19 の広範囲の逐語的引用と出 29:16b の広範囲の逐語的引用、並びに自由作文とする。MT エゼ 45:19 は、**ואל ארבע פנות העזרה למזבח ועל**、**ולקחת את דמו וזרקת על המזבח סביב**、出 29:16b は、**ועל העולה ועל ארבע פנות עזרת המזבח וזרק את דמו על יסוד[ר] עזרת**、Col. 23:13-14a は、**ועל המזבח סביב** となっている。この行の中盤はレビ 4:26a からの広範囲の逐語的引用とする。

MT レビ 4:26a は、**ואת חלבו יקטיר המזבחה**、Col. 23:14b は、**ואת חלבו יקטיר**。
⁽³⁸⁰⁾ W は 14 行後半からこの行を、レビ 3:14b-16 の再配列された語順による逐語的引用とする。MT レビ 3:14b-16 は、**את החלב המכסה את הקרב ואת כל החלב אשר על הקרב**、**ואת שתי הכלית ואת החלב אשר עלהן אשר על הכסלים ואת היתרת על הכבד על הכלית יסירנה והקטירם הכהן המזבחה לחם אשה לריח ניחוח כל חלב ליהוה**、Col. 23:14c-17 は、**את החלב המכסה את הקרב ואת אשר על הקרב ואת אשר על הקרבים**、**ואת יותרת הכבד עם הכליות יסירנה ואת החלב אשר עליהמה ויקטיר הכול על**、**ואת המזבח עם מנחתו ונסכו אשי ריח ניחוח ליהוה ואת** である。

- 13 יעשה עולת בני יְהוֹסֵף יחד אפרים ומנשה וביום השלישי יעשה
 14 את עולת ראובן לבד ואת עולת שמעון לבד וביום הרביעי
 15 יעשה עולת יששכר לבד ועולת זבולון לבד וביום החמישי
 16 יעשה עולת גד לבד ועולת אשר לבד vacat וביום הששי

24 欄

- 1 [] 頭を[]⁽³⁸¹⁾
 2 [] また を[]⁽³⁸²⁾
 3 [] と共に胸[]⁽³⁸³⁾
 4 [] 脛、また彼らは焼いて[煙にするように。]⁽³⁸⁴⁾
 5 [] その油の[穀物]の供物また[そのブドウ酒]の灌奠。 []⁽³⁸⁵⁾
 6 [] 肉は[宥め]の香りとして、[火に焚く供犠。]⁽³⁸⁶⁾

⁽³⁸¹⁾ Y と M は同じ。Q の 1996 年版と CH は、レビ 1:8 に基づき、**ואת הראוש ואת הפרר** [את הראוש] [וערכו לראישונה את הראוש] [את הפרר] 「頭を[また脂肪を]と復元しているが、Q は 2010 年版では、**ואת הראוש ואת הפרר** 「[先ず、頭をまた脂肪を整えるように]」と復元している。

⁽³⁸²⁾ Q の 1996 年版と CH は、**שתי הזרועות ואת השנכם** 「2本の脛」と[肩]を」と復元しているが、Q の 2010 年版ではこの文の前に **ואחר יערכו את** [] を加えて、「[また後、2本の脛]と[肩]を整えるように」と復元し直している。M は **שתי הזרועות** を欠く。

⁽³⁸³⁾ Y と M は同じ。Q の 1996 年版と CH は、**ואת החזה עם השוק אשר לימין** 「[また]胸[を右の腿]と共に」と復元したが、Q の 2010 年版では、この文の前に **ואחריהמה** [] を加えて、「[またそれらの後に、]胸[を右の腿]と共に」と復元し直している。また Q は最後の **לימין** を 4 行目の最初に置く。

⁽³⁸⁴⁾ Q と CH は **ויקטירו את הכול** [彼らは水で内臓をまた 2]本の前脚を洗うように、そして[すべてを焼いて煙に]するように、と復元。ただし Q は最後の **הכול** を 5 行目の最初に置く。CH の英訳は **במים** を on (that) day としているが、誤訳と思われる。もし on (that) day であれば、**ביום** と復元テキストを変えるべき。水で洗うことに関しては Y もこの行との関連を示唆するレビ 1:9 を参照している。M は、**שתי הכרעים ויקטירו** のみの復元。

⁽³⁸⁵⁾ Q と CH は **על המזבח עולה ליהוה עם מנחת שמנו ונסך** [祭壇の上で。主の燔祭である。] その油の[穀物]の捧げ物また[そのブドウ酒]の灌奠を共に」と復元している。M は、**על המזבח עולה ליהוה עם מנחת שמנו ונסך** [...] のみの復元。

⁽³⁸⁶⁾ Q と CH は **על הבשר לריח** [ヒンの灌奠をその肉の上に注ぐように。[宥めの]香りとして、[火に焚く供犠である。]と復元している。M は **על הבשר** [

- 7 [それは主に属する。それぞれの雄牛に]、それぞれの雄羊に、[それぞれの雄の子羊]に、
[そのようになすように。]⁽³⁸⁷⁾
- 8 またそれは肢体⁽³⁸⁸⁾のみになっているよう[に。]その[穀物の]供物とその上の灌奠は
- 9 主の御前のあなたたちの世代を通しての([永遠]の掟)⁸
- 10 またこの燔祭の後で、ユダの支族のためのみの燔祭をなすように。丁[度]
- 11 レビ人たちの燔祭をなした(ように)¹⁰、そのようにユダの子らの燔祭をレビ人たち⁽³⁸⁹⁾の
後で、なすように。
- 12 -空白-また第2日にベニヤミンの燔祭を初めに、またその後に
- 13 ヨセフの子らの燔祭をエフライムとマサセと共になすように。また第3日に
- 14 ルベンのためにのみ燔祭を、またシメオンのためのみの燔祭を(なすように)¹³。また第
4日に
- 15 イッサカルのためのみの燔祭を、またゼブルンのためのみの燔祭をなすように。また第
5日に
- 16 ガドのためのみの燔祭を、またアシェルのためのみの燔祭をなすように。-空白- また
第6日に

Col. 25

[יקריב ע]	1
	וּבְחַ[ודש השביעי]	va]	2
	מ[קרא קודש]	זכרון תרועה	3
	ל[פני יהוה והק]	ועשיתמה עולה אשה ריח ניחוח	4

וּנְסַךְ[ע] לְ[ן] הַבָּשָׂר לְרִיחַ [ניחוח אש] 香りとして、[(主の)⁷火に焚く供犠である。]と復元している。

⁽³⁸⁷⁾ QとCHは、[כבש וכבש] וּלְ[איל ואיל] וּפָר וּלְ[כה יעשו לפר ופר]「[主の。-空白- 彼らは、それぞれの雄牛に、それぞれの雄羊に、[それぞれの雄の子羊]に、その[ように]なすように」と復元。MはQとCHに類似しているが、先頭のכה[וכ] לִיהוה の間にスペースのない形で復元。

⁽³⁸⁸⁾ Y、QとMは復元テキストの括弧の位置が少し異なるが内容そのものは同じ。ただし、この行の最初の語 אַרְב の意味が不明。Yが様々な可能性を述べている。The Temple Scroll, Vol. 2, 109を参照。その中でYの支持するミルグロムの説として、写字者が אַבַּר を誤写してしまったとする見方がある。CHはこの説を支持して וְאַבְרִיָּהּ と改訂している。

⁽³⁸⁹⁾ Q、MとCHはこの行の最後の語を הַלְוִיִּים と書かないで הַלְוִיִּים としている。

- 5 [בן בקר אח]ד איל אחד「(כבשי)ם בני] שנה שבע[ה תמימים ושעיר]
- 6 [עזים אחד לחטאת ו]מנחתמה ונסכיהמה כמשפטמ[ה ריח ניחוח]
- 7 [ליהוה לבד מעול]ת התמיד [ועו]לֹת־הַחֹדֶשׁ אַחֶרְךָ תַעֲשׂוּ אֶת הָעוֹלָה
- 8 [ה]זֹאת בשלישי[ת] היום חוקות עולם לדורותיכ[מה בכול מושבותיכמה]
- 9 תִּשְׂמַחוּ בַיּוֹם הַזֶּה לֹא תַעֲשׂוּ בּו כּוֹל מִלֹּאכַת עֵבֶר[ודה] שְׁבֹתוֹן יִהְיֶה
- 10 לַכֹּמֶה הַיּוֹם הַזֶּה vacat ובעשרה בחודש הזה
- 11 יום כפורים הוא ותענו בו את נפשותיכמה כי כול הנפש אשר לוא
- 12 תתענה בעצם היום הזה ונכרתה מעמיה והקרבתמה בו עולה
- 13 ליהוה פר אחד איל אחד כבשים בני שנה שבעה { } שעיר
- 14 עזים אחד לחטאת לבד מחטאת הכפורים ומנחתמה ונסכמה
- 15 כמשפטמה לפר לאיל ולכבשים ולשעיר ולחטאת הכפורים תקריבו
- 16 אלים שנים לעולה אחד יקריב הכוהן הגדול עליו ועל בית אביהו

25欄⁽³⁹⁰⁾

- 1 []彼は捧げるように[]
- 2 []また[第7の月]において -[空-]⁽³⁹¹⁾
- 3 [その月の1日には、あなたたちには]「厳粛な安息」となるように。それは角笛の響きによる「記念、[聖なる集会である]⁽³⁹²⁾。

⁽³⁹⁰⁾ QもMもこの欄に他の『神殿の巻物』に類似する証拠からの重複を認めていない。しかしYとCHはここに01として以下の文章を入れる。

[] 01 [יעשה עולת דן לבד ועולת נפתלי לבד

[「ダンのためのみの燔祭を、またナフタリのためのみの燔祭をなすように]。]

⁽³⁹¹⁾ QとCHは、[בַּחֹדֶשׁ שְׁבִיעִי בְּאַחַדְךָ] [vacat] 「[-空白-]また[第7の月の1日]において」と復元している。Mは、[...] vacat [...] 「[...] -空白- [...]」とする。

⁽³⁹²⁾ Qはこの行の最後に יהיה を加え、「[聖なる集会となるように]」と復元している。CHはYと同じだが、最後にYの4行目の最初にくる ועשיתמה を持ってきて、2行と3行の復元の最後が מִן־קִרְיַת קֹדֶשׁ 後とする。Mは、[...] מִן־תְּרוּעָה מִן־]のみの復元である。Wは2行目からこの行をレビ 23:14bの広範囲の逐語的引用とするが、MTとは全く類似していない。ここはCHに書かれているようにレビ 23:24でWの誤記であろう。MTレビ 23:24は、בַּחֹדֶשׁ הַשְּׁבִיעִי בְּאַחַד לַחֹדֶשׁ יִהְיֶה לָכֶם שְׁבֹתוֹן זִכְרוֹן תְּרוּעָה מִן־קֹדֶשׁ、Col. 25:2-3は、בַּחֹדֶשׁ הַשְּׁבִיעִי [בְּאַחַד לַחֹדֶשׁ יִהְיֶה לָכֶם] שְׁבֹתוֹן זִכְרוֹן תְּרוּעָה מִן־קֹדֶשׁ、[קודש]である。

- 4 [あななたがたは燔祭、火に焚く供犠、]主の御[前の宥めの香りをなすように。あなたたちは]⁽³⁹³⁾
- 5 [1頭の若い(雄牛)⁴、]「1匹の雄羊」、7匹[の傷のない]1歳の雄の[子羊、]また⁽³⁹⁴⁾
- 6 [1匹の雄山羊を浄罪の供犠として](捧げ[るように]。)⁴それらの穀物の供物と灌奠は規定に従って[(主)⁷の宥めの香りとなる。]⁽³⁹⁵⁾
- 7 ただ常供の[燔祭]と新月の[燔]祭は[別]である。[後で] (1/3 日)⁸[にこの燔祭をなすように。]⁽³⁹⁶⁾

⁽³⁹³⁾ Q は、**היום הזה לכמה יום שמחה הוא [לפני יהוה והקרבנות בו עולה]** 「[この日こそあなたたちにとって]主の[御]前に[喜びの日である。その日あなたたちは燔祭を]捧げ[るように]」と復元。CH は、**עולה אשה ריח ניחוח הוא [לפני יהוה והקרבנות בו עולה]** 「それは[燔祭、火に焚く供犠、]主の御[前の宥めの香り。その日あなたたちは燔祭を]捧げ[るように]」と、全半は Y に後半は Q に基づき復元している。M は、**לפני...** **והיה** 「[...主の御[前]と[...]]のみ復元。

⁽³⁹⁴⁾ Q と CH は、**לְיְהוָה פֶּר אֶחָד אֵילִם אֶחָד [כִּבְשִׂים בְּנֵי שָׁנָה שֶׁבַע וְשַׁעִיר עִזִּים]** 「[主へ1頭の雄牛、]1匹[の雄羊、]7匹の1歳の雄の[子羊、]また雄山羊」と復元。M は、**... שָׁנָה שֶׁבַע ...** 「[...]... 歳 7[...]]」と復元。W は4行目からこの行の前半をレビ29:2の再配列された語順による逐語的引用とするが、レビ29:2は存在しない。ここも正しくはCHに書かれているように民29:2であり、Wの誤記であろう。MT民29:2は、**ועשיתם עולה לריח ניחוח ליהוה פר בן בקר אחד איל אחד כבשים בני שנה שבעה תמימים** **ועשיתמה עולה אשה ריח ניחוח ל** [לפני יהוה והקרבנות פר] **בן בקר** **אחד איל אחד כבשים בני שנה שבעה תמימים** Col. 25:4–5a は、**בן בקר** **אחד איל אחד כבשים בני שנה שבעה תמימים** である。

⁽³⁹⁵⁾ Q と CH は、**לְיְהוָה אֶחָד לַחֲטָאת וְנִסְכֵיהֶם מִנְחַת־מַנָּה כִּמְשַׁפְטֻמָּהּ לְיְהוָה אֶחָד לַחֲטָאת וְנִסְכֵיהֶם מִנְחַת־מַנָּה כִּמְשַׁפְטֻמָּהּ** 「[1匹を浄罪の供犠として]それらの穀物の捧げ物と灌奠は規定に従って[御前の宥めの香りである]」と復元。M は、**... מִנְחַת־מַנָּה כִּמְשַׁפְטֻמָּהּ** 「[...]]それらの穀物の捧げ物と灌奠は規定に従って[...]]」と復元。W は5行後半からこの行の前半を民29:5aの著しい削除による逐語的引用とする。MT民29:5a は、**ועשיר עזים אחד חטאת** **ועשיר עזים אחד לַחֲטָאת** である。

⁽³⁹⁶⁾ Q と CH は、**לְיְהוָה לֶבֶד מְעוֹלָת הַתְּמִיד וְנִסְכֵיהֶם מִנְחַת־מַנָּה כִּמְשַׁפְטֻמָּהּ לְיְהוָה אֶחָד לַחֲטָאת וְנִסְכֵיהֶם מִנְחַת־מַנָּה כִּמְשַׁפְטֻמָּהּ** 「[主の 常供の[燔祭]と新月の[燔]祭は[別]である。後で[燔祭をなすように]」と復元している。M は、**... עוֹלָת הַתְּמִיד וְנִסְכֵיהֶם מִנְחַת־מַנָּה כִּמְשַׁפְטֻמָּהּ** 「[常供の燔]祭と月ごとの[燔]祭である。後で[燔祭をなすように]」と復元している。W は、6行後半からこの行の前半を、民29:6の再配列された語順による逐語的引用とする。MT民29:6 は、**ועשיתם עולה לריח ניחוח ליהוה פר בן בקר אחד איל אחד כבשים בני שנה שבעה תמימים** **ועשיתמה עולה אשה ריח ניחוח ל** **אחד איל אחד כבשים בני שנה שבעה תמימים** Col. 25:6b–7a は、**ועשיתם עולה לריח ניחוח ליהוה אשה ריח ניחוח ל** **אחד איל אחד כבשים בני שנה שבעה תמימים** である。

- 14 (雄山羊を)¹³ 浄罪の供犠として。浄めの浄罪の供犠とそれらの穀物の供物と灌奠は別である。
- 15 規定に従って、雄牛、雄羊、雄の子羊、雄山羊そして浄めの浄罪の供犠をあなたたちは捧げるように⁽⁴⁰²⁾。
- 16 2 匹の雄羊を燔祭に。1 匹を大祭司自身のためと彼の父の家のために。

Col. 26

[]	ooooooooo	[]	1
[]	ooooooooo	[]	2
		ונתן הכוהן הגדול על שני			3
		[השעירים גורלות] גורל א[חד ליהוה וגורל אחד לעזזאל]			4
		[ו]שחט את השעיר אשר על[ה עליו הגורל ליהוה והעלה]			5
		את דמו במזרק הזהב אשר בידו וע[שה לד]מו כאשר עשה לדם			6
		הפר אשר לו וכפר בו על כול עם הקהל ואת חלבו ואת מנחת			7
		נסכו יקטיר על מזבח העולה ואת בשרו ואת עורו ואת פרשו			8
		9 וישרופו אצל פרו חטאת הקהל הוא וכפר בו על כול עם הקהל			9
		10 ונסלח להמה ורחץ את ידיו ואת רגליו מדם החטאת ובא אל			10
		11 השעיר החי והתודה על רואשו את כול עוונות בני ישראל עם			11
		12 כול אשמתמה לכול חטאתמה ונתנמה על רואש השעיר ושלחו			12
		13 לעזזאל המדבר ביד איש עתי ונשא השעיר את כול עוונות			13

26 欄

- 1 []....[]
- 2 [2]....[]

⁽⁴⁰²⁾ W は 13 行後半からこの行の前半を民 29:11 の著しい削除による逐語的引用と自由作文とする。MT 民 29:11 は、שעיר עזים אחד חטאת מלבר חטאת הכפרים ועלת התמיד、Col. 25:13b-15a は、שעיר עזים אחד לחטאת לבר מחטאת הכפורים、ומנחתה ונסכיהם ושעיר, 4QNum^b Col. 23: frags. 48-45 の 29:11 は、[אחד לחטאת מלבר חטאת הכפרים ועלת התמיד ומנחתה ונסכיהם] [עזים] となっている。この אחד לחטאת は、11Q19 と一致する。

- 3 [また大祭司][は2匹の(雄山羊のくじを)⁴引くように。]⁽⁴⁰³⁾
- 4 [一方]のくじは[主のため。またもう一方はアザゼルのため。]⁽⁴⁰⁴⁾
- 5 [また]彼は[主のためにくじが当]たった方の雄山羊を屠るように⁽⁴⁰⁵⁾。
- 6 またその血を彼の手[に]ある金の鉢に([上げ])⁵ ⁽⁴⁰⁶⁾、彼の(雄牛)⁷の[血にしたようにするよう]に。
- 7 またそれによって、すべての集会の民を浄めるように。またその脂肪、その穀物の供物⁽⁴⁰⁷⁾
- 8 その灌奠を燔祭の上で焼いて煙にするように。またその肉、その皮、またその汚物を⁽⁴⁰⁸⁾

⁽⁴⁰³⁾ Y は、この復元と挿入が正しければ、レビ 16:8 の雄山羊についての話題がここから始まっていると主張。M の復元は Y と同じ。Q の 1996 年版と CH は、שני を次の行の先頭へ移し、以下の如く復元。[על שני ונתן הכוהן הנגדול על]「それは[穢れ また大祭司][は(2 匹の雄山羊のくじを)⁴引くように]」。だが、Q の 2010 年版は יטמןא を削除し、「また大祭司[は(2 匹の雄山羊のくじを)⁴引くように]」と復元し直している。W はこの行をレビ 16:8a の広範囲の逐語的引用とする。MT レビ 16:8a は、אהרן על שני ונתן、Col. 26:3 は、על שני ונתן הכוהן הנגדול である。

⁽⁴⁰⁴⁾ Y と M は同様。Q と CH は同様であるが、שני が先頭に來るだけで意味は 4 者とも同様。W はこの行をレビ 16:8b の広範囲の逐語的引用とする。MT レビ 16:8b は、גורלות השעירם

גורל אחד ליהוה וגורל אחד לעזאזל、Col. 26:4 は、גורל אחר [השעירים גורלות] גורל אחר、Col. 26:4 は、גורל אחד ליהוה וגורל אחד לעזאזל、11Q19 は עזאזל。עזאזל 4Q180 (4Q AgesCreat A) で、天使の名前として現れる。

⁽⁴⁰⁵⁾ W はこの行をレビ 16:15a の広範囲の逐語的引用とレビ 16:9b (W は 19:9b としているが誤記) の広範囲の逐語的引用とする。MT レビ 16:15a は、ושחט את שעיר החטאת、MT レビ 16:9b は、אשר עלה עליו הגורל ליהוה ועשהו חטאת、Col. 26:5 は、[שחט את שעיר] אשר עלה עליו הגורל ליהוה והעלה] である。

⁽⁴⁰⁶⁾ M、Q と CH は 5 行目の終わりのこの語を והעלה ではなく וקבל הכוהן と復元。訳は以下のようになる。「また([祭司])⁵はその血を彼の手[に]ある金の鉢に([受け])⁵」。

⁽⁴⁰⁷⁾ W は 6 行目からこの行の前半を自由作文とレビ 16:15b の広範囲の逐語的引用とする。MT レビ 16:15b は、והביא את דמו אל מבית לפרכת ועשה את דמו כאשר עשה לדם、Col. 26:6-7a は、הפר את דמו במזרק הזהב אשר בינדרו ועשה לרנמו כאשר עשה、Col. 26:7b は、לדם הפר である。

⁽⁴⁰⁸⁾ W は 7 行後半からこの行の前半をレビ 16:33 の再配列された語順による逐語的引用、レビ 16:25 (W は 16:35 と誤記) の短い引用を含む節ないしその一部のパラフレーズ、並びに自由作文とする。MT レビ 16:33 は、ועל כל עם הקהל וכפר、Col. 26:7b は、ועל כל עם הקהל וכפר である。

- 9 彼らは彼の雄牛の傍らで焼くように⁽⁴⁰⁹⁾。それは集会の浄罪の供犠である。それにより、すべての集会の民を浄めるように⁽⁴¹⁰⁾。
- 10 そして彼らは許される⁽⁴¹¹⁾。また彼は浄罪の供犠の血から手と足とを洗うように⁽⁴¹²⁾。
- 11 それから彼は生きている雄山羊の傍らに(来るように。)¹⁰ 彼はその頭上にイスラエルの子らのすべての咎と共に
- 12 彼らのすべての罪責、すべての罪を(告白するように。)¹¹ また彼は、それらを雄山羊の頭に置き、
- 13 係の者⁽⁴¹³⁾の手で荒野のアザゼル⁽⁴¹⁴⁾に(去らせるように。)¹² ⁽⁴¹⁵⁾雄山羊はすべての咎を

לקהל עם קהל, MT レビ 16:25 は、ואת חלב החטאת יקטיר המזבחה, Col. 26:7b-8a は
 となつてゐる。

⁽⁴⁰⁹⁾ W は 8 行後半からこの行の前半を出 29:14a の広範囲の逐語的引用と自由作文とする。
 MT 出 29:14a は、ואת בשר הפר ואת ערו ואת פרשו תשרף באש, Col. 26:8b-9a は、
 ואת בשרו ואת עורו ואת פרשו ישרופו אצל פרו である。

⁽⁴¹⁰⁾ W はこの行の前半を、レビ 4:21b の広範囲の逐語的引用とレビ 16:33b (W は 11:33 b と
 誤記) の再配列された語順による逐語的引用とする。MT レビ 4:21b は、חטאת הקהל הוא、
 MT レビ 16:33b は、ועל כל עם הקהל יכפר, Col. 26:9b は、חטאת הקהל הוא ויכפר
 である。

⁽⁴¹¹⁾ W はこの行の前半をレビ 4:20b の広範囲の逐語的引用とする。MT レビ 4:20b は、ונסלח
 להם, Col. 26:10a は、ונסלח להמה である。

⁽⁴¹²⁾ Y の注解を参考にすると、10 行後半は、出 30:21 の短い引用を含む節ないし、その一部
 のパラフレーズ (W は Col. 26:10b-11a を出 29:19-20a と誤記)。MT 出 30:21 は、ורחצו ידיהם
 ורחץ את ידיו ואת רגליו, Col. 26:10b は、ורחץ את ידיו ואת רגליו である。

⁽⁴¹³⁾ レビ 16:21 に 1 度登場するこの語は אִישׁ עֵתִי。原文は「時の人」。LXX は ἀνθρώπου
 ἐτοίμου 備えられた者。TO は、גבר דומין 「定められた者」。ペシッタは、בִּנְיָא הַתַּעֲבָד 「備
 えられた者」。BT のヨマ-66b にはラビたちによる説明があるが、解釈は定まっていない。

⁽⁴¹⁴⁾ עזאזל。MT は עזאזל。4QLev-Num^a frgs. 8-14 も同じ。

⁽⁴¹⁵⁾ ここでは Y と W を参考にする。10 行終わりから 13 行目の前半まではレビ 16:21 に類
 似している。W は MT ではない他の古代訳からの広範囲の逐語的引用とするが、他の古代
 訳で類似の文章は発見できなかった。MT レビ 16:21 は、השעיר החי והתודה עליו את כל
 בני ישראל ואת כל פשעיהם לכל חטאתם ונתן אתם על ראש השעיר עונת ושלח
 ובא אל השעיר החי והתודה על ראשו, Col. 26:10b-13a は、בִּיד אִישׁ עֵתִי הַמְדַבֵּרָה
 את כול עוונות בני ישראל עם כול אשמתמה לכול חטאתמה ונתנמה על ראש
 השעיר ושלחו である。ただし、Y の比較するミシュナ・ヨマ-6:2 はこの行に類似してい
 る。בא לו אצל שעיר המשתלח וסומך שתי ידיו עליו ומתודה 「彼は追放される雄山羊

負う⁽⁴¹⁶⁾。

Col. 27⁽⁴¹⁷⁾

	[בני ישראל אל ארץ גזרה ושלח את השעיר במדבר]	01
	ועשה את עולת ואת עולת העם וכפר	010
	[בעדו ובעד העם וזרק] את דמן על המזבח סביב	011
	אשי ריח [ניחוח הוא] לפני יה[וה]	012
[ל ה]	1
2	על כול בני ישראל ונסלח להמה]	
3	אחר יעשה את הפך ואת ה[אי]ל ואת[הכבשים כמש]פטמה	
4	על מזבח העולה ונרצתה ה[ע]ולה לבני ישראל חוקות עולם	
5	לדורות ¹⁰ פעם אחת בשנה יהיה היום הזה להמה לזכרון	
6	ולוא יעשו בו כול מלאכה כי שבת שבתון יהיה [לה]מה וכול האיש	
7	אשר יעשה בו מלאכה או אשר לוא יתענו בו ו[נ]כרתו מתוך	
8	עממה שבת שבתון מקרא קודש יהיה לכמה היום הזה	
9	וקדשתמה אותו לזכרון בכול מושבותי ¹⁰ ולוא תעשו כול	
10	מלאכה vacat ובהמשה עשר יום לחודש הזה	

27 欄

01 [イスラエルの子らは不毛の地へ。また彼は雄山羊を荒野へ送るように。]

010 彼の燔祭と民の燔祭をなすように。また]

011 [彼自身のためとその民のために(浄めをなすように)¹⁰。またそれらの]血を[祭壇の周囲に打ち掛けるように。]⁽⁴¹⁸⁾

の傍らに来る。そして彼はその上に彼の両手を置き告白する」。

⁽⁴¹⁶⁾ Yはレビ 16:22 から、**בני ישראל אל ארץ גזרה** がこの行の後に続き、XXVII 欄の初めに付属すると考えていた。繋げて訳すと、「雄山羊はイスラエルの子らのすべての咎を負い不毛の地へ」となる。Wはこの行の後半をレビ 16:22a の広範囲の逐語的引用とする。MTレビ 16:22a は、**ונשא השעיר עליו את כל עונותם**、Col. 26:13b は、**ונשא השעיר את**、**כולעוונות** である。

⁽⁴¹⁷⁾ この欄で CH は 0 行をレビ 16:22–24, 4–5, 26, 28 によって復元している。ただし 02–09 行目は空白である。ここでは、より多くを復元している CH のものを空白の行を除き、0 行として掲載する。

⁽⁴¹⁸⁾ Q と M は 01 として以下のように復元。[**את דמן**] 「血を」。

012 [それは主]の御前の宥めの香[り]、火に焚く供犠である⁽⁴¹⁹⁾。

1 [] []⁽⁴²⁰⁾

2 すべてのイスラエルの子らのために。そして彼らは許される。[]⁽⁴²¹⁾

3 その後、彼は雄牛、雄羊、また雄の子羊を規定に従って (燔祭の祭壇の上で)⁴ 捧げる⁽⁴²²⁾ ように⁽⁴²³⁾。

4 またイスラエルの子らとして燔祭を受け入れられるように。これは(彼らの世代を通しての)⁵ 永遠の掟⁽⁴²⁴⁾。

5 1年に1度この日は⁽⁴²⁵⁾彼らにとって記念となるように⁽⁴²⁶⁾。

⁽⁴¹⁹⁾ Q と M は 02 として復元。内容は Y、CH と同じ。

⁽⁴²⁰⁾ Q、M と CH は以下のように復元。הַ לְהַ [] ׀ בְּיֹמֵי הַ [] 「その日[]」。

⁽⁴²¹⁾ Y と W の主張通り、民 15:25a から取られている。W はここを民 15:25a の広範囲の逐語的引用とする。MT 民 15:25 は、וּכְפַר הַכֹּהֵן עַל כָּל עֲדַת בְּנֵי יִשְׂרָאֵל וְנִסְלַח לָהֶם、Col. 27:2 は、עַל כּוֹל בְּנֵי יִשְׂרָאֵל וְנִסְלַח לָהֶמָּה。

⁽⁴²²⁾ ヘブライ語原文 יַעֲשֶׂה は、「行うように」。

⁽⁴²³⁾ Y によればこの句は 1 日の犠牲が論議され、レビ 16:24 וַעֲשֵׂה אֶת עֲלֹתוֹ וְאֶת עֲלֹת עֵם を詳細にしたもの。スタイル一般はツラアットについて扱っている、MT レビ 14:19 וַעֲשֵׂה הָעֹלָה הַכֹּהֵן אֶת הַחֲטָאֹת וְכִפֵּר עַל הַמִּטְהָר מִטְמֵאתוֹ וְאַחֵר יִשְׁחַט אֶת הָעֹלָה 「また祭司は浄罪の供犠を捧げ自分の穢れから浄めの儀式を受ける者のため浄めるように。その後で燔祭を屠るように」を参照するように書いている。W は 3 行目からこの行の前半をレビ 16:24 の短い引用を含む節ないしその一部のパラフレーズとしている。MT レビ 16:24 は、וּרְחַץ אֶת בְּשָׂרוֹ בַּמָּקוֹם קָדוֹשׁ וְלִבְשׁ אֶת בְּגָדָיו וַיֵּצֵא וַעֲשֵׂה אֶת עֲלֹתוֹ וְאֶת עֲלֹת הָעֵם וְכִפֵּר בְּעֵדְרוֹ אַחֵר יַעֲשֵׂה אֶת הַפֶּר וְאֶת הַנְּאִיִּל וְאֶת הַכַּבְשִׂים、Col. 27:3-4a は、הָעוֹלָה כַּמִּשְׁפָּטָה עַל מִזְבַּח である。

⁽⁴²⁴⁾ Y によると同様の聖句は聖書にはない。類似聖句としては、エゼ 43:27 יַעֲשׂוּ הַכֹּהֲנִים עַל הַמִּזְבֵּחַ אֶת עוֹלוֹתֵיכֶם וְאֶת שְׁלֵמֵיכֶם וְרִצְאֹתֵי אֲתֹנֶם 「祭司たちはこの祭壇の上であなたたちの燔祭と和解の犠牲を捧げるように。そして私はあなたたちを受け入れる」、また、レビ 1:4 וְסִמַּךְ יָדוֹ עַל רֹאשׁ הָעֹלָה וְנִרְצָה לוֹ לְכַפֵּר עָלָיו 「また彼はその片手を燔祭の頭上に押し付けるように。そしてそれは彼を浄めるものとして受け入れられる」の 2 つがある。

⁽⁴²⁵⁾ W は 4 行後半からここまでを自由作文とレビ 23:31b の広範囲の逐語的引用とする。MT レビ 23:31b は、וְנִרְצָתָה הָעוֹלָה、Col. 27:4b-5a は、לְבָנֵי יִשְׂרָאֵל חֻקוֹת עוֹלָם לְדוֹרוֹתֵיהֶם である。

⁽⁴²⁶⁾ Y が יהיה としているものを Q、M と CH は והיה としている。ただし訳において、文章の分け方が異なる。Y と M は לְדוֹרוֹתֵימָה 5 で区切り、「これは(彼らの世代を通しての)⁵ 永

10 の仕事を(なしてはならない)⁹。-空白-(⁴³¹) またこの月の 15 日に(⁴³²)

Col. 28(⁴³³)

- 01 [מקרא קודש יהיה לכמה כל מלאת עבדה לוא תעשו והקרבתמה]
02 [וחגתמה חג ליהוה שבעת ימים אשי ריח ניחוח ליהוה]
03 [והקרבתמה ביום הראשון פרים בני בקר שלושה עשר]
04 [אילים שנים כבשים בני שנה ארבעה עשר תמימים יהיו]
05 [ושעיר עזים אחד לחטאת ומנחתם סולת כלולה בשמן]
06 [שלושה עשרונים בחצי ההין ונסך יין חצי ההין]
07 [לפר האחד לשלושה עשר הפרים ומנחת סולת כלולה]
08 [בשמן שני עשרונים בשילשית ההין ונסך שילשית]
09 [ההין יין לאיל האחד לשני האילים ועשרון עשרון]
010 [מנחה סולת כלולה ברביעית] ההין ונסך [רביעית]
011 [ההין יין לכבש האחד כ] כה יעשו ל[ארבעה עשר]
1 [ה]כבשים[ולשעיר מלכד עולת התמי]ז ומנח[תה]
2 המזבח אשי ר[יח ניחוח הוא ליהוה וכיום] וכיום]
3 השני פרים שנים עשר [אילים שנים כבשים ארבעה]
4 עשר ושעיר עזים אחד [לחטאת]ת [ומ]נ[חתמה ונסכ]מה
5 כמשפטמה לפרים ולא[לים] ולכבשים [ו]לשעיר אשה
6 ריח ניחוח הוא ליהוה vacat וביום השלישי

(⁴³¹) Y はこの「-空白-」の前までで贖罪の日について論じることが終わり、以降、仮庵の祭りが紹介されていると考える。W は 9 行目からここまでを自由作文とレビ 23:31a の再配列された語順による逐語的引用とする。MT レビ 23:31a は、**כל מלאכה לא תעשו**、Col. 27:9-10a は、**כול מלאכה ולוא תעשו כול מלאכה** であり、**וקדשתמה אותו לזכרון בכול מושבותי** である。

(⁴³²) W はこの行の後半をレビ 23:34b の MT ではない他の古代訳からの広範囲の逐語的引用とするが、古代訳の箇所が明記されていない。MT レビ 23:34b は、**בחמשה עשר יום לחדש**、Col. 27:10b は、**ובחמשה עשר יום לחדש הזה**、Col. 27:10b は、**ובחמשה עשר יום לחדש הזה** である。これに加え Y は、MT レビ 23:6 の **בחמשה עשר יום לחדש הזה**、また、MT 民 28:17 の **לחדש יום**、MT 民 29:12 の **בחמשה עשר יום לחדש השביעי הזה**、とも比較している。

(⁴³³) 『神殿の巻物』の他の写本との平行記事はない。Y と CH は、多少の違いはあるが、0 行を民数記 29:12-16、15:4-10 より復元している。0 行については、聖書語句の語順やヘブライ語の綴りに関して CH の方がやや優っていると考え、CH の復元を採用した。

7 [פ]רים עשתי עשר אלים שנים כבשים [א]רבעה עשר
 8 ושעיר עזים אחד לחטאת ומנחתם ונסכם כמשפט לפרים
 9 לאילים ולכבשים ולשעיר vacat וביום הר[בי]עי
 10 פרים עשר[ה] אלים שנים כבשים בני שנה ארבעה עשר
 11 ושעיר עזים אחד לחטאת ומנחתמה ונסכמה לפרים

28 欄

- 01 [あなたたちに聖なる集会となるように。あなたたちはすべての仕事をなしてはならない。]⁽⁴³⁴⁾
- 02 [また7日の間、主の祭を祝うように。主への火に焚く供犠、宥めの香り。]⁽⁴³⁵⁾
- 03 [またあなたたちは第1日に牛の群れからの13頭の若い雄牛、]⁽⁴³⁶⁾
- 04 [2匹の雄羊、14匹の傷のない1歳の子羊、(を捧げるように。)]⁰³ それらは傷がないように。]⁽⁴³⁷⁾
- 05 [また1匹の雄山羊を浄罪の供犠として。また(1/2ヒンの油と)⁰⁶ 混ざっている、それらの穀物の供物のための]
- 06 [3/10の上質の小麦粉)⁰⁵ また灌奠のためのブドウ酒 1/2ヒンを]
- 07 [13頭の若い雄牛それぞれ1頭に対して。また(1/3ヒンの油と)⁰⁸ 混ざっている穀物の供物ための]
- 08 [2/10の上質の(小麦粉)⁰⁷ また灌奠のための 1/3ヒンの]
- 09 [ブドウ酒を2匹の雄羊それぞれ1匹のために。また 1/10、1/10の]

⁽⁴³⁴⁾ Yはこの行の最後に והקרבתמה を置いている。

⁽⁴³⁵⁾ Yの元来の復元は以下のように、CHの復元の前半と後半が入れ替わっている。

אשי ריח נחוןח ליהוה וחגתמה חג ליהוה שבעת ימים

⁽⁴³⁶⁾ Yは最初の動詞を תם [והקרבת] とするが、01行の最後の והקרבתמה を考えるとCHの復元が正しいと思われる。しかし、CHは次の行の最初に置く אילים を אלים と綴りこの行の最後に置く。この綴りの違いは復元テキスト以外でも起こっている。9行、10行を参照。よって必ずしもYが תם [והקרבת] と綴っても間違っているとは言えない。だが01行をY自身も והקרבתמה としているのなら、何故ここを変えるのか説明が必要と思われる。CHは וחגתמה から以下の文章を前半に移すことで同じ動詞の重複を避けている。

⁽⁴³⁷⁾ Yは אלים を前の行の最後に持ってゆく。

010 [1/4 ヒンの(油と)混ざっている穀物の供物ための上質の小麦粉。また灌奠のための
1/4]⁽⁴³⁸⁾

011 [ヒンのブドウ酒をそれぞれの1匹の雄の子羊のために。このように14匹の]⁽⁴³⁹⁾

- 1 雄の子羊のために[また雄山羊のために、常]供の[燔祭の他に](行うように)⁰¹¹。また[その]穀物の供[物とその灌奠はすべて、]⁽⁴⁴⁰⁾
- 2 祭壇の上で¹火に焚く供犠、[それは主への宥めの香]りとなる。[-空白-⁽⁴⁴¹⁾ また第]
- 3 2(日)²に雄牛12頭、[雄羊2匹⁽⁴⁴²⁾、雄の子羊]1[4]⁽⁴⁴³⁾
- 4 匹また雄山羊1匹を[浄罪の供]犠として、[またそれらの穀物の供]物とそれらの[灌奠は]
- 5 それらの規定に従って(捧げるように)⁽⁴⁴⁴⁾。雄牛、雄[羊]、雄の子羊[と]雄山羊は⁽⁴⁴⁵⁾

⁽⁴³⁸⁾ QとMはこの行以下、0行を復元。ただし010ではなく01、02となる。QはYやCHと同じだが、Mは、[...]ההין ונסך[...]だけを復元。

⁽⁴³⁹⁾ QはYやCHとほぼ同じだが、ככה と האחד の間に「-空白-」を入れる。Mはככה[...] [...]לעשו のみを復元。

⁽⁴⁴⁰⁾ この行はYの注から復元した。התמים ולשעיר מלבד עולת התמים ומנחתה。ונסכה הכול על [ה]כבשים]。QとCHの復元は、ほぼYの注と同であるが、ונסכה の後の הכול を欠く。Mは、[...]ומנחתה ונסכה [...] [...]לעו のみを復元。

⁽⁴⁴¹⁾ CHはこの「-空白-」を新しき日の始まりを示唆するものとして意図的に入れられたと理解している。

⁽⁴⁴²⁾ Wは2行目の終わりからここまでを、民29:17aの著しい削除による逐語的引用とする。MT民29:17aは、עשר בני בקר שנים עשר、Col. 28:2b-3aは、[וביום] השני עשר בני בקר שנים עשר である。

⁽⁴⁴³⁾ 民29:17を基としてこの行は復元されているが、Yは11Q19の第1日目の命令で基本的な詳細がすでに語られたとして、著者が意図的に פרים の後の בני בקר を削除したとする。

⁽⁴⁴⁴⁾ Wは4行目からここまでを民29:17bの著しい削除による逐語的引用と民29:19aの広範囲の逐語的引用および民29:6aの広範囲の逐語的引用とする。MT民29:17bは、עשר תמימים、MT民29:19aは、ושעיר עזים אחד הטאת、MT民29:6aは、ומנחתה ונסכיהם כמשפטם、Col. 28:4-5aは、עשר ושעיר עזים אחד [לחטאת] [ומנחתמה ונסכה] כמשפטמה。

⁽⁴⁴⁵⁾ Q、M、CHはYの復元にある לשעיר の前の[ן]を除く。Yのヘブライ語版(以下H版)は[ן]を挿入していないのであるが、後に出された英語版(以下E版)では挿入している。Qは写真の参照により[ן]の余白はないと主張する。

- 6 火に焚く供犠、それは主への宥めの香りとなる⁽⁴⁴⁶⁾。-空白- また第3日に
- 7 雄牛 11 頭、雄羊 2 匹、子羊 14 匹⁽⁴⁴⁷⁾
- 8 また雄山羊 1 匹を浄罪の供犠として⁽⁴⁴⁸⁾、またそれらの穀物の供物とそれらの灌奠、
- 9 雄牛、雄羊、雄の子羊と雄山羊は((規定に従って(捧げるように))⁸⁽⁴⁴⁹⁾。-空白- また第4日に
- 10 [雄]牛 10 頭、雄羊 2 匹、1 歳の雄の子羊を 14[匹]⁽⁴⁵⁰⁾
- 11 また雄山羊 1 匹を浄罪の供犠として、またそれらの穀物の供物とそれらの灌奠、雄牛⁽⁴⁵¹⁾

⁽⁴⁴⁶⁾ W は 5 行目の後半からここまでを民 29:18a の広範囲の逐語的引用と自由作文、および民 29:6b の再配列された語順による逐語的引用とする。MT 民 29:18a は、**לפרים לאילם ולכבשים**、MT 民 29:6b は、**לריח ניחח אשה ליהוה**、Col. 28:5b–6a は、**לפרים ולאילם]** **ריח ניחח אשה הוא ליהוה ולכבשים** である。

⁽⁴⁴⁷⁾ W は 6 行目の後半からここまでを民 29:20 の著しい削除による逐語的引用とする。MT 民 29:20 は、**וביום השלישי פרים עשתי עשר אילם שנים כבשם בני שנה ארבעה עשר**、TmNmZ、Col. 28:6b–7 は、**וביום [א]רבעה עשר השלישי [פ]רים עשתי עשר אלים שנים**、**כבשם בני שנה** である。

⁽⁴⁴⁸⁾ CH は MT 民 29:22a の **ושעיר חטאת אחד** と古代訳を比較。SamP は、**ושעיר עזים אחד**、**לחטאת**、ペシッタは **והשעיר האחד מה אגלז שלב נהמה**、LXX は **καὶ χίμαρον ἕξ αἰγῶν ἕνα περὶ ἀμαρτίας**、NFT は、**וצפיר בר עזין לחטאתה** である。CH は、ウルガタの *et hircum pro peccato* を引用。だが *unum* 「1 匹」を入れないと他の古代語との比較にならない。ウルガタには「1 匹」が欠如している。CH は、この欄の 4 行と比較することを勧めている。結果この行はウルガタを除く他の古代訳との類似が見られる。W も、ここを民 29:22a の MT ではない他の古代訳からの広範囲の逐語的引用としている。

⁽⁴⁴⁹⁾ W は 8 行目の後半からここまでを、民 29:21 の再配列された語順による逐語的引用と自由作文とする。MT 民 29:21 は、**ומנחתם ונסכיהם לפרים לאילם ולכבשים**、**במספרם ומנחתם ונסכם כמשפט לפרים לאילים ולכבשים ולשעיר**、Col. 28:8b–9a は、**ומנחתם ונסכיהם לפרים לאילם ולכבשים ולשעיר** である。

⁽⁴⁵⁰⁾ W は 9 行目の後半からここまでを民 29:23 の著しい削除による逐語的引用とする。MT 民 29:23 は、**וביום הרביעי פרים עשרה אילם שנים כבשים בני שנה ארבעה עשר**、TmNmZ、Col. 28:9b–10 は、**וביום הר[בין]עי פרים עשר[ה] אלים שנים כבשים בני שנה ארבעה**、**עשר** となっている。

⁽⁴⁵¹⁾ W はこの行を民 29:25a の広範囲の逐語的引用と、民 29:24a の広範囲の逐語的引用とする。MT 民 29:25a は **ושעיר עזים אחד חטאת**、MT 民 29:24a は **ומנחתם ונסכיהם לפרים**、Col. 28:11 は **ושעיר עזים אחד לחטאת מנחתמה ונסכמה לפרים** である。

- 01 [ולאילים ולכבשים ולשעיר כמשפט *vacat* וביום החמישי]
- 02 [פרים תעשה אילים שנים כבשים ארבעה עשר ושעיר עזים]
- 03 [אחד לחטאת ומנחתמה ונסכמה כמשפט לפרים לאילים]
- 04 [ולכבשים ולשעיר *vacat* וביום הששי פרים שמונה]
- 05 [אילים שנים כבשים ארבעה עשר ושעיר עזים אחד לחטאת]
- 06 [ומנחתמה ונסכמה כמשפט לפרים לאילים ולכבשים ולשעיר]
- 07 [*vacat* וביום השיבעי פרים שבעה אילים שנים כבשים]
- 08 [ארבעה עשר ושעיר עזים אחד לחטאת ומנחתמה ונסכמה]
- 09 [כמשפט לפרים לאילים ולכבשים ולשעיר *vacat* וביום]
- 010 [השמיני עצרת תהיה לכמה כול] מל[א]כ[ת עבודה לוא]
- 011 [תעשו והקרבתמה לי עולה אשה ריח ניחוח ליהוה פר אחד איל]
- 012 [אחד וכב]שים שב[עה ושעיר חטאת אחד ומנחתמה]
- 1 ונסכ[מה] לפר לאיל ולכבשים ולשעיר כמשפטמה]
- 2 אלה [תעשו ליהוה במועדיכמה [
- 3 לעלותיכמה ולנסככמה] [בבית אשר א[שכין]
- 4 שמי עליו] [עולות [דבר יום] ביומו כתורת המשפט הזה
- 5 תמיד מאת בני ישראל לבד מנדבותמה לכול אשר יקריבו
- 6 לכול נסכיהמה ולכול מתנותמה אשר יביאו לי לרצון לה[מה]
- 7 ורציתים והיו לי לעם ואנוכי אהיה להם לעולם ו[שכנתי
- 8 אתמה לעולם ועד ואקדשה [את מ]קדשי בכבודי אשר אשכין
- 9 עליו את כבודי עד יום הברכה אשר אברא אני את מקדשי
- 10 להכינו לי כול הימים כברית אשר כרתי עם יעקוב בבית אל

29 欄

- 01 [雄羊、雄の子羊と山羊は規定に従って(捧げるように) -空白- また第5日に]
- 02 [雄牛9頭、雄羊2匹、雄の子羊を14匹、また雄山羊]
- 03 [1匹を浄罪の供犠として、またそれらの穀物の供物とそれらの灌奠、雄牛、雄羊、]
- 04 [雄の子羊と山羊は((規定に従って(捧げるように))⁰³ -空白- また第6日に雄牛8頭、]

⁽⁴⁵²⁾ ここも『神殿の巻物』の他の写本との平行記事はない。Y と CH は多少の違いはあるが、0 行を民数記 29:25-37 を基に復元している。0 行目 CH の復元を採用した。

- 05 [雄羊 2 匹、雄の子羊を 14 匹、また雄山羊 1 匹を浄罪の供犠として、]
- 06 [またそれらの穀物の供物とそれらの灌奠、雄牛、雄羊、雄の子羊と山羊は規定に従って(捧げるように)。]
- 07 [-空白- また第 7 日に雄牛 7 頭、雄羊 2 匹、雄の子羊を]
- 08 [14 匹、また雄山羊 1 匹を浄罪の供犠として、またそれらの穀物の供物とそれらの灌奠、]⁽⁴⁵³⁾
- 09 [雄牛、雄羊、雄の子羊と山羊は規定に従って(捧げるように)。 -空白- また第]
- 010 [8 日にはあなたたちに祝会があるように。すべての]なす[べ]き[仕事]⁽⁴⁵⁴⁾
- 011 [行ってはならない。主への火に焚く供犠、宥めの香り、燔祭を私に捧げるように。雄牛 1 頭、雄羊]⁽⁴⁵⁵⁾
- 012 [1 匹、雄の子]羊を 7[匹、また山羊 1 匹を浄罪の供犠として、またそれらの穀物の供物]⁽⁴⁵⁶⁾
- 1 と[それらの]灌奠、[雄牛、雄羊、雄の子羊と山羊は規定に従って(捧げるように)。]⁽⁴⁵⁷⁾
- 2 これらを[あなたたちの定められた祭に於いて、主のために行うように。]⁽⁴⁵⁸⁾

⁽⁴⁵³⁾ CH の復元における、「それらの灌奠」という語のヘブライ語の綴り ונסכמה は誤植。正しくは ונסכמה。

⁽⁴⁵⁴⁾ Q と M は מלא[א]כת[ת] のみ復元。

⁽⁴⁵⁵⁾ Y は לוא תעשו の後に בו を挿入する。これは LXX 民 29:35 の οὐ ποιήσετε ἐν αὐτῇ に従ったもの。

⁽⁴⁵⁶⁾ CH の復元における、「それらの穀物の捧げ物」という語のヘブライ語の綴り ומנחתמה は誤植。正しくは ומנחתמה。また Q と M は [כב]שים שב[עה] のみ復元。

⁽⁴⁵⁷⁾ Q の 1996 年版と CH はこの行の最後に vacat 「-空白-」を挿入するが、Q の 2010 年版では vacat 「-空白-」を削除している。M は ונסכמה のみ復元。

⁽⁴⁵⁸⁾ Q と CH は、[מועדרי יהוה אשר תקראו אותמה מקראי קודש] אלה 「これらは[あなた方が彼らを招くところの主の諸祭日、聖なる諸集]」と復元しているが、Q は 2010 年版では、[מועדרי יהוה אשר תקראו אותמה לכול בני ישראל] אלה 「これらは[全てのイスラエルの子らために、あなたが断食する聖なる諸集会、主の諸祭日]」と復元し直している。M は [...] אלה のみ復元。

- 8 私は代々限りなく彼らと共に(住み)⁷⁽⁴⁶⁶⁾、私の栄光により、私の神殿を聖別する。
 9 その上に私の栄光を、私が神殿を創造する祝福の日⁽⁴⁶⁷⁾まで(住まわせる)⁸。
 10 私がベテルでヤコブと結んだ契約に従って、すべての日々、私自身のためにそれを確立する。

Col. 30

	[ואקדש(?)]	1
	[2
	[עשות ועשין]תה	3
י	[בבית אשר תבנה]	4 למעלות מס]בה
	ועשין]תה את מסבה צפון להיכל בית מרובע	5 עלי]ם
	מפנה אל פנה עשרים באמה לעומת ארבע פנותיו ורחוק מקיר	6
	ה]היכל שבע אמות במערב צפונו ועשיתה רוחב קירו ארבע	7
	[כהיכל ותוכו ממקצוע אל מקצוע	8 אמות]
	שתים עשו]ה באמה ועמוד בתוך באמצעו מרובע רוחבו ארבע	9
	[ת אשר מסביב עולה מעלות א]	10 אמות ל]כול רוחותיו]

30 欄

- 1 []また私は聖別しよう。 []⁽⁴⁶⁸⁾
 2 []⁽⁴⁶⁹⁾

⁽⁴⁶⁶⁾ W は 7 行後半からここまでをエゼ 37:23 の広範囲の逐語的引用と自由作文とする。MT エゼ 37:23 は、**והיו לי לעם ואני אהיה להם לאלהים**、Col. 29:7b-8a は、**והיו לי לעם**、**ואננכי אהיה להם לעולם** [ו]שכנתי אתמה לעולם ועד となっている。

⁽⁴⁶⁷⁾ Q、CH と M は **יום הבריה** 「創造の日」と復元。Y もその可能性を示唆している。

⁽⁴⁶⁸⁾ Y はこの行が Col. 29:8 に類似していることを指摘。**ואקדש [את מ]קדשי בכבדי** 「私は、私の栄光により、私の[神]殿[を]聖別する」を復元の可能性として上げている。M の復元は Y と同じ。Q の 1996 年版と CH は、**[תי ואקדש]** と復元したが、Q は 2010 年版では **[תי ואקדשה]** と復元している。MR はその著書 *The House of the Lord* で、Col. 24:28 に **ואקדשה** があり、前の 27 に **ושכנתי** があることから、この行を以下のごとく復元している。**[תי ושכנתי]** **ואקדש** 「私は[住み]そして聖別する[]」。

⁽⁴⁶⁹⁾ Q と CH は、**[מל]°** と復元している。

10 アンマ、[]周りの上への階段は(螺旋状に)⁽⁴⁷⁷⁾。[]

Col. 31

- 1] ת
- 2] השער
- 3] הoooooooooooo
- 4] הכוהן המשנה
- 5] אֵל בְּיָתָא vacat הכוהן הג'דול
- 6] ובעלית הב[ית הזה תעשה שע]ך פתוח לגג ההיכל וד'ך עשוי
- 7] בשער הזה {א}לפתח] גג(?) ה[היכל אשר יהיו באים בו לעלית ההיכל
- 8] כו]ל בית המסכה הזואת צפו זהב קירותיו ושע'ריו וגגו מבית
- 9] ומ]בחון ועמודו ומעלותיו ועשה ככול אשר אנוכי מדבר אליכה
- 10] ועשיתה בית לכיור נגב מזרח מרובע לכול רוחותיו אחת ועשרים
- 11] אמה ר'חוק' מהמזבח חמשים אמה ורחב הק[ן]י'ך שלוש אמות וגבה
- 12] [ע] שרים *מה] [ושערים עשו לה מהמזרח ומהצפון
- 13] ומהמערב ור'חב השערים ארבע אמות וגובהמה שבע

31 欄

11Q20 VIII と平行している。

- 1 []
- 2 []門
- 3 []⁽⁴⁷⁸⁾
- 4 []第2の祭司
- 5 その家に⁽⁴⁷⁹⁾[]大]祭司 -空白-

⁽⁴⁷⁷⁾ (螺旋状に)は Y の英訳による挿入。Q、CH と M は **אמות לכול רוחותיו ורוחב המסכה** 「アンマそれぞれの側面に。また螺旋階段と上への階段の幅は 4[ア]ンマ」と復元。

⁽⁴⁷⁸⁾ Q の 1996 年版、CH と M は **שמון המשיחה** 「注ぎの油」と復元しているが、Q は 2010 年版では **שמון המשוחה** 「注ぎの油」と復元している。MR は **הכוהן המשיח** 「油注がれた祭司」と復元している。

⁽⁴⁷⁹⁾ Q、CH と M は、Y が復元している **אל בית** を欠く。

- 6 また、[この家]の階上の部屋に、[あなたは門を作るように、]本殿の屋根を開き、造られた道が、
- 7 この門により本殿[の屋根の]入口{へ}⁽⁴⁸⁰⁾。それで本殿の階上の部屋に来るものがあるように。
- 8 [すべ]て、この螺旋状通路の家は金で覆え。その壁、その門、その屋根の内⁽⁴⁸¹⁾
- 9 [と]外⁽⁴⁸²⁾、その柱、その階段も。また私があなたに語るすべてのように行え⁽⁴⁸³⁾。
- 10 またあなたは洗盤のために南東に家を正方形に作るように。すべてその四方に対して
- 21
- 11 アンマ。祭壇からの距離は50アンマ。壁の幅は3アンマ。高さ⁽⁴⁸⁴⁾
- 12 [2]0⁽⁴⁸⁵⁾ンマ。[]⁽⁴⁸⁶⁾それに対し門を作れ。一方は東から、一方は北から、
- 13 一方は西から。門の幅⁽⁴⁸⁷⁾は4アンマ。それらの高さは7

Col. 32

[שלוש אמות	[1
[]ooooooooo[2
[]ooooooo[3
[]ooooooooooooooooo[4
[עש	ooooooooהooo[5

⁽⁴⁸⁰⁾ CH は Y が復元している לפתח {א} לפרור 「柱廊へ」と復元している。Q、M と MR は לפרור {א} と復元している。

⁽⁴⁸¹⁾ M は鍵括弧の位置が異なる כול [כ]。Q と CH は、Y と M のから鍵括弧を除き、כול とする。

⁽⁴⁸²⁾ Y が ומן בחץ [ו] と復元しているのに対し、Q、CH と M は ון מחץ [ו] とする。

⁽⁴⁸³⁾ Y は H 版では ועשית [ת] としているが、E 版では Q、CH と M と同じく ועשה としている。

⁽⁴⁸⁴⁾ Y が ונבה と復元しているのに対し、Q、CH と M は ונבהו その高さ、とする。

⁽⁴⁸⁵⁾ Y は写字者が最初 מה と書き、その後で ה の上に א を書いたとする。

⁽⁴⁸⁶⁾ Q、CH と M は [] の中に ושלוש vacat? と復元し、その後 Y が ושערים と復元しているものを שערים と復元している。MR は שלוש הערים [] と復元している。

⁽⁴⁸⁷⁾ Q の 1996 年版と M は Y が וריחב と復元しているものを ריחב と復元している。CH は רחב として Q が ריחב としながらも Y の可能性も受け入れていることを紹介し、TSCT では רוחב と復元している。よって Q は 2010 年版では וריחב と復元し直している。

- 6 [אֲשַׁמְתֶם לְכַפֵּר עַל הָעַם וּבְעִלּוֹת]ם]
- 7] לְכַסּוּם וְלִהְיוֹתֵיכֶם עַל הַמִּזְבֵּחַ
- 8 העוֹלָה] וְעִשִׂיתֶם[ה] (?) בְּקִיר הַבַּיִת
- 9] הַזֶּה בְּתַיִם (?) פְּנֵי־מֶה וּבְתוֹכֶיהָ] [ב]אִמָּה וּגְבוּהָ
- 10 מִן הָאָרֶץ אַרְבַּע אַמּוֹת] [מְצוּפוֹת זָהָב] אֲשֶׁר יִהְיוּ מְנִיחִים [ש]ם עֲלֵיהֶם
- 11] אֶת בְּגָדֵיהֶם אֲשֶׁר יִהְיוּ בָאֵי־ם [בָּה]ם לְמַעַל מֵעַל לְבַיִת הָאֵל
- 12] כְּבוֹאָם לְשֵׁרֶת בְּקוֹדֶשׁ [ו]עֲשִׂיתָהּ תַּעֲלֶהּ סָבִיב לְכִיּוֹר אֶצֶל בֵּיתוֹ וְהִתְעַלְתָּהּ
- 13] הַזֹּלָכֶת [מִבַּיִת] הַכִּיּוֹר לְמַחֲלָה יִזְרָדֶת [וּפּוֹשֵׁט]ת אֶל תּוֹךְ הָאָרֶץ אֲשֶׁר
- 14] יִהְיוּ הַמַּיִם נִשְׁפָּכִים וְהוֹלְכִים אֶלֶּיָּהּ וְאוֹבְדִים בְּתוֹךְ הָאָרֶץ וְלוֹא
- 15] יִהְיֶה נֹגְעִים בָּהֶם כּוֹל אָדָם כִּי מִדָּם הָעוֹלָה מֵתַעֲרֵב בָּהֶם

32 欄

11Q20 IX と平行している。

1 3 アンマ

2

3 (488)

4 (489)

5 (490) []

6]彼らの罪責、民を浄めるために、また[彼らの]燔祭で⁽⁴⁹¹⁾。

7 [] (燔[祭])⁸の祭壇上で焼いて煙にするため⁽⁴⁹²⁾

⁽⁴⁸⁸⁾ Q、CH、M と MR は、]שלוש[「3]」と復元。

⁽⁴⁸⁹⁾ Q、CH、M と MR は、]יהמה[「彼らの[」と復元。

⁽⁴⁹⁰⁾ Q、CH、M と MR は、]מה למזבח עשן[「祭壇に[」と復元。

⁽⁴⁹¹⁾ Y は、And when [they] sacrifice 「また彼らが[犠牲]を捧げる時」と訳し、M と MR は and when [they] go up 「また[彼ら]が登る時」としている。これらは]ובעלות[の、可能性のある訳である。

⁽⁴⁹²⁾ CH、M と MR は、]למנחתם ולהקטיר על המזבח[「彼らの穀物の[捧げ物]をまた祭壇の上で焼いて煙にすること[」。Q は、]למנחתם ולהקטיר על המזבח[「[祭司たち]彼らの穀物の[捧げ物]をまた祭壇の上で焼いて煙にすること」と復元している。

- 8 [][あな]たは(この)⁹家の壁に⁽⁴⁹³⁾
- 9 空[間]を(作るように)⁸。[内]側に、またその中において[]幅 1 アンマ[で]。またそれらの高さ⁽⁴⁹⁴⁾
- 10 地からは 4 アン[マ]。そ[こ]の上に置く「べ」きものは、金で「覆われている」。
- 11 彼らが神殿の上方に[来る時に、]⁽⁴⁹⁵⁾身につける衣服を[]⁽⁴⁹⁶⁾
- 12 聖所で奉仕するため彼らが来る時⁽⁴⁹⁷⁾。[また]あなたは家の傍らにある洗盤の周りに溝を作るように。また[その]溝は⁽⁴⁹⁸⁾

⁽⁴⁹³⁾ M は、**העול[ה]...רות...בקר הבית** 「燔[祭...]の...この家の壁に」と復元し、Q と CH は、**רות [העול]ה** 「燔[祭]の この家の壁に」と復元。MR は、**רות[]ה...ועשית[?]ה** 「燔[祭]の.....またあなたは家の壁に を作るように(?)」と復元。(?) は MR の挿入。

⁽⁴⁹⁴⁾ Q、M と MR は、**אמה לאמה ומצ[] מן []אמה וגובהמה** 「この建物⁸ []1 アンマに対して 1 アンマそして []から []アンマそれらの高さ」と復元。CH もこれらと殆ど同じであるが、最初の欠落のみ Y に従い、**בתנים** とする、つまり「この家の⁸ 空[間]1 アンマに対して 1 アンマそして []から []アンマそれらの高さ」と復元している。

⁽⁴⁹⁵⁾ W は 10 行後半からここまでを、エゼ 43:14 の引用なしのパラフレーズと自由作文とする。しかし、これは W の誤記であり、実際はエゼ 42:14 である。MT エゼ 42:14 は **והיו מניחים [ש]ם עליהמה את בגדיהמה אשר ישרתו בהן** である。

⁽⁴⁹⁶⁾ Q と CH は、**את בגדיהמה אשר יהיו באים אל[יה]ם למעלה מעל בית הכיור** 「彼らが洗[盤]の家の上方のそ[れら] (の所)に来る時に、着る衣服を」と復元。M もこれらと殆ど同じだが、最後の欠落の洗盤にあたる部分を復元せず。MR は Y に近いが、最後が異なる。Y は **לבית המן** であるが、MR は **לבית הן** である。

⁽⁴⁹⁷⁾ W は 11 行後半からここまでを出 28:42 の引用なしのパラフレーズと自由作文とするが、ここも誤記。Y も同様に間違っている。実際は出 28:43。MT 出 28:43 は、**בבואם אל אהל למעלה מעל לבית המן** である。Col. 32:11b-12a は、**מועד או בגשתם אל המזבח לשרת בקודש** である。

⁽⁴⁹⁸⁾ Q の 1996 年版と、CH、M と MR は、**מזבח העולה אצל** 以降を **מזבח העולה** とする。つまりこの行の訳は、「神殿で奉仕するため彼らが来る時。またあなたは燔祭の祭壇の傍らにある洗盤の周りに溝を作るように」である。しかし Q は 2010 年版では **אצל מכונתו** 「台座の傍ら」とする。

- 13 洗盤の[家から]来て穴に落ち、大地の中に[広が]る。つまり⁽⁴⁹⁹⁾
 14 その水は注ぎ出され、その内を通り、大地の中に失われてゆく。また
 15 すべての者は、それらに触れてはならない。実に燔祭の血がそれに混じっているからである。

Col. 33

[]	ים באים	[]	1
[]	זבעת אשר	[]	2
[]	מם ואת	[]	3
[]	אשר עליהמה ומני חים	[]	4
[]	לכיון [] ומשום	[]	5
[]	ם אליהמה (?) והיוצאים מהמה אל	[]	6
[]	יהי מקדשים את עמי בבגדי הקודש אשר	[]	7
		vacat ועשיתמה בית למזבח בית ה[כ]יון[ר] כמדת [בית הכיור			8
		9 [ו]ר[ח]וק קירו מק[י]רו שבע אמות ו[כ]ול בנינו ומקרותיו כבית הכיור			9
		10 ושנים שערים לו מצפוננו ומדרומו זה נוכח זה כמדת שער[י] בית			10
		11 הכיור וכול הבית הזה כולו קירו עשוי חלונים פנימה אטומים			11
		12 שתי אמות רוחבמה בשתי אמות וגובהמה ארבע אמות			12
		13 מדולתים בתים לכלי המזבח למזרקים ולקשואי ¹¹ ולמחתות			13
		14 ולכוננות הכסף אשר יהיו מעלים במה את הקרבים ואת			14
		15 ה'גלים על המזבח vacat ובכלותמה לקטי'ד			15

33 欄

- 1 []彼らは来る。[]⁽⁵⁰⁰⁾
 2 []またその時に[]

⁽⁴⁹⁹⁾ Q、CHとMは、**אל תוך הארץ אשר**、**הולכת לנתחת הכיור ומחלה יורדת למטה**、**洗盤の下へ行き、そして穴の下方へ落ち、大地の中へ。つまり**と復元。MR もこれに近いが最初の欠落部分を **לנתחת**とも **מבית**とも復元していない。

⁽⁵⁰⁰⁾ Q の1996年版、CHとMRは、**ים באים** []と復元。しかしQの2010年版は、**ים באים** []と復元し直している。

- 3 []また[]⁽⁵⁰¹⁾
4 []その上に。また置かれるべき[]
5 []洗盤の家そして[]洗盤[]⁽⁵⁰²⁾
6 []彼らへ(?)またそれらから出て へ[]⁽⁵⁰³⁾
7 私の民を聖別(しない)ように。聖なる衣服によって。即ち[]⁽⁵⁰⁴⁾
8 -空白- またあなたは[洗]盤[の]家の東に家を作るように。洗[盤の家]の寸法に従って
(505)。
9 [また]その壁から壁[の]距離は 7 アンマ。またす[べ]てのその建物とその天井は洗盤の
家に従って⁽⁵⁰⁶⁾。
10 また 2 つの門がそれとあり、1 つは北にもう 1 つは南に、これとこれは向き合っ
てる。(洗盤)¹¹の家[の]門の寸法に従って⁽⁵⁰⁷⁾。
11 またすべてこの家は、すべての壁に窓が作られ、内側で閉じられている⁽⁵⁰⁸⁾。

⁽⁵⁰¹⁾ Q、M、CH と MR は、] וּמִם וְאֵת [と復元。

⁽⁵⁰²⁾ Q と CH は] בִּינְתָהּ הַכִּיּוֹר וּמִן [] מַם לְכִיּוֹר [と復元。M は、] וּמִן [...] מַם [と復元。] לְכִיּוֹר []と復元。

⁽⁵⁰³⁾ Q の 1996 年版、M、CH と MR は、] יִהְיוּ בְּאֵימָם אֶל הַכִּיּוֹר וַיּוֹצְאִים בְּהֵמָה אֶל-הַחֲצָר [] וְלִוּאֵי הַתִּיכּוּנָה וְלִוּאֵי] 洗盤に[来る者]ら。またそれらにより [中庭]へ出る者ら[があるように]。「また しないように」と復元。しかし、Q は 2010 年版では初めの部分を] יִהְיוּ בְּאֵימָם אֶל בֵּית [] הַכִּיּוֹר] としており、] אֶל הַכִּיּוֹר [] 間に] בֵּית [] を挿入している。

⁽⁵⁰⁴⁾ Q と CH は、] יִהְיוּ מִקְדָּשִׁים אֵת הַשַּׁעַר בְּבִגְדֵי הַקֹּדֶשׁ אֲשֶׁר יִשְׁרְתוּ בְּהֵמָה [] と復元。前節からの続きとして訳すと、「[彼らがそれらによって仕える]聖なる衣服によって門を聖別しないように」。M と MR は、] יִהְיוּ מִקְדָּשִׁים אֵת עַמֵּי בְּבִגְדֵי הַקֹּדֶשׁ אֲשֶׁר יִשְׁרְתוּ [] בְּהֵמָה] と復元。これも前節からの続きとして訳すと、「[彼らがそれらによって仕える]聖なる衣服によって私の民を聖別しないように」となる。

⁽⁵⁰⁵⁾ 復元箇所が少し違うところはあるが、Y、Q、M、CH と MR の文章は同じ。

⁽⁵⁰⁶⁾ Q、M、CH と MR は Y にある最初の] וּ [] を欠く。また、Y の] וּלְ בְּנֵינָו [] を、Q のみ] וּלְ בְּנֵינָו [] と復元。

⁽⁵⁰⁷⁾ Q、CH と MR は、Y と M の] שֵׁעַר שַׁעַר [] שַׁעַר] として復元。Q は両方の可能性を示唆。「洗盤の家の門の寸法に従って」。Col. 31:13 によると 4×7 アンマ。

⁽⁵⁰⁸⁾ 原文は、] חֲלוֹנִים פְּנִימָה אֲטוּמִים [] 。Y と MR によると、似た表現として、王上 6:4 の] חֲלוֹנֵי הַמַּדְבָּא [] 「格子窓」(岩波訳)、エゼ 40:16 の] חֲלוֹנוֹת אֲטֻמּוֹת [] 「隠し窓」(岩波訳)がある。したがって MR は、] חֲלוֹנִים אֲטוּמִים [] を聖書的表現とする。LXX では θυρίδες κρυπταί

- 12 その幅は2 アンマ、(深さ)2 アンマ、またその高さは4 アンマ。
 13 それらには扉⁽⁵⁰⁹⁾があり、祭壇の諸器具のための数々の家となる。それらは小皿、鉢⁽⁵¹⁰⁾、
 火皿、
 14 銀の柄杓⁽⁵¹¹⁾。これにより内臓や足を(祭壇の上)¹⁵にもたらす。
 15 -空白- 彼らが焼いて煙にすることを終える時。

Col. 34

[נִיִּם (?) בלוח נחושת] 1
[ובין העמוד לעמוד] 2
[אשר בין העמודים] 3
[ים אל בין הגלגלים] 4
[ים וסוגרים את הגלגלים וא] 5
6	ואוסרים את ראשי הפרים אל הטבעות ו	בטבעות
7	אחר יהיו טובחים אותמה ויהיו כונסים א	את הדם במזרקות
8	וזורקים אותו על יסוד המזבח סביב	vacat ופותחים
9	את הגלגלים ופושטים את עורות הפרים	מעל לבשרמה ומנתחים
10	אותמה לנתחיהמה ומולחים את הנתחים	במלח ומרחצים את
11	הקרבים ואת הכרעים ומולחים	במלח ומקטירים אותמה על
12	האש אשר על המזבח פר ופר ונתחיו	אצלו ומנחת סולתו עליו
13	ויין נסכו אצלו וממנו עליו והקטירו	הכוהנים בני אהרון את הכול
14	על המזבח אשה ריח ניחוח לפני	יהוה vacat

「隠し窓」である。これを MR は Y の訳と同じ、blocked windows 「閉じられた窓」と理解している。The House of the Lord, p. 34 参照。

⁽⁵⁰⁹⁾ 原文は、**מדרולתים**。これは hapax legomennon である。Y が主張するように **דלת** 「扉」と関係することは明らか。Y および MR は、**בתים** = **חלונים** **אטומים** とする。Y は、**מדרולתים** を窓を閉じるための蓋と見て、And they(shall) have doors と訳す。The DSS Concordance は、to be opened と翻訳しているが、Y の have doors、CH の **מדרולתים** を双数形とみなした with double doors と、M の with doors や MR のような It shall have doors の方が、文章の前後関係から見て妥当性がある。ちなみに TDOCH は have doors と訳している。よってここでは窓が複数であることも含め、Y の訳に従った。

⁽⁵¹⁰⁾ CH と M は Y と同じく **לקשוואי** と復元しているが、Q と MR は **לקשווא** と復元。

⁽⁵¹¹⁾ M. G. Abegg, Jr. with E. B. James, and M. C. Edward, in consultation with T. Emanuel, *The Dead Sea Scrolls Concordance: The Non-Biblical Texts from Qumran*, Vol. 2, Leiden: Brill, 2003, p. 369.

34 欄

- 1 [青]銅の板で。 []⁽⁵¹²⁾
- 2 []また柱と柱の間。 []
- 3 []柱と柱の間にある []
- 4 []車輪との間 []⁽⁵¹³⁾
- 5 []また車輪を閉じ、そして []⁽⁵¹⁴⁾
- 6 また雄牛の頭を輪に括り付け、また []輪に⁽⁵¹⁵⁾
- 7 後にそれらを屠るように。また[その血を]小皿に集めるように⁽⁵¹⁶⁾。
- 8 またそれを祭壇の周囲の基に打ち掛けるように⁽⁵¹⁷⁾。また -空白- 彼らは(車輪を)⁹開けるように⁽⁵¹⁸⁾
- 9 また雄牛の皮をその肉の上から剥ぎ、また⁽⁵¹⁹⁾、

⁽⁵¹²⁾ Q、CH と MR は בלוח נחונשת פים מצון「青]銅の板で覆われ[ている」と復元。M は、בלוח נחונשת פים [と復元。

⁽⁵¹³⁾ Q、CH と MR は、[ומביאים את] הפרים אל תוך הגלגלים「[また彼らは]雄牛を車輪の中に[連れて来るように]」と復元。M は、הפרים אל תוך הגלגלים と復元。

⁽⁵¹⁴⁾ Y は脚注において、最初の ים []を[ופותחים]「また開ける」と復元。Q、CH、M と MR は、את הגלגלים וסוגרים את הגלגלים「[車]輪また車輪を閉じ、そして[]」と復元。

⁽⁵¹⁵⁾ Q、CH、M と MR は、Y が ראשי הפרים「雄牛の頭」としているところを קרני הפרים「雄牛の角」と復元している。

⁽⁵¹⁶⁾ Y が את כול הדם「[血を]」と復元している部分は、M は Y と同じ。Q と CH は את כול הדם「[すべての血]を」と復元。MR は意味は同じながら את כול הדם と復元。

⁽⁵¹⁷⁾ W はこの行の前半をレビ 1:5b の広範囲の逐語的引用とする。MT レビ 1:5b は、וורקו וזורקים אותו על יסוד המזבח סביב את הדם על המזבח סביב、Col. 34:8a は、וורקו וזורקים אותו על יסוד המזבח סביב、Col. 34:8a は、

⁽⁵¹⁸⁾ レビ 1:5 参照。בני אהרן הכהנים את הדם וזרקו את הדם על המזבח סביב והקריבו「またアロンの子らである祭司達は、その血を捧げるように。またその血を祭壇の周囲に打ち掛けるように」。

⁽⁵¹⁹⁾ Q、CH と MR は、את הגלגלים ומפשיטים את עורות הפרים מעל בשרמה ומנתחים「車輪を。また雄牛の皮をその肉の上から剥ぎ取り、また切ること」と復元。M もこれと似ているが、ומפשיטים、ומפשיטים、ומפשיטים([and t]ear off) と復元している。しかし、ומפשיטיםが動詞であるならばプアル、分詞、男性、複数である。これは受身で訳すべきなので、訳と復元が合わない。MR も同様の指摘をしている (*The House of the Lord*, p. 38)。最後の句

- 10 それらをその部分に⁽⁵²⁰⁾(切り、)⁹塩をまぶし⁽⁵²¹⁾、また(内臓と脛)¹¹を洗い⁽⁵²²⁾、
- 11 それらに塩をまぶし⁽⁵²³⁾、そしてそれらを (祭壇の上の火で⁽⁵²⁴⁾)¹² 焼いて煙にするように⁽⁵²⁵⁾。
- 12 雄牛と雄牛またその部分は、その傍らに。上質の小麦粉の穀物の供物はその上に。
- 13 その灌奠のブドウ酒はその傍らに。その中から⁽⁵²⁶⁾上に(注ぐ)。またアロンの子らである祭司達は、すべてを⁽⁵²⁷⁾

ונתח אתה לנתחיה MT レビ 1:6 の **ונתח אתה לנתחיה** は、Y と MR の主張通り、MT レビ 1:6 の **ונתח אתה לנתחיה** は、「またそれを部分に切るように」となる聖句であるが、MT の動詞が単数であるのに対して LXX の **μελίουσιν** と SamP の **נתחו** は複数である。この行の **ומנתחים** は LXX と SamP に近い。

⁽⁵²⁰⁾ MT レビ 1:6 参照。

⁽⁵²¹⁾ W は 8 行目の後半からここまでをレビ 1:6 の引用なしのパラフレーズとする。MT レビ 1:6 は、**ונתח אתה לנתחיה ונהפשיט את העלה**、Col. 34:8b–10a は、**ופותחים את הגלגים**、**ופושטים את עורות הפרים מעל לבשרמה** である。

⁽⁵²²⁾ 原文は **מרחצים**、ピエル、分詞、男性、複数である。**רחץ** のヘブライ語聖書の用法はカル、プアルとヒトパエルのみである。W はここを、レビ 2:13a の引用なしのパラフレーズとする。MT レビ 2:13a は、**וכל קרבן מנחתך במלח תמלח ולא תשבית מלח ברית**、Col. 34:10b は **ומולחים את הנחתים במלח** である。

⁽⁵²³⁾ 10 行目の同様の文章参照。W は 10 行目の終わりからここまでをレビ 1:9a の引用なしのパラフレーズと自由作文とする。MT レビ 1:9a は **וקרבו וכרעיו ירחץ במים**、Col. 34:10c–11a は **ומרחצים את הקרבים ואת הכרעים**。

⁽⁵²⁴⁾ MT レビ 1:8 参照。

⁽⁵²⁵⁾ 翻訳上 11 行になっているが、12a を含む。W は 11 行後半から 12 行前半までをレビ 1:12b の著しい削除による逐語的引用とする。MT レビ 1:12b は、**אשר על האש אשר על המזבח**、Col. 34:11b–12a は、**ומקטירים אותמה על האש אשר על המזבח** である。

⁽⁵²⁶⁾ Y はヘブライ語版の著書では **ושמנו** と復元しているが(104 参照)、その後、Q の復元を受け入れ **וממנו** としている(1983 版 46 参照)。CH と MR はこれに従っている。M は **ושמנו** 「その油を」のままである。

⁽⁵²⁷⁾ **את הכול**、MT レビ 1:9 は **את הכל**、SamP は **הכל** ここは MT に近い。ちなみに LXX は **τὰ πάντα**、MT も SamP も訳せば同じになる。

- 14 祭壇の上で⁽⁵²⁸⁾(焼いて煙にするように⁽⁵²⁹⁾)¹³。火に焚く供犠、主の御前の宥めの香り⁽⁵³⁰⁾。
-空白-
- 15 またあなたは12の柱の天井⁽⁵³¹⁾から下る鎖を作るように。

Col. 35

[קודש הקודש]ם] 1
 [ם כול איש אשר לוא] 2
 קודש] 3 א כול איש אשר לוא
] 4 ה םםםםם vac וכול] הוא אין
 5 הוא כוהן י[מת וכול איש אשׁו(?) [הוא כוהן אשר יבוא
 6 אםםםם והוא אין הוא לבוש בגדי הקודש אשר בהמה מלא את
 7 ידיו גם המה יומתו ולוא יחל[לו את מקדש אלוהיהמה לשאת
 8 עוון אשמה למות וקדשת{מ}ה את ס[בי]ב למזבח ולהיכל ולכיוור
 9 ולפרור והיה קודש קודשים לעולם ועד vacat
 10 ועשיתה מקום למערב ההיכל סביב פרור עמודים עמודים
 11 לחטאת ולאשם מובדלים זה מזה לחטאת הכוהנים ולשעירים
 12 ולחטאות העם ולאשמותמה ולוא יהיו מערבים כולו אלה
 13 באלה כי מובדלים יהיו מקומותמה זה מזה למען לוא
 14 ישוגו הכוהנים בכול חטאת העם ובכול אלי אשמות לשאת

⁽⁵²⁸⁾ 原文は **על המזבח**。MT レビ 1:9 と SamP は方向の ה が付いている **המזבחה**、LXX は ἐπὶ τὸ θυσιαστήριον。ここは LXX に近い。W は 13 行後半から 14 行前半までをレビ 1:5b の広範囲の逐語的引用とする。MT レビ 1:5b は、**על המזבח**、Col. 34:13b-14a は、**והקטירו** である。しかし CH は、ここをレビ 1:9 と比較している。類似箇所は、MT レビ 1:9 の **הכל המזבחה את הכהן** である。しかし CH は、ここをレビ 1:9 と比較している。類似箇所は、MT レビ 1:9 の **הכל המזבחה את הכהן** である。

⁽⁵²⁹⁾ MT レビ 1:9 は **והקטיר הכהן**。SamP も同じ。ただ LXX は、καὶ ἐπιθήσουσιν οἱ ἱερεῖς 「また祭司達は置くであろう」。この行も LXX に近い。

⁽⁵³⁰⁾ W は 14 行後半をレビ 1:9b の広範囲の逐語的引用とする。MT レビ 1:9b は、**אשה ריח**、**אשה ריח ניהוח לפני יהוה**、Col. 34:14b は、**אשה ריח ניהוח לפני יהוה**、SamP も **אשה ריח**、LXX は τῷ κυρίῳ、NFT は **לריח דרעוא קדם לשמה ייי**、TJ は **ברעוא קדם ייי**、TO は **ברעוא קדם ייי** であり、この行はタルグム諸訳に近い。

⁽⁵³¹⁾ CH はコへ 10:18 を参照しているが内容に関係がない。**בעצלתים ימך המקרה** 「二重の怠惰によって天井は沈む」。

35 欄

4Q524 1と平行している。

- 1 [至]聖[所]]⁽⁵³²⁾
- 2 []でないすべての者は[]⁽⁵³³⁾
- 3 []でないすべての者は[]聖⁽⁵³⁴⁾
- 4 []-空白- すべての[](祭司)⁵ではない者⁽⁵³⁵⁾
- 5 は死に[処]されるように。また であるすべての[者は]来るべき[祭司]⁽⁵³⁶⁾

⁽⁵³²⁾ Q、CH、M と MR は、[אל קודש]「[至]聖[所へ]」と復元。Y も脚注において 2 つの復元の可能性を記している。[אל קודש]「彼は至]聖[所へ来てはならない]」、および、[כי קודש]「[じつにそれは]最も[聖]なる場所である」である。9 行を参照。

⁽⁵³³⁾ M は Y と同じ。Q の 1996 年版は、出 30:22-23 を基に以下に復元している。[און]「[]」と復元。しかし 2010 年版で Q は、[משחת קודש] を削除している。CH は、[און]「[]」と復元。MR は、[איש אשר לו]「[]」と復元。

⁽⁵³⁴⁾ Q は、[איש אשר לו]「[]」と復元している。2 行目の復元の続きである。CH もこの行の復元は Q と同じだが、不思議なことに 2 行で [משחת קודש] を復元していない。とすれば何故この行が Q と同じになるのであろうかが疑問である。M と MR は、Y が復元している最初の文字 א を復元せず。

⁽⁵³⁵⁾ Q の 1996 年版と CH は、[איש מבני ישראל אשר יבוא אותה]「[]」と復元したが、Q の 2010 年版では、最初の [איש] を [אין] と変更している。M は、[אין]「[]」と復元。MR は、[איש מבני ישראל אשר יבוא איתם]「[]」と復元。研究者による復元の多様性はあるが、明らかに祭司以外の者で聖域に入ろうとする者への警告が書かれている。

⁽⁵³⁶⁾ Q と CH は、[איש מה]「[]」と復元。MR は殆ど Q と CH と同じだが、最後の [איש] を [אין] とする。

- 6 [聖なる]衣服を身に着けていない者、それ[らにより] (任職され⁽⁵³⁷⁾)⁷ている者は⁽⁵³⁸⁾、
 7 彼らもまた死に処されるように⁽⁵³⁹⁾。彼らの神の神[殿を穢]してはならない⁽⁵⁴⁰⁾。
 8 死によって(罰すべき)罪責の咎を(負うゆえに)⁷ ⁽⁵⁴¹⁾。あなた[がた]は祭壇、本殿、洗盤
 そして(柱廊)⁹の周[圍]を聖別するように。

そして Q と CH が復元している、次の 6 行目の初めの אותה を איתם と復元。すると以下
 のようになる。「祭司(でない者は)⁴、死に処されるように。また[アロンの子らで、祭司たち]
 からのすべての者で(彼らと共に)⁶来る者」。M は、 הוא כוהן יומת וכול אניש [...] יבוא אשר
 「祭司(でない者は)⁴、死に処されるように。またすべての者で(そこに)⁶来る者」と復
 元。

⁽⁵³⁷⁾ 原文は手を満たす。祭司として任職されること。

⁽⁵³⁸⁾ Q の 1996 年版と CH は、 אותה והוא אין הוא לבוש בגנדי הקודש או אשר לוא מלא את
 「また[聖なる衣服]を身に着けていない者、[また](任職され)⁷ていない者は」と復
 元。しかし Q の 2010 年版は、 בגנדי 前に前置詞 ב を加え、 בבגנדי הקודש となっている。
 M は、 לוא מלא את [...] הוא לבוש בגנדי הקודש [...] אותה והוא אין הוא לבוש בגנדי הקודש [...]
 を身に着けていない者、(任職され)⁷ていない者は」、MR は、 הוא לבוש אין הוא איתם
 מלא את [בגנדי הקודש] 「また[聖なる衣服]を身に着けていない者は、(任職され)⁷てい
 ても」と復元。

⁽⁵³⁹⁾ W は 6 行目から 7 行前半までを、出 28:41b の引用なしのパラフレーズと出 28:43 の短
 い引用を含む節かその一部のパラフレーズとする。MT 出 28:41b は、 ומשחת אתם ומלאת
 והיו על אהרן ועל בניו בבאם אל אהל 、「את ידם וקדשת אתם וכהנו לי
 מועד או בגשתם אל המזבח לשרת בקדש ולא ישאו עון ומתו חקת עולם לו ולזרעו
 אחריו である。MT 出 28:41b の את ידם ומלאת が 6 行終わりから 7 行目の初めの מלא
 את ידו と似ているが、他は類似性がかなり乏しい。むしろ 7 行目 CH がそれを基に Q が復
 元したというレビ 21:12 の、 ולא יחלל את מקדש אלהיו が類似している。Q の復元は以
 下の通り(Y も脚注では同じ)。

ידיו גם המה יומתו ולוא יחללנו את מקדש אלוהיהמה לשאת

⁽⁵⁴⁰⁾ MT レビ 21:12 は、 ולא יחלל את מקדש אלהיו であり、この行と似ているが、 אלהיו
 「彼の神、この行は אלוהיהמה 「彼らの神である。Y は LXX に答えを見出そうとしている
 が、LXX も του θεου αυτου で MT と同じである。MR は、これこそ聖書の書き直しである
 としている。

⁽⁵⁴¹⁾ W は 7 行後半からここまでを、レビ 21:13b の広範囲の逐語的引用とレビ 22:16a の広範
 囲の逐語的引用および自由作文とする。ただしレビ 21:13b ではなくレビ 21:12b が正しい。
 MT レビ 21:12b は上記の通り。MT レビ 22:16a は、 והשיאו אותם עון אשמה、Col. 35:7b-
 8a の類似点は לשאת עון אשמה である。

- 8 またそれによって出る、門の幅は 14 アンマ。またそれらの高さは⁽⁵⁵⁴⁾
- 9 敷居から鴨居まで、28 アンマ。また⁽⁵⁵⁵⁾
- 10 鴨居から天井までの(高さ)⁹が14アンマ(となるように)。また(門は)(杉で造られ、純金で覆われた)¹¹台によって天井が付けられるように。
- 11 またその扉も良い金で覆われているように。-空白-
- 12 -空白- また門の隅から第2の庭の端まで120
- 13 アンマ。またこれらすべての(中庭の)¹⁴門の寸法はこのようであるように。
- 14 また門は庭の内側に来るように。

Col. 37

	○○○○○מ○○○	01
[]○○○○○○○○○[] 1
[]חדש מִהַגְנוֹת(?) לְכוֹל הַשׁ[] 2
[] הַ בֵּין ○○○○] 3
[]○○○○○○○○○○○ אֲשֶׁר [מִזְ]כָּח אֲשֶׁר [4 [הַחֲצַר] הַפְּנִימִית לְעִזְרַת הַ
[] וְלִכְוֹהֲנִים ○○○○	5 [אֵת זְבַחֵי שְׁלָמֵי בְּנֵי יִשְׂרָאֵל
○○○○] עֲשׂוּם [פְּנוֹת(?) הַפְּרוּר הַתְּחַתּוֹן עֲשׂוּם	6 [עֲשׂוּ] [
] הַשְּׂעָר [עֲבָרִי] הַשְּׂעָר	7 וְ[מִבְּ]שְׁלוֹת אֲצֵל [
] וְעִשְׂתִּמָּה בַחֲצַר [פְּנִימָה בְּ]תֵּן מִ[וְ]שְׁבוֹת לְכוֹהֲנִים וְשׁוֹלְחָנוֹת	8
] לְפָנָי הַמוֹשְׁבוֹת בַּפְּרוּר הַפְּנִימִי אֲצֵל קִיר [הַחֲצַר] הַחֲצוֹן	9
] מְקוֹמוֹת עֲשׂוּיִם לְכוֹהֲנִים לְזָ[בְּ]חֵיהֶם וּלְבַכּוֹרִים וְלְמַעֲשְׂרוֹת	10
] וְלְזְבַחֵי שְׁלָמֵיהֶם אֲשֶׁר יִהְיוּ זֹבְחִים וְלֹא [יִתְעַרְבוּ] זְבַחֵי	11
] שְׁלָמֵי בְּנֵי יִשְׂרָאֵל בְּזְבַחֵי הַכוֹהֲנִים	12

vacat

⁽⁵⁵⁴⁾ すべての学者が Y の復元に従っているが、Q と CH は最初の והיוצאים והניין צאים を復元。Y は「門の幅 14 アンマ」について、LXX エゼ 40:48 に平行記事、τὸ εὖρος τοῦ θυρώματος πηχῶν δέκα τεσσαράκων があることを認めている。しかし、MR はこの聖句が引用されていることを否定している。その理由は、11Q19 が内庭の門の 1 つについて扱っているのであって、LXX は門の幅を扱っている、というものである。MR はむしろ聖句の再構成を主張。

⁽⁵⁵⁵⁾ Q の 1996 年版、CH、M と MR は、שְׁמֹנֶה וְעֶשְׂרִים בְּאֵמָה מִן הַסֵּף(א) עַד הַמִּשְׁקוֹף と復元。ただし Q と M の הַסֵּף(א) は、M は CH の הַסֵּף、MR は הַסֵּף(ו)、Q の 2010 年版は הַסֵּף(ו) と復元。9 行の意味は Y と同じ。

13 ובארבעת מקצועות החצר עשית[ה] להמה מקום [לכירים]
 14 אשר יהיו מבשלים שמה את זבחהמה [את החטאות]

37 欄

11Q20 Xと平行している。

01 [] . []

1 [] ... []⁽⁵⁵⁶⁾

2 [] 庭園(?)から新しい すべてのために []⁽⁵⁵⁷⁾

3 [] の間 []⁽⁵⁵⁸⁾

4 内[庭]祭壇の台座へ。 []⁽⁵⁵⁹⁾

5 イスラエルの子らの和解の犠牲[を] 祭[司たちに] ⁽⁵⁶⁰⁾

6 [] [] 下柱廊の隅(?)を作るように⁽⁵⁶¹⁾。

⁽⁵⁵⁶⁾ Q と CH は、]oooo ה ןooo ooo [と復元。 MR は]oooo ה ןooo ooo [「] ...ブドウ酒 [] と復元。

⁽⁵⁵⁷⁾ M は Y と同じ。 Q、CH と MR は、חדש מהגנות לכול השנה [] 「庭園から新しいブドウ酒をまる 1 年のために [] と復元。

⁽⁵⁵⁸⁾ M は Y と同じ。 Q の 1996 年版と CH は、ת[בנה בין ארבעת] 「[また柱廊を] 4 つの(壁の)⁴間に建てるように [] と復元しているが、Q の 2010 年版は、ת[בנה בין ארבעת מןקהגנות] 「[また柱廊を] 4 つの[端]に建てるように [] と復元。MR は、ת[בנה בין ארבעת מןקהגנות] を省いた形で復元している。

⁽⁵⁵⁹⁾ M は Y と同じ。 Q、CH と MR は、[קיר החצר] הפנימית לעזרת ה[מזבח] אשר יהיו [] 「[内庭の壁]祭[壇]の台座へ(続く) [] ところで彼らは食べるように / 或いは彼らは犠牲を捧げるように [] と復元。Q は 11 行目から יהיו זובחים も可能としている。

⁽⁵⁶⁰⁾ Q の 1996 年と CH は מהפרור לה ול[מעלה] בני ישראל ול[ען]לה/ול[מעלה] בני ישראל 「[そこで]イスラエルの子らの和解の犠牲をまた柱廊から登る/或いは上方へ」と復元しているが、Q の 2010 年版では、לה ול[מעלה] 「上[方]へ」と復元。M は、ת[א]ת זבחי שלמי בני [] 「[そこで]イスラエルの子らの和解の犠牲を、また」と復元。W はこの行をレビ 10:14b の広範囲の逐語的引用? とする。MT レビ 10:14b は、מזבחי בני ישראל、Col. 37:5 は、לכ[ו]הנים、ו[ל]כ[ו]הנים בני ישראל である。

⁽⁵⁶¹⁾ MR は Y と同じ。 Q と CH は、[פנות הפרור התחתון עשויים זהב] [] 「[] 金で作られた下柱廊の隅」と復元。M は、[פנות הפרור התחתון] [] 「[] 下柱廊の隅」と復元。

- 7 また門 の傍らの[料]理する場所。門の[両側]⁽⁵⁶²⁾。
- 8 内側の[庭]に祭司たちのために座る場[所]また⁽⁵⁶³⁾
- 9 外「庭」の壁の傍ら、座る場所の前に内柱廊と(机を作るように。) ⁸(564)
- 10 場所は祭司たちのためにつくられた。彼らの犠[牲]、長子、1/10⁽⁵⁶⁵⁾
- 11 そして彼らが犠牲とするべき彼らの和解の犠牲。また
- 12 イスラエルの子らの和解の(犠牲)¹¹と祭司たちの犠牲を([混]ぜ「ては」ならない)¹¹ ⁽⁵⁶⁶⁾。
- 13 また庭の4つの端に彼らのため「竈」⁽⁵⁶⁷⁾の場所を作る⁽⁵⁶⁸⁾よう[に]。
- 14 そこで彼らの犠牲[と]浄罪の供犠⁽⁵⁶⁹⁾の調理⁽⁵⁷⁰⁾を⁽⁵⁷¹⁾するよう[に]⁽⁵⁷²⁾。

⁽⁵⁶²⁾ Q、CH、M と MR は、המעלות אצל [קירות] השערים משני [עברין] השער 「門の壁の傍らの階段は門の両側から」と復元。Qによれば המעלות の最初の3文字は古い赤外線写真の左の余白に今なお残っていて、仮にここにあるにすぎない。Yの ון[מב]שלות の可能性は少ないとする。

⁽⁵⁶³⁾ Qの1996年版は、ועשיתמה בח[צרפ]נימה / שמה בני[ת] מושבות לכוהנים ושולחנות 「またあなたたちは内側の/その[庭]に祭司たちのために座る場[所]また机を作るように」と復元したが、2010年版では、ועשיתמה בח[צרין] שמה בני[ת] מושבות לכוהנים ושולחנות 「またあなたたちはその[諸々の]庭に祭司たちのために座る場[所]また机を作るように」と復元し直している。

⁽⁵⁶⁴⁾ 11Q20Frg. 17 Col. 10:1、] קניר החצר הן[と平行。

⁽⁵⁶⁵⁾ 11Q20Frg. 17 Col. 10:2、] vacat כורים ולמעשרות[と平行。

⁽⁵⁶⁶⁾ 11Q20Frg. 17 Col. 10:3、] רבו זבחי שלמי בני ישן[と平行。

⁽⁵⁶⁷⁾ 11Q20Frg. 17 Col. 10:5、] ממה [מקום] לכירים[と平行。

⁽⁵⁶⁸⁾ Yが [ל]עשותとすることを、Q、CHとMは、[ל]עשות[ה] としている。MRはYと同じだが、QとCHとMの読みも肯定。

⁽⁵⁶⁹⁾ Y、Q、CH、M、MR 共々 החטאות とする。だが、QとMRは החטאת の読みも可能とする。

⁽⁵⁷⁰⁾ 11Q20 frg. 17 Col. 10:5、] אשר יהיו מבן[と平行。

⁽⁵⁷¹⁾ この行には直接目的語を指す את が2度現れる。YとMは2番目を ואת とするが、Q、CHとMRは את とする。

⁽⁵⁷²⁾ Wはこの行をエゼ 26:23bの短い引用を含む節かその一部のパラフレーズ、並びに自由作文とする。エゼ 26:23bは存在しない。類似している聖句はエゼ 46:24b。MT エゼ 46:24bは、אלה בית המבשלים אשר יבשלו שם משרתי הבית את זבח העם、Col. 37:14は、אשר יהיו מבשלים שמה את זבחהמה [ו]את החטאות となっている。

- 4 また[彼らは]食べるように。[]穀物の、ブドウ汁の、また最上の[油]の⁽⁵⁷⁶⁾
 5⁽⁵⁷⁷⁾
 6 西の門の傍らで食べる(ように)。[]⁽⁵⁷⁸⁾
 7 []運び込まれるすべての木は[]⁽⁵⁷⁹⁾
 8 []その上に乳香、また[]⁽⁵⁸⁰⁾
 9 またこの門の[右]に[]⁽⁵⁸¹⁾

⁽⁵⁷⁶⁾ Q、CH と MR は、**לִדְגַן לְתִירוֹשׁ וּלְיַצְהָרָן** 「穀物、ブドウ汁、また最上の油の初[物の日々に]」 と復元。M は **לִדְגַן לְתִירוֹשׁ וּלְיַצְהָרָן** 「穀物、ブドウ汁、また[最上の油]」 と復元。4Q365a fig. 2 i:2 の **לִדְגַן וּלְיַצְהָרָן** [が、この行と一部重なっている。ただし現存するテキストにおいては、**לְתִירוֹשׁ** が欠けている。

⁽⁵⁷⁷⁾ M は Y と同じ。Q と CH は **בְּנֵי יִשְׂרָאֵל וּבְיוֹם הַבְּכוּרִים** [לְפָרִין] 「**לִדְגַן וּלְיַצְהָרָן**」 と復元。MR は、**בְּנֵי יִשְׂרָאֵל** 「**לִדְגַן וּלְיַצְהָרָן**」 と復元。4Q365a fig. 2 Col. 1:3 の、**בְּנֵי יִשְׂרָאֵל וּבְיוֹם הַבְּכוּרִים** [] [が Q、CH と MR の復元と類似している。

⁽⁵⁷⁸⁾ Q の 1996 年版と CH は、**יְבִיאֵן לְשִׂמְאֵל שֶׁעַר הַמְּעַרְבִי כֹּל פְּרֵי אֶרֶץ מְהָאֵת** [] 「[彼らは]西の門の左に彼らの[地の実のすべてを携え来るように]、無花果」と復元。Q の 2010 年版は **לְשִׂמְאֵל** を **לְשִׂמְאֵל**、**הַתְּאֲנִים** を **הַתְּאֲנִים** と復元している。M は、**לְשִׂמְאֵל שֶׁעַר הַמְּעַרְבִי** [] 「[]西の門の左に[]」 と復元。MR は、**לְשִׂמְאֵל שֶׁעַר הַמְּעַרְבִי אֶת הַתְּאֲנִים** 「西の門の左に彼らの[地の実のすべてを、無花果]」 と復元。4Q365a fig. 2 I:3 の **לְשִׂמְאֵל שֶׁעַר הַמְּעַרְבִי אֶת הַתְּאֲנִים** [] と類似している。

⁽⁵⁷⁹⁾ Q と CH は、**וְהַרְמוֹנִים וְהַעֵץ אֲשֶׁר יֹאכְלוּ וְלִימִין הַשֶּׁעַר הַזֶּה מִנְחַת הַקּוֹרְבָּנוֹת** 「とザクロ、[そして]彼が食べる場所の木を。またこの門の右へ捧げ[物]の穀物の捧げ物を」と復元。M は、**וְהַרְמוֹנִים וְהַעֵץ אֲשֶׁר יֹאכְלוּ** 「[]と場所の木を... []」。MR は、**וְהַרְמוֹנִים וְהַעֵץ אֲשֶׁר יֹאכְלוּ** 「[]と場所の木を。また[この門の右へ捧げ物の穀物の捧げ物]」 と復元。またこの行は、4Q365a fig. 2 I:3, 4 の **וְהַרְמוֹנִים וְהַעֵץ אֲשֶׁר יֹאכְלוּ** と類似している。Q はこの 4Q365a fig. 2 I:3 の最後の **וְהַעֵץ** を **וְהַעֵץ** とせずそのままこの行の冒頭の復元に用いている。そして 4 行の **וְהַרְמוֹנִים וְהַעֵץ אֲשֶׁר יֹאכְלוּ** は **וְהַרְמוֹנִים וְהַעֵץ אֲשֶׁר יֹאכְלוּ** と修正している。

⁽⁵⁸⁰⁾ Q、CH と MR は、**וְהַרְמוֹנִים וְהַעֵץ אֲשֶׁר יֹאכְלוּ** 「乳香をその上に置き持って来たものを。また北の門の左に妬みの償いの供犠の穀物の捧げ物を」と復元。4Q365a fig. 2 I:5, 6 の **וְהַרְמוֹנִים וְהַעֵץ אֲשֶׁר יֹאכְלוּ** と類似。

⁽⁵⁸¹⁾ M は Y と同じ。Q、CH と MR は、**וְהַרְמוֹנִים וְהַעֵץ אֲשֶׁר יֹאכְלוּ** 「またこの門の右へ、(イスラエル)¹⁰の子らが捧げるすべての穀物の捧げ物と浄罪の供犠[の雄]山羊を」と復元。4Q365a fig. 2 I:6 の **וְהַרְמוֹנִים וְהַעֵץ אֲשֶׁר יֹאכְלוּ** と類似。

- 10 そこで彼らは食べるように。[] 鳥、コキジバト、鳩の雛。[]⁽⁵⁸²⁾
 11 -空白-
 12 またあなたは[内庭の]周りに第2の庭を作るように。幅 100 アンマ⁽⁵⁸³⁾
 13 また東の側面の長さ、480 アンマ。そしてこのように、幅と長さをすべての⁽⁵⁸⁴⁾
 14 側面に(するように)。南に、西に、北に⁽⁵⁸⁵⁾。また壁の幅は[4]アンマ(となるように)。(そ
 の)高さは⁽⁵⁸⁶⁾
 15 2[8]アンマ。また外側に⁽⁵⁸⁷⁾壁のために側室を作る(ように)。側室と側室の間は⁽⁵⁸⁸⁾ 3
 01 アンマ半

Col. 39

○○○○○○○○○○ ים ○○○○] 1
[מְקֵרֶת הַגֵּגְ]]	○○○○○○ 2
וּדְלֹתוֹתֶיהָ מִצּוֹפֹן] ז' הַב] ○○○○○ 3
[חֲצַר הַזּוּאֹת] ○○○] שֹׁפֶ 4
בֵּן רִבִּי] עֵי כֶן] שֶׁ וְלוֹן 5
לְהִשְׁתַּחֲוֹת לְפָנָי כּוֹל עַד] תּ בְּנֵי] יִשְׂרָאֵל 6

⁽⁵⁸²⁾ M は Y と同じ。Q、CH と MR は、יִשְׂרָאֵל שָׂמָה יִהְיוּ אוֹכְלִים אֶת חֲטָאוֹת הָעוֹף, 「[イ]スラエル。そこで彼らは浄罪の供犠を食べるように。鳥、コキジバト、鳩の雛」と復元。4Q365a frg. 2 I:7 の וְהָיוּ אוֹכְלִים אֶת חֲטָאוֹת [...] と類似。

⁽⁵⁸³⁾ Q、CH、M と MR は、וְעָשִׂיתָהּ [ח] צֶרֶךְ שְׁנֵית סוֹבֶבֶת אֶת הַחֲצַר הַפְּנִימִית רְחוֹב מְאֹד, 「またあなたは内庭の周りに第2の[庭]」を作るように。「幅 100 アンマ」と復元。

⁽⁵⁸⁴⁾ 4Q365a frg. 2 I:9, 10 の לְכוּל [...] אֶרְוֶךְ לְכוּל, および 12 行の最後の וְעָשִׂיתָהּ [...] אֶרְוֶךְ לְכוּל と、この行の לְכוּל [...] אֶרְוֶךְ לְכוּל とは類似し、この行終わりの לְכוּל [...] אֶרְוֶךְ לְכוּל とともに類似している。

⁽⁵⁸⁵⁾ 底本原文は וְלִצְפּוֹן。元来の写本では וְלִצְפּוֹן。Y は、写字者が最初は וְלִצְפּוֹן と書き、羊皮紙の傷のため少し飛ばしてしまい、再び書き込む時に וְלִצְפּוֹן と書くミスを犯したとみる (*The Temple Scroll*, Vol. 2, p. 164)。

⁽⁵⁸⁶⁾ 4Q365a frg. 2 I:10 の最後の רִחוֹתֶיהָ はこの行の最初の רִחוֹתֶיהָ と同じ。

⁽⁵⁸⁷⁾ 原文は מְחוּץ。Y は H 版では בְּחוּץ としていた。M は H 版と同じである。Q は元來 בְּחוּץ と書いていたものを写字者が מְחוּץ と書き直したと考えている (*The Temple Scroll*, Vol. 2, p. 54)。

⁽⁵⁸⁸⁾ 4Q365a frg. 2 I:11 の בֵּין תּוֹתוֹ לְתוֹתוֹ שְׁלוֹשׁ אֲמוֹת וְחֲצִי] は、この行最後の בֵּין תּוֹתוֹ לְתוֹתוֹ שְׁלוֹשׁ と類似。

- 7 ישראל [] לוא תבוא בה אשה וילד עד יום
- 8 אשר ישל'ים חוק [] נפשו ליהוה מחצית השקל חוק עולם
- 9 לזכרון במושבותיהמה עשרים גרה השקל
- 10 וכאשר ישאו ממנו את מחצית הש[ק]ל [] לי אחר יבואו מבן
- 11 עשרים [] והיו שמות הש[ע]רים אשר ל[ח]צר הזואת על שמ[ות]
- 12 בני יש[ר]אל שמעון לוי ויהודה בקדם מזרח [ר]אובן יוסף ובנימין לנגב
- 13 דרום יש שכר זבולון וגד לים דן נפתלי ואשר לצפון ובין שער לשער
- 14 מדה מן פנה למזרח צפון עד שער שמעון תשע ותשעים באמה והשער
- 15 שמונה ועשרים באמה ומשער {שמעון} הזה עד שער { } לוי תשע ותשעים
- 16 באמה והשער שמונה ועשרים באמה ומשער לוי עד שער יהודה

39 欄

- 1 (589)
- 2 []屋根の天井[] (590)
- 3 []またその扉は金で覆う(ように)。 [] (591)
- 4 []この庭 [] (592)
- 5 []第[4]世代。息子の (593)

(589) Q はこの前に 4Q365a から 10 行として ʿאַמּוֹת וְחֻצֵי «~アンマ半」を復元している。Q、CH と MR は、[] מַדְתַּת הַשְּׁעָרִים [] 門]の寸[法]」と復元。

(590) M は Y と同じ。Q、CH と MR は、[] עַד מִקַּת הַגֶּגֶן [] הַכּוֹל «すべて[]] 屋根の天井まで」と復元。

(591) Q と CH は、[] וּדְלַתוֹתֶיהָ מֵהָ אֹן [] אַמּוֹת עַן «アンマ[]] 「またその扉」と復元。M は、[] וּדְלַתוֹתֶיהָ מֵ... אַמּוֹת [] אַמּוֹת [] 門]と復元。MR は、[] וּדְלַתוֹתֶיהָ ... אַמּוֹת [] אַמּוֹת [] 門]と復元。

(592) CH と MR は、[] הַחֲצַר הַזּוֹאֵת כּוֹל [] מִצּוֹפֵה זֶהָב [] 金で覆う[]] この庭はすべて」と復元。Q は、[] הַחֲצַר הַזּוֹאֵת כּוֹל [] יִבּוֹאוּ אֵלֶיךָ הַחֲצַר הַזּוֹאֵת כּוֹל [] 彼らは]この庭[]に]来るように、すべて」と復元。M は、[] מִצּוֹפֵה זֶהָב [] הַחֲצַר הַזּוֹאֵת [] 門]と復元。

(593) Q の 1996 年版と CH は、[] קֵהֶל עֵדְתֵן יִשְׂרָאֵל וְהִגֵּר אֲשֶׁר יוֹלֵד בְּחֹן כֶּסֶם דּוֹר רִבְעִי מִבֶּן [] 門]「[イスラエル]の会衆の集会[]とあなたの方]で[]生まれた] 4 世代目の寄留者、(20)⁶ 歳から」と復元したが、Q の 2010 年版は [] הִגֵּר וְיִשְׂרָאֵל [] 門]の間に [] וְכֹל [] 門]を入れ、「[イスラエル]の会衆の集会[]とあなたの方]で[]生まれた] 4 世代目のすべての寄留者、(20)⁶ 歳から」と復元。M は、[] קֵהֶל עֵדְתֵן יִשְׂרָאֵל [] 門]「[イスラエル...]の会衆の集会... 4 世

- 6 イスラエル[]私の前に平伏すためにすべての(イスラエル)⁷の子らの[会衆]⁽⁵⁹⁴⁾
- 7 []女と子供は、(定めを満たす)⁸日まで、そこに入ってはならない⁽⁵⁹⁵⁾。
- 8 []彼自身のため、主に半シェケルを(捧げるまで。これは)永遠の定め⁽⁵⁹⁶⁾、
- 9 彼らの居住地における記念(となる)。シェケルは 20 ゲラ⁽⁵⁹⁷⁾。
- 10 また彼らが彼から半シェ[ケ]ルを取る時、私に[]その後で、(20)¹¹歳から入るように⁽⁵⁹⁸⁾。

代目(20)⁶歳から」と復元。MR は殆ど Q と CH と同じであるが、最後の מבן を欠いた形で復元。「[イスラエル]の会衆の集会[とあなたの方の中]で[生まれた]4 世代目の寄留者」と読む。⁽⁵⁹⁴⁾ MR は Y と同じ。Q と CH は、להשתחוות לפני [ולמעלה וכאשר יבואו] כול עדת בני בני ערת בני כול ערת בני 「20(歳)⁶またそれ以上から、彼らは同じように私の前に平伏すために来るように。すべての(イスラエル)⁷の子らの会衆」と復元。M は、להשתחוות לפני [...] עשרים בני ערת בני כול ערת בני 「20 (歳から)⁶[...] 私の前に平伏すためにすべての(イスラエル)⁷の[子]らの[会衆]と」復元。

⁽⁵⁹⁵⁾ Q の 2010 年版と MR 以外、皆 Y と同じ。Q は לוא תבוא ו ישראל の空白の間に לה ולמעלה ולמעלה מבן עשרים שנה ולמעלה 「20 歳またそれ以上から」と復元している。MR は、他が לוא לוא אשה אשה としていたところを לוא בא אשה תבוא と復元。残念ながら理由は説明されていない。

⁽⁵⁹⁶⁾ Q と CH は、פדיון נפשו ליהוה מחצית השקל 「彼が彼の成熟の定めを満たし、彼自身の[贖い]のため、主に半シェケルを(捧げるまで)」と復元。אשר נפש פדיון に関しては、出 21:50、詩 49:9 参照。M は、אשר [...]... ליהוה מחצית השקל 「[...]...主に半シェケルを(捧げるまで)」と復元。MR は、אשר יפדו נפשו ליהוה מחצית השקל 「彼が彼の定めを満たし、[] 彼自身のため主に半シェケルを(捧げるまで)」と復元。

⁽⁵⁹⁷⁾ W は 8 行の後半からここまでを、出 30:12b の広範囲の逐語的引用、出 30:13b の広範囲の逐語的引用、レビ 3:17 の短い引用を含む節ないしその一部のパラフレーズ、出 30:16b の広範囲の逐語的引用と、再び出 30:13b の広範囲の逐語的引用とする。MT 出 30:12b は、נפשו ליהוה、MT 出 30:13b は、מחצית השקל、MT レビ 3:17 は、חקת עולם、MT 出 30:16b は、לזכרון、MT 出 30:13b は、עשרים גרה השקל、Col. 39:8b-9 は、נפשו ליהוה מחצית השקל である。

⁽⁵⁹⁸⁾ M は Y と同じ。Q、CH と MR は、וישבו לי וכאשר ישאו ממנו את מחצית השקל [וישב] ע לי 「また彼らが彼から半シェ[ケ]ルを取る時、私に[誓うよう]に。その後で、(20)¹¹歳(またそれ以上)¹¹から入るように」と復元。W は 10 行目から 11 行の始めまでを出 30:13b の広範囲の逐語的引用と出 30:14b の広範囲の逐語的引用、および自由作文とする。MT 出 30:13b は מחצית השקל、MT 出 30:14b は מבן עשרים שנה、Col. 39:10b-11a は לי אחר יבוא מבן עשרים [] מחצית השקל となっている。

- 11 [また]この庭の門の名[前]は(イス[ラ]エルの子ら)¹²の名[前]のためのものであるように⁽⁵⁹⁹⁾。
- 12 シモン、レビ、ユダは東、日の出る方に⁽⁶⁰⁰⁾。[ル]ベン、ヨセフ、ベニヤミンは南に⁽⁶⁰¹⁾
- 13 イッサカル、ゼブルン、ガドは西に。ダン、ナフタリ、アシェルは北に。また門と門の間の
- 14 寸法は、北東の隅からシモンの門のまで 99 アンマ。また門は
- 15 28 アンマ。またこの^[シモンの]⁽⁶⁰²⁾門からレビ の門まで 99⁽⁶⁰³⁾
- 16 アンマ。また門は 28 アンマ。またレビの門からユダの門まで

Col. 40

[ללבוש את הבגדים]] 1
[ה להיות משרתים]] 2
[בני ישראל ולוא ימ]] 3
[החצר הזואת ל ^{ooo}] 4
[ועשיתה חצר שלישית]] 5

⁽⁵⁹⁹⁾ Q、CH、M と MR は、**עשרים [שנה] ולמעלה ושם השערים אשר לחצר הזאת על**、**עשרים [שנות]**「20[歳]またそれ以上。またこの庭の門の名前は(イス[ラ]エルの子ら)¹²の名[前]のためのものであるように」と復元。

⁽⁶⁰⁰⁾ ヘブライ語は **בקרם מזרח**。両方とも東を表す言葉である。ただし後者は日の出の方角を意味する。旧約聖書翻訳員会、木幡藤子・山我哲雄(訳)『出エジプト記 レビ記』136 頁注 12 参照。W は 11 行後半から 12 行の初めまでをエゼ 48:31a の短い引用を含む節、ないしその一部のパラフレーズとする。MT エゼ 48:31a は、**ושערי העיר על שמות שבטי**、Col. 39:11b–12a は **שמנות השערים אשר ל[חצר] הזואת**、Col. 39:11b–12a は **על שמנות בני ישראל** である。

⁽⁶⁰¹⁾ すべてが Y と同じ復元。ただし **בקרם** については、Q が **לקרם** の可能性も示唆、**ל** の痕跡が Col. 39 の写真に見られるとしているが、全く見られない。CH によると Col. 40 の裏には **ב** が現存しているとのこと (*The Temple Scroll*, Vol. 2, p. 96)。

⁽⁶⁰²⁾ Y は「写字者が元来 **ומשער שמעון** と書こうとしたが、**הזה** と書いてしまった。それで、彼は **ומשער** 上に **שמעון** を保留したが、結局それを削除した」とする (*The Temple Scroll*, Vol. 2, p. 168)。それに対して Q は、「インクの跡は別の欄からのものとする (*The Temple Scroll*, Vol. 2, p. 56)。CH、M も MR も Q に従っているようである。

⁽⁶⁰³⁾ **ותשעים** Q は **תשע** の **ע** はとても小さく、**ותשעים** の **ו** には先端がない。よって両方は修正の結果とする (p. 56)。

[ו]לבנותיהמה ולגרים אשר נולדו]	6]
[ו]חב סביב לחצר התיכונה ש]	7]
	8 באורך כאלף ושש [מאות ב]אמה מפנה לפנה לכול רוח ורוח כמדה הזאות	
	9 למזרח ולדרום ולים ולצ[פון] ורוחב הקיר שבע אמות וגובה תשע	
	10 ורבעים באמה ותאים [ע]שויים ב]ן לשעריו מחוץ לעומת המוסד	
	11 עד עטרתיו שלושה ב]ן [שערים במזרח ושלושה בדרום ושלושה	
	12 לים ושלושה לצפון ורוחב השערים חמשים באמה וגובהמה שבעים	
	13 באמה ובין שער לשער [מדה] שלוש מאות וששים באמה מן הפנה עד	
	14 שער שמעון ששים ושלוש מאות באמה ומשער שמעון עד שער לוי	
	15 כמדה הזאת ומשע[ר] לוי עד שער יהודה כמדה הזאת ששים ושלוש	

40 欄

- 1 [祭]服を身に着けるために[]⁽⁶⁰⁴⁾
- 2 []奉仕者であるために。 []⁽⁶⁰⁵⁾
- 3 []イスラエルの子ら。また[彼らは]しないように。 []⁽⁶⁰⁶⁾

⁽⁶⁰⁴⁾ Q の 2010 年版は 01 行として、[...והכוהן...] 「[...そしてその祭司]」と復元している。また Q の 2010 年版の 1 行目、**תחת תחת את הבגדים תחת** **ללבש את את ירון ללבש את את ירון** [הגדול מאחיו אשר מלא את את ירון] 01 行と合わせて翻訳すると、「また大祭司がその兄弟たちから任職されその父の代りに祭]服を身につけるために」となる。

⁽⁶⁰⁵⁾ Q の 1996 年版、CH と MR は、**ה להיות נש[ן]א תחנת אהרון** [] 「[アロンの代]わりに君[主]となること」と復元しているが、Q の 2010 年版は、**על רואשו שמן משוחחח** [יוצק על רואשו שמן משוחחח] 「[その頭に[聖]別の油を注がれ、アロンの代]わりに君[主]となり、[(そこへ)³来てはならない]」と復元している。M は最後のアロンを欠き、**ה[...]** ... **להיות נש[ן]א תחנת** としている。

⁽⁶⁰⁶⁾ Y は脚注において出 30:21 を参考に、**בני ישראל ולוא ימנותו... חוקת עולם...** 「[イスラエルの子ら彼[らは死]んではない。[...永遠の掟...]」と復元。CH は Y の復元に従う。Q の 1996 年版、M と MR は、**בני ישראל ולוא ימנותו** [] 「[イスラエルの子ら彼[らは死]んではない」と復元。だが Q の 2010 年版は、**בני ישראל ולוא ימנותו** [] **שמחה** と復元している。W は 1 行目から 3 行のまでをエゼ 42:14 或いは 44:19 の引用なしのパラフレーズ? とする。MT エゼ 42:14 の類似点は、**יניחו בגדיהם**、**יפשטו את**、**אשר ישרתו בהן כי קדש הנה ילבשו בגדים אחרים**、**בגדיהם אשר המה משרתם בם והניחו אותם בלשכת הקדש ולבשו בגדים אחרים ולא**

- 11 屋上の冠まで。[そこ]には3つの門を東に、3つを南に。3つを⁽⁶¹³⁾
- 12 西に。3つを北に。門の幅は50アンマ。それらの高さは70
- 13 アンマ。門と門の間の[寸法]は360アンマ。隅から
- 14 シメオンの門まで、360アンマ。シメオンの間からレビの門まで
- 15 この寸法に従って。またレビの門⁽⁶¹⁴⁾からユダの門までこの寸法に従って。60と3

Col. 41

- 01 [מאות באמה ומשער יהודה עד פנת הדרום כמדה]⁽⁶¹⁵⁾
- 02 [הזואת שלוש מאות וששים באמה ומן הפנה הזואת]
- 03 [עד שער ראובן שלוש מאות וששים באמה ומשער]
- 04 [ראובן עד שער יוסף כמדה הזואת ששים ושלוש]
- 05 [מאות באמה ומשער יוסף עד שער בנימן שלוש]
- 1 [מאות וששים באמה ומשער בנימין עד פנת המ]ע[ב]
- 2 [שלוש מאות וששים באמה וככה מן הפנה] ה[זואת]
- 3 עד ש[ער יש שכר שלוש מאות וששים ב]אמה ומשער
- 4 יש שכר] עד שער זבולון ששים ושלוש] מאות באמה
- 5 ומשער זב[ולון עד שער גד ששי]ם] ו[שלוש מאות
- 6 באמה ומש[ער] [גד] [עד פנת הצפון] שלוש מאות
- 7 וששים באמה [va]cat ו[מ]ן הפנה הזואת עד
- 8 שער דן שלוש מאות וששים באמה וככה משער דן עד
- 9 שער נפתלי ששים ושלוש מאות באמה ומשער נפתלי
- 10 עד שער אשר שלוש מאות וששים באמה ומשער

⁽⁶¹³⁾ Y、MとMRは [בן] שלושה としているが、QとCHは בו שלושה とする。

⁽⁶¹⁴⁾ Yは לוי ומשע[ר] としているが、写真では 𐤋 を確認できない。Qは לוי ומשע として 𐤋 の後には 𐤋 を入れるスペースはないとしている。MRは plate 28*:1 に鏡のように映った 𐤋 の残りのシミがあるとする。CHは 𐤋 を復元している。その理由として、Col. 44:15に同じ問題があるとして、写真を見ると明らかに写字者が 𐤋 を書き忘れた後に書き足して 𐤋 となっていることを挙げている。Plate 55の写真にも、𐤋 の一部か 𐤋 を書き足したのか判断しかねるが、確かにシミはある。

⁽⁶¹⁵⁾ 01-05はYが可能な復元としてCol. 41の冒頭に置いているものである。YはCol. 40とCol. 41を基に復元し、正しいとしているが、MRは証拠がないとして、自らの復元では省略している。Q、M、DEも省いている。

11 אשר עד פנת {של(?)} המזרח שלוש מאות וששים באמה
 12 ויוצאים השערים מקיר החצר לחוץ שבע אמות
 13 ולפניהם באים מקיר החצר שש ושלושים באמה
 14 ורוחב פתחי השערים ארבע עשרה באמה וגובהמה
 15 שמונה ועשרים באמה עד המשקוף ומקורים
 16 באדשכים עץ ארו ומצופים זהב ודלתותיהמה מצופות
 17 זהב טהור ובין {ע} שער לשער תעשה פנימה נשכות

41 欄

4Q365a 2 ii と平行している。

- 01 [(360)⁽⁶¹⁶⁾アンマ。またユダの門から南の隅まで(この)⁰²寸法に従って]
- 02 [360 アンマ。またこの隅から]
- 03 [ルベンの門まで 360 アンマ。また(ルベンの)⁰⁴門から]
- 04 [ヨセフの門までこの寸法に従って 360]
- 05 [アンマ。ヨセフの門からベニヤミンの門まで 3]
- 1 [60 アンマ。またベニヤミンの門から西の隅まで]⁽⁶¹⁷⁾
- 2 [360 アンマ。またこのように]この[隅から]
- 3 [イッサカルの門]まで[360]アンマ。また⁽⁶¹⁸⁾
- 4 イッサカルの門から[ゼブルンの門まで 36]0 アンマ。
- 5 ゼ[ブルンの門からのガド門まで 3]60
- 6 アンマ。「ガド」門から[北の隅まで]360
- 7 アンマ。-空[白- また]この隅から
- 8 ダンの門(まで)⁷360 アンマ。またこのようにダンの門から
- 9 ナフタリの門(まで)⁸360 アンマ。またナフタリの門から
- 10 アシエルの門まで 360 アンマ。また

⁽⁶¹⁶⁾ Col. 40:15 に基づく復元。

⁽⁶¹⁷⁾ Q と M は、[ומשער בנימין עד פנת המן ערב]「[またベニヤミンの門から]西[の隅まで]」と短い復元をしている。ただし 4Q365a 2 ii を見ると、Y の復元の方が可能性が高い。

⁽⁶¹⁸⁾ Q は、1996 年版では他の研究者と同じようにイッサカルを יש שכר と復元していたが、2010 年版では יששכר と修正している。

- 11 アシエルの(門から)¹⁰ 東[の(?)]⁽⁶¹⁹⁾隅まで 360 アンマ。
- 12 また門は庭の壁から外に 7 アンマ突出する。
- 13 また庭の壁から内側に 36 アンマ来る。
- 14 また門の入口の幅は 14 アンマ。またそれらの高さは
- 15 鴨居まで 28 アンマ。また天井がつけられる。
- 16 金で覆われた杉の木の梁によって。またそれらの扉も(純金⁽⁶²⁰⁾)¹⁷で覆われる(ように)。
- 17 また門と門の間の内側にあなたは側室を作るように。

Col. 42

- (621)[vacat ופרורים וחדרים] 01
- [רחוב החדר עשר באמה וארכו עשרים באמה] 02
- [וגובהו ארב] [ע עשרה באמה ומקורה באדשכים] 03
- [עץ ארז ורוחב הקיר שתים אמות ולחוצה מזה] 04
- [הנשכות] vacat [רוחב הנשכה עשר באמה] 05
- 1 [ואורכה] [עשרים באמה והקיר שתים אמות רוחב]
- 2 [וגובהה ארבע עשרה באמה] [עד המשקוף ופ] [תחה]
- 3 [שלוש אמות רוחב] [וכן תעשה] [לכול הנשכות ולחדריה] [מה]

⁽⁶¹⁹⁾ Y は {של(?)} と復元。恐らくは写字者が **שלוש** と書こうとして、自分の誤りに気付き **של** を消したと考えられる。Q は、写字者が **שער** と書こうとして **ר** を次の単語 **המזרח(ה)** の最初の文字 **ה** に書き直したと考え、**(שע) המזרח(ה)** としている。4Q365a fig. 2 ii の 4 行を見ると、**פנת המזרח(ה)** となっていて写字者の誤りの可能性は高い。だが M はこの両方の説を取らず **פנת [...] המזרח** としている。CH は Q の説を取り、TSCT の方では 4Q365a fig. 2 Col. 2:4 に従い **פנת המזרח** と改訂している。MR は Q を支持。

⁽⁶²⁰⁾ 原文は **זהב טהור**。11Q19 の源泉と理解されている 4Q365a fig. 2 Col. 2:7 は、**זהב טהוב** となっている。Y によると最初 **טהור** と書き、**טוב** と改めようとしてこうなったと考える。代下 3:5, 8 は **זהב טוב** と書き、LXX は χρυσίον καθαρόν 「純金」と訳す。Y は、LXX の訳者とクムランの写字者のヘブライ語理解として **זהב טהור** = **זהב טוב** が成り立つとする。⁽⁶²¹⁾ Y、Q、MR、CH は、4Q365a fig. 2 Col. 2:7-11 を使用し、Col. 42 の最初に復元している。Q のみが 4Q365a の行の番号と長さをそのまま使用している。よって以下に付す。

- [וחדרים ופרורים] 7
- 8 רחוב החדר עשר באמה וארכו עשרים באמה וגובהו ארבע [עשרה באמה ומקורה באדשכים]
- 9 עצ ארז ורוחב הקיר שתים אמות ולחוצה מזה הנשכה ר [רוחב הנשכה עשר באמה וארכה]
- 10 עשרים באמה והקיר שתים אמות רוחב ו [וגובהה ארבע עשרה באמה ומקורה באדשכים]
- 11 עצי ארז ופתחה שלוש אמות רוחב

前の行との比較をしていくと 4Q365a は確かに 11Q19 と平行している。

4	וּפְרוֹרְךָ	רוחב עשר אמות ובין שער
5	לְשַׁעַר [תַּעֲשֶׂה שְׁמוֹנָה]	עֲשֶׂה נֹשְׂכָה וְחֹדְרֵיהֶמָּה
6	שְׁמוֹנָה] עֲשֶׂה	vacat [
7	וּבֵית מַעֲלוֹת תַּעֲשֶׂה	אֶצֶל קִירוֹת הַשְּׁעָרִים בַּחוּץ
8	הַפְּרוֹר עוֹלָיִם	מִסְבּוֹת לַחוּץ הַפְּרוֹר הַשְּׁנִי וְלִשְׁלִישִׁי
9	וְלִגְג וְנֹשְׂכוֹת	בְּנוֹיֹת וְחֹדְרֵיהֶמָּה וּפְרוֹרֵיהֶמָּה כַּתְּחִילֹת
10	שְׁנִיּוֹת וְשְׁלִישִׁיּוֹת	כַּמֵּדָת הַתְּחִילֹת וְעַל גֵּג הַשְּׁלִישִׁית
11	תַּעֲשֶׂה עֲמוּדִים	וּמְקוּרִים בְּקוֹרוֹת מַעֲמוּד אֶל עֲמוּד
12	מִקּוֹם לְסוּכּוֹת	גְּבֵהִים שְׁמוֹנָה אֲמוֹת וְהֵיוּ הַסּוּכּוֹת
13	נַעֲשׂוֹת	עֲלֵיהֶמָּה בְּכוֹל שָׁנָה וְשָׁנָה בַּחֵג הַסּוּכּוֹת לְזִקְנֵי
14	הָעֵדָה	לְנִשְׂאִים לְרֹאשֵׁי בְּתֵי הָאֲבוֹת לְבְנֵי יִשְׂרָאֵל
15	וְלִשְׂרֵי הָאֱלֹפִים	וְלִשְׂרֵי הַמַּאֲיוֹת אֲשֶׁר יִהְיוּ עוֹלָיִם
16	וְיוֹשְׁבֵי שֵׁמָּה	עַד {ע}הַלְלוֹת אֶת עוֹלַת הַמוֹעֵד אֲשֶׁר
17	לַחֵג הַסּוּכּוֹת	שָׁנָה בְּשָׁנָה בֵּין שַׁעַר לְשַׁעַר יִהְיוּ

42 欄

4Q365a 2 ii と平行している。

01 [小部屋と柱廊 -空白-]⁽⁶²²⁾

02 「小部屋の幅は 10 アンマその長さは 20 アンマ。」⁽⁶²³⁾

03 「またその高さは 4 アンマ。(杉の木⁽⁶²⁴⁾の)⁰⁴ 梁で天井を(つけるように)。」⁽⁶²⁵⁾

04 「またその壁の幅は 2 アンマ。そこから外に」⁽⁶²⁶⁾

⁽⁶²²⁾ Y と MR は、殆どの部分が同じ復元。よって異なる時に記す。M は 0 番の復元をしていない。Q の復元は上記注の 521 を参照。CH の復元は 01 行目から 3 行の前半まで、意味の大きな違いはなく、行の中のヘブライ語の長さが他の復元と著しく異なる。この行では、[**וּחֹדְרֵי וּפְרוֹרִים**]⁽⁶²²⁾ のすぐ後に「-空白-」を入れず、**וְרָחוֹב הַחֹדֵר עֶשֶׂר בָּאֲמָה וְאַרְכּוֹ** を持ってきている。

⁽⁶²³⁾ CH は、**וְעֶשְׂרִים בָּאֲמָה וְגוֹבְהוּ אַרְבַּע [עֲשֶׂה בָּאֲמָה וּמְקוּרָה]** と復元。

⁽⁶²⁴⁾ Y は **עֵץ** としているが、Q は **עֶצ** としている。DJD においては、4Q365a 2 ii の 9 行でホワイトは **עֵץ** としている。写真では **עֶצ** 。

⁽⁶²⁵⁾ CH は **וְרָחוֹב הַחֹדֵר בָּאֲדָשְׁכִּים [עֵץ אֲרָז וְרוֹחַב הַקִּיר שְׁתֵּים אֲמוֹת וְלַחֻצָּה]** と復元。

⁽⁶²⁶⁾ CH は **וְרָחוֹב הַנֹּשְׂכָה [וְרוֹחַב הַנֹּשְׂכָה עֶשֶׂר בָּאֲמָה וְאַרְכּוֹהָ] עֶשְׂרִים** と復元。Y と MR は **וְרָחוֹב הַנֹּשְׂכָה / הַנֹּשְׂכָה** の後に「-空白-」を入れるが、CH は入れない。

- 05 「側室は⁽⁶²⁷⁾ -空白- [側室の幅は 10 アンマ。]⁽⁶²⁸⁾
- 1 [またその長さは]⁽⁶²⁹⁾「 20 アンマ。また壁の幅は 2 アンマ」⁽⁶²⁹⁾。
 - 2 またその鴨居まで[の]高さは 14 アンマ]。またその入⁽⁶³⁰⁾「口は」⁽⁶³⁰⁾
 - 3 「3 アンマの幅」]。またすべての部屋とそ[れらの]小部屋を[このように作るように]⁽⁶³¹⁾。
 - 4 また柱[廊 幅]10 アンマ。また門と⁽⁶³²⁾
 - 5 門の間に 1[8]の部屋とそれらの小部屋をあなたは[作るように]⁽⁶³³⁾。
 - 6 [1]8⁽⁶³⁴⁾ -空白-
 - 7 またあなたは門の壁の傍らに階段の部屋を作るように。
 - 8 柱廊の(中に)⁷、螺旋階段は第 2、第 3 の柱廊の中を上り

⁽⁶²⁷⁾ Y のみが複数形。Q、CH、MR は נשכה 単数形で復元。

⁽⁶²⁸⁾ CH は באמה והקיר שתים אמות רוחב ונגובהה ארבע עשרה である。

⁽⁶²⁹⁾ Q は [שלון]ש אמןות「[3]ア[ンマ]」と復元。M は [...], CH は [באמה ומקורה בארשכים] באמה ומקורה בארשכים 「アンマ。杉の木々の梁で天井を(つけるように)。その入口は 3 アンマ」 と復元。

⁽⁶³⁰⁾ Q は [פ[רוריהמה] ופ[רוריהמה] גובה המשקוף] גובה המשקוף 「[]高さその鴨居、また[それらの]柱[廊]」 と復元。M は [...] ער המשקוף ו「鴨居まで。また[...]」 と復元。CH は [רוחב] ער המשקוף [] רוחב [] ער המשקוף 「幅[]鴨居まで、また[それらの]柱[廊]」 と復元。

⁽⁶³¹⁾ Q と CH は、[מדה אחת] לכול הנשכות ולחדריהמה 「すべての部屋に 1 つの寸法。また彼らの小部屋に」 と復元。M は、[לכול הנשכות ולחדריהמה] [...] 「[...]すべての部屋にまた彼らの小部屋に」 と復元。

⁽⁶³²⁾ Y の脚注、Q、CH、MR は、[רוחב] עשר אמות ובין שער ופרוריהמה [כולמה יהיו רוחב] עשר אמות ובין שער ופרוריהמה 「[]高さその鴨居、また[それらの]柱[廊] [それらすべては幅]10 アンマ。また門と」 と復元。M は Y の本文と同じ復元。

⁽⁶³³⁾ M と MR は Y と同じ。Q の 1996 年版と CH は、[עשרה נשכה וחדריהמה לשער] עשרה נשכה וחדריהמה לשער 「門の間に 1[8]の部屋とそれらの小部屋が[あるように]」 と復元。どちらにも可能性があるが、この欄の中では 7、11、13 行に עשה が使用されている。Y の復元の方がより妥当性があり、Q も 2010 年版では [תעשה] に変更している。

⁽⁶³⁴⁾ M と CH は Y と同じ。Q と MR は [שמונה עשר] שמונה と復元。MR によれば 5 行の [חדריהמה] にかかる数字であれば男性形なので Q が正しいとする (*The House of The Lord*, p. 82)。しかし Y は 5 行に [עשרה] שמונה があるので、[עשרה] שמונה ... עשרה [שמונה] として 2 つの部分は補足し合い、それぞれの門の間 360 アンマをそれぞれ 20 アンマの単位で分ける数字として、この復元は確かであるとしている (p. 178)。

- 9 そして屋根まで。また建てられた部屋をそしてそれらの小部屋を、それらの柱廊を下のように（あなたは作るように）⁽⁶³⁵⁾
- 10 第2、第3⁽⁶³⁶⁾のものは下の寸法のように。また第3の屋根の上に
- 11 あなたは柱を作るように。また梁によって柱から柱に天井がつけられる(ように)。
- 12 (これは)仮庵の場所(となる)。8アンマの高さ。また仮庵が
- 13 毎年の仮庵の祭において、その上に作られるように。
- 14 会衆の(長老たちのため)¹³、指導者たちのため、イスラエルの子らの父祖たちの家の頭たちのため、
- 15 また千人隊長たちのため、百人隊長たちのため、つまり上って来て、
- 16 そこに座り、(仮庵の祭に)¹⁷定められた祭の燔祭が捧げられる⁽⁶³⁷⁾まで。
- 17 毎年、門と門の間で彼らは

Col. 43

[ה לשש]] 1
[בימי השבתות ובימי]] 2
	[ובימי הבכורים לדגן לת]ירוש וליצהר]] 3
	[ובמועד קורבן ה]עצים באלה הימים יאכל ולוא יני[חו]] 4
	ממנו שנה לשנה אחרת כי ככה יהיו אוכלים אותו	5
	מחג הבכורים לדגן החטים יהיו אוכלים את הדגן	6
	עד השנה השנית עד יום חג הבכורים והיין מיום	7
	מועד התירוש עד השנה השנית עד יום מועד	8

⁽⁶³⁵⁾ MRによれば、9-10行に記された3層の部屋は聖書の2箇所⁽⁶³⁵⁾で扱われている。それは、王上6:6の והשלישית רחבה רחבה באמה ושש באמה רחבה והתיכונה שש באמה רחבה והשלישית רחבה והשלישית רחבה と、エゼ42:5-6の והלשכות העליונות קצרות כי יוכלו אתיקים מהנה מהתחתנות ומהתכנות בנין כי משלשות הנה ואין להן עמודים כעמודי הצרות על כן נאצל מהתחתנות מהארץ מהתיכנות である。彼は9-10行目をこれらの聖書の rewritten text として理解している。また9行の בניות は複数形 בנייות だとする。

⁽⁶³⁶⁾ 原文は ושלישיות。Qは最初の י は写真上には存在しないとしている。

⁽⁶³⁷⁾ M、MRはYと同じく {ע}ה"לותと読み、QとCHは(ה)ה"לותと読んでいる。MRによれば、写真を見れば両方可能だが写字者が最初に ה を間違って書き、さらに ה と書き直すだろうか、と問う。むしろ ע を間違って書き ה と書き直したと考える方が上策とする。

9 התירוש והיצהר מיום מועדו עד השנה השנית
 10 למועד יום הקרב שמן חדש ל"מזבח וכול אשר
 11 נותר ממועדיהמה יקדש באש ישרף לוא יאכל עוד
 12 כי קדש והיושבים במרחק מן המקדש דרך שלושת
 13 ימים כול אשר יוכלו להביא יביאו ואם לוא יוכלו
 14 לשאתו ימכרוהו בכסף והביאו את הכסף ולקחו בו דגן
 15 ויין ושמן ובקר וצאון ואכלוהו בימי המועדים ולוא
 16 יואכלו ממנו בימי המעשה לאונמה כי קודש הוא
 17 ובימי הקודש יאכל ולוא יאכל בימי המעשה

43 欄

- 1 []6 の[]⁽⁶³⁸⁾
- 2 []安息の日々また []の日々[]
- 3 []また穀物の初穂、ブド[ウ汁また最上の油の(祭の)]日々⁽⁶³⁹⁾
- 4 [また]木々の[捧げ物の定められた祭において]⁽⁶⁴⁰⁾。これらの日々において(それら)を食べるように。しかし

⁽⁶³⁸⁾ M は Y と同じ。ただし Y は脚注で Q、CH、MR と同じく、**ה לששת ימי** [] **המעשה** 「[働きの]6[日に]」 と復元している。

⁽⁶³⁹⁾ 前半の [] 内を復元しない点で、M、CH は Y と同様である。ただし、CH は脚注で Q を支持しているが、TSCT の方では Y の復元のままで、[]内を復元しない。Q の復元については沈黙。Q の復元は次の通り。[ובימי חג המצות] ובימי הבכורים לדגן לתירוש] 「[また種入れぬパンの祭の日々] 穀物の初穂、ブド[ウ汁また最上の油の(祭の)]日々」。ただし後半部分は Q の復元に従って M、CH、MR も復元している。MR はこの行の最後に Y のように **וליצהר** を入れる十分なスペースがないとしている。

⁽⁶⁴⁰⁾ CH、M、MR は、**וליצהרי ובימי ה עצים** 「[また[最上の油と]木々の(祭)[の日々]」 と復元。

- 5 それらをその年から次の年に(残し[ておいては]ならない)⁽⁶⁴¹⁾。実に彼らはこのように食べるように⁽⁶⁴²⁾。
- 6 小麦の穀物の初穂の祭からは穀物を食べるように。
- 7 翌年の初穂の祭の日までに。またブドウ酒を
- 8 ブドウ汁の定められた祭の(日)⁷ から翌年の(ブドウ汁)⁹ の定められた祭の日まで(飲むように)。
- 9 また最上の油を定められた祭の日から翌年の
- 10 定められた祭に、新しい油を祭壇の上⁽⁶⁴³⁾に捧げる日まで(用いるように)。またすべて
- 11 彼らの定められた祭で残ったものは聖なるものとし、火によって焼くように。再び食してはならない。
- 12 即ち聖であるから⁽⁶⁴⁴⁾。また神殿から 3(日)¹³ほどの距離に住む者らは
- 13 彼らが持って来ることのできるものを持って来るように⁽⁶⁴⁵⁾。だがもし、

⁽⁶⁴¹⁾ W は 4 行目から 5 行の前半までを、自由作文と、レビ 7:15 の短い引用を含む節ないしその一部のパラフレーズとする。レビ 7:15 は、**ובשר זבח תורת שלמיו ביום קרבננו יאכל**、**לא יניח ממנו ער בבקר** [ובמועד קורבן] **העצים באלה הימים יאכל**、Col. 43:4-5a は、**ולוא יניחון ממנו** である。

⁽⁶⁴²⁾ W はこの行の後半を、申 14:22b の非聖書的要素を含むハラハー的釈義と、出 12:11a の短い引用を含む節ないしその一部のパラフレーズとする。申 14:22b は、**שנה שנה**、出 12:11a は、**אתו תאכלו**、Col. 43:5b は、**שנה לשנה אחרת כי ככה יהיו אוכלים אותו** である。

⁽⁶⁴³⁾ 原文は、**על המזבח**。写字者は最初に **למזבח** と書き、その後で **על המזבח** と修正するために文字を加筆した。

⁽⁶⁴⁴⁾ W は 10 行の後半からここまでを、出 29:34 の構成要素が引用のために明確なミドラッシュ的用法(短い引用を含む節かその一部のパラフレーズと等しい)とする。出 29:34 は、**ויתר מבשר המלאים ומן הלחם ער הבקר ושרפת את הנותר באש לא יאכל כי קדש** **וכול אשר נותר ממועדיהמה יקדש באש ישרף לוא יאכל עוד**、Col. 43:10-12a は、**קדש כי קדש** となっている。

⁽⁶⁴⁵⁾ W は 12 行の後半からここまでを、申 14:24b の非聖書的要素を含むハラハー的釈義とする。申 14:24b は **יהוה אשר יבחר המקום אשר ירחק ממך המקום אשר יבחר יהוה**、Col. 43:12b-13a は **והיושבים** である。W は「神殿から 3 日ほどの距離に住む者ら」という語は非聖書的要素と考えているのかもしれないが、Y が主張するように、出 3:18 に **ועתה נלכה נא דרך שלשת ימים במדבר ונזבחה ליהוה אלהינו** とあり、エズ 10:9 にも **ויקבצו כל אנשי יהודה ובנימן ירושלם לשלשת הימים** とある。

- 14 彼らが運ぶことができないのなら、それを売り⁽⁶⁴⁶⁾金銭⁽⁶⁴⁷⁾にし、金銭を持って来て⁽⁶⁴⁸⁾、それによって穀物、
- 15 ブドウ酒、油、牛などの家畜、羊などの小家畜を(買い)¹⁴⁽⁶⁴⁹⁾、定められた祭の日々に食べるように。しかし
- 16 彼らの喪の行為の日⁽⁶⁵⁰⁾には食べてはならない。即ちそれは聖であるから。
- 17 また聖なる日々には食べるように。しかし(喪)の行為の日々には食べてはならない⁽⁶⁵¹⁾。

Col. 44

[] יושבים[] 1
[] אשר בתוך העיר למֵם[] 2

⁽⁶⁴⁶⁾ Y が **ימכרוהו** と読むのに対して、Q、M、MR、CH は **ומכרוהו** と読む。死海文書のヘブライ文字は **ו** と **י** の判別が難しい。

⁽⁶⁴⁷⁾ 原文は「銀」。

⁽⁶⁴⁸⁾ W は 13 行の後半からここまでを、自由作文、申 14:24a の非聖書的要素を含むハラハー的積義、および申 14:25a の非聖書的要素を含むハラハー的積義(短い引用を含む節かその一部のパラフレーズと等しい)であるとする。申 14:24a は、**וכי ירבה מנמך הדרך כי לא**、**תוכל שאתו**、申 14:25a は、**ונתתה בכסף וצרת הכסף**、Col. 43:13b–14a は、**כל אשר** **יוכלו להביא יביאו ואם לוא יוכלו לשאתו ימכרוהו בכסף** である。

⁽⁶⁴⁹⁾ W は 14 行の後半からここまでを、申 14:26a の引用なしのパラフレーズと、申 14:23b の広範囲の逐語的引用および自由作文とする。申 14:26a は、**ונתתה הכסף בכל אשר תאווה**、**דגנך תירשך ויצהרך ובכרת בקרך**、申 14:23b は、**והביאו את הכסף ולקחו בו דגן ויין ושמן ובקר וצאון**、**וצאנך**、Col. 43:14b–15a は、**לא אכלתי באני ממנו** 参照。

⁽⁶⁵⁰⁾ 申 26:14 の **לא אכלתי באני ממנו** 参照。

⁽⁶⁵¹⁾ Y は、17 行の最後に写字者が **בימי** と再度書き、消したとする。しかし Q と CH は、**לימי** だったとする。M と MR は、何らかの文字があったとする {...} のしるしを残している。W は 15 行の後半からここまでを、申 26:14a の非聖書的要素を含むハラハー的積義であるとみており、それは申 26:14a の広範囲の逐語的引用と自由作文とレビ 27:30b の広範囲の逐語的引用と自由作文(出 29:34b も可能か?)と等しいとしている。申 26:14a は、**לא אכלתי** **למת** **הוא קדש**、**באני ממנו ולא בערתי ממנו בטמא ולא נתתי ממנו למת**、**ליתה**、出 29:34b は、**אשר לא יאכל קדש הוא**、**ואשרפת את הנותר באש לא יאכל קדש הוא**、**ואכלוהו בימי המועדים ולוא יואכלו ממנו בימי המעשה לאונמה כי קודש הוא ובימי** **הקודש יאכל ולוא יאכל** である。

- 3 [] *vacat* וחלקתה את [הנשכות וחדריהמה (?)] משער]
- 4 [שמעו] עד שער יהודה יהיו לכוהנים []
- 5 וכ[ו]ל ימין שער לוי ושמאלו לבני אהרון אחיכה תח[לק]
- 6 שמונה ומאה נשכה וחדריהמה ושתי סוכותיהמה
- 7 אשר מעל הגג ולבני יהודה משער יהודה עד
- 8 הפנה ארבע וחמשים נשכה וחדריהמה והסוכה
- 9 אשר מעלהמה ולבני שמעון משער שמעון עד הפנה
- 10 השנית נשכותמה וחדריהמה וסוכת^אמה ולבני ראובן
- 11 מן המקצוע אשר אצל בני יהודה עד שער ראובן
- 12 שתיים וחמשים נשכות וחדריהמה וסוכת^אמה ומשער
- 13 ראובן עד שער יוסף לבני יוסף לאפרים ולמנשה
- 14 ומשער יוסף עד שער בנימין לבני קהת מ[ב]נ[י] הלויים
- 15 ומשע^ר בנימין עד פנת המערב לבני בנימין מן הפנה
- 16 הזאת עד שער יש שער לבני יש שער ומשער

44 欄

- 1 []住んでいる。[]
- 2 []都の中の[]⁽⁶⁵²⁾
- 3 []-空白- またあなたは[部屋とそれらの小部屋を]割り当てるように⁽⁶⁵³⁾。
- 4 [シメオ]ンの(門から)³ユダの門まで祭司たちに属するように。[]⁽⁶⁵⁴⁾
- 5 またレビの門のすべての右(側)と左(側)はあなたの兄弟アロンの子らに属する。あなたは割り当てるように。
- 6 108の部屋とそれらの小部屋、また(屋根の上にある)²つの彼らの仮庵を。
- 7 またユダの子らに属する(もの)はユダの門から
- 8 隅(まで)⁷54の部屋とそれらの小部屋、(それらの上にある)⁹仮庵。

⁽⁶⁵²⁾ Q、M、CH、MR は、**אשר בתוך העיר למזרח** [「]都の中の[東]方に」と復元している。しかし、Y もその脚注においてすでに **למזרח** 「東方に」を復元している。

⁽⁶⁵³⁾ Q、M、CH、MR は、**vacat וחלקת את [כול הנשכות משער]** 「-空白- またあなたは [すべての部屋を]割り当てるように、の門から」と復元している。

⁽⁶⁵⁴⁾ Q と CH は最後に、**בני אהרון** を加え、「アロンの子らである祭司たちに」と復元。Y と M、MR は同じ。

- 9 またシメオンの子らに属する(もの)はシメオンの門から(第2の)¹⁰隅まで
 10 それらの部屋とそれらの小部屋、それらの仮庵⁽⁶⁵⁵⁾。またルベンの子らに属する(もの)は
 11 ユダの子らの傍らの端からルベンの門まで。
 12 52の部屋⁽⁶⁵⁶⁾とそれらの小部屋、それらの仮庵⁽⁶⁵⁷⁾。また(ルベンの)¹³門から
 13 ヨセフの門まで、ヨセフの子らに属する、エフライム属し、マナセに属する。
 14 ヨセフの門からベニヤミンの門までレビ人たちの子らケハトに属する。
 15 またベニヤミンの門から西の隅までベニヤミンの子らに属する。(この)¹⁶隅から、
 16 イッサカルの門までイッサカルの子らに属する。また の門から

Col. 45

- 01 [יש שכר עד שער זבולון לבני זבולון ומשער זבולון עד פנת שער]⁽⁶⁵⁸⁾
 02 [גד לבי גרשון מן הלויים ומשער גד עד פנת הצפון לבני גד]
 03 [מן הפנת הזאות עד שער דן לבני דן ומשער דן עד שער נפתלי]
 04 [לבני נפתלי ומשער נפתלי עד שער אשר לבני מררי מן הלויים]
 1 ומש[ער אשר עד פנת המזרח לבני אשר]
 2 שבעים]
 3 וכאשר י[ה]שני יהיה בא לשמאול]
 4 א[יצא הרישון מימ[י]ן ולוא [יהי]ו מתערבים אלה באלה ויכליה[מה]
 5 משמר אל מקומו וחנו זה] ב[א] וזה יוצא ליום השמיני ומטהרים את
 6 הנשכות זואת אחרי זאות] ל[עת תצא הראישונה ולוא תהיה שמה
 7 תערוכת vacat וא[יש] כי יהיה לו מקרה לילה לוא יבואלא
 8 כול המקדש עד אשר [יש]לים שלושת ימים וכבס בגדיו ורחץ
 9 ביום הראישון וביום השלישי יכבס בגדיו ורחץ ובאה השמש אחר
 10 יבוא אל המקדש ולוא יבואו בנדת טמאתמה אל מקדשי וטמאו

⁽⁶⁵⁵⁾ 原文は、**וסוכיתמה**。中釣りの文字は写字者の修正。

⁽⁶⁵⁶⁾ Y や Q が記しているように写字者は最初に**נשכה**と書き、その後**נשכית**と修正している。

⁽⁶⁵⁷⁾ 原文は、**וסוכיתמה**。

⁽⁶⁵⁸⁾ 01-04行は、Y が可能な復元として Col. 45 の冒頭に置いているものである。MR は古文書の証拠が全くないとして、自らの復元では省略している。Q、M、DE も同様に省いている。ただし Col. 44 の流れから言って、この欄があったことは Y の言う通り確かに思える。

- 3 また[]の時[]第2のものが左に入り[]⁽⁶⁶²⁾
- 4 第1のもの⁽⁶⁶³⁾が右から出る⁽⁶⁶⁴⁾。これらは互に混じりあってはならない。また[彼]らの器具は⁽⁶⁶⁵⁾
- 5 見張る者⁽⁶⁶⁶⁾はその場所へ、そして彼らは宿営するように。8日目に1人は[入り]もう1人は出る。また彼らは
- 6 一つ一つの部屋を(浄める)⁵。第1のもの⁽⁶⁶⁷⁾が出る時に⁽⁶⁶⁸⁾、そこで互に(混じり)⁷合ってはならない。
- 7 -空白- また人に夜間遺精があったなら、彼が
- 8 3日を[満]たしその衣服を洗うまで、神殿のいかなる(場所)(へも入ってはならない)⁷。
- 9 第1日に(沐浴し)⁸、そして第3日にその衣服を洗い沐浴して、日が沈み、その後
- 10 神殿に入るように。しかし彼らの月経のような穢れを帯びて私の神殿に入って、これを穢してはならない。[]⁽⁶⁶⁹⁾

⁽⁶⁶²⁾ YとMはほぼ同じ יהיה / יה[ה]יה。Qは、וכאשר יהיה בא המשנמר השני יהיה בא, 「また見張[る者]が入る時[は]、第2の(者)は左に、[そして彼らが入る時]」と復元。CHは、וכאשר יהיה בא המשנמר הרשון השני יהיה בא לשמאול, 「また第一の見張る者が入る時、第2の(者)は左に、そして彼らが入る時」と復元している。MRは וכאשר יהיה בא לשמאול בבואו, 「そして、の時、[]第2の者は左(MRは右へと誤訳している)に入るように、[彼が入る時]」と復元している。

⁽⁶⁶³⁾ 原文は、הרישון (男性形)。

⁽⁶⁶⁴⁾ Y、M、CHは、復元の範囲は異なるが、基本的に מימין と復元している。QとMRは最後が י か ו の違いはあるが、עירו 或いは עירי 「その町、或いは、私の町」と復元している。

⁽⁶⁶⁵⁾ この後にM、QとCHは ובא と復元している。MRはYと同じだが、最後の א を除く。

⁽⁶⁶⁶⁾ Yは Course、Mは Priestly Course と訳し、祭司が神殿で奉仕する当番のことと理解している。

⁽⁶⁶⁷⁾ 原文は、הראישונה (女性形)。

⁽⁶⁶⁸⁾ Yは עת [ל] 「時のために」と復元。QとMは עת [מ] 「時から」と復元。MRは עת [ב] 「時において」と復元している。

⁽⁶⁶⁹⁾ Wは、7行の後半からここまでを、申 23:11-12 の構成要素が引用のために明確なミドラッシュの用法とし、それは申 23:11 の削除し再配列した語順による逐語的引用、申 23:12a の短い引用を含む節かその一部のパラフレーズ、出 19:10-11 の著しい削除による逐語的引用、申 23:12b の広範囲の逐語的引用と自由作文と等しいとしている。申 23:11 は、כי יהיה בך איש אשר לא יהיה טהור מקרה לילה ויצא אל מחוץ למחנה לא יבא אל תוך המחנה、申 23:12a は、והיה לפנות ערב ירחץ במים、出 19:10-11 は、וקדשתם היום ומחר

ように。

- 17 また死体⁽⁶⁷⁴⁾によって身を穢したすべての者自身は、自らを浄めるまでそこに入ってはならない⁽⁶⁷⁵⁾。-空白- またすべてツァーラアト
- 18 や障りのある者⁽⁶⁷⁶⁾は自らを浄めるまでそこに入ってはならない⁽⁶⁷⁷⁾。また彼が清まった時は[]を捧げるように⁽⁶⁷⁸⁾。

Col. 46

- 01 [חטאתו ביום עד השמני יקרב אל הטהרה בתוך המקדש ר]ק
02 לוא יבוא אל המקדש [ולוא יוכל מן הקודשים ובבוא השמש]
03 [ביום השמני מן הקודשים] יוכל ואל המקדש [יבוא
04] בה שלנחשת]
1] [] 1
2 עוף טמא על מקד[שי] [גג השערים [אשר]
3 לחצר החיצונה וכול[] [היות בתוך מקדשי לעו[לם]
4 ועד כול הימים אשר א[ני שוכן בתוכם vacat
5 vacat ועשיתה רובד סביב לחוץ מחצר החיצונה רחב
6 ארבע עשרה באמה על פי פתחי השערים כולמה ושתים
7 עשרה מעלה תעשה לו אשר יהיו עולים בני ישראל אליו
8 לבוא אל מקדשי vacat
9 ועשיתה חיל סביב למקדש רחב מאה באמה אשר יהיה
10 מבדיל בין מקדש הקודש לעיר ולוא יהיו באים בלע אל תוך
11 מקדשי ולוא יחללוהו וקדשו את מקדשי ויראו ממקדשי

⁽⁶⁷⁴⁾ 原文は、**לנפש**。この表現については民 5:2 を参照。

⁽⁶⁷⁵⁾ W は、17 行の半ばを民 5:2 の非聖書的要素を含むハラハー的積義であるとする。民 5:2 は、**וכל טמא לנפש**、Col. 45:17a は、**וכל טמא** **לה** **לנפש** である。

⁽⁶⁷⁶⁾ 原文は、**מנוגע**。「障りのある者」と訳したが、ツァーラアトと同じ意味で使用されている。

⁽⁶⁷⁷⁾ W は、17 行最後からここまでを民 5:2 の非聖書的要素を含むハラハー的積義とする。民 5:2 は、**וכל טמא לנפש**、Col. 45:17c-18a は、**וכל** **ויהיו** **מנוגע** **לוא יבואו** **לה** **עד אשר יטהרו** である。

⁽⁶⁷⁸⁾ W は 18 行後半を、レビ 14:12 の非聖書的要素を含むハラハー的積義とする。レビ 14:12 は、**וכאשר יטהר והקריב את**、Col. 45:18b は、**והקריב אתו לאשם**。

12 אשר אנוכי שוכן בתוכמה *vacat*
 13 ועשיתה להמה מקום יד חוץ מן העיר אשר יהיו יוצאים שמה
 14 לחוץ לצפון המערב לעיר בתים ומקורים ובורות בתוכמה
 15 אשר תהיה הצואה יורדת אל תוכמה ו^{לוא} תהיה נראה לכול רחוק
 16 מן העיר שלושת אלפים אמה *vacat* ועשיתה
 17 שלושה מקומות למזרח העיר מובדלים זה מזה אשר יהיו
 18 באים המצורעים והזבים וה-אנשים אשר יהיה להמה מקרה

46 欄

11Q20 XII-XIIIと平行している。

01 [8日目に彼の浄罪の供犠(を捧げるように)⁽⁶⁷⁹⁾。神殿の都の中の清いものに近づくことができる。た]だ⁽⁶⁸⁰⁾

⁽⁶⁷⁹⁾ Col. 45:18 からの続き。

⁽⁶⁸⁰⁾ 01-04 行までは CH 版による。Q は同復元を 9 行、10 行、1 行としてまとめている。ただし、CH の 04 にあたる 1 の部分は CH より長く復元している。

9 [חטאתו ביום ער השמני יקרב אל הטהרה בתוך המקדש ר]ק לוא יבוא אל
 המקדש
 10 [ולוא יוכל מן הקודשים ובבוא השמש ביום השמני מן הקודשים]
 יוכל ואל המקדש [יבוא
 1 [מכונה]ה שלנחשת] [למכונה]

1 銅の土[台][] 土台へ

M は、自著 *DJD XXIII* 11Q20, XII-XIII にあるもののみを復元。

01 [....]ק לוא יבוא אל המקדש

02 [....]רוכל ואל המקדש

03 [*vacat* ...]לוא יבוא

04 []בה שלנחשת]

01 [...]神殿に入ってはならない。

02 [...]商人。また神殿に

03 [彼は入ってはならない...]

04 [...] 銅の[...]

MR は以下の通り。

01 [ר]ק לוא יבוא אל

02 [המקדש]רוכל/ יוכל]

- 02 神殿に入ってはならない。[また彼は聖なるものを食べてはならない。]
- 03 [また 8 日目の(日の入り)⁰¹には聖なるものを彼は] 食べてもよい。[神殿にも入ることができる。]
- 04 [] 銅の[]
- 1 [] [] 飛ばせてはならない。[どんな]⁽⁶⁸¹⁾
- 2 穢れた鳥も。[私の]神殿の上を。 [] (外庭)³の門の屋根⁽⁶⁸²⁾
- 3 またすべての [] (代々)⁴[限]りなく私の神殿の中にある⁽⁶⁸³⁾。
- 4 すべての日々[私]は彼らの只中に住む。 -空白-
- 5 -空白- あなたは外庭の外の周囲にテラスを作るように。幅は
- 6 14 アンマ。すべての門の入口(の数)に従って。また
- 7 12 の階段をあなたはそれに作るように。イスラエルの子らがそれで登り、
- 8 私の神殿に入るように。 -空白-
- 9 またあなたは神殿の周囲に幅 100 アンマの壕⁽⁶⁸⁴⁾を作るように。

vacat [ואל המקדש] 03

למכונה [מכונה שלנחשתן] 04

01 [た]だ([神殿])⁰²に入ってはならない。

02 [] 商人/可能である。]

03 [また神殿へ]-空白-

04 銅の土[台][] 土台へ

⁽⁶⁸¹⁾ Q、M、CH は 11Q20 の 12 をもとに 1 行に以下の復元をしている。

[שר ה] [גבולו אשר לוא ישכון]

] それは境界で(穢れた鳥は)²は住んではならない。

MR は一部違いがある。以下、כול אשר ל[א]ן [שר ה] [] 「すべて～しない者は」。

⁽⁶⁸²⁾ Q、CH と MR は、レビ 20:25 と申 14:14 をもとに **עוף טמא על מקד[שי אשר בחצר]** 「穢れた鳥は[中庭にある神]殿の上[また]門の屋根の上に(住んではならない)¹」と復元している。M の復元は先のものから **אשר בחצר הפנמית** 「中庭にある」を欠く。

⁽⁶⁸³⁾ Q、CH、M は、**ולחצר החצנה וכל [עוף טמא לוא יכול ל]היות בתוך המקדשי [לעול[ם]** 「また外庭にも。そしてすべての[穢れた鳥は]永遠に私の神殿の中に[居ることはできない]」と復元。MR もこれに基本的に同じであるが、最後の **לעון[לם]** の lacuna の部分が異なる。

⁽⁶⁸⁴⁾ 原文は **חיל**。Y は、fosse (城・要塞の) 「堀」。M と MR は、trench 「壕」。CH は、rampart 「塁壁」と訳している。ここでは Y の壁の否定と幅のみが書かれていることから M と MR の「壕」を使用した。

- 10 聖なる神殿を都から分けるように。そして、彼らが突然、(私の神殿)¹¹の中にやって来て、
- 11 その神聖を穢すことのないためである⁽⁶⁸⁵⁾。また彼らは私の神殿を神聖し、私の神殿を畏れるように⁽⁶⁸⁶⁾。
- 12 私が彼らの只中に住んでいるからである。-空白-
- 13 またあなたは彼らのために都の外に手の場所(便所)⁽⁶⁸⁷⁾を作るように。彼らは外のそこへ出るように。
- 14 都の北西に、梁のはられた家で、その中に穴がある。
- 15 その中に排泄物が落ちて行くように。それはどのような距離からでも(都から)¹⁶見えないうように、

⁽⁶⁸⁵⁾ W は 10 行目からここまでを、自由作文と民数記（章節を記していない）の短い引用を含む節ないしその一部のパラフレーズとみる。それは、構成要素が引用のために明確である、民 4:2a のミドラッシュ的用法と等しいとしている。しかし民 4:2a は、コハテ族の人口調査について記してあり、この行とは内容が全く異なる。おそらく民 4:20 の誤記。民 4:20 は、**ומתו ומבריל בין מקדש הקודש ולא יבאו לראות כבלע את הקדש ומתו**、Col. 46:10-11a は、**לעיר ולוא יהיו באים בלע אל תוך מקדשי ולוא יחללוהו** である。

⁽⁶⁸⁶⁾ W はこの行の後半を、自由作文と、レビ 29:5b の広範囲の逐語的引用であるとするが、レビ 29:5b は存在しない。CH d が主張するレビ 19:30 あたりが妥当と思われる。レビ 19:30 は **ומקדשי תיראו**、Col. 46:11b は **מקדשי ויראו ממקדשי** である。

⁽⁶⁸⁷⁾ **יד מקום** 「手の場所」 = 「便所」。CH によれば申 22:13 の **לך מחוץ למחנה** が比較すべき聖句。聖書には **מקום** と **יד** の組み合わせはない。**יד** 自体に「場所」の意味がある。エベン・ショジャンの *A New Concordance of the Old Testament*, p. 442 参照。以下の古代訳はそれを示唆する。それは、LXX の、**καὶ τόπος ἔσται σοι ἔξω τῆς παρεμβολῆς** 「またあなたに宿営の外に場所があるように」、また、TO の、**ואתר מתקן יהי לך מברא** 「また外に備えられた場所があなたのためにあるように」である。11Q19 が書かれた時代には説明として **מקום** を必要としたのかもしれない。1Q33 (1QM) 7:7 (CH は 7:6 としているが実際には 7:7) にも **היד מקום** が出てくる。

בין כול מחניהמה למקום היד כאלפים באמה וכול ערות דבר רע לוא יראה
סביבות כול מחניהם vacat

「すべての彼らの宿営と手の場所(便所)の間を 2000 アンマ(取るように)。悪しき恥ずべきものをすべての彼らの宿営の周囲で見ることがあってはならない。-空白-」。

J. マグネスはその著書 *The Archeology of Qumran and Dead Sea Scrolls*, p. 108 で、11Q19 の **יד** は「陰茎」を意味しているとする。**יד מקום** の表現はこの時代のヘブライ語の特徴を表しているのかもしれない。

- 16 3000 アンマ⁽⁶⁸⁸⁾(離すように。)⁽⁶⁸⁹⁾ -空白- またあなたは
 17 都の東に3つの場所を(作るように)¹⁶。それは互に離れていて、
 18 ツァーラアトの者、漏出のある者、(夜間)⁽⁶⁹⁰⁾遺精のあった者が入るように⁽⁶⁹¹⁾。

	Col. 47
	[לילה] 01
	[] 02 והבאים]ל[
	[] 03 רחוק מן העיר
	[] 04 וכול ע
	[] 05 דבר ומש
	[] 06
	[] 07 וחמ
	[] 1]oo[
<i>vacat</i> [[] 2 למעלה ולוא למטה
ה לעולם והעיר	[] 3 [עריהמה טהורות וש]

⁽⁶⁸⁸⁾ 先の『戦いの書』、1Q33 (1QM) 7:7 には 2000 アンマとあるので、終末戦争時の宿営とは 1000 アンマの違いがある。

⁽⁶⁸⁹⁾ W は 13 行目からここまでを、申 23:13-15 の構成要素が引用のために明確であるミドラッシュ的用法としている。それは、申 23:13 の短い引用を含む節ないしその一部のパラフレーズ並びに自由作文、また、申 23:15b の短い引用を含む節ないしその一部のパラフレーズ並びに自由作文と等しいという。申 23:13 は、**ויד תהיה לך מחוץ**、申 23:15 は、**והיה** **בך ועשיתה להמה**、Col. 46:13-16a は、**למחנה ויצאת שמה חוץ מחניך קדוש ולא יראה בך מקום יד חוץ מן העיר אשר יהיו יוצאים שמה לחוץ לצפון המערב לעיר בתים ומקורים ובורות בתכומה אשר תהיה הצואה יורדת אל תכומה** **ולוא תהיה נראה לכול** **מקום יד חוץ מן העיר שלוש אלפים אמה** **רחוק מן העיר שלוש אלפים אמה** である。

⁽⁶⁹⁰⁾ 11Q20 Col. 13, frags. 21 ii, 25:2 による。

⁽⁶⁹¹⁾ W はこの行を、民 5:2b の短い引用を含む節かその一部のパラフレーズと自由作文とする。それは、レビ 13:26 の引用のゆえに構成要素が明確なミドラッシュ的用法と等しいとする。民 5:2b は、**כל ימי אשר הננע בו ישמא שמא הוא בדרך ישב מחוץ למחנה מושבו** である。内容に類似点はあるがヘブライ語に共通性がない。CH は、類似があるのは申 23:1 としているが、おそらく誤記で申 23:11 が正しい。申 23:11 は、**כי יהיה בך איש אשר לא יהיה טהור**、**מקרה לילה ויצא אל מחוץ למחנה לא יבא אל תוך המחנה**、Col. 46:18 は、**באים** **המצורעים והזבים והאנשים אשר יהיה להמה מקרה** である。

- 4 אשר אקדיש לשכין שמי ומקד[שי בתוכה] תהיה קודש וטהורה
 5 מכול דבר לכול טמאה אשר יטמאו בה כול אשר בתוכה יהיה
 6 טהור וכול אשר יבוא לה יהיה טהור יין ושמן וכול אוכל
 7 וכול מושקה יהיו טהורים כול עור בהמה טהורה אשר יזבחו
 8 בתוך עריהמה לוא יביאו לה כי בעריהמה יהיו עושים
 9 בהמה מלאכתמה לכול צורכיהמה ואל עיר מקדשי לוא יביאו
 10 כי כבשרמה תהיה טהרתמה ולוא תטמאו את העיר אשר
 11 אנוכי משכן את שמי ומקדשי בתוכה כי בעורות אשר יזבחו
 12 במקדש בהמה יהיו מביאים את יינמה ואת שמנמה וכול
 13 אוכלמה לעיר מקדשי ולוא יגאלו את מקדשי בעורות זבחי
 14 פגוליהמה אשר יזבחו בתוך ארצמה ולוא תטהרו עיר
 15 מתוך עריכמה לעירי כי כטהרת בשרו כן יטהרו העורות אם
 16 במקדשי תזבחוהו יטהר למקדשי ואם בעריכמה תזבחוהו וטהר
 17 לעריכמה וכול טהרת המקדש בעורות המקדש תביאו ולוא תטמאו
 18 את מקדשי ועירי בעורות פגוליהמה אשר אנוכי שוכן בתוכה

47 欄

11Q20 XIIIと平行している。

01 [夜]⁽⁶⁹²⁾

⁽⁶⁹²⁾ 前の欄からの続き。0 行の復元は、*DJD XXIII 11Q20 Col. 13, frags. 21 ii, 25:2-8* までを参考にしていた CH のものを使用した。M は 3-8 行の復元。よって 0 番の番号と内容が 1 つずつずれ、復元も 06 までである。MR は 0 番を復元していない。Q の 1996 年版は 11Q19 の 13:2-10 行を用い以下のように復元。ただし **לילה** の後の **ל ... והבאים** を欠いている。

- [לילה] 1
 רחוק מן העיר שלושת אלפים אמה] *vacat(?)* 2
 וכול עריהמה יהיו טהרות] 3
 דבר ומצ[רעת] 4
 5
 וחמנ[לתין] 6
 והורד[תין] 7
 עריה[מה] 8

1 [夜]

02 また入るものたち。 []

03 [都か]らの距離。

04 またすべての []

05 ことが []

06 []

07 また []

1 []⁶⁹³ []

2 [都か]ら[の距離は 3000 アンマ。]-空白?-

3 またすべて[彼らの都は清くあるように]

4 者とツァーラ[アト]

5

6 [私は]隣[れむ。]

7 また[私は]降ろす。

8 [彼らの]都

しかし、Q の 2010 年版は以下のように改訂している。

לילה] (3)

[רחוק מן העיר ש[לנו]שת אלפים אמה 4

[ומכול ערות] וכול ע[נ]יהמה יהיו טהרות 5

[דבר ומצ[נ]רעת 6

[] 7

[וחמנ[ל]תי עליכמה 8

(3) [] 夜]

4 [都か]ら[の距離は 3000 アンマ。]

5 またすべて[彼らの都は清くあるように] またすべての恥ずべき]

6 ものとツァーラ[アト]

7

8 [また私はあなた方を]隣[れむ。]

また、1996 年版にあった 7 行の「また[私は]降ろす」と、8 行の「[彼らの]都」は「また[私は]降ろす」を 1 行に、「[彼らの]都」を 3 行に挿入している。

⁶⁹³ M と CH は [מה] והורדת「また[あなたたちは]降ろす」と復元。Q の 2010 年版は、

[וב] [] [] והורדתי את הגשם בעתו []

[] [] 私はその時に従って雨を降らせる。

と復元している。

- 2 上[〜]。下[〜]でなく。[]-空白-(⁶⁹⁴)
- 3 また彼らの都は清くあるように。[]永遠に。また(⁶⁹⁵)
- 4 私が聖別し、私の名を住ませ、またその中には、私の神殿がある(都)³、それは聖で清くあるように。
- 5 すべてのもので、何であれ穢れているもの、それ(神殿)を穢すものは、何であれその中にあるものは
- 6 清く(あるように)⁵。また何であれそれに入るものは清くあるように。ブドウ酒、油、またすべての食物。
- 7 すべての飲み物は清くあるように。すべての清い家畜で(彼らの町の中で)⁸屠られるものの皮は、
- 8 そこに持って来てはならない。実に彼らの町においては、
- 9 それらをそれぞれ、すべての彼らの必要(⁶⁹⁶)に応じて彼らの仕事とするように。しかし私の神殿の都へは。持って来てはならない。
- 10 じつに彼らの清さは彼らの肉に従うからである(⁶⁹⁷)。
- 11 私が私の名を住ませ、またその中には、私の神殿がある(都を穢してはならない)¹⁰。またじつに(神殿において)¹²屠られた諸々の皮は
- 12 彼らのブドウ酒と共に、彼らの油と共に、またすべての
- 13 彼らの食物を私の神殿の都に(持ってくるように)¹²。しかし私の神殿を穢してはならない。

(⁶⁹⁴) M と MR は Y と同じ。Q と CH は、**ויהיו רק ל[ל]מעלה ולוא למטנה** 「[それらはただ]上[〜]下[〜]ではなく。-空白-」と復元。W はこの行を申 23:13a の再配列された語順による逐語的引用? と何か? としている。申 23:13a は誤記。正しくは申 28:13a。申 28:13a は、**ונתנך למטה תהיה לראש ולא לזנב והיית רק למעלה ולא תהיה למטה**、Col. 47:2 は、**ל[ל]מעלה**] **ולוא למטנה** である。

(⁶⁹⁵) M と Y は同じ。Q、CH、MR は、**ויהיו עריהמה טהורות ושנכנתי שמי בתוכמה** 「また彼らの都は清くあるように。[私の名はその中に]永遠に[住む]。また都は」と復元。

(⁶⁹⁶) CH によると、**צורך** は、BH においては *hapax legomenon* であるが (代下 2:15)、MH においては、ごく普通の語彙である。また、ベン・シラのヘブライ語断片に一定の頻度で現れる (CH の p. 114 参照)。

(⁶⁹⁷) Y は、「彼らの清さの度合いは彼らの肉の清さの度合いに従う」と訳す。ここでは、肉がたとえレビ記で許された清い動物のものであっても、神殿の都以外で屠られた動物の皮は、神殿に対して穢れたものであるとの考えがある (pp. 203–204)。

- 14 彼らの地の中で屠られた、不適當な(和解の犠牲の皮によって)¹³。また
 15 あなたたちはあなたたちの様々な町からの(町を)¹⁴ 私の都の(清さで) (浄めてはならない)¹⁴。実に彼の肉の清さに従い、確かに彼らはその皮を浄めるからである。もし
 16 私の神殿で屠るなら、私の神殿にそれ(皮)は清い。しかしもしあなたたちの様々な町で屠るのなら、(あなたたちの町に)¹⁷清い。
 17 またすべての神殿の清いものは、神殿の様々な皮であなただちは持ってくるように。また、あなたたちは
 18 私がその中に住む私の神殿と私の都をあなたたちの不適當な皮によって、(穢してはならない)¹⁷。

Col. 48⁽⁶⁹⁸⁾

⁽⁶⁹⁸⁾ ここと平行する『神殿の巻物』の他の証拠はない。ただし Y はレビ 11:13-21 からこの欄に鳥の名の一覧を復元していることを示唆している。CH はそれに基づき以下のごとく 01-05 までを冒頭に復元している。

-] 01
 [ואת אלה תשקצו מן העוף לא יאכלו] 02
 [הם את הנשר ואת הפרס ואת העזניה ואת הדאה ואת האיה למינה] 03
 [את כל ערב למינו ואת בת היענה ואת התחמס ואת השחף ואת הנץ למינהו] 04
 [ואת הכוס ואת השלך ואת הינשוף ואת התנשמת ואת הקאת ואת הרחם] 05
- 01 []
 02 [羽のあるもので、あなたがたが忌み嫌い、食べてはならないものはこれら⁰³である。]
 03 [鷲、秃鷲、黒秃鷲、鳶、隼の類、]
 04 [すべての鳥の類、駝鳥の種、夜鷹、カモメ、鷹の類]
 05 [梟、鶺鴒、みみずく、白ふくろう、ペリカン]

ただし CH は、同時に Col. 48 には上記の行を入れる十分な空きがないことも示唆している (p. 352)。

Q は 11Q21 frg. 3 から次のように復元している。

- ה 1
 לבוא אל עירי 2
 תרנגול לוא תגדל[ו]ן 3
 בכול המקדש 4
 המקדש[דש] 5

- 1
 2 私の都に来るため

- 2 [] -空白⁽⁷⁰⁰⁾
- 3 [これら群棲するものの中で]翅のあるもので、あなたたちが食べることのできる(もの)はトノサマバッタの類。ヒシバッタ⁽⁷⁰¹⁾の類。こおろぎ(の類)⁴
- 4 羽長蝗の種類⁽⁷⁰²⁾。これらが群棲するものの中で、翅のあるもので、あなたたちが食べることのできるものである。4つ(足)で這い回り<vol. 2は、歩き>⁽⁷⁰³⁾、
- 5 それには足の上に脛があり、それらによって地の上を跳ね⁽⁷⁰⁴⁾、その翅で飛ぶ。
- 6 翼のあるものや家畜の死骸は(一切)⁵食べてはならない。実に異国人に売れ⁽⁷⁰⁵⁾。また、すべての忌むべきものは
- 7 食べては(ならない)⁶。実にあなたは、あなたの神、主の聖なる民であるから⁽⁷⁰⁶⁾。-空白
-あなたたちは、

⁽⁷⁰⁰⁾ MはYと同じ。Qは、[והולך על ארבע]「四足で歩くものと復元。CHは、והולך על כם [שקץ הוא לך]「四足で歩くものは忌むべきものである」と復元。

⁽⁷⁰¹⁾ Yの[והסן]עםに対して、Q、M、CHは[והסן]עוםと復元。

⁽⁷⁰²⁾ レビ 11:22 は、למינהו ואת החגב למינהו、4Q365 frgs. 15a-b の5行目は、למינו ואת החגב למינו である。

⁽⁷⁰³⁾ Wは3行目からここまでを、レビ 11:22 のMTではない他の古代訳からの広範囲の逐語的引用とする。ただし、どの古代訳か不明。レビ 11:22 は、את אלה מזהם תאכלו את הארבה למינו ואת החגב למינהו ואת אלה משרץ [העוף תוכלו הארבה למינו והסן]עם למינו והחרגול למינו Col. 48:3-4a は、את אלה משרץ [העוף תוכלו הארבה למינו והסן]עם למינו והחרגול למינו <Vol. 2 ההולכים> である。

⁽⁷⁰⁴⁾ Wは3行目からここまでを、レビ 11:21 のMTではない他の古代訳からの広範囲の逐語的引用とする。ここも、どの古代訳か不明。レビ 11:21 は、על ארבע אשר לא כרעים ממעל לרגליו לנתר בהן על הארץ Col. 48:4b-5a は、על ארבע אשר יש לו כרעים ממעל לרגליו לנתר בהמה על הארץ である。

⁽⁷⁰⁵⁾ 原文は、כי מכור נוכרי。YやCHは、「しかし売ってもよい」と訳しているが、מכורは、命令形や不定詞の形であるとみて、肯定命令としても理解できる。Mは命令形として訳している (Study Edition, Vol. 1, p. 1267)。Wは5行後半からここまでを申 14:21a のMTではない他の古代訳からの広範囲の逐語的引用とする。ここも、どの古代訳か不明。申 14:21a は、לא תאכלו כל נבלה לגר אשר בשעריך תתננה ואכלה או מכר לנכרי Col. 48:5b-6a は、ולעוף בכנפיו כול נבלה בעוף ובבהמה לוא תאכלו כי מכר לנכרי である。

⁽⁷⁰⁶⁾ Wは6行後半からここまでを、申 14:3 の広範囲の逐語的引用と申 14:21b の広範囲の逐語的引用とする。申 14:3 は、לא תאכל כל תועבה、申 14:21b は、כי עם קדוש אתה

- 8 あなたたちの神、主の子らである。(死者のために)⁹あなたたちは自分自身を傷つけ、またあなたたちの額⁽⁷⁰⁷⁾に禿げを作ってはならない。
- 9 また死んだ魂のために傷をあなたたちの身につけてはならない⁽⁷⁰⁸⁾。また(あなたがたに)¹⁰刺青や徴を彫ってはならない⁽⁷⁰⁹⁾。
- 10 実にはあなたは、あなたたちの神⁽⁷¹⁰⁾、主の聖なる民であるから⁽⁷¹¹⁾。-空白- またあなたたちは(あなたたちの地)¹¹を穢してはならない⁽⁷¹²⁾。
- 11 -空白- またあなたたちは、他国民が行っているように行ってはならない。彼らは何処の場所でも
- 12 彼らの死者を埋葬している。しかも彼らの家にさえ埋葬している。むしろ場所を
- 13 あなたたちの地の中から離すように。そこにあなたの死者たちを埋葬するように。

כול תועבה לוא תואכלו כי עם קדוש אתה ליהוה、Col. 48:6b-7a は、**ליהוה אלהיך** である。

⁽⁷⁰⁷⁾ 原文は「目の間」。

⁽⁷⁰⁸⁾ W は 7 行後半からここまでを申 14:1 の広範囲の逐語的引用とする。申 14:1 は、**בנים אתם ליהוה אלהיכם לא תתגדרו ולא תשימו קרחה בין עיניכם למת**、Col. 48:7b-9a は **בנים אתמה ליהוה אלהיכמה לוא תתגדרו ולוא תשימו קורחה בין עיניכמה למת** である。

⁽⁷⁰⁹⁾ W はこの箇所をレビ 19:28 の著しい削除による逐語的引用とする。レビ 19:28 は、**ושרט לא תנפש לא תחננו בבשרכם וכתבת קעקע לא תחננו בכם אני יהוה**、Col. 48:9b-10a は **ושרטת על נפש לוא תחננו בבשרכמה וכתבת קעקע לוא תכתובו בכמה** である。

⁽⁷¹⁰⁾ Y による底本原文は、**אלוהיכה מה** である。写字者は最初 **אלוהיכה** と記し、後で **מה** を挿入したとみられる (写真版では **אלוהיכמה** という、ほぼ連続した文字列に見えるが、**מה** の前に僅かなスペースが確認できる)。

⁽⁷¹¹⁾ W はこの行のここまでを申 14:2a の広範囲の逐語的引用とする。申 14:2a は、**כי עם קדוש אתה ליהוה אלוהיך**、Col. 48:10b は、**כי עם קדוש אתה ליהוה אלוהיכה** である。

⁽⁷¹²⁾ 原文は、**ולוא תטמאו**。民 35:34a は、**ולא תטמא**、SamP 民 35:34a は、**ולוא תטמאו**、LXX 民 35:34a は **οὐ μιανείτε**、TO、TJ、NFT は **ולא תסאבון** であり、復元部分ではあるが、4QNum^b Col. 20 XI: frgs. 80-84, 27 行目に **ולוא תטמאו** とある。MT 以外はすべて複数。W はここにこそ MT 以外のヘブライ語聖書を考えるべきであるとしている。W は 10 行の「-空白-」の後からここまでを民 35:34a の広範囲の逐語的引用とする。民 35:34a は、**ולא תטמאו את הארץ**、Col. 48:10c-11a は、**ולוא תטמאו את ארצכמה** である。

- 14 (4つの)¹³町(の間に)¹³あなたたちは埋葬する場所を置くように。またそれぞれの町に障りのある者の場所を作るように⁽⁷¹³⁾。
- 15 ツァーラアト、疫病、疥癬。 これらの者があなたたちの町々に入って、これを穢さないように。また漏出の者も
- 16 月経期間の穢れた女と出産したもの、彼らが(彼らの不浄で)¹⁷あなたたちの中を穢すことのないように。
- 17 ツァーラアト、彼のうちに慢性のツァーラアトを持つもの、またはかさぶたのあるもの、祭司が彼らに穢れていると宣言したもの。

Col. 49

[תֹּ] 1
[תְּמָה אֹתְמָה שׁ] 2
[ם וּבְעֵץ אֲרִז וּבְאֲזוּב וּבַח] 3
	<i>vacat</i> אֵת עֲרִיכְמָה בְּנִגַע הַצִּרְעָת וּטְמָאו	4
	וְאָדָם כִּי יָמוּת בְּעֲרִיכְמָה כּוֹל בֵּית אֲשֶׁר יָמוּת בּוֹ הַמֵּת יִטְמָא	5
	שִׁבְעַת יָמִים כּוֹל אֲשֶׁר בְּבֵית וְכוֹל הַבָּא אֶל הַבַּיִת יִטְמָא	6
	שִׁבְעַת יָמִים וְכוֹל אוֹכֵל אֲשֶׁר יוֹצֵק עָלָיו מִ[י]ם יִטְמָא כּוֹל הַמוֹשְׁקָה	7
	יִטְמָא וְכֹלִי חֲרַשׁ יִטְמָאוּ וְכוֹל אֲשֶׁר בַּהֲמָה לְכוֹל אִישׁ טְהוֹר	8
	יִטְמָא וְהַפְתּוּחִים יִטְמָאוּ לְכוֹל אָדָם מִיִּשְׂרָאֵל כּוֹל הַמוֹשְׁקָה	9
	<i>vacat</i> אֲשֶׁר בַּהֲמָה	10
	וּבַיּוֹם אֲשֶׁר יוֹצִיאוּ מִמֶּנּוּ אֵת הַמֵּת יִכְבְּדוּ אֵת הַבַּיִת מִכוֹל	11
	תְּגַאוֹלֹת שֶׁמֶן וַיִּיַן וְלַחַת מִיַּם קִרְקָעוּ וְקִירוֹתָיו וְדִלְתוֹתָיו יִגְרוּדוּ	12
	וּמִנְעוּלָיו וּמִזּוֹזוֹתָיו וְאֶסְפִּיּוֹ וּמִשְׁקוּפָיו יִכְבְּסוּ בַּיּוֹם אֲשֶׁר	13
	יֵצֵא הַמֵּת מִמֶּנּוּ יִטְהַרוּ אֵת הַבַּיִת וְאֵת כּוֹל כְּלָיו רַחִים וּמְדוּכָה	14

⁽⁷¹³⁾ W は 11 行後半からここまでを、構成要素が引用のために明確である申 19:1-2 のミドラッシュ的用法であるとし、それは自由作文と、申 19:2 の引用なしのパラフレーズ、さらに自由作文に等しいとする。申 19:1-2 は、**כי יכרית יהוה אלהיך את הגוים אשר יהוה**、**אלהיך נתן לך את ארצם וירשתם וישבת בעריהם ובבתיהם שלוש ערים תבדיל לך ולוא תעשהו כאשר**、Col. 48:11b-14a は、**הגויים עושים בכול מקום המה קוברים כי אם מקומות תבדיל בתוך ארצכמה אשר תהיו קוברים בהמה בין ארבע ערים תתנו מקום לקבור בהמה את מתיהמה** となっている。

15	וכול כלי עץ ברזל ונחושת וכול כלים אשר יש להמה טהרה
16	ובגדים ושקים ועורות יתכבסו והאדם כול אשר היה בבית
17	וכול אשר בא אל הבית ירחץ במים ויכבס בגדיו ביום הראישון
18	וביום השלישי יזו עליהמה מי נדה וירחצו ויכבסו סלמותמה
19	ואת הכלים אשר בבית <i>vacat</i> וביום השביעי
20	יזו שנית וירחצו ויכבסו בגדיהמה וכליהמה ויטהרו לערב
21	מהמת לגעת בכול טהרתמה ובאדם אשר לוא הטמא על

49 欄

4Q524 23 と平行している？

- 1 [] []
- 2 []彼らを []⁽⁷¹⁴⁾
- 3 [] また杉の木によって、またヒソプによって。そして []⁽⁷¹⁵⁾
- 4 [] あなたたちの町々はツァーラアトの疫病により、それらは穢れる。-空白-[]
- 5 もしあなたたちの町々で人が死んだら、すべての死者の出た家⁽⁷¹⁶⁾は(7日の間)⁶穢れる。
- 6 すべてその家にあるもの、またその家⁽⁷¹⁷⁾に入る者も(7日の間)⁷穢れる。
- 7 すべての食物でその上に水がかけられたものは穢れる⁽⁷¹⁸⁾。すべての飲み物は

⁽⁷¹⁴⁾ Y は脚注において、[**שבעת ימים**] **אותמה** **אותמה** **והסגר** **תמה** **תמה** 「[また]あなたたちはそれらを [7 日間、閉鎖するように]」と復元している。M はこれと同じ。Q と CH は、**והסגר** **תמה** **תמה** **אותמה** **אותמה** **שבעת ימים** **וחטאתמה** **אותמה** 「[また]あなたたちはそれらを [7 日間、閉鎖するように。またそれと共に浄めの儀式を行うように]」と復元。

⁽⁷¹⁵⁾ M は Y と同じ。Q と CH は、**שני ולוא** **בשתי צפורים** **ובעץ** **ארז** **באזוב** **ובחוט שני** 「[2 羽の小]鳥に[よって]また杉の木によって、ヒソプによって、[緋色の紐]によって、[それらを穢してはならない]」と復元。**שני חוט** は、レビ 14:4 では **שני תולעת** 「緋色の糸」である。Y はヨシュア 2:18 か雅歌 4:3 の **שני חוט** の影響を示唆している。

⁽⁷¹⁶⁾ 原文は **בית**。CH によると、民 19:14 の **באהל** 「テント」ではなく、**בית** 「家」が使用されている。LXX は *ἐν οἰκίᾳ* であり、この行と同じく「家」という単語を使用している。

⁽⁷¹⁷⁾ 同上。民 19:14b は、**כל הבא אל האהל**、LXX 民 19:14b は、*πᾶς ὁ εἰσπορευόμενος εἰς τὴν οἰκίαν* であり、Col. 49:6b は、**וכול הבא אל הבית** となっている。

⁽⁷¹⁸⁾ W は 5 行後半からここまでを、引用のゆえに構成要素が明確である民 19:14 のミドラッシュ的用法、即ち、民 19:14a の短い引用を含む節ないしその一部のパラフレーズと自由作文、民 19:14b の短い引用を含む節ないしその一部のパラフレーズに等しいとする。民 19:14 は、**זאת שבעת ימים התורה אדם כי ימות באהל כל הבא אל האהל וכל אשר**

- 8 穢れる。またすべての陶器は穢れる⁽⁷¹⁹⁾。その中にあるものも、すべて清い者も
- 9 穢れる⁽⁷²⁰⁾。またすべて開いているものはすべてのイスラエルの者にも、
- 10 その中にある(すべての飲み物も穢れる)⁹。-空白-⁽⁷²¹⁾
- 11 また、それから死者が運び出される日、その家から
- 12 穢れた油⁽⁷²²⁾、ブドウ酒、水分⁽⁷²³⁾を(取り除くように)¹¹。その床、その壁、その扉からこすり落とすように。
- 13 またその錠、そのメズーザー⁽⁷²⁴⁾、その敷居、その鴨居を水で洗うように。
- 14 また死者がそれから出て行く(日に)¹³、その家を、またすべての器を浄めるように。
礮臼、モルタル⁽⁷²⁵⁾

אדם כי ימות בעריכמה כול בית אשר ימות בו המת, באהל ישמא, Col. 49:5-7a は、

אדם כי ימות בעריכמה כול בית אשר ימות בו המת, באהל ישמא, Col. 49:5-7a は、

⁽⁷¹⁹⁾ W は 7 行後半からここまでをレビ 11:34 の構成要素が引用のために明確であるミドラッシュ的用法、それはレビ 11:34 の短い引用を含む節かその一部のパラフレーズに等しいとしている。レビ 11:34 は、מכל האכל אשר יאכל אשר יבוא עליו מים ישמא וכל משקה, Col. 49:7b-8a は、

מכל האכל אשר יאכל אשר יבוא עליו מים ישמא וכל משקה, Col. 49:7b-8a は、

⁽⁷²⁰⁾ W は 8 行後半からここまでを、レビ 11:33 の短い引用を含む節ないしその一部のパラフレーズと自由作文とする。レビ 11:33 は、וכל כלי חרש אשר יפל מהם אל תוכו כל, Col. 49:8b-9a は、

וכל כלי חרש אשר יפל מהם אל תוכו כל, Col. 49:8b-9a は、

⁽⁷²¹⁾ W は 9 行後半からここまでを、民 19:15 の短い引用を含む節ないしその一部のパラフレーズと自由作文とする。民 19:15 は、וכל כלי פתוח אשר אין צמיד פתיל עליו שמא, Col. 49:9b-10 は、

וכל כלי פתוח אשר אין צמיד פתיל עליו שמא, Col. 49:9b-10 は、

⁽⁷²²⁾ 原文は、תנאולת, 語根は נאל 「穢れ」。CH によると、これは BH にも MH にも現れない語である。ただし、タルグム偽ヨナタンのイザ 4:4 に、同語源の תנאלתא が、צאה 「穢れ」、「便」の婉曲表現として現れる。

⁽⁷²³⁾ CH によると לח は BH においては hapax legomenon である。申 34:7 では לחה。MH では普通にこの語が用いられる。

⁽⁷²⁴⁾ 「門柱」の意。ユダヤ人の家屋の門柱や家屋の出入り口の右手上方に取り付けられる、申 6:4-9, 11:3-21 を記した清い動物の皮の巻物、またはその容器 (長窪専三『古典ユダヤ教辞典』505 頁)。

⁽⁷²⁵⁾ W はこの行を民 19:18 の引用なしのパラフレーズと自由作文とする。だが類似点の一部である。民 19:18 は ועל כל הכלים, Col. 49:14 は ואת כל כליו。またこの行の最後の部

- 15 またすべての木、鉄、青銅の器を。またすべての器で、彼らにとって清いものも⁽⁷²⁶⁾。
- 16 また衣服、袋、皮は洗われるように⁽⁷²⁷⁾。またすべてその家に居た者、
- 17 またすべてその家に来た者は水で沐浴するように。また彼の衣服は第 1 日に洗うように⁽⁷²⁸⁾。
- 18 そして第 3 日に彼らの上に不浄(を浄める)水を振りかけるように。また彼らは沐浴し、その衣服を
- 19 また家にある器を(洗うように)^{18 (729)}。-空白- また第 7 日に

分について、CH は民 11:8 の、**וטחנו ברחים או דכו במדכה** を見るように促している。

Col. 49:14 は **כליו רחים ומדוכה** である。

⁽⁷²⁶⁾ W はこの行を、構成要素が引用のために明確である民 31:20–23 のミドラッシュ的用法、即ち、民 31:20 の短い引用を含む節かその一部のパラフレーズと民 31:22 の短い引用を含む節かその一部のパラフレーズと等しいとする。民 31:20 における類似点は **וכל כלי עץ** である。民 31:22 は **את הנחשת את הברזל**、Col. 49:15 は **והנחשת וברזל עץ** である。

⁽⁷²⁷⁾ W はこの箇所を、構成要素が引用のために明確である、レビ 11:32a のミドラッシュ的用法、即ち、レビ 11:32a の短い引用を含む節かその一部のパラフレーズと等しいとする。レビ 11:32a は **עץ או בגד או עור או שק**、CH はこれに加え、民 31:20a の **כלי וכל** **בגד וכל** **עור** と比較している Col. 49:16a は **ושקים ועורות יתכבסו** である。

⁽⁷²⁸⁾ W は 16 行後半からここまでを、構成要素が引用のために明確である民 19:14b のミドラッシュ的用法、即ち、民 19:14b の短い引用を含む節かその一部のパラフレーズ、並びに出 19:10 の引用なしのパラフレーズと等しいとする。民 19:14b は **כל הבא אל האהל וכל** **האהל אשר באהל**、出 19:10 は **שמלתם וכבסו** **ביום הראשון**、Col. 49:16b–17 は **והאדם כול אשר בבית וכול אשר בא אל בית ירחץ במים** **ויכבס בגדיו ביום הראשון** である。6 行で説明した通り、民 19:14b は **כל הבא אל האהל**、LXX 民 19:14b は **πᾶς ὁ εἰσπορευόμενος εἰς τὴν οἰκίαν** である。11Q19 は **כול אשר בא אל בית** であり、LXX に近い。

⁽⁷²⁹⁾ W は 18 行目からここまでを、構成要素が引用のために明確である民 31:19–20 のミドラッシュ的用法、即ち、民 31:19–20 の短い引用を含む節ないしその一部のパラフレーズと、出 19:10b–11a の短い引用を含む節ないしその一部のパラフレーズと等しいとする。広範囲な引用だが、民 31:19–20 の類似部分は、31:19 の **כל הרג נפש וכל נגע בחלל תתחטאו**、**וביום השלישי וכל כלי עור וכל מעשה עזים וכל כלי עץ תתחטאו**、また、31:20 の **כל בגד בנד** である。出 19:10b–11a は **שמלתם והיו נכנים ליום השלישי**、Col. 49:18–19a は **וביום השלישי יזו עליהמה מי נדה ויחרצו ויכבסו סלמותמה ואת הכלים אשר** **בבית** である。Y は出 19:14b の **שמלתם** と **ויכבסו סלמותמה** の類似性を主張。ס の使用はアラム語の影響とする。

- 20 彼らは再び(水の)振りかけをし、沐浴するように。またその衣服と器を洗い、夕べに⁽⁷³⁰⁾
 21 死者から清まる。また彼らのすべての清いものに触れること(ができる)。また穢れていない者には

		Col. 50
	[]	01
	[ע]ר יום]	02
	[י]ם השבעי]ה	03
	[]	04
	[במים]	05
	[]	06
	[טמאו במת]	07
[]	[שׁוֹ] [אֵל]	1
[]	[ת]ערובת המת]	2 כי מי טהר[ה]
	[ה]עד אשר יזו את הש[נית]	3 נטמאו אין עו[ר]
	כול vacat השמש	4 ביום השביעי וטהרו[ן לע]רב כבוא השמש
	חרב	5 איש אשר יגע על פני השדה בעצם אדם מת ובחלל חרב
	משפט	6 או במת או בדם אדם מת או בקבר וטהר כחוק המשפט
	עוד	7 הזה ואם לוא יטהר כמשפט התורה הזואת טמא הוא עוד
	טהר	8 טמאתו בו וכול האדם אשר יגע בו יכבס בגדו ורחץ וטהר
	vacat	9 לערב
	אשר	10 ואשה כי תהיה מלאה וימות ילדה במעיה כול הימים אשר
	טמא	11 הוא בתוכה מת תטמא כקבר כול בית אשר תבוא אליו יטמא
	עוד	12 וכול כליו שבעת ימים וכול הנוגע בו טמא עד הערב ואם
	בגדיו	13 לתוך הבית יבוא עמה יטמא שבעת ימים וכבס בגדיו

⁽⁷³⁰⁾ W は 19 行の後半からここまでを民 19:19 の短い引用を含む節かその一部のパラフレーズと民 31:20 の引用なしのパラフレーズとする。民 19:19 は、**והזה הטהר על הטמא ביום**、民 31:20 は、**ושלשי וביום השביעי וחתאו ביום השביעי וכבס בגדיו ורחץ במים וטהר בערב**、Col. 49:19b-20 は、**וכל בנגד וכל כלי עור וכל מעשה עזים וכל כלי עץ תחתאו**、民 19:19 の最後の語は **בערב** である。Col. 49:20 は **לערב**。Y によるとラビの慣用句とのこと (p. 217)。

14	ורחץ ב{מ}ים הראישון וביום השלישי יזה וכבס בגדיו ורחץ
15	וביום השביעי יזה שנית וכבס בגדיו ורחץ ובאה השמש
16	וטהר <i>vacat</i> וכול הכלים ובגדים ועורות וכול
17	מעשה עזים כמשפט התורה הזאת תעשו להמה וכול כלי
18	חרש ישברו כי טמאים המה ולוא יטהרו עוד עד
19	לעולם <i>vacat</i>
20	כול שרץ הארץ תטמאו החולד והעכבר והצב למינו והלטאה
21	והכח והחמט והתנשמת כול איש אשר יגע בהמה במותמה

50 欄

4Q524 2 11Q20 XIVと平行している

- 01 []⁽⁷³¹⁾
 02 []その日ま[で]
 03 []第7日
 04 []
 05 []水で []
 06 []
 07 []彼らは死者によって穢れ[る][]
 1 [][]⁽⁷³²⁾
 2 実に清い水[]死者との交わり[]⁽⁷³³⁾

⁽⁷³¹⁾ 0行は *DJD XXIII 11Q20* による。

⁽⁷³²⁾ Qは、[בגן ואל יואכלו כול אשןר נטמאון] 「[彼らが穢れる]、すべてのものを食べることにより穢れる」と復元。Mは、[... ואל יואכלון כול אשןר ...] 「[また]すべて[...]であるものを[彼らは食べてはならない]」と復元。CHは、[ואל יואכלו כול אשןר נטמאון] 「またすべて[彼らを穢すものを]彼らは食べてはならない」と復元。

⁽⁷³³⁾ MはYが תערובת 「交わり」（名詞）とするところを מתערובת 「交わる」（分詞）と読む。Qの1996年版とCHは、[כי מי טהרה יזו עליהמה וטהרו מת[ערובת המת] בכול] 「[また]すべて[彼らを穢すものを]彼らは食べてはならない」と復元。Qの2010年版で וטהרו を לטהרם と変更し、「実に清い水[を彼らの上に振りかけるように。死者と交]わり(穢れた)³もの[すべてを浄めるために]」と復元し直している。

- 3 彼らは穢れた。もは[や]彼らが2度目を振りかけるまで⁽⁷³⁴⁾。
- 4 7日目に夕[方に]彼らは清まる日暮れの頃に⁽⁷³⁵⁾。-空白- またすべて
- 5 死者の骨に野で触れた者、または剣で殺された者、
- 6 または死者、または死者の血液、または墓(に触れた者は) (この)⁷ 規定の定めに従って清めるように⁽⁷³⁶⁾。
- 7 しかし、もし彼がこの律法の規定に従って浄めないなら、彼は穢れている。
- 8 彼の穢れは(まだ)⁷彼の内にある⁽⁷³⁷⁾。また、もし彼に触れる者があるならば、その衣服を洗い、沐浴するなら
- 9 夕方に(清まる)⁸⁽⁷³⁸⁾。-空白-

⁽⁷³⁴⁾ MはYと同じ。QとCHは、**נשמאו אין עוד [להגיעם בטהרת]מה עד אשר יזו את** [השנית]「彼らは穢れた。もはや[彼らの清いものに触れてはならない。]彼らが2度[目]を振りかけるまで」と復元。

⁽⁷³⁵⁾ Wは3行後半からここまでを民19:19の短い引用を含む節かその一部のパラフレーズと申23:12の短い引用を含む節かその一部のパラフレーズとする。民19:19は、**והזה השתר על השמא ביום השלישי וביום השביעי וחטאו ביום השביעי וכבס בגדיו ורחץ במים והיה לפנות ערב ירחץ במים וכבא השמש יבא אל תוך**、申23:12は、**וטהר בערב**、**ה עד אשר יזו את השנית]** **ביום השביעי וטהרו כבוא**、Col. 50.:3b-4aは、**העצם** **השמז** である。

⁽⁷³⁶⁾ Wは4行後半からここまでを非聖書的要素を含む民19:16のハラハー的釈義、即ち、民重要な削除と再配列された語順による19:16aの逐語的引用、並びに民19:13aの引用なしのパラフレーズ、並びにレビ17:14もしくは申12:23の引用なしのパラフレーズ、並びに自由作文であるとする。しかしこの行の中心は民19:16であり、後は部分的類似である。聖句の類似点は、民19:16の**כי וכל אשר יגע על פני השדה בחלל חרב או במת או בעצם**、民19:13aは、**כל הנגע במת בנפש האדם אשר**、**רק חזק לבלתי אכל הדם**、申12:23は、**כל בשר דמו בנפשו הוא**、レビ17:14は、**וכל אשר יגע על פני השדה בעצם אדם מת**、Col. 50:4b-7aは、**כי הדם הוא הנפש** である。民19:16の**ובחלל חרב או במת או בדם אדם מת או בקבר וטהר כחוק המשפט הזה** である。

⁽⁷³⁷⁾ Wは、7行後半からここまでを、民19:13bの短い引用を含む節、ないしその一部のパラフレーズと自由作文とする。民19:13bは、**כי מי נדה לא זרק עליו שמא יהיה עוד**、**ואם לא יטהר כמשפט התורה הזאת שמא הוא עוד**、Col. 50:7b-8aは、**שמאתו בו** **שמאתו בו** である。

⁽⁷³⁸⁾ Wは8行後半からここまでを、民19:22の短い引用を含む節かその一部のパラフレーズとする。民19:22は、**וכל אשר יגע בו השמא יטהר והנפש הנגעת תשמא עד ערב** である。Col. 50:8b-9は、**וכול האדם אשר יגע בו יכבס בגדיו ורחץ וטהר לערב** である。

- 10 また女が妊娠し、その赤子はその胎で死んだなら、
- 11 彼女の中に死者が居る(すべての日々)¹⁰ 墓のように彼女は穢れる⁽⁷³⁹⁾。彼女が入るすべての家も穢れる。
- 12 またすべてのその器具も 7 日間(穢れる)。またそれに触れる者も夕方まで穢れる⁽⁷⁴⁰⁾。
また、もし
- 13 彼が家の中に彼女と共に入ったなら、彼は 7 日間穢れる⁽⁷⁴¹⁾。彼は彼の衣服を洗い、
- 14 1 日⁽⁷⁴²⁾目に沐浴する。また 3 日目に(水を)振りかけ、その衣服を洗い、沐浴する⁽⁷⁴³⁾。
- 15 7 日目に彼らは再び(水の)振りかけをし、またその衣服を洗い、沐浴するように。日暮れに
- 16 彼は清まる⁽⁷⁴⁴⁾。-空白- またすべての器、衣類、皮(製品)またすべての

⁽⁷³⁹⁾ W は 11 行後半からここまでを、構成要素が引用のために明確である、民 19:14 のミドラッシュ的用法とする。民 19:14 は、**אדם כי ימות באהל כל הבא אל האהל וכל אשר כול בית אשר תבוא אליו יטמא וכול באהל יטמא שבעת ימים כול בית אשר תבוא אליו יטמא וכול**、Col. 50:11b-12a は、**כול בית אשר תבוא אליו יטמא וכול באהל יטמא שבעת ימים כול** である。

⁽⁷⁴⁰⁾ W はこの行の後半を民 19:22 の短い引用を含む節かその一部のパラフレーズとする。民 19:22 は、**וכל אשר יגע בו הטמא יטמא והנפש הנגעת תטמא עד ערב**、Col. 50:12b は **וכל אשר יגע בו הטמא יטמא והנפש הנגעת תטמא עד ערב** である。

⁽⁷⁴¹⁾ W は 13 行前半を、民 19:14b の短い引用を含む節かその一部のパラフレーズとする。しかし、実際は 12 行の最後の単語から 13 行の前半までである。民 19:14b は、**כל הבא אל האהל וכל אשר באהל יטמא שבעת ימים ואם לחוך הבית יבוא עמה**、Col. 50:13a は、**כל הבא אל האהל וכל אשר באהל יטמא שבעת ימים ואם לחוך הבית יבוא עמה** である。

⁽⁷⁴²⁾ Y によると、写字者は最初に **ביום** と書くところを **במים** と誤記、そして **מ** を消した。その後 **ו** を入れず、**ים ב** で明らかに意味が通じるのでそのままにしたとする (p. 223)。

⁽⁷⁴³⁾ W は 13 行後半からここまで (ヘブライ語テキストは 14a) を、出 19:10b の短い引用を含む節かその一部のパラフレーズとする。類似点は限られている。出 19:10b は、**וכבסו וכבסו בגדיו ורחץ ב{מ}ים**、Col. 50:13b-14a は **וכבסו וכבסו בגדיו ורחץ ב{מ}ים** である。

⁽⁷⁴⁴⁾ W は 14 行後半からここまでを、構成要素が引用のために明確である、民 19:19 のミドラッシュ的用法と、構成要素が引用のために明確である申 23:12 のミドラッシュ的用法とする。民 19:19 は、**והזה הטהר על הטמא ביום השלישי וביום השביעי וחטאו ביום והיה לפנות ערב ירחץ וכבסו בגדיו ורחץ במים וטהר בערב ורחץ ב{מ}ים הראשון**、Col. 50:14a-16a は、**והזה הטהר על הטמא ביום השלישי וביום השביעי וחטאו ביום והיה לפנות ערב ירחץ וכבסו בגדיו ורחץ במים וטהר בערב ורחץ ב{מ}ים הראשון** である。

- 17 ヤギの毛の製品に、この律法の規定に従って行うように⁽⁷⁴⁵⁾。またすべての
 18 陶器は壊すように。実にそれらは穢れていて再び清まることはないから
 19 永遠に⁽⁷⁴⁶⁾。-空白-
 20 地に群棲するものは穢れているとするように。もぐら、ねずみ、とげ尾とかげの類。と
 かげ⁽⁷⁴⁷⁾、
 21 おおとかげ、砂とかげ、カメレオン。すべてそれらの死骸に触れる者

Col. 51

[יטמא עד הערב ויכבס] הבגדי ורחץ במים ובאה השמש וטהר]	01
וכול אשר יפול [עליו מ]המה]	02
[במותמה יטמא מכול כלי עץ או בגד או עור או שק כול כלי]	03
[אשר יעשה מלאכה בהמה] במים [יובא וטמא עד הערב וטהר]	04
[ותשבורו את כול כלי חרש אשר יפול מהמה אל [תוכן] וכיא	05
[06
[ו וטמא]א] עד ה[ערב]	07
יהי טמאים	1
[לכמה ולוא]תטמאו בהמ]ה וכול הנוגע בהמה ב[מותמה יטמא	2

⁽⁷⁴⁵⁾ W は 16 行後半からここまでを、構成要素が引用のために明確である民 31:20 のミドラッシュ的用法即ち、民 31:20 の短い引用を含む節かその一部のパラフレーズと自由作文に等しいとする。民 31:20 は、**וכל בגד וכל כלי עור וכל מעשה עזים וכל כלי עץ תחתטאו**、Col. 50:16b–17a は、**וכל הכלים ובגדים ועורות וכול מעשה עזים כמשפט התורה** である。

⁽⁷⁴⁶⁾ W は 17 行後半からここまでを、構成要素が引用のために明確であるレビ 11:33 のミドラッシュ的用法即ち、レビ 11:33 の短い引用を含む節ないしその一部のパラフレーズ、並びに自由作文に等しいとする。レビ 11:33 は、**וכל כלי חרש אשר יפל מהם אל תוכו כל**、Col. 50:17b–19 は、**הזואת תעשו להמה וכול כלי חרש**、**אשר בתוכו יטמא ואתו תשבורו** である。

⁽⁷⁴⁷⁾ W は 17 行後半からここまでを、レビ 11:21a の短い引用を含む節ないしその一部のパラフレーズ、並びにレビ 11:29b の再配列された語順による逐語的引用、並びにレビ 11:31 の広範囲の逐語的引用と短い引用を含む節かその一部のパラフレーズとする。レビ 11:21a は、**כול שרץ**、レビ 11:29b は、**על הארץ החלד והעכבר והצב למינהו**、レビ 11:31 は、**כול שרץ הארץ תטמאו החולד והעכבר**、Col. 50:20–21 は、**כל הנגע בהם במתם יטמו**、**כול שרץ הארץ תטמאו החולד והעכבר** である。

3	ע[ד]ה[ערב ויכבס בגדיו ורחץ [במים ובאה] השמש וטהר
4	וכול הנושא מעצמותמה ומנבלתמה עור ובשר וצפורן וכבס
5	בגדיו ורחץ במים ובאה השמש אחר יטהר והזהרתמה את
6	בני ישראל מכול הטמ[ו]א'ת vac ולוא יטמאו בהמה אשר
7	אני מגיד לכה בהר הזה ולוא יטמאו vac כי אני יהוה שוכן
8	בתוך בני ישראל וקדשתמה והיו קדושים ולוא ישקצו
9	את נפשותמה בכול אשר הבדלתי להמה לטמאה והיו
10	קדושים vacat
11	שופטים ושוטרים תתן לכה בכול שעריכה ושפטו את העם
12	משפט צדק ולוא יכירופנים במשפט ולוא יקחו שוחד ולוא
13	יטו משפט כי השוחד מטה משפט ומסלף דברי הצדק ומעור
14	עיני חכמים ועושה אשמה גדולה ומטמא הבית בעוון
15	החטאה צדק צדק תרדוף למען תחיה ובאתה וירשתה
16	את הארץ אשר אנוכי נותן לכמה לרשתה כול הימים והאיש
17	אשר יקח שוחד ויטה משפט צדק יומת ולוא תגורו ממנו
18	להמיתו vacat
19	לוא תעשו בארצכמה כאשר הגוים עושים בכול מקום המה
20	זובחים ונוטעים להמה אשרות ומקימים להמה מצבות
21	ונותנים אבני משכיות להשתחות עליהמה ובונים להמה

51 欄

11Q20 XV と平行している

- 01 [夕方まで穢れる。そして彼はその]衣服を[水で洗い、夕暮れには清くなる。]⁽⁷⁴⁸⁾
- 02 -空白-[またすべてそれらもの]が、その上に[落ちたなら]
- 03 [それら死んでいたらすべて木の器も、衣服も、皮も、袋も、]
- 04 [それで仕事をするすべてのものも(穢れる)。⁰³水に[浸すように。夕方まで穢れる。そして清まる。]
- 05 [しかしそれが陶器]の中に[落ちたなら、あなたたちは、すべての陶器を壊すように。]また実に
- 06 []

⁽⁷⁴⁸⁾ 0 行に関しては、11Q20 とレビ 11:31-40 を使い復元した CH の TSCT を使用。

07 [夕]まで穢れ[る]

- 1 [またそれ]らから出て[くるすべてのもの]は [(あなたたちに)]穢れたものと[なる]⁽⁷⁴⁹⁾。
- 2 またあなたたちはそ[れら]によって自分を穢しては[ならない]。[またすべてそれら]死体に触れる者は⁽⁷⁵⁰⁾
- 3 夕[方まで](彼は穢れる)²(751)。彼はその衣服を洗い、[水で]⁽⁷⁵²⁾沐浴するように。日[暮れに]彼は清まる⁽⁷⁵³⁾。
- 4 またすべてそれらの骨の一部やそれらの死体の一部、皮、肉、爪を運ぶ者は
- 5 その衣服を(洗い)⁴、水で沐浴するように。日暮れの後に彼は清まる⁽⁷⁵⁴⁾。またあなたは

⁽⁷⁴⁹⁾ M は Y と同じ。Q の 1996 年版は、**כי טמאים [היו] צא מהמנה** 「[それ]らから出て[くるもの]は 実に穢れている」と復元したが、2010 年版は、**צא מהמנה, הונוג בדם היו צא מהמנה** 「[また彼らが死んだ時、それ]らから出て[くるすべてのもの]は実に穢れている」と復元し直している。CH は、**כי טמאים [וכול היו] צא מהמנה במותמה** 「[また彼らが死んだ時、それ]らから出て[くるすべてのもの]は実に穢れている」と復元している。

⁽⁷⁵⁰⁾ Q、M、CH は、**המה ולוא [תטמאו בא בהמנה וכול נוגע בהמה] במותמה יטמא** 「あなたたちはそ[れら]によって自分を穢しては[ならない]。[またすべてそれら]死体に触れる者は穢れる」と復元している。

⁽⁷⁵¹⁾ W は、1 行後半からここまでをレビ 11:35b の広範囲の逐語的引用とレビ 11:43b の広範囲の逐語的引用とレビ 11:31b の広範囲の逐語的引用とする。レビ 11:35b は、**וטמאים לכם**、レビ 11:43b は、**כל הנגע בהם יהיו יטמא עד הערב**、レビ 11:31b は、**כל הנגע בהם יהיו יטמא עד הערב**、Col. 51:1b-3a は、**יהיו טמאים [לכמה ולא] תטמאו בהמנה במתם וכול הנוגע בהמה** [ב]מותמה יטמא עד הערב である。

⁽⁷⁵²⁾ CH が主張するように、ここと比較できるレビ 11:25、28、40 には、**ורחץ במים** 「そして水で沐浴するように」という句は出てこない。SamP は 11:25、28 に **ורחץ במים** を入れる。40 節には LXX が、**καὶ λούσεται ὕδατι** 「そして水で沐浴するように」を入れる。復元テキストではあるが、2QpaleoLev 5 行にも **ורחץ במים** がある。

⁽⁷⁵³⁾ W はこの行の後半を、民 19:19b の広範囲の逐語的引用とレビ 21:7a の広範囲の逐語的引用とする。民 19:19b は **וכבס בגדיו ורחץ במים וטהר** である。レビ 21:7a は W の誤記。Y が記すレビ 22:7 が正しい。レビ 22:7a は **ובא השמש וטהר**、Col. 51:3b は **ויכבס בגדיו וטהר השמש [במים ובאה] ורחץ** である。

⁽⁷⁵⁴⁾ W は 4 行目からここまでを、レビ 11:25 の短い引用を含む節ないしその一部のパラフレーズ、自由作文、民 19:19b の広範囲の逐語的引用と(W はレビ 21:7a と誤記)レビ 22:7a の広範囲の逐語的引用であるとする。レビ 11:25 は、**וכל הנשא מנבלתם יכבס בגדיו וטמא**

- 6 すべての穢れをイスラエルの子らに(警告するように)⁵ (755)。-空白- 彼らは
- 7 この山で私があなた⁽⁷⁵⁶⁾に言う(それらによって自身を穢してはならない)⁶。また彼らは穢してはならない⁽⁷⁵⁷⁾。-空白- 実に私は主
- 8 イスラエルの子らの中に住む者である⁽⁷⁵⁸⁾。あなたたちは(彼らを)聖別するように。彼らは聖となる。また彼らは
- 9 私が彼らのために分離したすべての穢れ⁽⁷⁵⁹⁾によって、彼ら自身⁽⁷⁶⁰⁾を(忌べきもの)にしてはならない⁸。また彼らは
- 10 聖であるように⁽⁷⁶¹⁾。-空白-

עד、民 19:19b は、**וכבס בגדיו ורחץ במים וטהר**、レビ 22:7a は、**ובא השמש הערב**、Col. 51:4-5a は、**וכבס בגדיו וכבס וצפורן עור בשר ומנבלתמה ומנבלתמה** となる。**וכבס בגדיו וכבס וצפורן עור בשר ומנבלתמה ומנבלתמה** となっている。

⁽⁷⁵⁵⁾ 原文は、**והזהרתמה**。CH が主張するように、レビ 15:31 は、**את בני ישראל מטמאתם**、**והזהרתם** 「すべての穢れからイスラエルの子らを遠ざけるように」。SamP は、**והזהרתם** (ただしこれは BHS の آپアラートゥスでも指摘されている。CH の注にある **והזהרתם** は誤記。ペシッタは、**לכבס בגדיהם** (ここも CH は「イスラエル」の綴りが誤記)。LXX は、**καὶ εὐλαβείσθε ποιήσετε υἱοὺς Ἰσραὴλ** 「イスラエルの子らに警告するように」。NFT は、**ותזהרון ית בני ישראל** である。LXX も SamP もペシッタも NFT も、「警告するように」であり、この行と同じ。W は 5 行の後半からここまでをレビ 15:31a の MT ではない他の古代訳からの広範囲の逐語的引用とする。説明は上記。Col. 51:5b-6a は、**והזהרתמה את בני ישראל מכול אִתִּית** となっている。

⁽⁷⁵⁶⁾ **לכבס** と記されている。ただし、11Q20 26 ii の 2 行目では **לכה**。

⁽⁷⁵⁷⁾ W は 6 行の後半からここまでをレビ 11:43b の広範囲の逐語的引用、自由作文、および、再びレビ 11:43b の広範囲の逐語的引用とする。レビ 11:43b は、**ולא תטמאו בהם ונטמתם**、**ולוא יטמאו בהמה אשר אני מגיד לכה בהר הזה ולוא יטמאו**、**בם**、Col. 51:6b-7a は、**ולוא יטמאו בהמה אשר אני מגיד לכה בהר הזה ולוא יטמאו**。

⁽⁷⁵⁸⁾ W は 7 行の後半からここまでを民 35:34b の広範囲の逐語的引用とする。民 35:34b は、**כי אני יהוה שכן בתוך בני ישראל**、Col. 51:7b-8a は MT と同じ。

⁽⁷⁵⁹⁾ 原文は、**לטמאה**。CH はレビ 20:25b の **לטמא לכם הברלתי** と比較。MT は動詞の不定連語形である。SamP は **לטמאה לכם הברלתי**、LXX が **ἄ ἐγὼ ἀφώρισα ὑμῖν ἐν ἀκαθαρσία**、ペシッタは **לכבס בגדיהם** であり、SamP、LXX、ペシッタでは名詞形が使用されている。ただし LXX の前置詞は ἐν、他は前置詞の ל。ここは SamP に近い。

⁽⁷⁶⁰⁾ **נפשותיהמה** と記されているが、11Q20 26 ii の 3 行目では **נפשותיהמה**。

⁽⁷⁶¹⁾ W は 8 行の後半からここまでを、自由作文と、レビ 11:43a の広範囲の逐語的引用と、レビ 20:25b の広範囲の逐語的引用と、自由作文とする。それと、Y が言及しているように、9 行最後から 10 行の文は、レビ 20:25b-26a の引用である。レビ 11:43a は、**אל תשקצו**

- 11 あなたは、すべてのあなたの門の内に、裁判人と役人とを(任命して)置かなければならない。
- 12 彼らは正しい裁きをもって(民を裁くように)¹¹⁽⁷⁶²⁾。彼らは裁きにおいて、人を偏り見てはならない⁽⁷⁶³⁾。また彼らは賄賂を取ってはならない⁽⁷⁶⁴⁾。また
- 13 彼らは裁きを曲げてはならない⁽⁷⁶⁵⁾。実に賄賂は裁きを曲げ正しい者の言葉を歪め、
- 14 賢者の目を(くらまし)¹³、大きな罪責を作り、(罪の)¹⁵咎で家を穢すからである⁽⁷⁶⁶⁾。
- 15 義を、ただ義だけをあなたは求めるように。あなたが生き、やって来て、
- 16 私があなたがたに⁽⁷⁶⁷⁾与える地を(あなたが受け継ぐためである)¹⁵⁽⁷⁶⁸⁾。生涯受け継ぐためである。

ובכל אשר תרמש האדמה אשר הבדלתי לכם לטמא, レビ 20:25b-26a は、**את נפשתיכם ולוא ישקצו את נפשותמה בכול אשר אשר**, Col. 51:8b-10 は、**והייתם לי קדשים הבדלתי להמה לטמאה והיו קדושים** である。

⁽⁷⁶²⁾ W は 11 行目からここまでを、申 16:18 の MT ではない他の古代訳からの広範囲の逐語的引用とする。しかし何という古代訳か言及していない。申 16:18 は、**שפטים ושטרים בכל**, Col. 51:11-12a は、**שופטים ושטרים תתן לכה בכול שעריכה שפטו את העם משפט צדק** である。

⁽⁷⁶³⁾ **ולוא יכירופנים** 申 16:19 の加筆改訂本文であるが、MT は **לא תכיר פנים** であり、字義的には「あなたは顔を知ってはならない」(2 人称単数 jussive)。この 3 人称複数未完了形は LXX と同じ。οὐκ ἐπιγνώσονται πρόσωπον 「彼らは顔を知ってはならない」。

⁽⁷⁶⁴⁾ 原文は、**ולוא יקחו שוחד**。同じく 3 人称複数未完了形で LXX と同じ。οὐδὲ λήψονται δῶρον 「彼らは贈り物をも受けてはならない」。ちなみに申 16:19b は、**ולא תקח שחד**。

⁽⁷⁶⁵⁾ 原文は、**לוא יטו משפט**。申 16:19 の最初に **לא תטה משפט** として出てくるが、ここでは最後である。ここも 3 人称複数未完了形 LXX と同じ。οὐκ ἐκκλινοῦσιν κρίσιν 「彼らは裁きから背を向けてはならない」。

⁽⁷⁶⁶⁾ W は 12 行の後半からここまでを、MT ではない他の古代訳からの、申 16:19 の広範囲の逐語的引用とする。説明は上記。申 16:19 は、**לא תטה משפט לא תכיר פנים ולא תקח**, Col. 51:12b-14a は、**לוא יכירופנים במשפט ולוא יקחו שוחד לוא יטו משפט כי השוחד מטה משפט ומסלף דברי הצדק מעור עיני חכמים** である。

⁽⁷⁶⁷⁾ **לכׇּנְה** と記されているが、11Q20 26 ii の 7 行目では **לכׇּנְה** 。

⁽⁷⁶⁸⁾ W は 15 行の後半からここまでを、MT ではない他の古代訳からの、申 16:20 の広範囲の逐語的引用と、申 12:1b の広範囲の逐語的引用とする。申 16:20 は、**צדק צדק תרדף למען**, LXX 16:20 は、δικαίως τὸ δίκαιον ἵνα ζητετε καὶ εἰσελθόντες κληρονομήσητε τὴν γῆν ἣν κύριος ὁ θεός σου δίδωσιν

- 17 しかし賄賂を受け取り、正しい裁きを曲げる者は死に処されるように。あなたは彼を
 18 殺すことを恐れてはならない⁽⁷⁶⁹⁾。 -空白-
 19 あなたはあなたがたの地に他国民が行うようにしてはならない。すべての場所で彼ら
 は
 20 犠牲を捧げ、数々のアシェラを据え、石柱を立て⁽⁷⁷⁰⁾
 21 姿を彫った石を置き、それらに平伏し、また彼らは建て⁽⁷⁷¹⁾、

Col. 52

[במות] 01

- [] 1 לוא תטע [לכה אשרה כול עץ אצל מזבח] 1
 2 [אשר תעשה ל]כה ולוא תקים לכה מצבה [אשר שנאתי וא]בן
 3 [מ]שכית [לו]א תעשה לכה בכול ארצכה להשתחו[ות] עליה ולוא
 4 תזבח לי שור ושה אשר יהיה בו כול מום רע כי תועבה המה
 5 לי ולוא תזבח לי שור ושה ועז והמה מלאות כי תועבה המה לי
 6 ושור ושה אותו ואת בנו לוא תזבח ביום אחד ולוא תכה אם
 7 על בנים vacat כול הבכור אשר יולד בבקריכה ובצואנכה
 8 הזכרים תקדיש לי לוא תעבוד בבכור שורכה ולוא תגוז בכור
 9 צואנכה לפני תואכלנו שנה כשנה במקום אשר אבחר ואם יהיה
 10 בו מום פסח או עור או כול מום רע לוא תזבחנו לי בשעריכה

sol.、申 12:1b は、Col. 51:15b-16a は、**צדק צדק** である。

וירשתה ובאתה וירשתה את הארץ は、LXX の *καὶ εἰσελθόντες κληρονομήσητε* に近い。

⁽⁷⁶⁹⁾ W は 16 行の後半からここまでを、申 18:22b の MT ではない他の古代訳からの広範囲の逐語的引用とする(しかしどの古代訳か不明)。申 18:22b は **לא תנור ממנו**。類似点はここだけ。Col. 51:16b-18 は **ולוא תנורו ממנו**。

⁽⁷⁷⁰⁾ W は 20 行後半のここを申 16:21a の短い引用を含む節か、その一部のパラフレーズ及び申 16:22 の短い引用を含む節か、その一部のパラフレーズとする。申 16:21a は、**לא תטע** 和 **לך אשרה**、申 16:22a は、**לך מצבה**、Col. 51:20b は、**אשרות**、**ונוטעים להמה** **מצבות** である。

⁽⁷⁷¹⁾ W は 21 行を、レビ 26:1a の短い引用を含む節かその一部のパラフレーズ、並びに自由作文? とする。レビ 26:1a は、**לא תעשו לכם אילים** **ופסל** **ומצבה** **לא תקימו לכם**、Col. 51:21 は、**ונותנים** **אבני משכיות**、**ואבן משכית** **לא תתנו** **בארצכם** **להשתחות עליה** **ונוטעים** **אבני משכיות** **ובונים** **להמה** である。

11	תואכלנו הטמא והטהור בכה יחדיו וכאיל רק הדם לוא תואכל
12	על הארץ תשופכנו כמים וכסיתו בעפר ולוא תחסום שור על דישו
13	ולוא תחרוש בשור ובחמור יחדיו לוא תזבח שור ושה ועז טהורים
14	בכול שעריכה קרוב למקדשי דרך שלושת ימים כי אם בתוך
15	מקדשי תזבחנו לעשות אותו עולה או זבח שלמים ואכלתה
16	ושמחתה לפני במקום אשר אבחי לשום שמי עליו וכול הבהמה
17	הטהורה אשר יש בה מום בשעריכה תואכלנה רחוק ממקדשי
18	סביב שלושים רס לוא תזבח vacat קרוב למקדשי כי בשר פגול
19	הוא לוא תואכל בשר שור ושה ועז בתוך עירי אשר אנוכי מקדש
20	לשום שמי בתוכה אשר לוא יבוא לתוך מקדשי וזבחו שמה
21	וזרקן את דמו על יסוד מזבח העולה ואת חלבו יקטירו

52 欄

01 [高き所]⁽⁷⁷²⁾

- 1 []あなたは([自身のために作る])²[私の祭壇の傍らにアシェラやどんな木も]据えてはならない⁽⁷⁷³⁾。
- 2 あなたは自身のために[私が憎む]石柱を立ててはならない。また
- 3 [姿]を彫った([石])²を、あなたのすべて地に作ってはならない。それに平伏してはならない⁽⁷⁷⁴⁾。また

⁽⁷⁷²⁾ Q と CH による。

⁽⁷⁷³⁾ 1 行と 2 行において、Q と CH は Y と似ているが行が異なる。

1 [] אכל לוא חטע [לכה אשרה כול עץ אצל]

2 [מזבחי אשר תעשה ל]כה ולוא תקום לכה מצבה [אשר שנאתי וא]כן

- 1 []食 あなたは([自身のために作る]私の祭壇の傍らにアシェラやどんな木も)²据えてはならない。
- 2 あなたは自身のために[私が憎む]石柱を立ててはならない。また

Y は Q と CH が **אכל** と復元しているところを **שכל** と読み、創 3:6 の **להשכיל** と関連付け、木とアシェラを植えることの禁止か?、としながら憶測を避けるべきとも記している。W は記していないが、1 行目の申 16:21 に類似している。申 16:21 は、**לא חטע לך אשרה** **לוא חטע לך אשר תעשה לך**、Col. 52:1 は、**לוא חטע לכה אשרה** **לוא חטע לך אשר תעשה לך**、**כול עץ אצל מזבח יהוה אלהיך אשר תעשה לך** **כול עץ אצל מזבח** [] である。

⁽⁷⁷⁴⁾ 原文は、**לוא חטע לכה בארצכה להשתחון עליה**。CH はレビ 26:1b の

- 4 あなたは雄牛、羊、山羊で、すべて重大な欠陥のあるものを捧げてはならない。実にそれらは(私にとって)⁵忌むべきことである。
- 5 あなたは雄牛、羊、山羊で、妊娠⁽⁷⁷⁵⁾しているものは捧げてはならない⁽⁷⁷⁶⁾。実にそれらは私にとって忌むべきことである。
- 6 あなたは雄牛と羊⁽⁷⁷⁷⁾を、それ自体とその子とを1日の内に捧げてはならない。また母
- 7 と子を共に(討って)⁶はならない⁽⁷⁷⁸⁾。-空白- すべてあなたの牛などの家畜や羊などの小家畜の
- 8 雄は私に聖別するように。あなたの雄牛の初子で働いてはならない。またあなたの(羊などの小家畜)⁹の初子の毛を刈ってはならない⁽⁷⁷⁹⁾。

ונותנים אבני משכיות, 11Q19 51:21 の、לא תתנו בארצכם להשתחות עליה
להשתחות עליהמה とも比較している。ただしペシッタのレビ 26:1b は、**לא תעשה לך מצבה ואבן מושכית לא תתנו לא יהיה אלהיכם** で、最後の前置詞と人称代名詞が異なるとする。W は 2 行目からここまでを、申 16:22 の広範囲の逐語的引用と、レビ 26:16(ここも誤記。正しくはレビ 26:1)の広範囲の逐語的引用とする。申 16:21 は、**ולא תקים לך מצבה אשר שנה יהוה אלהיך**、レビ 26:1 は、**לא תעשו לכם אלילים ופסל ומצבה לא תקימו לכם ואבן מושכית לא תתנו לא יהיה אלהיכם** [אשר תעשה לך]כה ולוא תקים, Col. 52:2–3a は、**אשר שנתתי ואבן [מ]שכית לוא תעשה לכה בכול ארצכם להשתחנות**] עליה である。

⁽⁷⁷⁵⁾ CH は **מלא** が妊娠を表すことについて、コヘ 11:5 および Col. 50:10 を参照している。

⁽⁷⁷⁶⁾ W は 3 行の最後の語からここまでを、MT ではない他の古代訳からの、申 17:1 の広範囲の逐語的引用?(どの古代訳か不明)とする。申 17:1 は、**לא תזבח ליהוה אלהיך שור ושה**、Col. 52:3b–5 は、**ולוא תזבח שור ושה אשר יהיה בו כול מום רע כי תועבת יהוה אלהיך הוא** **ולוא תזבח ליהוה אלהיך הוא** **אשר יהיה בו כול מום רע כי תועבת יהוה אלהיך הוא** **ולוא תזבח ליהוה אלהיך הוא** **אשר יהיה בו כול מום רע כי תועבת יהוה אלהיך הוא** である。11Q19 において神が 1 人称になる部分の一つ。MT では明らかに 3 人称。

⁽⁷⁷⁷⁾ 原文は、**ושור ושה**。CH はレビ 22:28 の **שור או שה** 「雄牛か羊か」と比較。LXX は **καὶ μόσχον ἢ πρόβατον** で MT と同じ。TO、TJ、NFT も、ペシッタの **אבן מושכית** も MT と同じである。ただ SamP が **ושור ושה** でこと同じ。

⁽⁷⁷⁸⁾ W は 6 行目からここまでをレビ 22:28 の広範囲の逐語的引用と、MT ではない他の古代訳からの申 22:6b の広範囲の逐語的引用?とする。理由は上記。レビ 22:28 は、**ושור או שה** **לא תקח האם על הבנים**、また、Col. 52:6–7a は、**ושור או שה אותו ואת בנו לוא תזבח ביום אחד ולוא תכה אם על הבנים** である。

⁽⁷⁷⁹⁾ W は 7 行後半からここまでを、申 15:19 の広範囲の逐語的引用とする。申 15:19 は、**כל**

- 9 あなたは私が選ぶ場所で私の前で年ごとに⁽⁷⁸⁰⁾それを食べるように。しかしもし
- 10 それに欠陥があり、足が不自由であったり、目が見えなかったり、すべて重大な欠陥があるなら私にそれを捧げてはならない。あなたの町々の内で、
- 11 あなたは、あなたの門の内で穢れている者も清い者も、あなたの内⁽⁷⁸¹⁾で一緒にガゼルや雄鹿を(食べるときと)同じようにそれを食べるように。ただ血を食べてはならない。
- 12 地の上に水のように注がなければならない⁽⁷⁸²⁾。また塵でそれを覆うように⁽⁷⁸³⁾。あなたはその脱穀において雄牛に口籠をかけてはならない。
- 13 あなたは雄牛とロバを一緒にして耕してはならない。あなたは清い雄牛、羊、山羊
- 14 を私の神殿の近く、3日ほどの距離では、すべてあなたの町々の内で(屠ってはならない)¹³。むしろ
- 15 私の神殿の中でそれを燔祭、和解の犠牲とし、あなたはそれを屠るように。またあなたは

הבכור אשר יולד בבקרך ובצאנך הזכר תקדיש ליהוה אלהיך לא תעבד בבכר שורך כול הבכור אשר יולד בבקריכה הזכרים, ולא תגז בכור צאנך צאנך תקדיש לי לוא תעבוד בבכור שורכה ולוא תגז בכור צואנכה ובצואנכה

⁽⁷⁸⁰⁾ Y と M は כשנה、Q と CH は בשנה。

⁽⁷⁸¹⁾ 申 15:22 には בכה はなく、כצבי וכאיל となっている。ただし LXX は、ἐν ταῖς πόλεσίν σου φάγη αὐτό ὁ ἀκάθαρτος ἐν σοὶ καὶ ὁ καθαρὸς ὡσαύτως ἔδεται ὡς δορκάδα ἢ ἔλαφον (ἐν σοὶ = בכה)。

⁽⁷⁸²⁾ W は 9 行後半からここまでを、申 15:20 の広範囲の逐語的引用と、申 15:21 の広範囲の逐語的引用と、MT ではない他の古代訳からの申 15:22 の広範囲の逐語的引用と、申 15:22 の MT ではない他の古代訳からの広範囲の逐語的引用(どの古代訳か不明)と、MT ではない他の古代訳からの申 15:23 の広範囲の逐語的引用(どの古代訳か不明)とする。申 15:20 は、לפני יהוה אלהיך תאכלנו שנה בשנה במקום אשר יבחר יהוה אתה וביתך、申 15:21 は、וכי יהיה בו מום פסח או עור כל מום רע לא תזבחנו ליהוה אלהיך、申 15:22 は、דמו לא תאכל、申 15:23 は、בשעריך תאכלנו הטמא והטהור יחדו כצבי וכאיל、על הארץ תשפכנו כמים רק、Col. 52:9b-12a は、לפני תואכלנו שנה בשנה במקום אשר、אבחר ואם יהיה בו מום פסח או עור או כול מום רע לוא תזבחנו לי בשעריכה תואכלנו הטמא והטהור בכה יחדיו כצבי וכאיל רק הדם לוא תואכל על הארץ תשפכנו כמים である。

⁽⁷⁸³⁾ W は 9 行後半からここまでを、申 25:4 の広範囲の逐語的引用と、申 22:10 の広範囲の逐語的引用とする。申 25:4 は、לא תחסם שור בדיש、申 22:10 は、לא תחרש בשור ובחמר、ולוא תחסום שור על דישו ולוא תחרוש בשור ובחמור יחדיו、Col. 52:12b-13a は、

- 16 その上に私の名を置くために私が選ぶ場所で、私の前で(食べ)¹⁵、喜ぶように。またすべての
- 17 清い(家畜)¹⁶でその身に欠陥のあるものは、あなたの町々の内で、私の神殿から離れ
- 18 周囲 30 スタディアにおいて(食べるように)¹⁷。私の神殿の近くでは -空白- あなたは屠ってはならない。実に(それは)¹⁹不適當な肉だからである。
- 19 あなたは、私が(その中に名を置くために)²⁰私が聖別する私の都の中では雄牛、羊、山羊の肉を食べてはならない。
- 20 私の神殿の中に来てはならない。彼らはそこで屠り
- 21 その血を燔祭の祭壇の基部へ打ち掛け⁽⁷⁸⁴⁾、その脂肪は焼いて煙にするように⁽⁷⁸⁵⁾。

Col. 53

- 01 [רק בכול אות נפשכה תזבח ואכלתה בשר כברכתי אשר אתן לכה]
- 02 [בכול שעריכה הטמא והטהור יאכולנו כצבי וכאיל רק הדם לוא]
- 03 [תאכלו על הארץ תשופכנו כמים לוא תוכל לאכל בשעריכה מעשר]
- 04 [דגנכה ותירשכה ויצהרכה ובכרת בקרכה וצאנכה וכול נדרכה אשר תדר]
- 05 [ונדבתיכה ותרומת ידכה כי אם לפני תאכלנו במקום אשר אבחר]
- 06 [בו אתה ובנכה ובתכה ועבדכה ואמתכה והלוי אשר בשעריכה]
- 07 [ושמחת לפני בכול משלה ידכה כי ארחיב את גבולכה]
- 1 [כאשר דברתי לכה וכי ירחק] ממכה המקום אשר בחרתי לשום שמי שמה]
- 2 [ואמרתה אוכלה בשר כי א]ותה נפשכה לאכול ב[שר בכול אות נפשכה]
- 3 תואכל ב[שר] וז[ב]ח[ת]ה מצואנכה ומבקריתה כברכתי אשר אתן
- 4 לכה ואכלתה בשעריכה והטהור והטמא בכה יחדיו כצבי
- 5 וכאיל רק חזק לבלתי אכול הדם על הארץ תשופכנו כמים וכסיתו
- 6 בעפר כי הדם הוא הנפש ולוא תואכל את הנפש עם הבשר למען
- 7 יוטב לכה ולבניכה אחריכה עד עולם ועשיתה הישר והטוב
- 8 לפני אני יהוה אלוהיכה *vacat*

⁽⁷⁸⁴⁾ W は 20 行後半からここまでを、レビ 4:25b の短い引用を含む節かその一部のパラフレーズとする。レビ 4:25b は、**ואת דמו ישפך אל יסוד מזבח העלה**、Col. 52:20b–21a は、**לוא יבוא לתוך מקדשי וזבחו שמה וזרקו את דמו על יסוד מזבח העולה**である。

⁽⁷⁸⁵⁾ W は 21 行後半を、レビ 4:26a の短い引用を含む節ないしその一部のパラフレーズとする。レビ 4:26a は、**ואת חלבו יקטירו**、Col. 52:21b は、**ואת חלבו יקטירו**である。

- 9 רק קודשיכה וכול נדריכה תשא ובאתה אל המקום אשר אשכין
- 10 שמי עליו וזבחתה שמה לפני כאשר הקדשתה או נדרתה בפיכה
- 11 וכי אם תדור נדר לוא תאחר לשלמו כי דרוש אדורשנו מידכה
- 12 והיה בכה לחטאה ואם תחדל ולוא תדור לוא יהיה בכה חטאה
- 13 מוצא שפתיכה תשמור כאשר נדרתה נדבה בפיכה לעשות
- 14 כאשר נדרתה *vacat* ואיש כי ידור נדר לי או ישבע
- 15 שבועה לאסור אסר על נפשו ולוא יחל דבריו ככול היוצא מפיהו
- 16 יעשה *vacat* ואשה כי תדור נדר לי או אסרה אסר על נפשה
- 17 בבית אביה בשבועה בנעוריה ושמע אביה את נדרה או
- 18 את האסר אשר אסרה על נפשה והחריש לה אביה וקמו
- 19 כול נדריה וכול אסרה אשר אסרה על נפשה יקומו *vac* ואם
- 20 הנא יאנה אביה אותה ביום שומעו כול נדריה ואסריה
- 21 אשר אסרה על נפשה לוא יקומו ואנוכי אסלח לה כי הניאה

53 欄

- 01 [ただし私があなたに与える私の祝福に従い、(あなたのすべての町々の内で)⁰²、あなたの魂の欲するままに屠り、肉を食べるように。]
- 02 [穢れた者も、清い者も、ガゼルや雄鹿を(食べるとき)同じようにそれを食べるように。ただし、あなたたちは血を]
- 03 [食べて(はならない)⁰²。地の上に水のように注がなければならない。あなたの町々の内で]
- 04 [あなたの穀物とブドウ汁と最上の油の(1/10)⁰³ あなたの牛などの家畜と羊などの小家畜の初子、またあなたが請願を立てたすべての満願の捧げ物、]
- 05 [あなたの自発的な捧げ物、あなたの手による供え物も(決して食べてはならない)⁰³。うではなく、私の前で、私が選んだ場所で]
- 06 [あなたはあなたの息子や娘、あなたの男奴隷や女奴隷、あなたの町々の内に居る、レビ人と食べるように。]
- 07 [また私の前であなたの手になるすべての労作を喜ぶように。実に私があなたの境界を広げるからである。]

- 1 [私があなたに話したように。またもしそこに私の名を置くために私が選んだ場所があなたから遠く]⁽⁷⁸⁶⁾
- 2 あなたは「さあ私は肉を食べよう」と言う。もしあなた自身が肉を欲するなら、あなた自身の欲求において⁽⁷⁸⁷⁾
- 3 あなたは肉を食べるように⁽⁷⁸⁸⁾。私が(あなたに)⁴与えた私の祝福に従って、あなたの羊などの小家畜や牛などの家畜から、[あなたは]屠[るように]。
- 4 あなたの町々のあなたの門の内⁽⁷⁸⁹⁾で穢れている者も清い者も一緒にガゼルや(雄鹿)⁵をあなたの内で⁽⁷⁹⁰⁾(食べるとき)同じようにそれを食べるように。
- 5 ただ確かに血を食べてはならない。地の上に水のように注がなければならない。

⁽⁷⁸⁶⁾ Mは空白のまま [...].[...]、Qの1996年版は、**וכי ירחק מממכה המקום אשר בחרתי** [וכי ירחק מממכה המקום אשר בחרתי ואמרתה]「[またもし私が選んだ場所があなたから遠く][そしてあなたが言うなら]」と復元したが、2010年版では、**אשר** と **בחרתי** の間に **בו** を挿入して、「[またもし私が選んだその場所があなたから遠く][そしてあなたが言うなら]」と復元し直している。CHは、**רברתי ואמרתה** [רברתי ואמרתה המקום אשר בחרתי ואמרתה] **לכה וכי ירחק מממכה המקום אשר בחרתי ואמרתה**「[私はあなたに言った。またもし私が選んだ場所があなたから遠く][そしてあなたが言うなら]」と復元している。Yにおいて最後の **ואמרתה** は2行の最初に来る。申 12:21 をもとに復元している。

⁽⁷⁸⁷⁾ Mは、**כי אנתה נפשכה לאכול בשר** [...]「[もし]あなた自身が[肉]を食べることを欲するなら」と短い復元。

⁽⁷⁸⁸⁾ Wは2行目からここまでを、申 12:20b の広範囲の逐語的引用とする。MT 申 12:20b は、**ואמרת אכלה בשר כי תאווה נפשך לאכול בשר בכל אות נפשך תאכל בשר**、Col. 53:2-3a は、**ואמרתה אוכלה בשר כי אנתה נפשכה לאכול בשר בכל אות נפשכה**、**ואמרתה אוכל בשר** である。

⁽⁷⁸⁹⁾ Wは3行後半からここまでを、MT ではない他の古代訳からの申 12:21b の広範囲の逐語的引用(どの古代訳か不明)とする。MT 申 12:21b は、**וזבחת מבקרך ומצאנך אשר נתן יהוה לך כאשר צויתך ואכלת בשעריך**、Col. 53:3b-4a は、**וזבחתה ומצאנכה ומבקריכה אשר נתן לכה ואכלתה בשעריכה** である。

⁽⁷⁹⁰⁾ MT 申 12:22 の **יהוה יחדו והטמא והטהור** は **בכה** を欠く。ただし SamP と LXX 申 12:22 にはそれぞれ、**יהוה יחדו והטמא בכך והטהור**、**ὁ ἀκάθαρτος ἐν σοὶ καὶ ὁ καθαρὸς ὡσαύτως ἔδεται** とあり、**בכה** にあたる人称代名詞 **בך** ないし **ἐν σοί** が存在する。

- 6 また塵でそれを(覆うように)⁵(⁷⁹¹)なぜなら血は命だからである。また命を肉と共に食べ
てはならない(⁷⁹²)。
- 7 あなたとあなたの後のあなたの子らに、永遠にまで良いことがある(ように)⁶。あなたは
(私の前に)⁸真直ぐで良いことを行いなさい。あなたは(私の前に)⁸真直ぐで良いこと
を行いなさい。
- 8 私はあなたの神、主である(⁷⁹³)。-空白-
- 9 ただあなたの聖なるものとすべての満願の捧げ物をあなたは取り、(その上に私の名)¹⁰
を住ませるための場所へ来るように。
- 10 そこであなたは私の前に犠牲を捧げるように。あなたが聖別し、あなたの口で請願を立て
る時(⁷⁹⁴)、
- 11 またむしろあなたが請願を立てる時はそれを果たすのを遅らしてはならない。私はあ
なたの手から必ずそれを求める。

(⁷⁹¹) W は 4 行後半からここまでを、MT ではない他の古代訳からの申 12:22b の広範囲の逐語的引用と、申 12:23a の広範囲の逐語的引用と、MT ではない他の古代訳からの申 12:24 の広範囲の逐語的引用とする。MT 申 12:22b は、**את הצבי ואת האיל כן תאכלנו הטמא**、**והטהור יחרו**、MT 申 12:23a は、**רק חזק לבלתי אכל הדם**、MT 申 12:24 は、**לא**、**תאכלנו על הארץ תשפכנו כמים** である。ただし 6a を入れるなら、これにレビ 17:13b を **את דמו וכסהו בעפר** の **והטהור והטמא בכה יחרו כצבי** 加えるべき。Col. 53:4b-6a は、**רק חזק לבלתי אכול הדם על הארץ תשופכנו כמים וכסיתו בעפר** である。

(⁷⁹²) レビ 17:11 参照。

(⁷⁹³) W は 6 行後半からここまでを、MT ではない他の古代訳からの申 12:23b の広範囲の逐語的引用(どの古代訳か言及なし)と、MT ではない他の古代訳からの申 12:25 の広範囲の逐語的引用(どの古代訳なのか不明)とする。MT 申 12:23b は **כי הדם הוא הנפש ולא תאכל**、**הנפש עם הבשר**、MT 申 12:25 は **כי תעשה הישר בעיני יהוה**、**למען ייטב לכה ולבניכה אחריכה עד עולם אני יהוה אלוהיכה** である。

(⁷⁹⁴) W は 9 行、10 行を、MT ではない他の古代訳からの申 12:26 の広範囲の逐語的引用と、申 12:11 の引用なしのパラフレーズとする。MT 申 12:26 は、**רק קדשיך אשר יהיו לך**、**ונדריך תשא ובאת אל המקום אשר יבחר יהוה**、**והיה המקום אשר**、**רק קודשיכה וכול נדריכה תשא**、**והיה המקום אשר יבחר יהוה אלהיכם בו לשכון שמו**、**ובאתה אל אשר אשכון שמי עליו וזבחתה שמה לפני כאשר המקום הקדשתה או נדרתה בפיקה** である。

- 12 そしてあなたの内に罪がある。またもし、あなたがやめ、請願を立てないなら、あなたに罪はない⁽⁷⁹⁵⁾。
- 13 (あなたが請願を立てるように)¹⁴ あなたの口から出るものを守るように。あなたが自発的に、あなたの口で行う請願を立てたのだから⁽⁷⁹⁶⁾。
- 14 -空白- また人が私に請願を立て、(彼自身が物断ちをすると)¹⁵ 誓ったなら
- 15 彼は自分の言葉を冒瀆してはならない。自分の口から出たすべてのように
- 16 行うように⁽⁷⁹⁷⁾。-空白- また女が(若く、まだ彼女の父の家にいる内に)¹⁷、私に請願を立てたり、彼女自身が物断ちをすると誓った場合、
- 17 しかし彼女の父が彼女の請願や
- 18 彼女自身の物断ちを聞き、彼女の父が彼女に沈黙するなら、それは有効である。
- 19 すべての彼女の請願や彼女自身の物断ちは有効である⁽⁷⁹⁸⁾。-空白- しかしもし、

⁽⁷⁹⁵⁾ W は 11 行、12 行を、申 23:22 の広範囲の逐語的引用と、申 23:23 の広範囲の逐語的引用とする。MT 申 23:22 は、**כי תדר נדר ליהוה אלהיך לא תאחר לשללמו כי דרש**、MT 申 23:23 は、**וכי תחדל נדר לא יהיה**、**וכי אם תדור נדר לוא תאחר לשלמו כי דרוש אדורשנו**、Col. 53:11–12 は、**מירכה והיה בכה לחטאה ואם תחדל ולוא תדור לוא יהיה בכה חטאה** である。

⁽⁷⁹⁶⁾ W は 13 行のここまで(14a を含む)を、MT ではない他の古代訳からの申 23:24 の広範囲の逐語的引用(どの古代訳か不明)とする。MT 申 23:24 は、**מוצא שפתיך תשמר ועשית**、Col. 53:13–14a は、**מוצא שפתיכה כאשר נדרת ליהוה אלהיך נדבה אשר דברת בפך** である。

⁽⁷⁹⁷⁾ W は 14 行後半からここまでを、MT ではない他の古代訳からの民 30:3 の広範囲の逐語的引用とする。MT 民 30:3 は、**איש כי ידר נדר ליהוה או השבע שבעה לאסר אסר**、Col. 53:14b–16a は、**איש כי ידור נדר לי או ישבע שבועה לאסור אסר על נפשו ולוא יחל דבריו ככל היוצא מפיו יעשה** である。MT 民 30:3 の **דבריו** は、SamP 民 30:3 では **לא יחל דבריו** となっている。しかし CH は **דבריו** と **דבריו** は正字法の相違にすぎないとする(しかし SamP に類似)。

⁽⁷⁹⁸⁾ W は 16 行後半からここまでを、MT ではない他の古代訳からの民 30:4 の広範囲の逐語的引用と、MT ではない他の古代訳からの民 30:5 の広範囲の逐語的引用とする。MT 民 30:4 は、**ואשה כי תדר נדר ליהוה ואסרה אסר בבית אביה בנעריה**、MT 民 30:5 は、**ושמע אביה את נדרה ואסרה אשר על נפשה והחריש לה אביה וקמו כל נדריה וכל ואשה כי תדור נדר לי או אסרה**、Col. 53:16b–19a は、**אסר על נפשה בבית אביה בשבועה בנעוריה ושמע אביה את נדר או את האסר אשר**

- 20 それを聞いた日に彼女の父がそれを強く禁じたならば、すべての請願と彼女が自分自身に課した物断ちは
- 21 無効となる。また私は彼女を許す。なぜなら(彼女の父が) 不可としたから⁽⁷⁹⁹⁾。

Col. 54

[אביה] 01

- 1 ש[ומעו ואם הפר אותמה אחרי] י[ו]ם [ש[ומעו ונשא את]
- 2 עונה א[ישה הפרמה כול נדר] או כול שבועת א[סר לענות נפש]
- 3 אישה יקי[מנן] ואישה [י]פֶרְנוּ ביום שומעו ואנוכי אסלה [ל]ה
- 4 vacat וכול נדר אלמנה וגרושה כול אשר אסרה על נפשה
- 5 יקומו עליה ככול אשר יצא מפיה vac כול הדברים אשר
- 6 אנוכי מצוכה^{אותמה} היום תשמור לעשות לוא תוסיף עליהמה ולוא
- 7 תגרע מהמה vacat
- 8 אם יקום בקרבכה נביא או חולם חלום ונתן אליכה אות או
- 9 מופת ובא אליכה האות^א והמופת אשר דבר אליכה לאמור
- 10 נלכה ונעבודה אלוהים אחרים אשר לוא ידעתמה לוא
- 11 תשמע אל דבר הנביא ההוא או לחולם החלום ההואה כי
- 12 מנשה אנוכי אתכמה לדעת הישכם אוהבים את יהוה
- 13 אלוהי אבותיכמה בכול לבבכם ובכול נפשכמה אחרי יהוה

אסרה והחריש לה אביה וקמו כול נדריה וכול אסרה אשר אסרה על נפשה יקומו כל נדריה ואסריה אשר כל נדריה וכל אסר אשר אסרה 民 30:5 であり、LXX では $\pi\acute{\alpha}\sigma\alpha\iota \alpha\acute{\iota} \epsilon\upsilon\chi\alpha\acute{\iota} \alpha\upsilon\tau\eta\varsigma \kappa\alpha\acute{\iota} \pi\acute{\alpha}\nu\tau\epsilon\varsigma \omicron\acute{\iota} \acute{\omicron}\rho\acute{\iota}\sigma\mu\acute{o}\iota \omicron\upsilon\varsigma \acute{\omega}\rho\acute{\iota}\sigma\alpha\tau\omicron$ 、ペシッタでは $\text{כלםהך נדריהך אסריהך אסריהך אסריהך}$ となっている。כול אסרה を単数と読むか複数で読むかで変わってくる。Y のように単数と読めば MT と変わらないし、CH や M のように複数で読めば LXX やペシッタに近い。W は後者。

⁽⁷⁹⁹⁾ W は 19 行後半からここまでを、MT ではない他の古代訳からの民 30:6 の広範囲の逐語的引用とする。MT 民 30:6 は、**אם הניא אביה אתה ביום שומעו כל נדריה ואסריה אשר**、Col. 53:19b-21 は、**אסרה על נפשה לא יקום ויהוה יסלח לה כי הניא אביה אתה** 和 **ואם הנא ינאה אביה אותה ביום שומעו כול נדריה ואסריה אשר אסרה על נפשה** である。冒頭の **אותה אביה** 和 **ואם הנא ינאה אביה** は、SamP 民 30:6 の **ואם הנא ינאה אביה אתה** と類似。復元テキストではあるが、4QNum^b Col. 24: frags. 51-54 28 行の **ואנם הנא ינאה אביה אותה** と類似。

14	אלוהיכמה תלכון ואותו תעבודון ואותו תיראו ובקולו תשמעון
15	ובו תדבקון והנביא ההוא או חולם החלום יומת כי דבר סרה
16	על יהוה אלוהיכה אשר הוציאכה מארץ מצרים ופדיתכה
17	מבית עבדים להדיחכה מן הדרך אשר צויתכה ללכת בה ובערת
18	הרע מקרבכה <i>vacat</i>
19	ואם ישיתכה אחיכה בן אביכה או בן אמכה או בנכה או בתכה
20	או אשת חיקכה או ריעיכה אשר כנפשכה בסתר לאמור
21	נלכה ונעבודה אלוהים אחרים אשר לוא ידעתמה אתה

54 欄

4Q524 3、11Q20 XVI と平行している

01 [彼女の父]

- 1 彼[はそれを聞き、]1[日後⁽⁸⁰⁰⁾に無効にし、彼がそれを聞いたのなら](彼女の答)²[を負う。]
- 2 彼女の夫がそれらすべての請願や誓い、彼女自身を苦しめる物断ちを無効にしたのである。
- 3 彼がそれを聞く時、彼女の夫はそれを有効にでき、彼女の夫はそれを破ることができ⁽⁸⁰¹⁾。また私は彼女を許す⁽⁸⁰²⁾。
- 4 -空白- しかしすべての寡婦や離婚された女の請願や彼女自身の物断ちは
- 5 彼女の口から出たすべてに従い、彼女に対して有効である⁽⁸⁰³⁾。-空白-

⁽⁸⁰⁰⁾ 原文は、**אחרי** [יון] **שומן** **עו**。復元箇所ではあるが、MT 民 30:16 の **שמעו** 参照。

MT には **יום** はないが、LXX の **μετὰ τῆς ἡμέρας ἣν ἤκουσεν** には相当する語がある。

⁽⁸⁰¹⁾ W は 2 行目からここまでを、民 30:14 の広範囲の逐語的引用とする。MT 民 30:14 は、**או כל נדר וכל שבעת אסר לענת נפש אישה יקימנו ואישה יפרנו**、Col. 54:2-3a は、**או כול שבועת אנסר לענות נפש אישה יקימנו ואישה יפרנו** である。

⁽⁸⁰²⁾ W は 3 行の後半を、MT ではない他の古代訳からの、民 30:13a の広範囲の逐語的引用 (どの古代訳か不明)と、民 30:13b の広範囲の逐語的引用とする。MT 民 30:13 は、**ואם הפר יפר אתם אישה ביום שמעו כל מוצא שפתיה לנדריה ולאסר נפשה לא יקום אישה** **ואם הפר יפר אתם אישה ביום שמעו ואנוכי מוצא אסלח [ל]ה**、Col. 54:3b は、**הפרם ויהוה יסלח לה** である。

⁽⁸⁰³⁾ W は 4 行目からここまでを、民 30:10 の広範囲の逐語的引用と民 30:13b の短い引用を含む節かその一部のパラフレーズ、または MT ではない他の古代訳からの民 30:10 の広範囲の逐語的引用とする。MT 民 30:10 は、**ונדר אלמנה וגרושה כל אשר אשר על נפשה**、MT 民 30:13b は、**אישה ביום שמעו כל מוצא שפתיה לנדריה ולאסר נפשה**、**יקום עליה**

- 6 私は今日あなたに命じる⁽⁸⁰⁴⁾彼らに関する(すべてのことを)⁵ あなたは守り行うように。
あなたはそれらに加えてはならない。
- 7 またそれらから減らしては(ならない)⁶(⁸⁰⁵)。-空白-
- 8 もしあなたの只中に預言者や夢を見る者が起こり、徴か(不思議)⁹をあなたに与え⁽⁸⁰⁶⁾、
- 9 あなたに徴か⁽⁸⁰⁷⁾不思議が実現して、あなたに
- 10 さあ我々は行き、あなたたちの知らない、他の神々に仕えよう⁽⁸⁰⁸⁾と(言うなら)⁹、

וכול נדר אלמנה וגרושה כול, Col. 54:4-5a は、לא יקום אישה הפרם ויהיה יסלח לה אשר אסרה על נפשה יקומו עליה ככול אשר יצא מפיה יקום עליה である。MT 民 30:10 の יקום עליה は、11Q19 では יקומו עליה である。SamP は MT と同じで、LXX は μενοῦσιν αὐτήν で、11Q19 と似ている。

⁽⁸⁰⁴⁾ Y は 13:1 は、**אנוכי מצוה אותם היום** 「私は今日あなたにそれらを命じる」と読む。MT 申 13:1 は、**אנוכי מצוה אתכם אתו** 「私はあなたたちにそれを命じる」。Q は、**אנוכי מצוה היום** 「私は今日あなたに命じる」と読む。また SamP は、**אנוכי מצוה היום אתו** 「私は今日あなたにそれを命じる」。LXX は、**ἐγὼ ἐντέλλομαι σοι σήμερον τοῦτο** 「私は今日あなたにそれらを命じる」。ペシッタに関しては申 13:1 ではなく、12:32 の **אנוכי מצוה אותם היום** 「私はあなたにそれを命じる」を参照。Y の読みは LXX に近い。

⁽⁸⁰⁵⁾ W は 5 行の後半からここまでを、MT ではない他の古代訳からの申 13:1 の広範囲の逐語的引用とする。MT 申 13:1 は、**את כל הדבר אשר אנכי מצוה אתכם אתו תשמרו**、Col. 54:5b-7 は、**כול הדברים אשר אנכי מצוה אותם היום תשמרו לעשות לוא תוסיף עליהמה ולוא תגרע מהמה** である。

⁽⁸⁰⁶⁾ W は 8 行の後半からここまでを申 13:2 の広範囲の逐語的引用とする。MT 申 13:2 は、**כי יקום בקרבך נביא או חלם חלום ונתן אליך אות או מופת**、Col. 54:8-9a は、**אם יקום בקרבכה נביא או חולם חלום ונתן אליכה אות או המופת** となっている。

⁽⁸⁰⁷⁾ 原文は、**והמופת**。CH は **או המופת** と読む。MT 申 13:3 は **והמופת**、SamP は **והמופת**、LXX は **καὶ ἔλθη τὸ σημεῖον ἢ τὸ τέρας**、ペシッタは **אנוכי מצוה אותם היום** である。ここは LXX に近い。

⁽⁸⁰⁸⁾ MT 申 13:3 は **נלכה אחרי אלהים אחרים**、LXX は **πορευθῶμεν καὶ λατρεύσωμεν θεοῖς ἑτέροις** である。ここも LXX に近い。W は 9 行後半からここまでを、MT ではない他の古代訳からの申 13:3 の広範囲の逐語的引用とする。理由は上記。MT 申 13:3 は **ובא האות אשר**、Col. 54:9b-10a は **ובא אליכה לוא האות והמופת אשר דבר אליכה לאמור נלכה ונעבודה אלוהים** である。理由同上。MT 申 13:3 は **ובא האות אשר**、Col. 54:9b-10a は **ובא אליכה לוא האות והמופת אשר דבר אליכה לאמור נלכה ונעבודה אלוהים** である。

- 11 あなたはその預言者の言葉⁽⁸⁰⁹⁾や夢見る者の夢に⁽⁸¹⁰⁾聞いては(ならない)¹⁰。実に
- 12 私はあなたたちの中に(あなたたちの父祖の神)¹³、主を愛する者らがいるか試みる⁽⁸¹¹⁾ものであるから。
- 13 あなたたちは心を尽くし、精神を尽くして(あなたたちの神)¹⁴⁽⁸¹²⁾、主の後を
- 14 行くように。彼に仕えるように。彼を畏れるように⁽⁸¹³⁾。また彼の声を聞くように。
- 15 彼に随き従うように⁽⁸¹⁴⁾。しかし、その預言者や夢見る者は死なねばならない。

⁽⁸⁰⁹⁾ 原文は、**דבר הנביא**。しかし MT 申 13:4 は、**דברי הנביא** となっている。

⁽⁸¹⁰⁾ 原文は、**או לחולם החלום**。しかし、MT 申 13:4 は、**או אל חולם החלום** となっている。

⁽⁸¹¹⁾ 原文は、**מנשה אנוכי אתכמה**。しかし MT 申 13:4 は、**אתכם יהוה אלהיכם** となっている。我々の箇所が 1 人称であるのに対し、MT は 3 人称である。また **מנשה** と書かれているが、意味は **מנסה**。

⁽⁸¹²⁾ W は 10 行後半からここまでを、MT ではない他の古代訳からの申 13:4 の広範囲の逐語的引用とする。MT 申 13:4 は、**לא תשמע אל דברי הנביא שהוא או אל חולם החלום**、**הוא כי מנסה יהוה אלהיכם אתכם לדעת הישכם אהבים את יהוה אלהיכם בכל לוא תשמע אל דבר הנביא שהוא או לחולם**、Col. 54:10b–13a は、**החלום ההואה כי מנשה אנוכי אתכמה לדעת הישכם אהבים את יהוה אלוהי אתכם בכל לוא תשמע אל דבר הנביא שהוא או לחולם** となっている。

⁽⁸¹³⁾ 原文は、**אלוהיכם תלכון ואותו תעבדון ואותו תיראו**。MT 申 13:5 は、**אלהיכם תלכו ואותו תיראו**、SamP は、**אלהיכם תלכון ואותו תיראו**、LXX は、**τοῦ θεοῦ ὑμῶν πορεύεσθε καὶ αὐτὸν φοβηθήσεσθε**、ペシッタは、**אלהיכם תלכון ואותו תיראו**、1QDeut^a frg. 9 は、**אלוהיכם תלכון ואותו תעבדון**、4QDeut^e frg. 21 は、**אלוהיכם תלכון ואותו תיראו** である。より SamP に近いが、一番近いのはクムラン出土の聖書写本かもしれない。

⁽⁸¹⁴⁾ W は 10 行後半からここまでを、MT ではない他の古代訳からの申 13:5 の広範囲の逐語的引用とする。MT 申 13:5 は、**אחרי יהוה אלהיכם תלכו ואותו תיראו ואת מצותיו ואתם תעבדו ואתם תשמעו**、Col. 54:13b–15a は、**אחרי יהוה אלוהיכם תלכון ואותו תעבדון ואותו תיראו ובקולו תשמעון ואתם תעבדו ואתם תשמעו**、SamP は、**אחרי יהוה אלהיכם תלכון ואותו תיראו ואת מצותיו ואתם תעבדו ואתם תשמעו** となっている。上記のように、クムラン出土の聖書写本を除けば、SamP に近い。

- 16 実にあなたを(奴隷の家から贖い)¹⁷ (815)、エジプトの地からあなたを導き出した⁽⁸¹⁶⁾あなたの神、主に対して(反逆を語り)¹⁵、
- 17 私があなたに行くことを命じた道からあなたを迷わせたから。また
- 18 あなたの只中から悪を(除き去るように)¹⁷ (817)。-空白-
- 19 またもし、あなたの父の子である、あなたの兄弟、或いはあなたの母の子。或いはあなたの息子や、或いはあなたの娘⁽⁸¹⁸⁾
- 20 或いはあなたの懐の妻、或いはあなた自身のようなあなたの隣人が、あなたを(誘惑して)¹⁹ (819)密かに言う、
- 21 さあ我々は行き、あなたたちやあなたの知らない、他の神々に仕えよう⁽⁸²⁰⁾。

(815) 原文は、**ופדיתיכה מבית עבדים**。MT/SamP 申 13:6 は、**והפדך מבית עבדים** である。また、1QDeut^a frg. 9 は、**וה[פדתכה] מבי[ת]** となっている。

(816) 原文は、**על יהוה אלהיכם אשר הוציאכמה**。MT 申 13:6 は、**על יהוה אלהיכם**、**המוציא אתכם**、SamP は、**על יהוה אלהיך המוציאך**、LXX は、**ἀπὸ κυρίου τοῦ θεοῦ σου τοῦ ἐξαγαγόντος σε**、ペシッタは、**מנה מוציא אלהיך המוציאך** である。我々の箇所は LXX と SamP に近い。

(817) W は 15 行後半からここまでを、MT ではない他の古代訳からの申 13:6 の広範囲の逐語的引用とする。MT 申 13:6 は、**והנביא ההוא או חלם החלום ההוא יומת כי דבר סרה**、**על יהוה אלהיכם המוציא אתכם מארץ מצרים והפדך מבית עבדים להדיחך מן הדרך אשר צוה אלהיך ללכת בה ובערת הרע מקרבך**、Col. 54:15b-18 は、**והנביא ההוא או חולם החלום יומת כי דבר סרה על יהוה אלהיכם הוציאכמה ופדיתיכה מבית עבדים להדיחכה מן הדרך אשר צויתכה ללכת בה מארץ מצרים והנביא ההוא או חלם** である。MT/SamP 申 13:6a は、**והנביא ההוא או חלם החלום ההוא יומת**、LXX は、**καὶ ὁ προφήτης ἐκεῖνος ἢ ὁ τὸ ἐνύπνιον ἐνυπνιαζόμενος ἐκεῖνος ἀποθανεῖται**、ペシッタは、**הנביא ההוא או חולם החלום ההוא יומת** である。我々の箇所は MT とも古代訳とも異なる。

(818) Col. 54:19 は、**אחיכה בן אביכה או בן אמכה או בנכה או בתכה**、MT 申 13:7 は、**אחוך בר אימך או ברך או ברתך**、TO は、**אחיד בן אמך או בנך או בתך**、ペシッタは、**אחנעך בן אביך או בן אמך או בנך או בתך**、SamP は、**אחיד בן אביך או בן אמך או בנך או בתך**、LXX は **ὁ ἀδελφός σου ἐκ πατρός σου ἢ ἐκ μητρός σου ἢ ὁ υἱός σου ἢ ἡ θυγάτηρ σου** である。我々の箇所は LXX や SamP に類似している。また、4QDeut^c frg. 22-23 は、**בן אביך** **[או בן אמך]** である。

(819) **ישיתכה** と書かれているが、意味は **יסיתכה**。

(820) W は 19 行目からここまでを、MT ではない他の古代訳からの申 13:7 の広範囲の逐語的引用とする。説明は上記。MT 申 13:7 は、**כי יסיתך אחיד בן אמך או בנך או בתך או**

- 01 [ואב]ותיכה מאלהי ה[עמים אשר סביבותיכמה אשר הקרובים אליכה]
 02 [או הרחוקים ממ]כה מקצי הארץ ועד קצני הארץ לוא תואבה]
 03 [לו ולוא תשמע אליו ולוא תחוס עינ]כה עליו ולוא תחמל ע[ליו]
 04 [ולוא תכסה עליו כי הרוג תהרוגנו ידכה תהיה בו ברא]ישנה
 05 להמיתו וידן] כול העם באחרונה וסקלתו באבנים וימות כין]
 06 [בקש לה]דיחכה [מעל יהוה אלוהיכה המציאכה מארץ מצרים]
 07 [מבית עבדים וכול ישראל ישמעו ויראון ולוא יוסיפו לעשות]
 1 [כדבר הרע הזה בקרבכה] *vacat*
 2 אם תשמע בְּאִחֶ[ת עריכה אשר א]נוכי נותן לכה לש[בת שם]
 3 לאמור יצאו אֲנִשְׁ[ים] [ב]ני [בלי]על מקרבכה וידיחו את כול [י]ושבי
 4 עירמה לאמור נלכה ונעבודה אלוהים אשר לוא ידעתמה
 5 ושאלתה ודרשתה וחקרתה היטב והנה אמת נכון הדבר
 6 נעשתה התועבה הזואת בישראל הכה תכה את כול יושבי
 7 העיר ההיא לפי חרב החרם אותה ואת כול אשר בה ואת
 8 כול בהמתה תכה לפי חרב ואת כול שללה תקבוץ אל תוך
 9 רחובה ושרפתה באש את העיר ואת כול שללה כליל ליהוה
 10 אלוהיכה והיתה לתל עולם לוא תבנה עוד ולוא ידבק
 11 בידכה מאום מן החרם למען אשוב מחרון אפי ונתתי לכה
 12 רחמים ורחמתיכה והרביתיכה כאשר דברתי לאבותיכה
 13 אם תשמע בקולי לשמור כול מצוותי אשר אנוכי מצוכה
 14 היום לעשות הישר והטוב לפני יהוה אלוהיכה
 15 אם ימצא בקרבכה באחד שעריכה אשר *vacat*
 16 אנוכי נותן לכה איש או אשה אשר יעשה את הרע בעיני
 17 לעבור בריתי והלך ועבד אלוהים אחרים והשתחוה להמה
 18 או לשמש או לירח או לכול צבא השמים והגידו לכה עליו
 19 ושמעתה את הדבר הזה ודרשתה וחקרתה היטב והנה

אשת חיקך או רעך אשר כנפשך בסתר לאמר נלכה ונעבודה אלוהים אחרים אשר לא
 ואם ישיתכה אחיכה בן אביכה או בן אמכה או Col. 54:19–21 は、ידעת אתה ואבתיך
 בנכה או בתכה או אשת חיקכה או ריעיכה אשר כנפשכה בסתר לאמור נלכה
 ואלוהים אחרים אשר לוא ידעתמה אתה ונעבודה

20 אמת נכון הדבר נעשתה התועבה הזואת בישראל והוצאתה

21 את האיש ההוא או את האשה ההיא וסקלתמה באבנים

55 欄

4Q524 4と平行している

- 01 [またあなたの父祖たち。あなたの周囲にいる諸々の民の神々でも、あなたの近く]⁽⁸²¹⁾
- 02 [やあなたから遠くに居る者、地の果てから果てまでの者、あなたは(彼に)⁰³同調してはならない。]
- 03 [彼に聞き従ってはならない。あなたの目が彼を憐れんではならない。あなたは彼に同情してはならない。]
- 04 [またあなたは彼をかばってはならない。あなたは彼を必ず殺すように。](彼を殺すには)⁰⁵[あなたの手が最]初であるように。
- 05 [すべての民の手はその後となる。石で彼を打ち殺すように。実に]
- 06 [エジプトの地、(奴隷の家から)⁰⁷あなたを導き出したあなたの神、主から][彼は]あなたを迷[わそうと求めたからである。]
- 07 [全イスラエルは聞いて、恐れ、二度と行わないであろう]
- 1 [あなたの只中でこのような悪しきことは。-空白-]⁽⁸²²⁾
- 2 もし、私があなたに与えて[そこに住]まわせる[あなたの町]の一つで⁽⁸²³⁾、
- 3 あなたたちの只中から邪な者たち⁽⁸²⁴⁾が現れて、(その町の)⁴すべての住[民]を迷わし

⁽⁸²¹⁾ 0 行目は、申 13:7-12 に基づく。Y と CH は、行の分け方が 01-07 行目で同じ。Q も内容は同じであるが、行に違いがある。M の復元は 01-05 行のみであり、多少行が合っていない。しかも、内容は Y と CH の 06 行の **בְּקֶשׁ לְהַרְיִיחַ**「あなたを惑わすことを求めた」までしかない。

⁽⁸²²⁾ M は [vacat?] **בְּקֶרְבְּכָה** [...]「[...]あなたの只中で[-空白-?]]」とだけ復元。

⁽⁸²³⁾ W は 2 行を、MT ではない他の古代訳からの申 13:13 の広範囲の逐語的引用とする。MT 申 13:13 は、**כִּי תִשְׁמַע בְּאַחַת עֵרִיךְ אֲשֶׁר יְהוּה אֱלֹהֶיךָ נָתַן לְךָ לְשִׁבַת שֵׁם לְאֹמֶר**、Col. 55:2-3a は、**אִם תִּשְׁמַע בְּאַחַת עֵרִיכָה אֲשֶׁר אֱנוֹכִי נֹתֵן לְכָה לְשִׁבַת שֵׁם לְאֹמֶר**、LXX 申 13:13 は、**ἐὰν δὲ ἀκούσῃς ἐν μιᾷ τῶν πόλεών σου ὧν κύριος ὁ θεός σου δίδωσίν σοι κατοικεῖν σε ἐκεῖ λεγόντων** となっている。

⁽⁸²⁴⁾ ヘブライ語は、**אֲנָשִׁים בְּנֵי בְלִיעַל**「ベリアルの子らの人々」。「無価値な者たちの子ら、邪悪な者の子ら」ベリアルはクムランの文書の中で悪魔王の名。II コリ 6:15 参照。だが、ここでは悪魔との直接的関係はない。

- 4 さあ我々は行き、あなたたちの知らない、他の神々に仕えようと(言う)³のを(聞いた)²なら⁽⁸²⁵⁾
- 5 あなたは尋ね求め、よく調べるように。また見よ、そのことが確かに真実で、
- 6 イスラエルでこのような忌むべきことが行われているなら⁽⁸²⁶⁾、あなたは必ず
- 7 その町の(すべての住民を)⁶剣の刃にかけて(討ち)⁶、それとその中にあるすべてのものを聖絶し、また
- 8 すべての家畜も、剣の刃にかけて討つように⁽⁸²⁷⁾。またあなたはすべての分捕り品を
- 9 広場の(中央に)⁸集め、その町とすべての分捕り品を火で焼き、(あなたの神)¹⁰主の全焼の供物(とするように)。

⁽⁸²⁵⁾ W は 3 行目からここまでを、MT ではない他の古代訳からの申 13:14 の広範囲の逐語的引用(どの古代訳か不明)とする。MT 申 13:14 は、**יצאו אנשים בני בליעל מקרבך וידיחו את יושבי עירם לאמר נלכה ונעבדה אלהים אחרים אשר לא ידעתם יצאו אנש[י]ם [ב]ני [בלי]על מקרבכה וידיחו את כול [י]ושבי עירמה לאמור נלכה ונעבדה אלוהים אשר לוא ידעתמה** である。MT 申 13:14 の **את יושבי** は、SamP と同じ。ペシッタは、**אנשי עירם יצאו מקרבך וידיחו את כול יושבי עירמה לאמור נלכה ונעבדה אלוהים אשר לוא ידעתמה**、LXX は **ἀπέστησαν πάντας τοὺς κατοικοῦντας** である。「すべて」が含まれる点で、我々の箇所は LXX に近い。

⁽⁸²⁶⁾ W は 5 行目からここまでを、MT ではない他の古代訳からの申 13:15 の広範囲の逐語的引用とする。MT 申 13:15 は、**ודרשת וחקרת ושאלת היטב והנה אמת נכון הדבר נעשתה ושאלתה ודרשתה וחקרתה היטב והנה אמת נכון הדבר נעשתה הזאת בתועבה הזאת בקרבך ודרשת וחקרת ושאלת היטב** である。MT 申 13:15 の **ודרשת וחקרת ושאלת היטב** は SamP と同じ。ペシッタは、**ודרשת וחקרת ושאלת היטב והנה אמת נכון הדבר נעשתה הזאת בתועבה הזאת בקרבך ודרשת וחקרת ושאלת היטב**、LXX^B は、**καὶ ἐρωτήσεις καὶ ἐραυνήσεις σφόδρα**、LXX^A は、**καὶ ἐξετάσεις καὶ ἐτήσεις καὶ ἐξεραυνήσεις σφόδρα** である。我々の箇所は LXX^A に近い。

⁽⁸²⁷⁾ W は 6 行後半からここまでを、MT ではない他の古代訳からの申 13:16 の広範囲の逐語的引用とする。MT 申 13:16 は、**הכה תכה את יושבי העיר ההוא לפי חרב החרם אתה ואת כל אשר בה ואת בהמתה לפי חרב העיר ההיא לפי חרב החרם אותה ואת כול אשר בה ואת כול בהמתה תכה לפי חרב** である。MT 申 13:16 の **את יושבי** は、SamP と同じ。ペシッタは、**והכה את יושבי העיר ההוא לפי חרב החרם אתה ואת כל אשר בה ואת בהמתה לפי חרב העיר ההיא לפי חרב החרם אותה ואת כול אשר בה ואת כול בהמתה תכה לפי חרב**、LXX は、**ἀναιρῶν ἀνελείς πάντας τοὺς κατοικοῦντας** である。「すべて」を含む点で、我々の箇所は LXX に近い。MT 申 13:16 の **ואת בהמתה לפי חרב** に関して、CH によると、LXX 申 13:16-17 の **ἀναθήματι ἀναθηματιέιτε αὐτήν καὶ πάντα τὰ ἐν αὐτῇ καὶ πάντα τὰ σκύλα αὐτῆς** においては、MT にも 11Q19 にもある **תכה בהמתה (כול) ואת כול לפי חרב** が省略されているとする。

- 10 またそれは永久の廢墟となるように⁽⁸²⁸⁾。あなたは再び建て直してはならない。また
- 11 聖絶するものから、何もかもあなたの手に(留め置いてはならない)¹⁰。私が私の燃える怒りをおさめ⁽⁸²⁹⁾、あなたに
- 12 憐れみを(与え)¹¹、またあなたの父祖に語った⁽⁸³⁰⁾ように、私があなを憐れみ、あなたを増やす(ためである)¹¹ ⁽⁸³¹⁾。
- 13 もしあなたが私の声に聞き従い、今日私があなに命じるすべての戒めを守り、
- 14 あなたの神、主⁽⁸³²⁾の御前に真直ぐで良いことを⁽⁸³³⁾行わなければならない⁽⁸³⁴⁾。
- 15 -空白- もしあなたの只中において(これらのことを)、見つけたら⁽⁸³⁵⁾、(あなたに与える)¹⁶ あなたの町々の1つで、

⁽⁸²⁸⁾ W は 8 行後半からここまでを申 13:17 の広範囲の逐語的引用とする。MT 申 13:17 は、**ואת כל שללה תקבץ אל תוך רחבה ושרפת באש את העיר ואת כל שללה כליל ואת כול שללה**、Col. 55:8b-10a は、**ואת כול שללה ואת כול שללה ואת כול שללה כליל ואת כול שללה כליל ואת כול שללה כליל ואת כול שללה כליל** である。

⁽⁸²⁹⁾ 原文は、**אשוב מחרון אפי** 「私が私の燃える怒りを戻す」。

⁽⁸³⁰⁾ 11Q19 の独自の改訂。MT 申 13:18 は、**נשבעתי** 誓ったように。SamP、LXX、タルグム、ペシッタもすべて「誓う」。

⁽⁸³¹⁾ W は 10 行後半からここまでを申 13:18 の広範囲の逐語的引用とする。MT 申 13:18 は、**ולא ידבק בידך מאומה מן החרם למען ישוב יהוה מחרון אפו ונתן לך רחמים ולוא ידבק בידך מאום מן ורחמך והרבך כאשר נשבע לאבתך החרם למען אשוב מחרון אפי ונתתי לכה רחמים ורחמתיכה והרבתיכה כאשר דברתי לאבותיכה** となっている。

⁽⁸³²⁾ 原文は、**לפני יהוה אלהיכה**。MT 申 13:19 の、**בעיני יהוה אלהיך** は SamP と同じ。ペシッタは、**מפני יהוה אלהיך**、LXX は、**ἐναντίον κυρίου τοῦ θεοῦ σου** である。我々の箇所はペシッタや LXX に近い。

⁽⁸³³⁾ 「御前に」と「良いこと」は SamP と LXX と同じ。

⁽⁸³⁴⁾ 1 行目からここまでは申 13:12-19 の改訂。W は 13 行目から 14 行を、MT ではない他の古代訳からの申 13:19 の広範囲の逐語的引用とする。MT 申 13:19 は、**כי תשמע בקול יהוה אלהיך לשמר את כל מצוותיו אשר אנכי מצוך היום לעשות הישר בעיני יהוה אם תשמע בקולי לשמור כול מצוותי אשר אנכי מצוכה**、Col. 55:13-14 は、**אם תשמע בקולי לשמור כול מצוותי אשר אנכי מצוכה** である。申 13:19b ペシッタでは、**מפני יהוה אלהיכה** である。LXX は、**σήμερον ποιείν τὸ καλὸν καὶ τὸ ἀρεστὸν ἐναντίον κυρίου τοῦ θεοῦ σου** であり、我々の箇所は LXX に近い。

⁽⁸³⁵⁾ 4QDeut^c frgs. 32, 34 の 2、6 行では、**כי ימצא בקרבך** である。

- 16 男か女が私の目に悪しきことを行い、
 17 私の契約⁽⁸³⁶⁾を破り⁽⁸³⁷⁾、行って他の神々に仕え、またそれらや、
 18 太陽か、月か、すべての天の万象かに(平伏し)^{17 (838)}、それがあなたに告げられたら、
 19 あなたはそのことを聞くように。そしてあなたは尋ね求め、よく調べるように。また見よ、
 20 そのことが確かに真実で、イスラエルでこのような忌むべきことが行われているなら⁽⁸³⁹⁾、あなたは
 21 その男と女を(引き出し)²⁰、彼らを石で打ち(殺す)ように⁽⁸⁴⁰⁾。

⁽⁸³⁶⁾ 4QDeut^c frgs. 32, 34 の 2、8 行では、**בריתו** である。

⁽⁸³⁷⁾ W は 15 行目からここまでを、申 17:2 の広範囲の逐語的引用とする。MT 申 17:2 は、**כי ימצא בקרבך באחד שעריך אשר יהוה אלהיך נתן לך איש או אשה אשר יעשה את אם ימצא בקרבכה באחד**、Col. 55:15–17a は、**הרע בעיני יהוה אלהיך לעבר בריתו שעריכה אשר אנוכי נותן לכה איש או אשה אשר יעשה את הרע בעיני לעבור בריתי** である。

⁽⁸³⁸⁾ W は 17 行後半からここまでを申 17:3 の広範囲の逐語的引用とする。MT 申 17:3 は、**וילך ויעבד אלהים אחרים וישתחו להם ולשמש או לירח או לכל צבא השמים אשר והלך ועבד אלוהים אחרים והשתחוה להמה או לשמש**、Col. 55:17b–18a は、**לא צויתי או לירח**。MT 申 17:3 の **וילך ויעבד** は SamP と同じ。4QDeut^c frgs. 32 ii, 34 の 8 行目に、**וילך** とある。MT 申 17:3 の **לירח או ולשמש** は SamP と同じ。LXX は、**τῶ ἡλίῳ ἢ τῆ σελήνῃ**。しかしペシッタは、**אם לבבא אה לפסא** である。我々の 11Q19 はペシッタに近い。

⁽⁸³⁹⁾ W は 18 行後半からここまでを、MT ではない他の古代訳からの申 17:4 の広範囲の逐語的引用とする。MT 申 17:4 は、**והגד לך ושמעת ודרשת היטב והנה אמת נכון הדבר**、**נעשתה התועבה הזאת בישראל**、Col. 55:18b–20a は、**והגידו לכה עליו ושמעתה את הדבר הזה ודרשתה וחקרתה היטב והנה אמת נכון הדבר נעשתה התועבה הזאת בישראל** である。

⁽⁸⁴⁰⁾ W は 20 行後半からここまでを、MT ではない他の古代訳からの申 17:5 の広範囲の逐語的引用とする。MT 申 17:5 は、**והוצאת את האיש ההוא או את האשה ההוא אשר וסקלתם באבנים ומתו והוצאתה את האיש ההוא או את האשה ההיא**、Col. 55:20b–21 は、**וסקלתמה באבנים** である。MT 申 17:5 は SamP と同じ。LXX は、**καὶ ἐξάξεις τὸν ἄνθρωπον ἐκείνον ἢ τὴν γυναῖκα ἐκείνην καὶ λιθοβολήσετε αὐτούς ἐν λίθοις**、ペシッタは、**אם לבבא אה לפסא אם לבבא אה לפסא אם לבבא אה לפסא אם לבבא אה לפסא** となっている。我々の箇所は LXX に近い。

- 01 [ומתו על פי שנים עדים או שלושה עדים יומת]
- 02 [המת לוא יומת על פי עד אחד יד העדים תהיה בון]
- 03 [בראשונה להמיתו ויד כול העם באחרונה ובערת הרע]
- 04 [מקרבכה *vacat*]
- 05 [כי יפלא ממכה דבר למשפט בין דם לדם בין דין לדין]
- 06 [ובין נגע לנגע דברי ריבות בשריכה וקמתה ועליתה]
- 07 [אל המקום אשר אבחר ובאתה אל הכוהנים הלויים]
- 1 [א]ו אל ה[ש]ו[פ]טים אשר יהיו בימים ההמה [ודרשתה והגידו לכה את]
- 2 הדבר אשר עליו ב[אתה לדרוש והגידו לכה את המשפט
- 3 ועשיתה על פי התורה אשר יגידו לכה ועל פי הדבר
- 4 אשר יואמרו לכה *vac* מספר התורה ויגידו לכה באמת
- 5 מן המקום אשר אבחר לשכין שמי עליו ושמרתה לעשות
- 6 ככול אשר יורוכה ועל פי המשפט אשר יואמרו לכה
- 7 תעשה לוא תסור מן התורה אשר יגידו לכה ימין
- 8 ושמאול והאיש אשר לוא ישמע ויעש בזדון לבלתי
- 9 שמוע אל הכוהן העומד שמה לשרת לפני או אל
- 10 השופט וימת האיש ההוא ובערתה הרע מישראל וכול
- 11 העם ישמעו ויראו ולוא יזידו עוד בישראל *vacat*
- 12 כי תבוא אל הארץ אשר אנוכי נותן לכה וירשתה וישבתה
- 13 בה ואמרתה אשים^ה עלי מלך ככול הגואים אשר סביבותי
- 14 שם תשים עליכה מלך^א אשר אבחר^ב מקרב אחיכה תשים עליך מלך
- 15 לוא תתן עליכה איש נוכרי אשר לוא אחיכה הוא רק לוא
- 16 ירבה לו סוס ולוא ישיב את העם מצרים למלחמה למען
- 17 הרבות לו סוס וכסף וזהב *vacat* ואנוכי אמרתי לכה לוא
- 18 תוסיף לשוב בדרך הזואת עוד ולוא ירבה לו נשים ולוא
- 19 יסירו לבבו מאחרי וכסף וזהב לוא ירבה לוא מואדה
- 20 *vacat* והיה בשבתו על כסא ממלכתו וכתבו
- 21 לו את התורה הזואת על ספר מלפני הכוהנים

56 欄

- 01 [彼らは死ななければならない。2人また3人の証人によって処刑されなければならない。]⁽⁸⁴¹⁾
- 02 [1人の証人の証言によって処刑されてはならない⁽⁸⁴²⁾。(彼を処刑するにあたり、先ず)⁰³証人たちが手を下すように。]
- 03 [その後すべての民が手(を下すように)。あなたは悪を除き去るように]
- 04 [あなたの只中から。-空白-]
- 05 [もし裁く事柄があなたにとって難しい時。流血、権利をめぐる争い、]
- 06 [暴行障害に関わる裁きにあなたの町々の内で論争があるなら⁽⁸⁴³⁾、あなたは立って]
- 07 [私が選ぶ場所へ上り、レビ人である祭司のところに来るように。]
- 1 [ま]たは、[それらの日々存在する裁]判[人たちに]。あなたは求めるように。また彼らは[あなたに告げるために]⁽⁸⁴⁴⁾
- 2 [あなたが尋ねた]事柄に関して。彼らはあなたに規定を[告げる]⁽⁸⁴⁵⁾。
- 3 あなたは、彼らがあなたに告げる律法に従っておこなうように。
- 4 彼らがあなたに語る(事柄に従って)³。-空白- 彼らは真実に律法の書から告げるように。
- 5 あなたは、私が選び、そこに名を置く、その場所で、

⁽⁸⁴¹⁾ 0 行の復元は Y と CH による。申 17:5-9 に基づき復元。

⁽⁸⁴²⁾ 原文は、「その死者は 1 人の証人の証言によって死なない」。

⁽⁸⁴³⁾ 05 行目からここまでの原文は、「血と血の間、訴えと訴えの間、打撃と打撃の間の裁きにあなたの門の内で論争があるなら」。

⁽⁸⁴⁴⁾ Q、M、CH は、[א]ו אַל הַשְּׁפֵט אֲשֶׁר יִהְיֶה בַיָּמִים הָהֵם וּדְרָשׁוּ אֶת [ま]たは、[それらの日々存在する裁]判[人に]、彼らは求めるように」と復元。

⁽⁸⁴⁵⁾ Q、M、CH は、הַדְּבָר אֲשֶׁר עָלִיתָ לְדַרוֹשׁ וְהִגִּידוּ לְכָה אֶת הַמִּשְׁפָּטִים 「あなたが[尋ねるため]上った事柄に関して、彼らはあなたに諸規定を[告げる]」と復元。W は 1 行目からこの 2 行までを、MT ではない他の古代訳からの申 17:9 の広範囲の逐語的引用とする。なお、MT 申 17:9 は、וּבָאת אֶל הַכַּהֲנִים הַלְוִיִּם וְאֵל הַשֹּׁפֵט אֲשֶׁר יִהְיֶה בַיָּמִים הָהֵם、Col. 56:1-2 は、[א]ו אַל הַשְּׁפֵט אֲשֶׁר יִהְיֶה בַיָּמִים הָהֵם וּדְרָשׁוּ אֶת דְּבַר הַמִּשְׁפָּט בַּיָּמִים הָהֵם וּדְרָשׁוּ אֶת דְּבַר הַמִּשְׁפָּט לְכָה אֶת דְּבַר אֲשֶׁר עָלִיו בְּאֵתָהּ לְדַרוֹשׁ וְהִגִּידוּ לְכָה אֶת הַמִּשְׁפָּט である。CH は、申 17:9 と申 17:12 を復元の基としている。最初の部分は申 17:9 の אַל הַשֹּׁפֵט וְאֵל より、むしろ申 17:12 の אֵל הַשֹּׁפֵט או であるとする。他の部分はおおよそ申 17:9 に従っている。ただしペシッタは申 17:9 も אֵל הַשֹּׁפֵט である。復元部分だが、我々の箇所はペシッタに近い。

- 6 すべて彼らがあなたに教える⁽⁸⁴⁶⁾規定に従って(守り行うように)⁵(⁸⁴⁷)。彼らがあなたに語る(ことを)
- 7 あなたは行うように。彼らがあなたに告げる律法から、あなたは右にも
- 8 左にも(逸れてはならない)⁷(⁸⁴⁸)。そして(もし)人が聞き従わず、不遜に振る舞い、
- 9 私の前に仕えるためにそこに立っている祭司や(裁判人)¹⁰に聞か(ない)⁸
- 10 (なら)この者は死ぬように⁽⁸⁴⁹⁾。あなたはイスラエルから悪を除き去るように⁽⁸⁵⁰⁾。またすべての

⁽⁸⁴⁶⁾ W は 3 行目からここまでを、MT ではない他の古代訳からの申 17:10 の広範囲の逐語的引用とする。MT 申 17:10 は、**ועשית על פי הדבר אשר יגידו לך מן המקום ההוא אשר**、Col. 56:3–6a は、**ועשיתה על פי התורה**、**אשר יגידו לכה ועל פי הדבר אשר יואמרו לכה** *vac* **אשר מספר התורה ויגידו לכה באמת מן המקום אשר אבחר להשכין שמי עליו** **ושמרתה לעשות ככול אשר יורוכה** である。MT 申 17:10b の **אשר מן המקום ההוא אשר** は SamP と同じで、LXX は、**ἐκ τοῦ τόπου οὗ**、ペシッタは **הַיְהוָה אֱלֹהֵינוּ** となっており、我々の箇所は LXX に近い。また、申 17:10c の **ועשית על פי הדבר אשר יגידו לכה ועל פי הדבר אשר יואמרו לכה** は、LXX では、**οὗ ἂν ἐκλέξῃται κύριος ὁ θεός σου ἐπικληθῆναι τὸ ὄνομα αὐτοῦ ἐκεῖ καὶ φυλάξῃ σφόδρα ποιῆσαι** である。Col. 56:5 の **אבחר לשכין שמי עליו** は LXX に近いといえる。

⁽⁸⁴⁷⁾ MT 申 17:10–11 の **ככל אשר ירוך על פי התורה אשר ירוך ועל המשפט** は SamP と同じ。LXX は、**κατὰ τὸν νόμον καὶ κατὰ τὴν κρίσιν ἣν ἂν εἴπωσί σοι**、ペシッタは **הַיְהוָה אֱלֹהֵינוּ אֱמַרְנוּ לְךָ** である。

⁽⁸⁴⁸⁾ W は 6 行後半からここまでを、MT ではない他の古代訳からの申 17:11 の広範囲の逐語的引用であるとする(どの古代訳か不明)。MT 申 17:11 は、**על פי התורה אשר ירוך ועל המשפט אשר יאמרו לך תעשה לא תסור מן הדבר אשר יגידו לך ימין ושמאל ועל פי המשפט אשר יואמרו לכה תעשה לוא תסור מן התורה אשר יגידו**、Col. 56:6b–8a は、**לכה ימין ושמאל** である。

⁽⁸⁴⁹⁾ Y は **וימת**。Q、M、CH は **ימת** 「この者は死に処されるように」。

⁽⁸⁵⁰⁾ W は 8 行後半からここまでを、MT ではない他の古代訳からの申 17:12 の広範囲の逐語的引用とする(どの古代訳か不明)。MT 申 17:12 は、**לבלתי שמע והאיש אשר יעשה בזדון אל הכהן העמד לשרת שם את יהוה אלהיך או אל השפט ומת האיש ההוא ובערת ויעש בזדון לבלתי שמוע אל הכוהן העומד שמה**、Col. 56:8b–10a は、**הרע מישראל לשרת לפני או אל השופט וימת האיש ההוא ובערת הרע מישראל** である。

- 11 民は聞いて恐れ、イスラエルにおいて再び不遜に振舞うことはない⁽⁸⁵¹⁾。-空白-⁽⁸⁵²⁾
- 12 もしあなたが、私があなたに与える地に入り、(そこ)¹³を受け継いで住むようになり、
- 13 あなたが、私も自分の周囲のすべての他国民のように、さあ私の上に王を立てようと言
うとき⁽⁸⁵³⁾、
- 14 必ずあなたの上に私の選ぶ王を立てるように⁽⁸⁵⁴⁾。あなたの兄弟の只申から、あなたの上
上に王を立てるように。
- 15 あなたの兄弟ではない、異国人をあなたの上に置いてはならない⁽⁸⁵⁵⁾。ただ彼は、
- 16 自分のために馬を増やしてはならない。また戦争のために民をエジプトへ帰らしては
ならない。
- 17 (戦争のために)馬や金銀を増やすためである。-空白- 私はあなたに言った。
- 18 再びこの道を帰っては(ならない)¹⁷⁽⁸⁵⁶⁾。また彼は自分のために妻を増やしてはならず、

⁽⁸⁵¹⁾ W は 10 行後半からここまでを、MT ではない他の古代訳からの申 17:13 の広範囲の逐語的引用とする(どの古代訳か不明)。MT 申 17:13 は、**וְכָל הָעָם יִשְׁמְעוּ וַיִּרְאוּ וְלֹא יִזְדוֹן**、**עוֹד**、Col. 56:10b–11 は、**וְכֹל הָעָם יִשְׁמְעוּ וַיִּרְאוּ וְלֹא יִזְדוֹן עוֹד בְּיִשְׂרָאֵל** である。最後の **בְּיִשְׂרָאֵל** 「イスラエルにおいて」に関する言及は、LXX、SamP、タルグム、ペシッタなどの古代語訳にもなかった。

⁽⁸⁵²⁾ CH は、「-空白-」は MT 申 17:13 の **סְתוּמָא** の役割を果たしていると考え (p. 144)。

⁽⁸⁵³⁾ W は 11 行後半から 12 行までを申 17:14 からの引用とする。MT 申 17:14 は、**כִּי תִבֹּא אֶל הָאָרֶץ אֲשֶׁר יְהוָה אֱלֹהֶיךָ נָתַן לְךָ וַיִּרְשָׁתָהּ וַיִּשְׁבַּתָּהּ בָּהּ וְאָמַרְתָּ אֲשִׁימָה עָלַי מֶלֶךְ כִּי תִבֹּא אֶל הָאָרֶץ אֲשֶׁר אֲנוּכִי נוֹתֵן לָכֶּה**、Col. 56:12–13 は、**וַיִּרְשָׁתָהּ וַיִּשְׁבַּתָּהּ בָּהּ וְאָמַרְתָּה אֲשִׁים עָלַי מֶלֶךְ כְּכֹל הַגּוֹיִם אֲשֶׁר סְבִיבֹתַי**。この Col. 56:10b–11 の MT との違いは、正字法や、11Q19 の特徴の一つである、**יְהוָה אֱלֹהֶיךָ** の 1 人称の **אֲנוּכִי** への変更といった程度のものである。

⁽⁸⁵⁴⁾ 原文は、**שָׂם תְּשִׂים עָלֶיךָ** である。申 17:15 は、MT では **שָׂם תְּשִׂים עָלֶיךָ**、SamP では **שִׂים תְּשִׂים עָלֶיךָ** となっており、ここは SamP に近い。だが、CH の言うように、DSS において י' と ך' は判別しづらい (p. 144)。

⁽⁸⁵⁵⁾ W は 14 行目からここまでを申 17:15 の MT ではない他の古代訳からの広範囲の逐語的引用とする(どの古代訳か不明)。MT 申 17:15 は、**שָׂם תְּשִׂים עָלֶיךָ מֶלֶךְ אֲשֶׁר יִבְחַר יְהוָה אֱלֹהֶיךָ בּוֹ מִקְרֵב אַחֶיךָ תְּשִׂים עָלֶיךָ מֶלֶךְ לֹא תֹכֵל לָתֵת עָלֶיךָ אִישׁ נֹכְרִי אֲשֶׁר לֹא שָׂם תְּשִׂים עָלֶיךָ מֶלֶךְ אֲשֶׁר אֲבַחֵר בּוֹ מִקְרֵב אַחֶיךָ תְּשִׂים**、Col. 56:14–15a は、**שָׂם תְּשִׂים עָלֶיךָ מֶלֶךְ לֹא תֹכֵל לָתֵת עָלֶיךָ אִישׁ נֹכְרִי אֲשֶׁר לֹא שָׂם תְּשִׂים עָלֶיךָ מֶלֶךְ אֲשֶׁר אֲבַחֵר בּוֹ מִקְרֵב אַחֶיךָ תְּשִׂים** となっている。

⁽⁸⁵⁶⁾ W は 15 行の後半からここまでを、MT ではない他の古代訳からの申 17:16 の広範囲の逐語的引用とする。なお、MT 申 17:16 は、**רַק לֹא יִרְבֶּה לוֹ סוּסִים וְלֹא יִשִּׁיב אֶת הָעָם**

- 19 私から心を逸らしては(ならない)¹⁸。また金銀を自分のために⁽⁸⁵⁷⁾多く、増やしてはならない⁽⁸⁵⁸⁾。
- 20 -空白- 彼がその王国の玉座に座る時、
- 21 彼らは祭司たちの前から、彼のためにこの律法を書物に(書き記すように)²⁰ ⁽⁸⁵⁹⁾。

Col. 57

- 01 [והיתה עמו וקרא בו כול ימי חייו למען]
- 02 [ילמד ליראה אותי לשמור כול דברי התורה הזאת]
- 03 [ואת החזקים האלה לעשותמה לבלתי רום לבבן]
- 04 [מאחיו ולבלתי סור מן המצוה ימין ושמאול]
- 05 [למען יאריך ימים על ממלכתו הוא ובניו בקרב]
- 06 [ישראל]
- 07 []
- 1 זוזאת התורה [אשר יכתבו לו מלפני] הכוהנים [ונשארו?]
- 2 ביום אשר ימליכו או[תו את ראוש] בני ישראל מבין

Col. 56:15b-18a、למען הרבות סוס ויהוה אמר לכם לא תספון לשוב בדרך הזה עוד רק לוא ירבה לו סוס ולוא ישיב את העם מצרים למלחמה למען הרבות סוס לוא である。וכסף וזהב vac ואנוכי אמרתי לכה לוא תוסיף לשוב בדרך הזאת עוד לוא 是。וכסף וזהב vac ואנוכי אמרתי לכה לוא תוסיף לשוב בדרך הזאת עוד לוא 是。LXX では οὐ πληθυνεῖ ἑαυτῶ ἵππων、ペシッタでは **לא יסף לה ירבה לו סוס** (= MT/SamP **לא ירבה לו סוסים**)、TO では **לא יסני ליה סוסון** となっている。11Q19 は LXX に近い。残念ながら CH は最初の MT と最後のタルグムの綴りを誤記。

⁽⁸⁵⁷⁾ ヘブライ語は **לוא** だが、申 17:17 により読み替えている。また写字者は他の箇所でも **לוא** の意味でも使用している (Col. 65:15、66:10)。

⁽⁸⁵⁸⁾ W は 18 行の後半からここまでを、MT ではない他の古代訳からの申 17:17 の広範囲の逐語的引用とする。申 17:17 は、**לא ירבה לו נשים ולא יסור לבבו וכסף וזהב לא**、**ירבה לו מאד ולוא ירבה לו נשים ולוא יסירו לבבו מאחרי וכסף**、Col. 56:18b-19 は、**וזהב לוא ירבה לו מואדה ולא יסור לבבו וכסף וזהב**。CH は申 17:17 の **וזהב לוא ירבה לו מואדה** をペシッタ **לא יסף לה ירבה לו סוסים** と比較しているが、Col. 56:8b-19 との関係は不明。

⁽⁸⁵⁹⁾ W は 20 行目からここまでを、MT ではない他の古代訳からの、申 17:18 の広範囲の逐語的引用とする(どの古代訳か不明)。申 17:18 は、**והיה כשבתו על כסא ממלכתו לו וכתב**、Col. 56:20-21 は、**והיה בשבת** である。申 17:18 の **וכתב** を TJ は **ויכתבון** とする。こは TJ に近い。

3	עשרים שנה ועד בן ששים שנה לדגליהמה ופקדו{ו}
4	בראשיהמה שרי אלפים ושרי מאיות ושרי חמשים
5	ושרי ע'שרות בכול עריהמה וברר לו מהמה אלף אלף
6	מן המטה להיות עמו שנים עשר אלף איש מלחמה
7	אשר לוא יעוזבוהו לבדו ויתפש ביד הגואים וכול
8	הברורים אשר יבור יהיו אנשי אמת יראי אלוהים
9	שונאי בצע וגבורי חיל למלחמה והיו עמו תמיד
10	יומם ולילה אשר יהיו שומרים אותו מכול דבר חט
11	ומן גוי נכר אשר לוא יתפש בידמה ושנים עשר
12	נשיי עמו עמו ומן הכוהנים שנים עשר ומן הלויים
13	שנים עשר אשר יהיו יושבים עמו יחד למשפט
14	ולתורה ולוא ירום לבבו מהמה ולוא יעשה כול דבר
15	לכול עצה חוץ מהמה <i>vacat</i> ואשה לוא ישא מכול
16	בנות הגויים כי אם מבית אביהו יקח לו אשה
17	ממשפחת אביהו ולוא יקח עליה אשה אחרת כי
18	היאה לבדה תהיה עמו כול ימי חייה ואם מתה ונשא
19	לו אחרת מבית אביהו ממשפחתו ולוא יטה משפט
20	ולוא יקח שוחד להטות משפט צדק ולוא יחמוד
21	שדה וכרם וכול הון ובית וכול חמוד בישראל וגזל

57 欄

- 01 [それは彼とともにあるように。彼は生涯それを読むように。]⁽⁸⁶⁰⁾
- 02 [彼が私を畏れることを学ぶためにであり、この律法の言葉と]
- 03 [これらの定めを(守り)⁰²行うためである。(同胞に対して)⁰⁴高ぶることなく、]
- 04 [また戒めから右にも左にも逸れることなく、]
- 05 [彼と彼の子らとが長くその王国を治めることができるためである。]
- 06 [イスラエルの(只中で)⁰⁵。]
- 07 []

⁽⁸⁶⁰⁾ Y と CH が復元している 0 行目は、申 17:19-20 に基づく。

- 1 またこの律法を祭司たち[の前から、彼のために 書き記すように。][そして彼らは]⁽⁸⁶¹⁾
- 2 [彼]をイスラエルの子らの[頭として]治めさせる日に、
- 3 20(歳)²から 60 歳まで、彼らの連隊のために(人口調査(?))を行うように¹。そして彼は
- 4 彼らの頭を、千人隊長、百人隊長、五十人隊長、
- 5 十人隊長をすべての彼らの町に(任命するように)³ ⁽⁸⁶²⁾。彼は自身のために 1000 人を選
ぶように⁽⁸⁶³⁾。1000 人を
- 6 部族から、彼と共に居るために。12000 人の戦士、
- 7 彼を 1 人見捨てることなく、また他国民の手によって捕らえられることのないように
する者たちである。またすべての
- 8 選ばれし者たちは、真実な者であり、神を畏れ、
- 9 不当な利得を憎み、戦争の勇士であり、彼と共に常に居る者で
- 10 すべての罪深き事柄や(異国民)¹¹ から彼を昼も夜も守る者が(選ばれるように)⁸。

⁽⁸⁶¹⁾ Q は、**אשר יעשה המלך עלפי הכהנים** [「またこれが祭司たち[による王がなすべき]律法である」と復元。CH と M は、**וזאת התורה [] הכהנים** 「またこれが律法である。[]祭司たち」と復元。

⁽⁸⁶²⁾ Y と M は、**ופקדון** []、Q と CH は **ופקד**。W は 1 行目からここまでを、申 17:18、サム上 8:11、レビ 27:3、申命記 1:15、あるいは出 18:21、さらに民 1:3、サム上 8:12、サム上 22:7 のミドラッシュ的構成とする。申 17:18 は、**התורה הזאת על ספר מלפני הכהנים**、Col. 57:1 は、**אשר יכתבו לו מלפני הכהנים**、サム上 8:11 は、**אשר ימלך**、**עליכם את בניכם**、Col. 57:2 は、**ביום אשר ימליכו אונתו את ראוש בני ישראל**、レビ 27:3 は、**מבן עשרים שנה ועד בן ששים שנה**、民 1:3 は、**מבן עשרים שנה**、Col. 57:2-3 は、**מבן עשרים שנה ועד בן ששים שנה לדגליהמה ופקדון**、申 1:15 は、**ראשים עליכם**、**שרי אלפים ושרי מאות**、出 18:21 は、**שרי אלפים ושרי מאות**、サム上 8:12 は、**שרי אלפים ושרי חמשים**、サム上 22:7 は、**שרי אלפים ושרי מאות**、Col. 57:4-5a は、**שרי אלפים ושרי מאות**、**בראשיהמה שרי אלפים ושרי חמשים**、サム上 22:7 は、**שרי אלפים ושרי מאות**、Col. 57:4-5a は、**שרי אלפים ושרי מאות**、**בראשיהמה שרי אלפים ושרי חמשים** となっている。

⁽⁸⁶³⁾ ヘブライ語の動詞 **ברר** は、一般に「清める」の意で使用されるが、エベン・ショシャンの *A New Concordance of the Old Testament* によると、ここでは「選ぶ、分離する」の意味で使用されている (p. 209)。用例として、①エゼ 20:38 の **וברותי מכם המרדים** 「私はお前たちの中から反逆する者を選び分ける」、②ネへ 5:18 の **צאן שש ברות** 「選り抜きの羊 6 匹」が挙げられる。

- [] 1
]o o[] 2
 vacat [המה ו]אנשיהמה 2
 3 וה{o}יה כי ישמע המלך על כול גוי ועם [יהוא(?)] מבקש לגזול מכול אשר יש
 4 לישראל ושלח על שרי האלפים ועל שרי המ'אות הנתונים בערי
 5 ישראל ושלחו עמו מעשר העם {העם} לצאת עמו למלחמה על
 6 אויביהם ויצאו עמו ואם עם רב בא לארץ ישראל ושלחו
 7 עמו חמישית אנשי המלחמה ואם מלך ורכב וסוס ועם רב
 8 ושלחו עמו שלישית אנשי המלחמה ושתי הידות יהיו שומרים
 9 את עריהמה ואת גבולמה אשר לוא יבוא גדוד אל תוך ארצמה
 10 וכי אם תחזק המלחמה עליו ושלחו לו מחצית העם את אנשי
 11 הצבא ומחצית העם לוא יכרתו מעריהמה vacat והיה אם נצחו
 12 את אויביהמה ושברום והכום לפי{o}חרב ונשא את שללמה ונתנו
 13 ממנו למלך מעשרו ולכוהנים אחד מאלף וללויים אחד מן המאה
 14 מן הכול וחצו מחצית השאר בין תופשי המלחמה לאחיהמה
 15 אשר הניחו בעריהמה vacat ו{ע}ם יצא למלחמה על
 16 אויביו ויצא עמו חמישית העם אנשי המלחמה כול גבורי
 17 החיל ונשמרו מכול דבר טמאה ומכול ערוות ומכול עוון ואשמה
 18 ולוא יצא עד יבוא לפני הכוהן הגדול ושאל לו במשפט האורים
 19 והתומים על פיהו יצא ועל פיהו יבוא הוא וכול בני ישראל אשר
 20 אתו לוא יצא מעצת לבו עד אשר ישאל במשפט האורים
 21 והתומים והצליח בכול דרכיו אשר יצא על פי המשפט אשר

58 欄

4Q524 5 と平行している

1 []....[]⁽⁸⁶⁸⁾

レ 34:8 にはゼデキヤ王と高官の民との契約破棄が書かれているが、王や裁き人が「イスラエルのすべての好ましいものを欲してはならない、盗んではならない」こととの関連で参照されているのだろうか。

⁽⁸⁶⁸⁾ Q と CH は]א[פט & 復元。

- 2 [彼らと]⁽⁸⁶⁹⁾彼らの者たち -空白-
- 3 さて王がすべての他国民や他の民が何であれ(イスラエル)⁴に属するものから奪おうとしている⁽⁸⁷⁰⁾ことを聞いたなら。
- 4 彼は(イスラエルの)⁵町に駐在する千人隊長たちや百人隊長たちを置くように。
- 5 また彼らは彼(王)と共に民の 1/10 を(彼らの敵)⁶との戦いのために遣わすように。
- 6 彼らは彼と共に出て行くように⁽⁸⁷¹⁾。しかしもし多くの民がイスラエルの地に来るならば、
- 7 彼らは 1/5 の戦士たちを彼と共に遣わすように⁽⁸⁷²⁾。しかしもし王と戦車と馬と多くの民ならば、
- 8 彼らは 1/3 の戦士たちを彼と共に遣わすように。しかし 2 組は(彼らの町とそれらの境界)⁹を守る者であるように。

⁽⁸⁶⁹⁾ Y のテキスト上には存在しないが、脚注にて復元されている。よってヘブライ語テキストの方も復元した。CH は Y に従い復元している。

⁽⁸⁷⁰⁾ Q によると、ここの **כי והיה אשר ובעת** からの修復 (p. 83)。

⁽⁸⁷¹⁾ W は 3 行目からここまでを、士 20:9-10、サム下 22:9-10、代上 14:8、代上 27:1-4 のミドラッシュ的構成とし、また、サム下 22:13 と代上 14:10、14 を参照箇所とする。士 20:9-10 は、ギブアで起こった対ベニヤミン制裁戦争に 1/10 の人を選抜したことが類似している。原文は、**ולקחנו עשרה אנשים למאה לכל שבטי ישראל ומאה לאלף ואלף לרבבה** である。Col. 58:5 は、**עמו מעשר העם** である。サム下 22:9-10 は、神の怒りの描写であるが、類似点は見い出せなかった。むしろ Y が指摘する創 39:8 の **וכל אשר יש לו נתן** であり、サム上 17:46 の **כי יש אלהים לישראל** が、Col. 58:3-4 の **אשר יש לישראל** に類似。代上 14:8 には、**ויצא לפנייהם**、Col. 58:6a には **עמו ויצאו** とある。代上 27:1-4 はイスラエルの軍隊の組分けであるが、その内容のゆえにこの箇所を連想したのであるうか。サム下 23:13 については、**וירדו (שלשים) [שלשה] מהשלשים ראש** 「30 人の長のうちの 3 人が」という表現が 1/10 の軍隊の選考を連想させる。代上 14:10、14 はダビデとペリシテ人との戦争に関係するが、類似点は発見できず。

⁽⁸⁷²⁾ W は 6 行後半からここまでを、ヨシ 1:4 とヨシ 10:1-7 のミドラッシュ的構成と判断するほか、申 2:21、ヨシ 11:4、ヨエ 2:2、9、そして代下 32:4 を参照箇所として挙げる。ヨシ 1:4 にはイスラエルの領土の大きさが書かれている。ヨシ 10:1-7 は、アモリ人の 5 人の王のギブオン攻撃の計略を、申 2:21 は、アンモン人を追い払い、イスラエルが住み着いたことを、ヨシ 11:4 は、カナン王たちの出撃を、ヨエ 2:2、9 は、主の日と異邦の民の襲撃を、それぞれ扱っている。また、代下 32:4 には、センナケリブの攻撃に備えるユダの人々について記されている。これらには、Col. 58:6b-7a の、「しかしもし多くの民がイスラエルの地に来るならば、彼らは 1/5 の戦士たちを彼と共に遣わすように」という記述との繋がりが見えない。もしかしたら上記の聖句はこれらの言葉の背景を意味するのかもしれない。

- 9 そうすれば部隊は彼らの地の只中にやって来ない⁽⁸⁷³⁾。
- 10 だが、むしろ彼にとって戦争が激しくなるなら、彼らは彼に半数の民、(軍人たち)¹¹を遣わすように。
- 11 また彼らは(残りの)半数の民を彼らの町から除⁽⁸⁷⁴⁾いてはならない⁽⁸⁷⁵⁾。-空白- もし彼らが(彼らの敵に)¹²勝利したら、
- 12 剣に⁽⁸⁷⁶⁾かけて彼らを砕き、打ち倒すように。また彼らの分捕り品を運び、

⁽⁸⁷³⁾ W は 7 行後半からここまでを、申 20:1、サム下 18:2、サム上 11:11、士 9:43、士 7:16、王下 11:4-6、申 19:3、王下 5:2、サム下 30:23 のミドラッシュ的構成と判断する。また、王下 6:23、サム上 7:13、そして王下 2:32 を参照箇所とする。申 20:1 は、戦いにおける主の守りの確証を、サム下 18:2 は、ダビデがアブシャロムとの戦いで軍を 3 つに分けたことを、サム上 11:11 は、サウルがアンモン人との戦いで自分の軍を 3 つに分けたことを、士 9:43 は、アビメレクが自分の部隊を 3 つに分けたことを、士 7:16 は、ギデオンが 300 人の精鋭を 3 隊に分けたことを、王下 11:4-6 は、ヨヤダがカリ人と護衛兵の百人隊長を呼んでその兵たちを 3 隊に分け神殿を守らせたことを、申 19:3 は、逃れの町を作るため相続地を 3 分することを、それぞれ記している。王下 5:2 には、ナアマン將軍の妻にイスラエルの少女が捕囚として連れてこられたことが記されている。サム上 30:23 は、ダビデによる戦利品の平等分配に触れている。参照箇所として、王下 6:23 (アラムの部隊)、サム上 7:13 (ペリシテ人の部隊)があるが、W の参照する王下 2:32 は存在しない。これらの聖句との類似点は נָדוּד 「部隊」と שלישית 「1/3」であろう。すべての聖句にこの語が出てくる訳ではないが、意味上の類似点がある。上記のサム下 18:2 の原文は、וּשְׁלַח דָּוִד אֶת הָעָם הַשְּׁלִישִׁית בְּיַד יוֹאָב である。だが、復元箇所ではあるが、4QSam^a frags. 128-132 の 5 行目は、וּשְׁלַח דָּוִד אֶת הָעָם הַשְּׁלִישִׁית בְּיַד יוֹאָב、Col. 58:8 は、וּשְׁלַחוּ עִמּוֹ שְׁלִישִׁית である。上記サム上 11:11 は、וַיִּכּוּ אֶת עַמּוֹן עַד חָם הַיּוֹם である。ここも復元箇所ではあるが、4QSam^a Col. 10: frags. b-c の 9 行目には、וַיִּכּוּ אֶת בְּנֵי עַמּוֹן עַד חָם הַיּוֹם とある。

⁽⁸⁷⁴⁾ ヘブライ語の直訳は、「断ち切る」。

⁽⁸⁷⁵⁾ W は 10 行目からここまでを、サム下 10:9-13、ゼカ 14:2、サム下 19:41、サム上 30:24-25 のミドラッシュ的構成とする。サム下 10:9-13 には、ヨアブがアンモンとアラムの連合の 2 正面作戦に対しイスラエルの精鋭を 2 分したことが記されている。ゼカ 14:2 は、エルサレムの町が諸国民に襲われ町の半分が捕囚となるという預言である。サム下 19:41 には、ダビデ王の逃避行にイスラエルの半数の民が同行したことが記されている。サム上 30:24-25 には、ダビデが分捕りものを、戦いに出た者にも、荷物と共に残った者にも等しく 2 分し、それを掟と定めとしたことが記されている。これらの聖句は、これらの行の מַחְצִית הָעָם 「半数の民」との関連を示唆している。上記サム上 30:24 には、וּמִי יִשְׁמַע לָכֶם לְדַבֵּר וְהָזָה と、復元箇所の 4QSam^a frags. 45-46 の 4 行目には、וּמִי יִשְׁמַע לְדַבְרֵי הָאֱלֹהִים とある。

⁽⁸⁷⁶⁾ Q と CH は חָרַב (ל)。

- 13 その中から王にその 1/10 を、すべての内から祭司たちに 1/1000 を、レビ人たちに 1/100 を(与えるように)¹²。
- 14 また残りの半分を戦争に従事した者らと、(彼らの町に残った)¹⁵ 彼らの兄弟とで分けるように。
- 15 ⁽⁸⁷⁷⁾-空白- またもし⁽⁸⁷⁸⁾彼に対する敵と戦うために出征したなら、
- 16 民の 1/5 が出征するように。戦士たち、すべての勇士たち。
- 17 またすべての穢れたもの、すべての恥ずべきもの⁽⁸⁷⁹⁾や罪責から自分自身を守るように⁽⁸⁸⁰⁾。

⁽⁸⁷⁷⁾ W は 11 行後半からここまでを、申 17:17、民 31:27-30、サム上 30:24-25、サム上 8:10、創 14:20 のミドラッシュ的構成とし、また士 8:24-25 とサム上 30:20 を参照箇所とする。申 17:17 は、王が多重婚をすることと金銀を多量に蓄えることの禁止である。民 31:27-30 は、本来注 867 のカテゴリーに属する。分捕りものを、戦いに出た勇士と共同体全体とに、平等に 2 分する戒めが書かれ、人、牛、ろば、羊のそれぞれ 1/500 を主へ捧げることに触れている。民 31:30 は、**מִן הַבְּקָר מִן הַחֲמֹרִים וּמִן הַצֹּאן מִכֹּל הַבְּהֵמָה**、4QNum^b Col. 20 VI: frgs. 55 ii, 57-59 の 18-19 行は、**וּמִן הַבְּקָר [מִן] הַצֹּאן מִן הַחֲמֹרִים [מִן] כֹּל הַבְּהֵמָה** である。「羊」の位置が異なる。サム上 30:24-25 は、ダビデが分捕りものを、戦いに出た者にも、荷物と共に残った者にも等しく 2 分し、それを掟と定めとしたことが記されている。原文は、**וּמִי יִשְׁמַע לָכֶם לְדַבֵּר הַזֶּה כִּי כַחֲלָק הִירֵד בַּמִּלְחָמָה וְכַחֲלָק הֵיִשֵּׁב עַל הַכִּלָּיִם, יַחֲדוּ יַחֲלֹקוּ וַיְהִי מִזֶּה הַיּוֹם הַזֶּה וְיִשְׁמַע לָכֶם לְדַבֵּר הַזֶּה כִּי כַחֲלָק הִירֵד בַּמִּלְחָמָה וְיִשְׁמַע לָכֶם לְדַבֵּר הַזֶּה עַד הַיּוֹם הַזֶּה** である。Col. 58:14 は、**מִן הַכֹּל וְחֲצוֹ מִחֲצִית הַשָּׂאֵר בֵּין תּוֹפְשֵׁי הַמִּלְחָמָה לְאַחֵיהֶמָּה אֲשֶׁר בַּעֲרִיחָהּ** である。サム上 8:10 は、王を要求する民への主の言葉である。そして、創 14:20 は、メルキゼデクがアブラハムを祝福し、アブラムは、**וַיִּתֵּן לוֹ מֵעֶשֶׂר מִכֹּל** 「すべてのもの(分捕りもの?)の什一をメルキゼデクに与えた」ことを記している。Col. 58:12-13 には、**וְנָתַנוּ מִמֶּנּוּ לְמֶלֶךְ מֵעֶשֶׂר** とある。士 8:24-25 では、ギデオンが分捕りものの耳輪を民からもらう。サム上 30:20 は、アマレクから奪ったダビデの分捕りものに言及する。W の引用する殆どの聖句が、ここでは **שָׁלַל** 「分捕りもの」の平等の「分配」(**חֲלָק** もしくは **חֲצָה**)、また、「什一」**מֵעֶשֶׂר** と関係がある。

⁽⁸⁷⁸⁾ 原文は、**וְ(ע)ם**。写字者が **א** と **ע** を誤記。

⁽⁸⁷⁹⁾ Y の **עֲרוּת** に対して、Q、M、CH は **עֲרִיּוֹת** と復元。

⁽⁸⁸⁰⁾ W は 15 行後半からここまでを、申 23:10 と申 23:14 のミドラッシュ的構成とする。申 23:10 は、**כִּי תֵצֵא מִחֲנֵה עַל אִיבִיךָ וְנִשְׁמַרְתָּ מִכֹּל דְּבַר רַע** である。Col. 58:15b-16a は、**וְ(ע)ם יֵצֵא לְמִלְחָמָה עַל אִוִּיבֶיךָ**、申 23:14 は、**עַל אֲזַנְךָ וְהָיָה**、Col. 58:16b-17 は、**וְחִפְרַתָּהּ בָּהּ וְשַׁבְתָּ וְכִסִּיתָ אֶת צֵאתָךְ כֹּל גְּבוּרֵי הַחֵיָל בְּשַׁבְתְּךָ חוּץ**、**וְנִשְׁמַרוּ מִכֹּל דְּבַר טְמֵאָה** である。

- 18 また彼は大祭司の前に来るまでは出征してはならない。また彼にウリムとトンミムによって裁きを尋ねるように。
- 19 彼の口述⁽⁸⁸¹⁾によって出征し、彼の口述によって彼(王)は帰還する。また彼と(彼と共に居る)²⁰すべてのイスラエルの子らは、
- 20 彼の心の助言で出征してはならない。彼がウリムと(トンミム)²¹によって裁きを尋ねるまでは。
- 21 裁きに従って出征すれば彼のすべての道で成功する⁽⁸⁸²⁾。

Col. 59

[] 1
 [ו]יִבְזְרוּם בארצות רבות והיון [ל]ש[מה] [ל]משל ולשנניה ובעול כבוד 2
 ובחסור כול ועבדו שמה אלוהים מעשי ידי אדם עץ ואבן כסף 3
 וזהב ובכול זה יהיו עריהמה לשומה ולשרקה ולחורבה והיו 4
 אויביהמה שוממים במה והמה בארצות אויביהמה מתאנחים 5
 ומזעיקים מפני עול כבוד וקראו ולוא אשמע וזעקו ולוא אענה 6
 אותמה מפני רוע מעלליהמה ואסתיר פני מהמה והיו לאוכלה 7
 ולבו ולמשוסה ואין מושיע מפני רעתמה אשר הפרו בריתי 8
 ואת תורתִי געלה נפשמה עד יאשמו כול אשמה אחר ישובו 9
 אלי בכול לבבסה ובכול נפשמה ככול דברי התורה הזואת 10
 והושעתים מיד אויביהמה ופדיתים מכף שונאיהמה והביאותים 11
 לארץ אבותיהמה ופדיתים והרביתים וששתי עליהמה 12
 והייתי להמה לאלוהים והמה יהיו לי לעם vac והמלך אשר 13
 זנה לבו ועינו ממצוֹתִי לוא ימצא לו איש יושב על כסא 14
 אבותיו כול הימים כי לעולם אכרית זרעו ממשול עוד על ישראל 15

⁽⁸⁸¹⁾ ヘブライ語直訳は、「口によって」。

⁽⁸⁸²⁾ W は 18 行目からここまでを、民 27:21、代下 26:5、そして代下 24:20 のミドラッシュ的構成とする。民 27:21 は、**לפני אלעזר הכהן יעמד ושאל לו במשפט האורים לפני**、Col. 58:18–20 には、**יהוה על פיו יצאו ועל פיו יבאו הוא וכל בני ישראל אתו וכל העדה ולא יצא עד יבוא לפני הכהן הגדול ושאל לו במשפט האורים והתומים על**、代下 26:5 は、**בימי דרשו את**、**יהוה על פיו יצאו ועל פיהו יבאו הוא וכל בני ישראל אשר אתו**、**ולא תצליחו כי עזבתם את יהוה ויעזב אתכם**、代下 24:20 は、**יהוה הצליחו האלהים**、Col. 58:21 は、**והצליח בכול דרכיו אשר יצא על פי המשפט אשר** である。

ואם בחוקותי ילך ואת מצוותי ישמור ויעש	<i>vacat</i>	16
הישר והטוב לפני לוא יכרת לו איש יושב מבניו על כסא מלכות		17
ישראל לעולם והיתי עמו והושעתיהו מיד ישראל לעולם והיתי עמו והושעתיהו מיד		18
מבקשי נפשו לשאתה ונתתי את כול אויביו לפניו ומשל בהמה		19
כרצונו והמה לוא ימשולו בו ונתתיה למעלה ולוא למטה לראוש		20
ולוא לזנב ויארך ימים רבים על מלכותו הוא ובניו אחריו		21

59 欄

4Q524 6-13と平行している

- 1 []...[]⁽⁸⁸³⁾
- 2 [また]彼らは多くの国々に散らされ、また彼らは戦[慄]⁽⁸⁸⁴⁾、嘲り⁽⁸⁸⁵⁾、喩えまた重い軛である⁽⁸⁸⁶⁾。
- 3 またすべての必要において、そこで彼らは人の手の作の木、石、銀や(金)⁴の神々に仕えるなら⁽⁸⁸⁷⁾、

⁽⁸⁸³⁾ MはYと同じ。QとCHは、] .. מ[と復元。

⁽⁸⁸⁴⁾ Yは、[ל]שמ[ה]。M、Q、CHは、[ה]שמ[ה]「そこ[で]」と復元。Yは、MT申28:37の והיית ולשנינה לשמה למשל ולשנינה を復元の説明としている。しかしCHは、SamPの והיית לשם למשל והיית לשם לשמה למשל ולשנינה と、LXXの και ἔση ἐκεῖ ἐν αἰνίγματι και παραβολῆ και διηγήματι (= והיית לשם לשמה למשל ולשנינה) を引用し、自説を説明。さらに לשמה には十分なスペースがないとする。だが、C. D. Elledge, *The Statutes of the King: The Temple Scroll's Legislation on Kingship* (Col. LVII12-LIX21), p. 202 でエリッジが לשמה の読みを支持し、ל の基部が見えると主張していることも合わせて記している (p. 150)。

⁽⁸⁸⁵⁾ 原文の ולשנינה を、Qは שנינה の異形とする。

⁽⁸⁸⁶⁾ Wはこの行を、申28:64aの引用なしのパラフレーズと、申28:37aの広範囲の逐語的引用、王上12:11aの広範囲の逐語的引用とする。代下10:11参照。MT申28:64aは、 והפיצך והארץ ועד קצה הארץ ועד קצה הארץ בכל העמים מקצה הארץ ועד קצה הארץ である。ヘブライ語に類似点は見られないが、イスラエルが民の間に散らされる内容に類似点が見られる。MT申28:37aは、 והיית לשמה למשל ולשנינה、MT王上12:11aは、 ובעל כבוד、MT代下10:11は、 על [ו]יבזרום בארצות רבות והיון[ל]שמ[ה] למשל ולשנינה ובעול כבוד、Col. 59:2は、 כבוד である。

⁽⁸⁸⁷⁾ Wはこの行を、申28:48bの広範囲の逐語的引用、申4:28aの広範囲の逐語的引用と詩135:15aの広範囲の逐語的引用とみるほか、比較箇所として詩105:4を示す。Wは申28:48bを挙げる一方で、Yは48bを挙げていない。MT申28:48は、 על ברזל ועברת כל ונתן על ברזל

- 4 このすべての間、それらの町は恐怖と罵倒⁽⁸⁸⁸⁾および荒廃となる。また
- 5 彼らの敵は彼らにより驚く⁽⁸⁸⁹⁾。また彼らは彼らの敵の国々で呻き、
- 6 その重い軛のゆえに叫びを上げる⁽⁸⁹⁰⁾。彼らは呼ぶが私は聞かない。彼らは叫ぶが(彼らの悪しき行いのゆえに)⁷私は(彼らに)⁷答えない。
- 7 また私の顔を彼らから隠す⁽⁸⁹¹⁾。彼らは餌食や

על צוארך עד השמדו אתך である。Col. 59:3a は、ובחסור כול、MT 申 4:28a は、ועבדתם ועבדו שמה אלוהים מעשי ידי、Col. 59:3b は、שם אלהים מעשה ידי אדם עץ ואבן אדם である。W は詩 135:15a を挙げるが、Y のように詩 135:15 全部を参照した方が、11Q19 の「著者／編纂者」の意図を把握しやすいと思われる。MT 詩 135:15a は、עצבי מעשי ידי אדם עץ ואבן כסף וזהב、Col. 59:3b-4a は、הגוים כסף וזהב מעשה ידי אדם である。MT 詩 105:4 は、דרשו יהוה ועזו בקשו פניו תמיד である。ヘブライ語は類似していないが、常に主とその力を求め、御顔を訪ね求めることが、この行に書かれている罪を避けることにつながると考えられる。

⁽⁸⁸⁸⁾ W はこの行の前半を、レビ 26:31 の短い引用を含む節ないしその一部のパラフレーズと、エレ 25:9 の広範囲の逐語的引用とする。MT レビ 26:31 は、את עריכם חרבה והשמותי ונתתי ונתתי、MT エレ 25:9 は、ולשרקה ולחרבות עולם、Col. 59:4a は、בכול זה יהיו עריהמה לשומוה ולשרקה ולחרובה である。

⁽⁸⁸⁹⁾ Y は「彼らの敵は彼らを荒廃させる」と訳しているが、明らかに M や CH のように「彼らによって敵が顔色を失う」とした方が、構文上、理解の助けになるとみられる。Y も脚注でミルグロムの訳、“astounded” を紹介している (p. 267)。イザ 52:14 の、כאשר שממו עליך、רבim 「多くがあなたに驚いたように」を考慮すれば、ミルグロムの訳の正しさを理解できるので、ここではミルグロムの説をとった。また W は 4 行の後半からここまでを、レビ 26:33b の短い引用を含む節かその一部のパラフレーズとする。MT レビ 26:33b は、והיתה חרבה והיו אויביהמה שוממים במה、ארצכם שממה ועריכם יהיו חרבה である。

⁽⁸⁹⁰⁾ W は 5 行の後半からここまでを、出 2:23b の短い引用を含む節ないしその一部のパラフレーズと、王上 12:11a の広範囲の逐語的引用であるとする。MT 出 2:23b は、ויאנחו בני ישראל מן העבדה ויזעקו、MT 王上 12:11a は、העמים עליכם על כבד、Col. 59:5b-6a は、אויביהמה מתאנחים ומזעיקים מפני עול כבד となっている。

⁽⁸⁹¹⁾ W は 6 行の後半からここまでをゼカ 7:13b の広範囲の逐語的引用と、エレ 11:11b の短い引用を含む節かその一部のパラフレーズと、エレ 21:11b(おそらく誤植。正しくはエレ 21:12b)の広範囲の逐語的引用(エレ 26:3b、申 28:20b を参照)と、申 31:18 の広範囲の逐語的引用(エゼ 39:23b、同 24b を参照)とする。MT ゼカ 7:13b は、ויהי כאשר קרא ולא שמעו、כן יקראו לא אשמע、MT エレ 11:12b は、ויעקו אלי ולא אשמע אליהם、MT エレ 21:12b は、מפני רע מעלליהם、MT エレ 26:3b の、מפני רע מעלליהם である。参照箇所としては、MT エレ 26:3b の、

- 8 略奪品また戦利品となる。また私の契約を破るといふ彼らの悪ゆえに救う者は居ない⁽⁸⁹²⁾。
- 9 また彼らの魂は彼らのすべての罪責が処罰を受けるまで私の律法を拒絶した。後に彼らが
- 10 この律法の言葉に従って、彼らのすべての心で、また彼らのすべての魂で私に(立ち帰るなら)⁽⁸⁹³⁾
- 11 私は彼らを彼らの敵の手から救い、彼らを憎む者の手から彼らを贖う。また私は彼らを
- 12 彼らの父祖の地へ(連れてきて)¹¹、彼らを贖い、彼らを増やし、彼らを喜ぶ⁽⁸⁹⁴⁾。

MT 申 28:20b の、**מפני רע מעלליך**、MT 申 31:18 の、**ואנכי הסתר אסתיר פני**、MT エゼ 39:23b の、**ואסתר פני מהם**、MT エゼ 39:24b の、**ואסתר אתם ואסתר**、Col. 59:6b–7a の、**וקראו ולוא אשמע וזעקו ולוא אענה אותמה מפני רוע מעלליהמה**、**ואסתיר פני מהמה** が挙げられる。

⁽⁸⁹²⁾ W は 7 行の後半からここまでを、エゼ 34:8b の短い引用を含む節かその一部のパラフレーズ、王下 21:14b の広範囲の逐語的引用、エレ 44:3a の広範囲の逐語的引用とエレ 31:32b の広範囲の逐語的引用とする。MT エゼ 34:8b は、**אם לא יען היות צאני לבז ותהיינה**、MT 王下 21:14b は、**והיו לבז ולמשסה**、MT エレ 44:3a は、**אשר המה הפרו את בריתי**、MT エレ 31:32b は、**מפני רעתם אשר עשו**、Col. 59:7b–8 は、**והיו לאוכלה ולבז ולמשסה ואין מושיע מפני רעתם אשר המה הפרו את בריתי** となっている。

⁽⁸⁹³⁾ W は 9 行目からここまでを、MT ではない他の古代訳からのレビ 26:43b の広範囲の逐語的引用、ホセ 5:15b の短い引用を含む節かその一部のパラフレーズ、ホセ 3:5a の広範囲の逐語的引用、申 30:2b の広範囲の逐語的引用(申 4:29b 参照)と、申 17:19b の広範囲の逐語的引用とする。MT レビ 26:43b は、**ואת חקתי געלה נפשם**、MT ホセア 5:15b は、**עד אשר בכל לבבך ובכל**、MT 申 30:2b は、**אחר ישבו בני ישראל**、**יאשמו נפשך** である。参照箇所については、MT 申 4:29b は、**בכול לבבך ובכל נפשך**。MT 申 17:19b は、**את כל דברי התורה הזאת** である。Col. 59:9–10 は、**ואת תורת געלה נפשמה ואת תורה עד יאשמו כול אשמה אחר ישבו אלי בכול לבבם ובכל נפשמה ככול דברי התורה הזאת** である。

⁽⁸⁹⁴⁾ W は 11 行目からここまでを、士 2:18b の広範囲の逐語的引用、エレ 15:21b の広範囲の逐語的引用、申 31:21b の短い引用を含む節かその一部のパラフレーズ、ゼカ 10:18b の短い引用を含む節かその一部のパラフレーズと、申 28:23a の短い引用を含む節かその一部のパラフレーズとする。MT 士 2:18b は、**והושיעם מיר איביהם**。MT エレ 15:21b は、**ופדתיך**、**מכף ערצים**、MT 申 31:21b は、**אביאנו אל הארץ אשר נשבעתי**、MT ゼカ 10:8b は、**והיה כאשר שש יהוה עליכם**、MT 申 28:23a は、**ואקבצם כי פדיתם ורבו כמו רבו**、

- 13 私は彼らの神となり、彼らは私の民となる⁽⁸⁹⁵⁾。-空白- また
- 14 私の戒めから(逸れ)、その心をまたその目を淫行させる(王は)⁽⁸⁹⁶⁾、彼のために(彼の先祖たちの)⁽⁸⁹⁵⁾玉座に座る者を(もはや)⁽⁸⁹⁵⁾見出さない。
- 15 実に私がイスラエルの支配から永遠に彼の子孫を断つから⁽⁸⁹⁷⁾。
- 16 -空白- しかしもし、彼が私の掟に歩み、私の戒めを守り、
- 17 私の前に真直ぐで良いことを(行う)⁽⁸⁹⁶⁾なら、(永遠にイスラエル)⁽⁸⁹⁸⁾の王国の玉座に座る者が彼の子孫から断たれることはない⁽⁸⁹⁸⁾。
- 18 私は彼と共に居て、彼を憎む者の手から、また(彼の命を取ることを求める者)⁽⁸⁹⁹⁾の手から彼を救い、
- 19 私は彼のすべての敵を彼に与える⁽⁸⁹⁹⁾。そして(彼の欲するところに従い、)⁽⁹⁰⁰⁾彼は彼らを支配する。

Col. 59:11–12 は、והושיעתיים ופדיתים והרביתים וששתי עליהמה מיד אויביהמה ופדתים, である。

⁽⁸⁹⁵⁾ W はこの箇所をレビ 26:12 の広範囲の逐語的引用とする。MT レビ 26:12 は、והייתי לכם, Col. 59:13a は、והייתי להמה לאלוהים והמה יהיו לי, Col. 59:13a は、לאלהים ואתם תהיו לי לעם である。

⁽⁸⁹⁶⁾ W は 13 行後半からここまでを、民 15:39b の引用なしのパラフレーズとする。MT 民 15:39b は、את כל מצות יהוה ועשיתם אתם ולא תתרו אחרי לבבכם ואחרי עיניכם, Col. 59:13b–14a は、והמלך אשר זנה לבו ועינו ממצות, אשר אתם זנים אחריהם である。

⁽⁸⁹⁷⁾ W は 14 行後半からここまでを、エレ 33:17 の引用なしのパラフレーズ、エレ 33:18b の広範囲の逐語的引用と、代下 7:18b の引用なしのパラフレーズとする。MT エレ 33:17 は、לא יכרת לדוד איש יושב על כסא, MT エレ 33:18b は、כל הימים, MT 代下 7:18b は、לוא ימצא לו איש יושב על כסא, Col. 59:14b–15 は、לא יכרת לך איש מושל בישראל, である。

⁽⁸⁹⁸⁾ W は 16 行目からここまでを、王上 6:12 の短い引用を含む節かその一部のパラフレーズ、申 6:18a の引用なしのパラフレーズと、王上 9:5 の短い引用を含む節かその一部のパラフレーズとする。MT 王上 6:12 は、אם תלך בחקתי ואת משפטי תעשה ושמרת את כל, MT 申 6:18a は、ועשית הישר והטוב בעיני יהוה, MT 王上 9:5 は、לא יכרת לך, である。

⁽⁸⁹⁹⁾ W は 18 行後半からここまでを、士 2:18b の引用なしのパラフレーズと、エレ 42:30b の引用なしのパラフレーズとする。MT 士 2:18b は、והיה יהוה עם השפט והושיעם מיד, である。

5	א{ֹ}שר יצודו וכול אשר יחרימו ומכס השלל והבו <i>vacat</i>
6	<i>vacat</i> ולויים מעשר הדגן והתירוש והיצהר אשר
7	הקדישו לי לראישונה והשכם מאת זובחי הזבח והמכס מן
8	השלל ומן הבז ומן הציד לעוף ולחיה ולדגים אחד מן המאה
9	ומבני היונה ומעשר מן הדבש אחד מן החמשים ולכוהנים
10	אחד מן המאה מן בני היונה כי במה בחרתי מֵאֵכֹל שבטיכה
11	לעמוד לפני ולשרת ולברך בשמי הוא וכול בניו כול הימים
12	<i>vacat</i> וכי יבוא הלוי מאחד שעריכה מכול ישראל אשר
13	הוא גר שמה בכול אות נפשו אל המקום אשר אבחר לשכן
14	שמי ככול אחיו הלויים ישרת העומדים שמה לפני חלק כחלק
15	יואכלו לבד ממכר על האבות <i>vacat</i>
16	כי תבוא אל הארץ אשר אנוכי נותן לכה לוא תלמד לעשות
17	כתועבות הגויים ההמה לוא ימצא בכה מעביר בנו ובתו
18	באש קוסם קסמים ומעונן ומנחש ומכשף חובר חבר שואל אוב
19	וידעונים ודורש אל המתים כי תועבה המה לפני כול עושה
20	אלה ובגלל התועבות האלה אנוכי מורישם מלפניכה
21	תמים תהיה עם יהוה אלוהיכה <i>vac</i> כי הגואים האלה אשר

60 欄

4Q524 6-13 と平行している

01 [レビ人たる祭司たちとレビの全部族には([イスラエル]⁰²)と共にある分け前嗣業もない⁽⁹⁰⁴⁾。]

⁽⁹⁰⁴⁾ 0 行目は、ペシの復元の *DJD* 4Q524 を確認しながら、CH の TSCT によった。M も 0 行を復元しているが、行ごとに CH のものに対応しないので、以下に記す。

[... יהוה יקטירון ונחלותם יואכלו ונחלה לוא...] 01

[... הכהנים ... ת זובחי הזבח ...] 02

[... את האזורע...ה ורשית דגנם תירושם ויצהרם...] 03

[... ות כול...ה] 04

01 [...彼らは主(へ)焼いて煙にし、彼らの嗣業を食べるように。...しかし嗣業はない]

02 [...祭司たち...犠牲をささげるもの...]

03 [...前脚を...それらの穀物、それらのブドウ汁、それらの最上の油の初物最上の油]

04 [...すべての...]

- 02 [彼らは主⁽⁹⁰⁵⁾の火に焚く供犠を]焼いて煙にし、彼らの嗣業を食べるように。また嗣業は
- 03 [彼らの兄弟の只中であって彼らにはない。] [主]こ[そが彼らの嗣業である。]⁽⁹⁰⁶⁾
- 04 [またこれは民か]ら、[(雄牛であれ羊であれ)⁰⁵ 犠]牲を捧げる者たちか[ら(受けるもの)祭司たちの規定である。]
- 05 [前脚、肩骨まで、また]
- 06 [両顎、胃、彼らの穀物、ブドウ汁、最上の油の初物、また]
- 07 [彼らの小家畜の刈った(毛)の初]物、[またすべての⁽⁹⁰⁷⁾初物を彼らは主に捧げるように。それは彼らのために、イスラエル⁽⁹⁰⁸⁾[の子らによって]
- 1 []...[]...[]⁽⁹⁰⁹⁾
- 2 またすべて彼らの差し上げる供物と彼らの[家]畜⁽⁹¹⁰⁾の雄のすべての初子とすべての[...]⁽⁹¹¹⁾
- 3 彼らの家畜の また彼らが私に聖別する彼らのすべての聖なる捧げ物、すべて彼らの聖なる
- 4 賛美の捧げもの、また彼らの鳥や獣や魚の供え物からの贈り物は 1/1000 の
- 5 彼らが狩猟する[.]ものからである。またすべて彼らが専心するのは略奪品また戦利品からの贈り物⁽⁹¹²⁾。-空白-

⁽⁹⁰⁵⁾ プェシ復元の 4Q524 では、この 0 行に記されているすべての יהוה は、「...」で表されている。

⁽⁹⁰⁶⁾ Q の 2010 年版は、ここに、[כאשר דבר להם] 「[彼(神)が彼らに言ったように]」を挿入する。

⁽⁹⁰⁷⁾ Q の 2010 年版は、これより以降は、ו ורשית מנעשי פרי מטעיהם ו 「彼らの[果樹園の実の産]物の初[物を...]、また」と復元している。

⁽⁹⁰⁸⁾ 4Q524 の 7 行による。

⁽⁹⁰⁹⁾ CH は、[וּמֵאֵל יִשְׂרָאֵל] 「イスラエル[ル](の子ら)]⁰⁷ また彼らのぶど[う酒の賜]物によって。また[すべての主への供え物を彼らは差し上げるように]」と復元。M は、[...] ... [...] עֵיֵהֶם [...] מִן [...] ת [...] ... [...] 「[...] ... [...] 彼らの[...] ... [...]」と復元している。

⁽⁹¹⁰⁾ Q と CH は、בכור[תי]המה 「彼らの初子」と復元。M は綴り違いのבכור[תי]המה で、意味は同じ。

⁽⁹¹¹⁾ Q と CH は、[מנעשר] 「什一」と復元。

⁽⁹¹²⁾ W は 2 行目からここまでを、申 18:1?、民 18:11、レビ 27:26、出 13:12、民 18:8、レビ 19:24、民 31:41 と民 31:28-29 のミドラッシュ的構成とする。申 18:1 は、文章よりも捧げ物の分配のことで関連があるとしたのかもしれない。MT 民 18:11 は、לכל תנופת בני ישראל、

- 6 -空白- また彼らが(最初に私のために聖別した)⁷ 穀物、ブドウ汁、最上の油の什一をレビ人たちに(渡すように)。
- 7 犠牲の捧げ物から肩を。また贈り物を
- 8 略奪品また戦利品から。鳥や獣や魚の狩猟の 1/100 からである。
- 9 鳩の雛からまた什一。蜂蜜から 1/10⁽⁹¹³⁾、また祭司たちに(渡すものは)
- 10 鳩の雛から 1/100⁽⁹¹⁴⁾。実に私はあなたのすべて諸部族から彼らを選んだから。

MT レビ 27:26 は、**אך בכור אשר יבכר ליהוה בבהמה**、MT 出 13:12 は、**הזכרים ליהוה**、MT 民 18:8 は、**לכל קדשי בני ישראל**、MT レビ 19:24 は、**כל פרי קדש הלולים**、MT 民 31:41 は、**את מכס תרומת יהוה**、MT 民 31:28 は、**והרמת מכס ליהוה**、MT 民 31:29 は、**וכול תנופותמה וכול בכורן בבהמן** [תמה הזכרים]、Col. 60:2-5 は、**וכול תנופותמה וכול בכורן בבהמן** [תמה הזכרים]、**אשר יקדישו לי עם כול קודן** [שן הלולימה ומכס וכולן] **לבבהמתמה וכול קודשיהמה אשר יקדישו לי עם כול קודן** [שן הלולימה ומכס תרומתמה לעוף ולחיה ולדגים אחר מאלף אן] **אשר יצודו וכול אשר יחרימו ומכס השלל והבז** である。

⁽⁹¹³⁾ 6行目からここまでは、明らかにイスラエルの民がレビ人に渡すものの規定である。だがこの9行には問題がある。「1/10」が「鳩の雛」につくのか、「蜂蜜」につくのかははっきりしない。Yは不運な挿入としていて、鳩の雛 1/5、蜂蜜の 1/10 と理解している。YもQも、これを写字者の誤記と考え、**ומעשר מן הרבש** を10行の **היונה** の後に置くことを主張している (Y, p. 273; Q, p. 85)。ただしCHは、写字者の誤記が修正されずに残っていると考えるのは難しいとしている。CHはここを、「また鳩の雛から、蜂蜜の什一と同じように、1/50」と訳している (p. 154-155)。Wは6行目からここまでを、申 18:3、民 31:30、ネへ 10:38、ネへ 13:5、民 18:21、そして代下 31:5 のミドラッシュ的構成とする。MT 申 18:3 は、ヘブライ語の類似はないが、内容の捧げ物に関することが類似しているのかもしれない。MT 民 31:30 は、**ונתחה אתם ללויים**、MT ネへ 10:38 は、**ועץ תירוש ויצהר**、MT ネへ 13:5 は、**ומעשר הדגן התירוש והיצהר מצות הלויים והמשררים והשערים ותרומת**、MT 代下 31:5 は、**הנה נתתי כל מעשר בישראל לנחלה חלף עבדתם**、MT 民 18:21 は、**הכהנים הרבו בני ישראל ראשית דגן תירוש ויצהר ודבש וכל תבואת שדה ומעשר וללויים מעשר הדגן והתירוש והיצהר אשר**、また、Col. 60:6-9b は、**הכל לרב הביאו הקדישו לי לראשונה והשכם מאת זובחי הזבח והמכס מן השלל ומן הבז ומן הציד** **לעוף ולחיה ולדגים אחד מן המאה ומן בני היונה ומעשר מן הרבש** である。

⁽⁹¹⁴⁾ Qの2010年版はここに、**<ומעשר מן הרבש>** 「<蜂蜜の 1/10>」を挿入している。Wは9行後半からここまでを、構成要素が引用のために明確である、民 31:30 のミドラッシュ的用法であるとする。MT 民 31:30 は、**תקח אחד אחד מן החמשים מן האדם מן הבקר מן**、Col. 60:9a-10a は、**החמרים ומן הצאן מכל הבהמה ונתתה אתם ללויים שמרי משמרת משכן יהוה** である。

- 11 私の前に立ち、仕え、私の名によって祝福するため、彼と彼のすべての子らも生涯にわたって⁽⁹¹⁵⁾。
- 12 -空白- またもしレビ人が、(彼が寄留している)¹³ すべてのイスラエルのあなたの町々の1つから
- 13 自分の欲するまま、私が(私の名)¹⁴を住まわせるため選ぶ場所に(来るなら)¹²⁽⁹¹⁶⁾
- 14 彼はそこに立ち、私の前に仕える彼の兄弟のレビ人のすべてと同じように、それぞれ分け前を
- 15 彼らは食べるように。先祖たちが売ったものは別である⁽⁹¹⁷⁾。

⁽⁹¹⁵⁾ Wは10行後半からここまでを、申18:5のMTではない他の古代訳からの広範囲の逐語的引用とする。MT申18:5は、**כי בו בחר יהוה אלהיך מכל שבטיך לעמך לשרת בשם**、יהוה הוא ובניו כל הימים **כי במה בחרתי מכול שבטיכה לעמך**、Col. 60:10b–11は、**לפני ולשרת ולברך בשמי הוא וכול ובניו כול הימים לעמך לפני יהוה אלהיך ולשרת ולברך בשמו הוא ובניו כל הימים** 以降はSamP申18:5では、**לעמך לפני יהוה אלהיך ולשרת ולברך בשמו הוא ובניו כל הימים** である。LXX申18:5は、**παρεστάναι ἕναντι κυρίου τοῦ θεοῦ σου λειτουργεῖν καὶ εὐλογεῖν ἐπὶ τῷ ὀνόματι αὐτοῦ αὐτὸς καὶ οἱ υἱοὶ αὐτοῦ ἐν τοῖς υἱοῖς Ἰσραὴλ** となっており、最後の箇所、「イスラエル人の子ら」を加える点で、MT、他の古代訳とも11Q19とも異なる。また、ペシッタ申18:5は殆どMTと類似しているが、**בשם יהוה** の後にあなたの神を入れており、**אנחנו נבחרתה בלבבנו ונבחרתה בשם אלהינו** としている。我々の箇所はSamPに近い。

⁽⁹¹⁶⁾ Wは12行目からここまでを、MTではない他の古代訳からの申18:6の広範囲の逐語的引用とする。MT申18:6は、**וכי יבא הלוי מאחד שעריך מכל ישראל אשר הוא גר שם**、**וכי יבוא הלוי**、Col. 60:12–14aは、**מאחד שעריכה מכול ישראל אשר הוא גר שמה בכל אות נפשו אל המקום אשר יבחר יהוה מאחד שעריכה מכול ישראל אשר הוא גר שם ובא בכל אות נפשו אל המקום אשר יבחר יהוה** である。MTの**וכי יבוא הלוי** は、SamPと同じ。ペシッタは、**הא אלהי הגוי האחר נבחרתה בלבבך ואלו נבחרתה** となっており、LXXは**οὗ αὐτὸς παροικεῖ καθότι ἐπιθυμεῖ ἢ ψυχὴ αὐτοῦ** である。我々の箇所はLXXに近い。

⁽⁹¹⁷⁾ Wは14行後半からここまでを、MTではない他の古代訳からの、申18:7と申18:8の広範囲の逐語的引用とする。MT申18:7は、**ושרת בשם יהוה אלהיו ככל אחיו הלויים**、**העמדים שם לפני יהוה**、MT申18:8は、**חלק כחלק יאכלו לבד ממכריו על האבות**、Col. 60:14b–15は、**ככול אחיו הלויים ישרת העומדים שמה לפני חלק כחלק יואכלו**、**לבד ממכריו על האבות**、MT申18:8の**יאכלו לבד ממכריו על האבות** は4QDeut^f fig. 9の3行では、**יאכלון לבד ממכריו** となっている。なお、SamP申18:8は、**יאכלון לבד ממכרו ועל האבות**、また、LXX申18:8bは、**φάγεται πλὴν τῆς πράσεως τῆς κατὰ πατριάν** である。我々の箇所はLXXに近い。

- 16 もしあなたが、私があるに与える地に入るとき、あなたは(彼ら他国民の忌むべきことに従い)¹⁷ 行うことを学んではならない⁽⁹¹⁸⁾。
- 17 あなたの内に自分の息子や娘を(火の中に通す)¹⁸ 者、
- 18 占い師、卜者、易者⁽⁹¹⁹⁾、呪術師、呪文を唱える者⁽⁹²⁰⁾、口寄せ、
- 19 霊媒、死者に尋ね求める者があってはならない⁽⁹²¹⁾。実にこれらのことを行う者はすべて、彼らは私の前に忌むべきものであるからである。
- 20 これら忌むべきことゆえに、私は彼らをあなたの前から追い払う⁽⁹²²⁾。
- 21 あなたは、あなたの神、主と共にあって純粹でありなさい⁽⁹²³⁾。-空白- 実にこれらの他国民⁽⁹²⁴⁾

⁽⁹¹⁸⁾ W は 16 行目からここ(17 行前半)までを、MT ではない他の古代訳からの、申 18:9 の広範囲の逐語的引用とする。MT 申 18:9 は、**כי אתה בא אל הארץ אשר יהוה אלהיך נתן**、Col. 60:16-17a は、**כי תבוא אל הארץ** である。ちなみに MT 申 17:14 は、**כי תבא אל הארץ אשר יהוה אלהיך**、MT 申 26:1 は、**והיה כי תבא אל הארץ אשר יהוה אלהיך** となっている。

⁽⁹¹⁹⁾ MT も 11Q19 も、**מעונן**。SamP は、**מענן**。

⁽⁹²⁰⁾ W は 17 行後半からここ(18 行前半)までを、申 18:10 の広範囲の逐語的引用とする。MT 申 18:10 は、**ומכשף לא ימצא בך מעביר בנו ובתו באש קסם קסמים מעונן ומנחש**、Col. 60:17b-18a は、**ומכשף לוא ימצא בכה מעביר בנו ובתו באש קוסם קסמים ומעונן ומנחש** である。

⁽⁹²¹⁾ W は 18 行後半からここまでを、MT ではない他の古代訳からの、申 18:11 の広範囲の逐語的引用とする。MT 申 18:11 は、**וחבר חבר ושאל אוב וידעני ודרש אל המתים**、Col. 60:18b-19a は、**חבר חובר שואל אוב וידעני ודרש אל המתים** である。SamP 申 18:11 は、**חבר חבר ושאל אוב וידעני ודרש אל המתים**、LXX 申 18:11 は、**ἑπαίδων ἐπαιδιῆν ἐγγαστρίμυθος καὶ τερατοσκόπος ἐπερωτῶν τοὺς νεκρούς** であり、ここは SamP と LXX に近いかもしれない。

⁽⁹²²⁾ W は 19 行後半からここまでを、MT ではない他の古代訳からの、申 18:12 の広範囲の逐語的引用とする。MT 申 18:12 は、**כי תועבת יהוה כל עשה אלה ובגלל התועבת האלה**、Col. 60:19b-20 は、**כי תועבה המה לפני כולעושה**、**יהוה אלהיך מוריש אותם מפניך** である。MT 申 18:12b の **מוריש מפניך** は、SamP では、**מורישם מפניך** である。我々の箇所は SamP に近い。

⁽⁹²³⁾ W は 21 行前半を、申 18:13 の広範囲の逐語的引用とする。MT 申 18:13 は、**תמים תהיה עם יהוה אלהיך**、Col. 60:21a は、**תמים תהיה עם יהוה אלוהיכה** である。

⁽⁹²⁴⁾ W は 21 行後半を、申 18:14a の広範囲の逐語的引用とする。MT 申 18:14a は、**כי הגויים**

- 01 [אתה יורש אותמה אל מעננים ואל קוסמים ישמעו ואתה לוא כן]
- 02 [נתתי לכה נביא מקרב אחיכה כמושה אקים לכה אליו תשמעון]
- 03 [ככול אשר שאלתה ממני בחורב ביום הקהל לאמור לוא אוסיף לשמוע]
- 04 [את קול יהוה אלוהי ואת האש הגדולה הזאות לוא אראה עוד ולוא אמות]
- 05 [ואומר היטיבו אשר דברו נביא אקים להמה מקרב אחיהמה כמוהו ונתתי]
- 06 [דברי בפיהו ודבר אליהמה את כול אשר אצונו והיה האיש אשר לוא ישמע]
- 07 [אל דברי אשר ידבר הנביא בשמי אנוכי אדרוש מעמו אך הנביא אשר יזיד]
- 1 לד[בר דבר] ב[שמי אשר ל]וא צו[יתיו ל]דבר ואש[ר ידבר בשם] אל[והים אח]ר[ים]
- 2 והומת הנביא ההוא *vacat* וכי תואמר {אל} בלבבכה [א]יך נדע את הדבר
- 3 אשר לוא דברו יהוה ואשר ידבר הנביא בשם יהוה ולוא יהיה הדבר
- 4 ולוא יבוא הוא הדבר אשר לוא דברתי בזדון דברו הנביא לוא תגורו
- 5 ממנו *vacat*
- 6 לוא יקום עד אחד באיש לכול עוון ולכול חטא אשר יחטא על פי שנים
- 7 עדים או על פי שלושה עדים יקום דבר אם יקום עד חמס באיש לענות
- 8 בו סרה ועמדו שני האנשים אשר להמה הריב לפני ולפני הכוהנים והלויים ולפני
- 9 השופטים אשר יהיו בימים ההמה ודרשו השופטים והנה עד שקר העיד שקר
- 10 ענה באחיהו ועשיתה לו כאשר זמם לעשות לאחיהו ובערתה הרע מקרבכה
- 11 והנשארים ישמעו ויראו ולוא יוסיפו יי לעשות כדבר הזה בקרבכה לוא
- 12 תחוס עינכה עליו נפש בנפש עין בעין שן בשן יד ביד רגל רגל *vacat* כי
- 13 תצא למלחמה על אויביכה וראיתה סוס ורכב ועם רב ממכה לוא תירא
- 14 מהמה כי אנוכי עמכה המעלכה מארץ מצרים והיה כקרובכמה למלחמה
- 15 ונגש הכוהן וידבר אל העם ואמר אליהמה שמע ישראל אתמה קרבים

61 欄

- 01 [あなたが追い払おうとしているものたちはト者や占い師に聞き従うが、あなたはそうであってはならない。]⁽⁹²⁵⁾
- 02 [私はあなたのためにあなたの兄弟の中からモーセのような預言者を起こす。彼に聞き従うように。]

138 **האלה אשר**, Col. 60:21b は、**כי הגואים האלה אשר** である。

⁽⁹²⁵⁾ Y と CH の復元している 0 行目は、申 18:14-20 に基づく。

- 03 [ホレブでの集会の日にあなたが私に求めて言ったすべてのように(私の神、主の声を)⁰⁴重ねて聞くことがないように。]
- 04 [またこの大なる火を再び見ることがなく、そして私が死なないように。]
- 05 [そして私は言った。彼らが語ったことは良い。 私は彼らのために、彼らの兄弟の中から彼のような預言者を起こす。また私は]
- 06 [私の言葉を彼の口に与えた。彼は私が彼に命じたすべてのことを彼らに語るであろう。しかし、]
- 07 [預言者が私の名によって語った私の言葉に(人が聞き従わないなら)⁰⁶私は彼を追求する。しかし預言者が憶測して]
- 1 [彼]に命じてない[こと]を[私]の名によって語り、また他[の神]々の[名]において語るなら
- 2 この預言者は死なねばならない⁽⁹²⁶⁾。-空白- またもし、あなたの心の内に{へ}⁽⁹²⁷⁾我々は[ど]のように⁽⁹²⁸⁾
- 3 主の名によって語る預言者に主が彼に語られなかったという(ことを知るだろうかと言うなら)²⁽⁹²⁹⁾その言葉が実現せず、
- 4 その通りにならないなら、それは私が語ったものではなく、憶測で預言者自身が語ったのである。あなた方は
- 5 彼を(恐れてはならない)⁴⁽⁹³⁰⁾。

⁽⁹²⁶⁾ W は 1 行目からここまでを、MT ではない他の古代訳からの申 18:20b の広範囲の逐語的引用とする。MT 申 18:20b は、**לְדַבֵּר דְבַר בְּשֵׁם אֱלֹהִים אֲחֵרִים וּמַת הַנְּבִיא הַהוּא לְדַבֵּר דְבַר בְּשֵׁם אֱלֹהִים אֲחֵרִים**、Col. 61:1-2a は、**לְדַבֵּר דְבַר בְּשֵׁם אֱלֹהִים אֲחֵרִים וּמַת הַנְּבִיא הַהוּא לְדַבֵּר דְבַר בְּשֵׁם אֱלֹהִים אֲחֵרִים** である。

⁽⁹²⁷⁾ 原文は、{אל}。これは、後に写字者により消された前置詞である。

⁽⁹²⁸⁾ Q、M、CH は、**הֵיךְ** と読む。Y は、**[א]יך**。MT 申 18:21 は、**בְּלִבְבְּךָ אֵיכָה**。SamP は、**בְּלִבְבְּךָ אֵיךְ** である。

⁽⁹²⁹⁾ W は 2 行後半からここまでを、申 18:21 の広範囲の逐語的引用とする。MT 申 18:21 は、**וְכִי תֹאמַר בְּלִבְבְּךָ אֵיכָה נִדְעָ אֵת הַדְּבָר אֲשֶׁר לֹא דִבְרֵי יְהוָה**、Col. 61:2b-3a は、**וְכִי תֹאמַר {אל} בְּלִבְבְּךָ [א]יךְ נִדְעָ אֵת הַדְּבָר אֲשֶׁר לֹא דִבְרֵי יְהוָה** である。

⁽⁹³⁰⁾ W は 3 行後半からここまでを、MT ではない他の古代訳からの申 18:22 の広範囲の逐語的引用とする。MT 申 18:22 は、**אֲשֶׁר יִדְבַר הַנְּבִיא בְּשֵׁם יְהוָה וְלֹא יִהְיֶה הַדְּבָר וְלֹא יִבּוֹא הוּא הַדְּבָר אֲשֶׁר לֹא מִמְּנוֹ**、Col. 61:3b-5 は、**אֲשֶׁר יִדְבַר הַנְּבִיא בְּשֵׁם יְהוָה וְלֹא יִהְיֶה הַדְּבָר וְלֹא יִבּוֹא הוּא הַדְּבָר אֲשֶׁר לֹא**

- 10 彼が、彼の兄弟にすることを企んだように、あなたは彼にするように⁽⁹³⁵⁾。またあなたはあなたの只中から悪を除き去るように⁽⁹³⁶⁾。
- 11 また残った者たちは、聞いて恐れ、あなたの只中でこのような悪しきことを再び行わないであろう⁽⁹³⁷⁾。
- 12 あなたの目が彼を憐れんでは(ならない)¹¹。命には命を、目には目を、歯には歯を、手には手を、足には足を⁽⁹³⁸⁾。-空白- もし
- 13 あなたがあなたの敵に対して戦争に出て行くとき、あなたが馬や戦車、その民があなたより多いのを見ても、あなたは

⁽⁹³⁵⁾ W は 9 行後半からここまでを、MT ではない他の古代訳からの申 19:18 の広範囲の逐語的引用とする。MT 申 19:18 は、**וּדְרָשׁוּ הַשְּׂפָטִים הַיָּטִב וְהִנֵּה עַד שֶׁקָרַח הָעֵד שֶׁקָרַח עִנָּה בְּאַחִיו**。Col. 61:9b-10a は、**וּדְרָשׁוּ הַשְּׂפָטִים וְהִנֵּה עַד שֶׁקָרַח הָעֵד שֶׁקָרַח עִנָּה בְּאַחִיהוּ** である。

⁽⁹³⁶⁾ W は 10 行後半を、MT ではない他の古代訳からの申 19:19 の広範囲の逐語的引用とする。MT 申 19:19 は、**וְעָשִׂיתָם לוֹ כְּאִשֶּׁר זָמַם לַעֲשׂוֹת לְאַחִיו וּבְעֵרַת הָרַע מִקְרִבְךָ** である。また、Col. 61:10b は、**וְעָשִׂיתָם לוֹ כְּאִשֶּׁר זָמַם לַעֲשׂוֹת לְאַחִיהוּ וּבְעֵרַת הָרַע מִקְרִבְכָּה** である。MT の、**וּבְעֵרַת הָרַע מִקְרִבְךָ** は、4QDeut^f frgs. 13-16 の 3 行では、**לְאַחִיו וּבְעֵרַת הָרַע מִקְרִבְךָ** となっている。

⁽⁹³⁷⁾ Y は **לַעֲשׂוֹת כְּדַבַּר הַזֶּה** と読み、Q、M、CH は **לַעֲשׂוֹת כְּדַבַּר הָרַע הַזֶּה** 「このような悪しきことを」と読む。W は 11 行前半を、MT ではない他の古代訳からの申 19:20 の広範囲の逐語的引用とする。MT 申 19:20 は、**וְהַנְּשָׂאִים יִשְׁמְעוּ וִירָאוּ וְלֹא יִסְפוּ לַעֲשׂוֹת עוֹד**、**וְהַנְּשָׂאִים יִשְׁמְעוּ וִירָאוּ וְלֹא יוֹסִיפוּ עוֹד לַעֲשׂוֹת**、Col. 61:11 は、**וְהַנְּשָׂאִים יִשְׁמְעוּ וִירָאוּ וְלֹא יוֹסִיפוּ עוֹד לַעֲשׂוֹת**、**כְּדַבַּר הָרַע הַזֶּה בְּקִרְבְּךָ**、**וְלֹא יוֹסִיפוּ עוֹד לַעֲשׂוֹת כְּדַבַּר הָרַע הַזֶּה בְּקִרְבְּכָה** である。11b の **כְּדַבַּר הָרַע הַזֶּה בְּקִרְבְּכָה** は、SamP 申 19:20b では、**וְלֹא יוֹסִיפוּ עוֹד לַעֲשׂוֹת כְּדַבַּר הָרַע הַזֶּה**、**בְּקִרְבְּכָה**、4QDeut^f frgs. 13-16 の 4 行では、**לַעֲשׂוֹת כְּדַבַּר הָרַע הַזֶּה בְּקִרְבְּכָה** となっている。我々の箇所は SamP に近い。

⁽⁹³⁸⁾ W は 11 行後半からここまでを、MT ではない他の古代訳からの、申 19:21 の広範囲の逐語的引用とする。MT 申 19:21 は、**וְלֹא תַחֲוֶה עֵינֶיךָ בְּנַפְשׁ בְּנַפְשׁ עֵין בְּעֵין שֶׁן בְּשֶׁן יָד בְּיָד**、**וְלֹא תַחֲוֶה עֵינֶיךָ עַל לִוְיֹת בְּנַפְשׁ בְּנַפְשׁ עֵין בְּעֵין שֶׁן בְּשֶׁן יָד**、Col. 61:11b-12a は、**וְלֹא תַחֲוֶה עֵינֶיךָ עַל לִוְיֹת בְּנַפְשׁ בְּנַפְשׁ עֵין בְּעֵין שֶׁן בְּשֶׁן יָד**、**וְלֹא תַחֲוֶה עֵינֶיךָ עַל לִוְיֹת בְּנַפְשׁ בְּנַפְשׁ עֵין בְּעֵין שֶׁן בְּשֶׁן יָד** である。11-12 行の **וְלֹא תַחֲוֶה עֵינֶיךָ עַל לִוְיֹת בְּנַפְשׁ בְּנַפְשׁ עֵין בְּעֵין שֶׁן בְּשֶׁן יָד** は、MT 申 19:20-21 では **וְלֹא תַחֲוֶה עֵינֶיךָ עַל לִוְיֹת בְּנַפְשׁ בְּנַפְשׁ עֵין בְּעֵין שֶׁן בְּשֶׁן יָד**、SamP では **וְלֹא תַחֲוֶה עֵינֶיךָ עַל לִוְיֹת בְּנַפְשׁ בְּנַפְשׁ עֵין בְּעֵין שֶׁן בְּשֶׁן יָד**、LXX では **ἐν ὕμῃν οὐ**、ペシッタでは **ܘܠܐ ܬܚܘܘܐ ܥܝܢܝܟܝܡ ܥܠ ܠܘܝܘܬ ܒܢܦܫܘܬ ܒܢܦܫܘܬ ܥܝܢܝܢ ܒܥܝܢܝܢ ܫܢܝܢ ܒܫܢܝܢ ܝܕܝܢ ܒܝܕܝܢ** である。また、MT 申 19:21 は、**וְלֹא תַחֲוֶה עֵינֶיךָ עַל לִוְיֹת בְּנַפְשׁ בְּנַפְשׁ עֵין בְּעֵין שֶׁן בְּשֶׁן יָד**、SamP 申 19:21 は、**וְלֹא תַחֲוֶה עֵינֶיךָ עַל לִוְיֹת בְּנַפְשׁ בְּנַפְשׁ עֵין בְּעֵין שֶׁן בְּשֶׁן יָד**、LXX 申 19:21 は、**οὐ φείσεται ὁ ὀφθαλμὸς σου ἐπ' αὐτῶ ψυχῆν ἀντὶ ψυχῆς**、ペシッタ申 19:21 は、**ܘܠܐ ܬܚܘܘܐ ܥܝܢܝܟܝܡ ܥܠ ܠܘܝܘܬ ܒܢܦܫܘܬ ܒܢܦܫܘܬ ܥܝܢܝܢ ܒܥܝܢܝܢ ܫܢܝܢ ܒܫܢܝܢ ܝܕܝܢ ܒܝܕܝܢ** である。我々の箇所は LXX に近い。

- 14 それらを恐れてはならない⁽⁹³⁹⁾。実にあなたをエジプトの地から上らせた私はあなたと共に居るから。あなたが戦争に近づいたとき
- 15 祭司は近づき、民に語り言うように⁽⁹⁴⁰⁾。聞けイスラエルよ。あなたたちは近づいて⁽⁹⁴¹⁾

Col. 62

- 01 [היום למלחמה על איביכם אל ירך לבבכם אל תיראין]
- 02 [ואל תחפזו ואל תערצו מפניהמה כי יהוה אלוהיכמה ההולך]
- 03 [עמכמה להלחם לכמה עם אויביכמה להושיע אתכמה ודברו השופטים]
- 04 [אל העם לאמור מי האיש אשר בנה בית חדש ולוא חנכו ילך וישוב]
- 05 [לביתו פן ימות במלחמה ואיש אחר יחנכנו ומי האיש אשר נטע]
- 06 [כרם ולא חללו ילך וישוב לביתו פן ימות במלחמה ואיש]
- 1 [אחר יחללנו ומי האיש אשר ארש⁽⁹⁴²⁾ אשה ולוא לקחה ילך וישוב אל]
- 2 בִּיתו [פן ימות במלחמה ואיש אחר יקחנה ויוסיפו ה]שן[פטים]
- 3 לְדַבֵּר אל העם ואמרו מי האיש הירא וְיָךְ הלבב ילך וישוב אל
- 4 ביתו פן ימס את לבב אחיו כלבבו *vacat* ויהי ככלות השופטים
- 5 לדבר אל העם ופקדו שרי צב[ו]אות בראוש העם *vacat* כי
- 6 תקרב אל עיר להלחם עליה וקראתה אליה לשלום והיה אם
- 7 שלום תענכה ופתחה לכה והיה כול העם הנמצאים בה יהיו

⁽⁹³⁹⁾ W は 12 行後半からここまでを、申 20:1 の広範囲の逐語的引用とする。MT 申 20:1 は、**כי תצא למלחמה על איביך וראית סוס ורכב עם רב ממך לא תירא מהם כי יהוה כי תצא למלחמה על אויביכה**、Col. 61:12b–14a は、**אלהיך עמך המעלך מארץ מצרים וראית סוס ורכב ועם רב ממכה לוא תירא מהמה כי אנוכי עמכה המעלכה מארץ מצרים** である。MT の **עם ורכב סוס** は SamP と同じ。LXX は、ἵππον καὶ ἀναβάτην καὶ λαόν であり、我々の箇所は LXX に近い。

⁽⁹⁴⁰⁾ W は 14 行後半からここまでを、申 20:2 の広範囲の逐語的引用とする。MT 申 20:2 は、**והיה כקרבתכם אל המלחמה ונגש הכהן וידבר אל העם כקרובכמה למלחמה ונגש הכהן וידבר אל העם** である。

⁽⁹⁴¹⁾ W は 15 行後半を、申 20:3a の広範囲の逐語的引用とする。MT 申 20:3a は、**ואמר אליהם שמע ישראל אתמה קרבים**、Col. 61:15b は、**שמע ישראל אתמה קרבים** である。4QDeut^f frgs. 13–16 の 8 行には、[אנ]ל[יהם] שמעה とある。

⁽⁹⁴²⁾ CH の TSCT では、**אשר** となっている。誤植である。おそらく、**ארש** と書くつもりだったとみられる (p. 390)。

8 לכה למס ועבדוכה ואם לוא תשלים עמכה ועשתה עמכה מלחמה
 9 וצרתה עליה ונתתיה בידכה והכיתה את זכורה לפי חרב רק
 10 הנשים והטף והבהמה וכול אשר יהיה בעיר כול שללה תבוז
 11 לכה ואכלת^ה את שלל אויביכה אשר אנוכי נותן לכה כן תעשה
 12 לערים הרחוקות ממכה מאודה אשר לוא מערי הגואים האלה
 13 המה רק מערי העמים אשר אנוכי נותן לכה נחלה לוא תחיה
 14 כול נשמה כי החרם תחרים את החתי ואת האמורי והכנעני
 15 החוי והיבوسی והגרגשי והפרזי כאשר צויתכה למען אשר
 16 לוא ילמדוכה לעשות ככול התועבות אשר עשו לאלוהיהם

62 欄

- 01 [今日あなたの敵に対しての戦いに(近づいている。)⁽⁹⁴³⁾ あなたの心を弱気にしてはならない。恐れてはならない。]⁽⁹⁴⁴⁾
- 02 [慌ててはならない。彼らの前でおじけづいてはならない。実にあなたたちの神、主が]
- 03 [あなたたちと共に(歩み)⁰²、あなたたちのためにあなたたちの敵と戦い、あなたたちを救われるからである。裁判人たちも]
- 04 [民に(語り)⁰³ 言うように、誰か人が新しい家を建て、奉献していないなら、]
- 05 [彼が戦死し、他の者がそれを奉献しないように、彼は自分の家に(帰って行くように)⁰⁴。誰でも]
- 06 [ブドウ園を(作って)⁰⁵、まだそれを使用していない者があれば、彼は自分の家に帰って行くように。彼が戦死し、]
- 1 [他の者がそれを使用しないように。誰か婚約をし、まだ彼女を娶っていないならば、彼は](自分の家)² [に帰って行くように。]⁽⁹⁴⁵⁾
- 2 [彼が戦死し、他の者が彼女を娶らないように。裁]判人[たちは加えて]⁽⁹⁴⁶⁾

⁽⁹⁴³⁾ Col. 61:15 の最後の言葉。

⁽⁹⁴⁴⁾ Y と CH の復元している 0 行目は、申 20:3-7 に基づく。

⁽⁹⁴⁵⁾ Q と M は 1 行を復元していない。

⁽⁹⁴⁶⁾ Q と CH は、[ויספו עוד השופטים] אחר יקחנה 「他の者が[彼女を娶らないように。]また裁判人[たちは加えて]」と復元。M は、[אחר עוד השופטים] ...[...] 「他の者が [...]...再び裁判人」 と復元。

- 13 これらの町々の民⁽⁹⁵⁹⁾、ただ私があなたに嗣業として与えるものは (どんな命も)¹⁴ 生かしておいてはならない⁽⁹⁶⁰⁾。
- 14 実にヘト人、アモリ人、カナン人、
- 15 ヒビ人、エブス人、ギルガシ人、ペリジ人を(必ず聖絶するように)¹⁴⁽⁹⁶¹⁾。私があなたに命じたように、
- 16 彼らの神々のために彼らが行った忌むべき行いのすべてを⁽⁹⁶²⁾彼らがあなに教えないためである⁽⁹⁶³⁾。

⁽⁹⁵⁹⁾ W は 11 行後半からここまでを、MT ではない他の古代訳からの申 20:15 の広範囲の逐語的引用とする。MT 申 20:15 は、**כֵּן תַעֲשֶׂה לְכָל הָעַרִים הַרְחֻקֹת מִמֶּךָ מֵאֵשׁ לֹא מַעֲרִי הִנֵּה כֵּן תַעֲשֶׂה לְעַרִים הַרְחֻקֹת מִמֶּכָּה מֵאֹרֶה אֲשֶׁר לֹא מַעֲרִי הַנְּהִי הַנְּה לֹא מַעֲרִי הַנְּהִי הַנְּה** である。4QDeut^{k2} frgs. 2-3 の 10 行における申 20:15a の読みは、**[תַעֲשֶׂה] לְכָל [הָעַרִים]** である。

⁽⁹⁶⁰⁾ W は 13 行後半からここまでを、MT ではない他の古代訳からの、申 20:16 の広範囲の逐語的引用とする。申 20:16 は、**רַק מַעֲרֵי הָעַמִּים אֲשֶׁר יְהוּה אֱלֹהֶיךָ נָתַן לְךָ נַחְלָה**、**רַק מַעֲרֵי הָעַמִּים אֲשֶׁר אֲנוֹכִי נֹתֵן לְכָה נַחְלָה**、**לֹא תַחִיָּה כֹּל נִשְׁמָה** である。

⁽⁹⁶¹⁾ W は 14 行後半からここまでを、MT ではない他の古代訳からの申 20:17 の広範囲の逐語的引用とする。申 20:17 は、**כִּי הַחֲרָם תַּחֲרִימֶם הַחֲתִי וְהָאֲמֹרִי הַכְּנַעֲנִי וְהַפְּרָזִי הַחֲוִי**、**כִּי הַחֲרָם תַּחֲרִים אֶת הַחֲתִי וְאֶת**、**וְהַיְבֹסִי כַּאֲשֶׁר צִוָּךְ יְהוּה אֱלֹהֶיךָ** である。SamP 申 20:17 は、**כִּי הַחֲרָם תַּחֲרִימֶם הַכְּנַעֲנִי וְהָאֲמֹרִי וְהַחֲתִי וְהַגְּרִגְשִׁי וְהַפְּרָזִי וְהַחֲוִי וְהַיְבֹסִי כַּאֲשֶׁר** である。また、LXX 申 20:17 は、**ἀλλ' ἢ ἀναθέματι ἀναθεματιεῖτε αὐτοὺς τὸν Χετταῖον καὶ Ἀμορραῖον καὶ Χαναναῖον καὶ Φερεζαῖον καὶ Εὐαῖον καὶ Ἰεβουσαῖον καὶ Γεργεσαῖον ὃν τρόπον ἐνετείλατό σοι κύριος ὁ θεός σου** である。そして、ペシッタ 申 20:17 は、**אֲלֹהֵי הַיְבֹסִי כַּאֲשֶׁר צִוָּךְ יְהוּה אֱלֹהֶיךָ** となっている。SamP と LXX においては異邦人の名前の順は不同であるが、11Q19 と同様に「ギルガシ人」を挿入する。

⁽⁹⁶²⁾ 4QDeut^{k2} frgs. 2-3 の 13 行目では、**כִּכּוּל תּוֹעֵב וְחָם** である。

⁽⁹⁶³⁾ W は 15 行後半からここまでを、MT ではない他の古代訳からの申 20:18a の広範囲の逐語的引用とする。申 20:18a は、**לְמַעַן אֲשֶׁר לֹא יִלְמְדוּ אֶתְכֶם לַעֲשׂוֹת כְּכֹל תּוֹעֵבוֹתֵי אֲשֶׁר עָשׂוּ לְאֱלֹהֵיהֶם**、**לְמַעַן אֲשֶׁר לֹא יִלְמְדוּכָה לַעֲשׂוֹת כְּכֹל הַתּוֹעֵבוֹת אֲשֶׁר עָשׂוּ לְאֱלֹהֵיהֶם** である。SamP 申 20:18a は MT と同様。LXX 申 20:18a は、**ἵνα μὴ διδάξωσιν ὑμᾶς ποιεῖν πάντα τὰ βδελύγματα αὐτῶν ὅσα ἐποίησαν τοῖς θεοῖς αὐτῶν** である。ペシッタ 申 20:18a は、**הֲלֹא נִלְמְדוּ לְמַעַן אֲשֶׁר עָשׂוּ לְאֱלֹהֵיהֶם** となっている。**יִלְמְדוּכָה = διδάξωσιν ὑμᾶς = נִלְמְדוּ** といえ、我々の箇所は LXX とペシッタに近い。

- 01 [וחטאתמהם לי *vacat* כי תצור אל עיר ימים רבים להלחם עליה לתפשה לוא]
- 02 [תשחית את עצה לנרוח עליו גרון כי ממנו תואכל ואתו לוא תכרות כי האדם]
- 03 [עץ השדה לבוא מפניכה במצור רק עץ אשר תדע כי לוא מאכל הוא אותו תשחית]
- 04 [וכרתה ובניתה מצור על העיר אשר הוא עושה עמכה מלחמה עד רדתה *vacat*]
- 05 [*vacat* כי ימצא חלל באדמה אשר אנוכי נותן לכה לרשתה נופל]
- 06 [בשדה לוא נודע מי הכהו ויצאו זקניכה ושפטיכה ומדרו אל הערים אשר סביבת]
- 07 [החלל והיה העיר הקרובה אל החלל ולקחו זקני העיר ההיא עגלת בקר אשר לוא]
- 1 עֲבֹדְ בַּה אֲשֶׁר] לוא משכה בעול *vacat* והורידו זקני [הַעֲיֹר הַהֵיֵא אֵת
- 2 עגל]ה[אל נחל איתן *vac* אשר לוא יזרע ולוא יעבד וערפו שמה את העגלה
- 3 *vac* ונגשו הכוהנים בני לוי כי בהמה בחרתי לשרת לפני ולברך בשמי
- 4 ועל פיהמה יהיה כול ריב וכול נגע וכול זקני העיר ההיא הקרובה אל החלל
- 5 ירחצו את ידיהמה על ראוש העגלה {o}הערופה בנחל וענו ואמרו ידינו
- 6 לוא שפכו את הדם הזה ועינינו לוא ראו כפר לעמכה ישראל אשר פדיתה
- 7 יהוה ואל תתן דם נקי בקרב עמכה ישראל וכופר להמה הדם ואתה תבער
- 8 את דם נקי מישראל ועשיתה הישר והטוב לפני יהוה אלוהיכה
- 9 *vacat*
- 10 כי תצא למלחמה על אויביכה ונתתי אותמה בידכה ושביתה את שביו
- 11 וראיתה בשביה אשה יפת תואר וחשקתה בה ולקחתה לכה לאשה
- 12 והביאותה אל תוך ביתכה וגלחתה את ראושה ועשיתה את צפורנָה והסירותה
- 13 את שלמות שביה מעליה וישבה בביתכה ובכתה את אביה ואת אמה חודש
- 14 ימים אחר תבוא אליה 'בעלתה והיתה לכה 'אשה ולוא תגע לכה בטרהר עד
- 15 שבע שנים וזבח שלמים לוא תואכל עד יעבורו שבע שנים אחר תואכל

63 欄

- 01 [また、あなたたちが私に罪を犯さないためである。-空白- あなたがある町を多くの日々包圍し、攻め取ろうとする時は、]⁽⁹⁶⁴⁾
- 02 [斧をふるい、その(町の)木を倒してはならない。あなたはそれから食べるように。しかしそれを切ってはならない。何故なら]
- 03 [野の木は包圍においてあなたの前から来る人間なのか。ただ食物とならないとあなた

⁽⁹⁶⁴⁾ Y と CH の復元している 0 行目は、申 20:18-21:3 に基づく。

15 7年間(触れてはならない)¹⁴。和解の犠牲も7年が過ぎるまでは食べてはならない。彼女はその後で食べるように⁽⁹⁷⁸⁾。

Col. 64

- 01] *vacat* והיה אם לוא חפצתה בה
- 02 [ושלחתה לנפשה ומכור לוא תמכרנה בכסף לוא תתעמר]
- 03 [בה תחת אשר עניתה *vacat*]
- 04 [כי תהיינה לאיש שתי נשים האחת אהובה והאחת שונא וילדון]
- 05 [לו בנים האהובה השנואה והיה הבן הבכור לשנואה והיה ביום הנחילון]
- 06 [את בניו את אשר יהיה לו לוא יוכל לבכר את בן האהובה על פני]
- 07 [בן השנואה הבכור כי את הבכור בן השנואה יכיר לתת לו פי שנים]
- 1 [ראשית אוננו לו משפט הבכורה] *vacat*
- 2 כי יהיה לאיש בן סורר ומורה אננו שומע בקול אביו ובקול אמנו
- 3 ויסרו אותו ולוא י[שמע אליהמה ותפשו בו אביהו ואמו והוציאוהו אל
- 4 זקני עירו ואל שער {oooo} מקומו ואמרו אל זקני עירו בננו זה סורר
- 5 ומורר ואננו שומע בקולנו זולל וסבא ורגמוהו כול אנשי עירו באבנים
- 6 וימות ובערתה הרע מקרבכה וכול בני ישראל ישמעו ויראו *vac* כי
- 7 יהיה איש רכיל בעמו ומשלים את עמו לגוי נכר ועושה רעה בעמו
- 8 ותליתמה אותו על העץ וימת על פי שנים עדים ועל פי שלושה עדים
- 9 יומת והמה יתלו אותו העץ *vac* כי יהיה באיש חט" משפט מות ויברח אל
- 10 תוך הגואים ויקלל את עמו ואת בני ישראל ותליתמה גם אותו על העץ
- 11 וימות ולוא תלין נבלתמה על העץ כי קבור תקבורמ{ה} ביום ההוא כי
- 12 מקוללי אלוהים ואנשים תלוי על העץ ולוא תטמא את האדמה אשר אנוכי
- 13 נותן לכה נחלה לוא תראה את שור אחיכה או את שיו או את חמורו
- 15 אליכה ולוא ידעתו ואספתו אל תוך ביתכה והיה עמכה עד דרוש

64 欄

4Q524 14 と平行している

⁽⁹⁷⁸⁾ W は 14 行後半からここまでを自由作文としている。

- 01 [-空白- もし、ああなたが彼女を気に入らなくなったら、]⁽⁹⁷⁹⁾
- 02 [彼女の気持ちに従い、彼女を去らせるように。しかし決して金銭⁽⁹⁸⁰⁾で彼女を売ってはならない。彼女を]
- 03 [辱めたのだから、(彼女を売買してはならない)⁰²。]
- 04 [ある人に2人の妻があり、1人は愛され、もう1人は疎んじられていて、彼女らは]
- 05 [愛されている方も疎まれている方も彼に息子を産んだ。しかし疎んじられている方が長子であるとき、(彼の息子らに彼の所有する)⁰⁶財産を継がせる日になり、]
- 06 [彼は愛されている⁽⁹⁸¹⁾息子を、(長子である疎んじられている息子を)⁰⁷差し置いて、長子とすることはできない。]
- 07 [彼は疎んじられている長子である息子を認め、2倍のものを与えるように。]
- 1 [彼の最初の産みだす力。長子の特権は彼のものである]-空白-
- 2 ある人に頑なで反抗的な息子⁽⁹⁸²⁾がおり、その父⁽⁹⁸³⁾の声にも母の声にも聞かず、

⁽⁹⁷⁹⁾ Y と CH の復元している 01-1 行目は、申 21:14-18 に基づいている。しかし、Q の 2010 年版は 4Q524 に基づき、以下のように復元している。

[אם ולוּן א] 1
[מכול אן] 2
[עשירי בנים אשר יולדו] 3
[עד דור רביעי] 4
[בבוא בני ישראל]] 5
[הגר אשר בא עמכם ^{ooo}] 6
[לוא ירשתמה]] 7
[מקרה לילה]] 8

1 []~な[い。]

2 []すべてから[い。]

3 [生まれた]富んだ息子ら[]

4 []第4の世代まで[]

5 []イスラエルの子らが来[る時]

6 []...あなたたちと来る[外国人寄留者が]

7 []あなたたちそれを相続しない[]

8 []夢[精]

⁽⁹⁸⁰⁾ 原文は「銀」。

⁽⁹⁸¹⁾ CH は、אהובה。אהובה の誤植。

⁽⁹⁸²⁾ MT 及び Y は、בן סורר ומורה。M、Q と CH は、בן סורר ומורר。

⁽⁹⁸³⁾ MT 及び Y と M は、אביו。Q と CH は、אביהו。

- 3 彼らが彼を論しても、彼らに聞き従わないときは⁽⁹⁸⁴⁾、彼の父と母は彼を捕らえ、彼を
- 4 その町の長老たちに、その場所の門へ(引き出すように)³⁽⁹⁸⁵⁾。そして彼らはその町の長老たちに言うように。「このわたしたちの息子は頑なで
- 5 反抗的。われわれの声に聞き従わず、大食いで大酒飲みです」⁽⁹⁸⁶⁾。その町のすべての男たちは彼を石打にして、
- 6 死に至らしめるように。こうしてあなたは、あなたの只中から悪を除き去るように。すべてのイスラエル子らは聞いて恐れるだろう⁽⁹⁸⁷⁾。-空白- もし
- 7 自らの民に対して⁽⁹⁸⁸⁾中傷する者があり、その民を異国民に売り渡し、その民に悪を行うなら⁽⁹⁸⁹⁾、
- 8 あなたたちは彼を木に掛け死に至らしめるように。彼を 2 人の証人、3 人の証人によって

⁽⁹⁸⁴⁾ W は 2 行目からここまでを、申 21:18 の広範囲の逐語的引用とする。MT 申 21:18 は、**כי יהיה לאיש בן סורר ומורה איננו שמע בקול אביו ובקול אמו ויסרו אתו ולא** **כי יהיה לאיש בן סורר ומורה אננו שומע בקול אביו**、Col. 64:2-3a は、**אמו ויסרו אותו ולוא [ין]שמע אליהמה ובקול אמו ויסרו אותו ולוא** である。

⁽⁹⁸⁵⁾ W は 3 行後半からここまでを、申 21:19 の広範囲の逐語的引用とする。MT 申 21:19 は、**ותפשו בו אביו ואמו והוציאו אתו אל זקני עירו ואל שער מקמו**、Col. 64:3b-4a は、**ותפשו בו אביו ואמו והוציאו אתו אל זקני עירו ואל שער** { } **מקמו** である。

⁽⁹⁸⁶⁾ W は 4 行後半からここまでを、申 21:21 の広範囲の逐語的引用とする。しかし聖句の箇所は誤植であり、実際は申 21:20。MT 申 21:20 は、**ואמרו אל זקני עירו בננו זה סורר**、**ואמרו אל זקני עירו בננו זה סורר**、Col. 64:4b-5a は、**ואמרו אל זקני עירו בננו זה סורר**、**ואמרו אל זקני עירו בננו זה סורר** である。

⁽⁹⁸⁷⁾ W は 5 行後半からここまでを、MT ではない他の古代訳からの申 21:21 の広範囲の逐語的引用とする。MT 申 21:21 は、**ורגמהו כל אנשי עירו באבנים ומת ובערת הרע מקרבך**、**ורגמהו כול אנשי עירו באבנים וימות**、Col. 64:5b-6a は、**ורגמהו כול אנשי עירו באבנים וימות**、**ורגמהו כול אנשי עירו באבנים וימות** となっている。

⁽⁹⁸⁸⁾ ここはレビ 19:16a の **לא תלך רכיל בעמך** 「あなたの民にあつて申傷して回つてはならない」の敷衍である。よつて **בעמו** は「自らの民にあつて」とも訳せるが、続く文章との比較から「自らの民に対して」と訳した (M. J. Bernstein, *Reading and Re-Reading Scripture at Qumran*, p. 578) 。

⁽⁹⁸⁹⁾ この行は、MT にはない「著者／編纂者」の挿入である。この後、申 21:22、23 が大きく書き換えられている。また Y と M が **בעמו** 或いは **עמו** 「その民」と復元しているところを、Q と CH は、**בעמי** 或いは **עמי** 「私の民」と復元している。

- 9 死に至らしめるように。また彼らは彼を木に掛けるように。-空白- ある人に死刑にあたる罪があり
- 10 他国民の只中に逃げ、その民⁽⁹⁹⁰⁾とイスラエルの子らを⁽⁹⁹¹⁾呪ったら、あなたたちは彼をも木に掛け
- 11 死に至らしめるように⁽⁹⁹²⁾。彼らの死体を木の上で夜を過ごさせてはならない。その日の内に彼らを必ず葬らなければならない⁽⁹⁹³⁾。実に
- 12 木に掛けられた者は神と人々とに呪われた者だからである。あなたは私が(あなたに嗣として与える)¹³土地を穢してはならない。
- 13 ⁽⁹⁹⁴⁾-空白- あなたの兄弟の雄牛、羊、ロバが(迷っている)¹⁴のを見て、

⁽⁹⁹⁰⁾ 原文は、עמו。

⁽⁹⁹¹⁾ Y、Q、M、CH が、את、と読むが、平行する 4Q524 frg. 14 の 4 行では、עמו את בני ישראל である。

⁽⁹⁹²⁾ 木に掛け死に至らしめるという順番は、MT の読みと逆である。MT 申 21:22 は、וכי יהיה בַּאִישׁ חָטֵא מִשְׁפֵּט מוֹת וְהוֹמַת וּתְלִית אֹתוֹ עַל עֵץ 木に掛ける、と読むように והוֹמַת の下にアトナハの記号が付されている。またこの箇所のように、古代訳で木に掛けて死に至らしめるようにと読めるのはペシッタ申 21:22 の、כִּי יִהְיֶה בַּאִישׁ חָטֵא מִשְׁפֵּט מוֹת וְהוֹמַת וּתְלִית אֹתוֹ עַל עֵץ のみである。

⁽⁹⁹³⁾ 原文は、קבור תקרובמה。CH は、TSCT においては קבור תקרובם と修正 (p. 396)。

⁽⁹⁹⁴⁾ W は 6 行後半からここまでを、レビ 19:16、王下 8:12、申 17:6-7 (実際は 7 節を省く)、申 21:22a、出 22:27、エレ 26:11、16 そして申 21:23 のミドラッシュ的構成とする。MT レビ 19:16 の בעמִיךָ רַכִּיל 是、6、7 行の בעמו רַכִּיל 是、と、MT 王下 8:12 の רעה לְבְנֵי יִשְׂרָאֵל 是、7 行の רעה לְעָמוֹ 是、と、MT 申 17:6 の על פי שְׁנַיִם עֵדִים וְעַל פִּי שְׁלֹשָׁה עֵדִים 是、8 行の על פי שְׁלֹשָׁה עֵדִים 是、9 行の וְכִי יִהְיֶה בַּאִישׁ חָטֵא מִשְׁפֵּט מוֹת 是、10 行の וְהוֹמַת וּתְלִית אֹתוֹ עַל עֵץ 是、11 行の וְהוֹמַת וּתְלִית אֹתוֹ עַל עֵץ 是、12 行の וְהוֹמַת וּתְלִית אֹתוֹ עַל עֵץ 是、13 行の וְהוֹמַת וּתְלִית אֹתוֹ עַל עֵץ 是、14 行の וְהוֹמַת וּתְלִית אֹתוֹ עַל עֵץ 是、15 行の וְהוֹמַת וּתְלִית אֹתוֹ עַל עֵץ 是、16 行の וְהוֹמַת וּתְלִית אֹתוֹ עַל עֵץ 是、17 行の וְהוֹמַת וּתְלִית אֹתוֹ עַל עֵץ 是、18 行の וְהוֹמַת וּתְלִית אֹתוֹ עַל עֵץ 是、19 行の וְהוֹמַת וּתְלִית אֹתוֹ עַל עֵץ 是、20 行の וְהוֹמַת וּתְלִית אֹתוֹ עַל עֵץ 是、21 行の וְהוֹמַת וּתְלִית אֹתוֹ עַל עֵץ 是、22 行の וְהוֹמַת וּתְלִית אֹתוֹ עַל עֵץ 是、23 行の וְהוֹמַת וּתְלִית אֹתוֹ עַל עֵץ 是、24 行の וְהוֹמַת וּתְלִית אֹתוֹ עַל עֵץ 是、25 行の וְהוֹמַת וּתְלִית אֹתוֹ עַל עֵץ 是、26 行の וְהוֹמַת וּתְלִית אֹתוֹ עַל עֵץ 是、27 行の וְהוֹמַת וּתְלִית אֹתוֹ עַל עֵץ 是、28 行の וְהוֹמַת וּתְלִית אֹתוֹ עַל עֵץ 是、29 行の וְהוֹמַת וּתְלִית אֹתוֹ עַל עֵץ 是、30 行の וְהוֹמַת וּתְלִית אֹתוֹ עַל עֵץ 是、31 行の וְהוֹמַת וּתְלִית אֹתוֹ עַל עֵץ 是、32 行の וְהוֹמַת וּתְלִית אֹתוֹ עַל עֵץ 是、33 行の וְהוֹמַת וּתְלִית אֹתוֹ עַל עֵץ 是、34 行の וְהוֹמַת וּתְלִית אֹתוֹ עַל עֵץ 是、35 行の וְהוֹמַת וּתְלִית אֹתוֹ עַל עֵץ 是、36 行の וְהוֹמַת וּתְלִית אֹתוֹ עַל עֵץ 是、37 行の וְהוֹמַת וּתְלִית אֹתוֹ עַל עֵץ 是、38 行の וְהוֹמַת וּתְלִית אֹתוֹ עַל עֵץ 是、39 行の וְהוֹמַת וּתְלִית אֹתוֹ עַל עֵץ 是、40 行の וְהוֹמַת וּתְלִית אֹתוֹ עַל עֵץ 是、41 行の וְהוֹמַת וּתְלִית אֹתוֹ עַל עֵץ 是、42 行の וְהוֹמַת וּתְלִית אֹתוֹ עַל עֵץ 是、43 行の וְהוֹמַת וּתְלִית אֹתוֹ עַל עֵץ 是、44 行の וְהוֹמַת וּתְלִית אֹתוֹ עַל עֵץ 是、45 行の וְהוֹמַת וּתְלִית אֹתוֹ עַל עֵץ 是、46 行の וְהוֹמַת וּתְלִית אֹתוֹ עַל עֵץ 是、47 行の וְהוֹמַת וּתְלִית אֹתוֹ עַל עֵץ 是、48 行の וְהוֹמַת וּתְלִית אֹתוֹ עַל עֵץ 是、49 行の וְהוֹמַת וּתְלִית אֹתוֹ עַל עֵץ 是、50 行の וְהוֹמַת וּתְלִית אֹתוֹ עַל עֵץ 是、51 行の וְהוֹמַת וּתְלִית אֹתוֹ עַל עֵץ 是、52 行の וְהוֹמַת וּתְלִית אֹתוֹ עַל עֵץ 是、53 行の וְהוֹמַת וּתְלִית אֹתוֹ עַל עֵץ 是、54 行の וְהוֹמַת וּתְלִית אֹתוֹ עַל עֵץ 是、55 行の וְהוֹמַת וּתְלִית אֹתוֹ עַל עֵץ 是、56 行の וְהוֹמַת וּתְלִית אֹתוֹ עַל עֵץ 是、57 行の וְהוֹמַת וּתְלִית אֹתוֹ עַל עֵץ 是、58 行の וְהוֹמַת וּתְלִית אֹתוֹ עַל עֵץ 是、59 行の וְהוֹמַת וּתְלִית אֹתוֹ עַל עֵץ 是、60 行の וְהוֹמַת וּתְלִית אֹתוֹ עַל עֵץ 是、61 行の וְהוֹמַת וּתְלִית אֹתוֹ עַל עֵץ 是、62 行の וְהוֹמַת וּתְלִית אֹתוֹ עַל עֵץ 是、63 行の וְהוֹמַת וּתְלִית אֹתוֹ עַל עֵץ 是、64 行の וְהוֹמַת וּתְלִית אֹתוֹ עַל עֵץ 是、65 行の וְהוֹמַת וּתְלִית אֹתוֹ עַל עֵץ 是、66 行の וְהוֹמַת וּתְלִית אֹתוֹ עַל עֵץ 是、67 行の וְהוֹמַת וּתְלִית אֹתוֹ עַל עֵץ 是、68 行の וְהוֹמַת וּתְלִית אֹתוֹ עַל עֵץ 是、69 行の וְהוֹמַת וּתְלִית אֹתוֹ עַל עֵץ 是、70 行の וְהוֹמַת וּתְלִית אֹתוֹ עַל עֵץ 是、71 行の וְהוֹמַת וּתְלִית אֹתוֹ עַל עֵץ 是、72 行の וְהוֹמַת וּתְלִית אֹתוֹ עַל עֵץ 是、73 行の וְהוֹמַת וּתְלִית אֹתוֹ עַל עֵץ 是、74 行の וְהוֹמַת וּתְלִית אֹתוֹ עַל עֵץ 是、75 行の וְהוֹמַת וּתְלִית אֹתוֹ עַל עֵץ 是、76 行の וְהוֹמַת וּתְלִית אֹתוֹ עַל עֵץ 是、77 行の וְהוֹמַת וּתְלִית אֹתוֹ עַל עֵץ 是、78 行の וְהוֹמַת וּתְלִית אֹתוֹ עַל עֵץ 是、79 行の וְהוֹמַת וּתְלִית אֹתוֹ עַל עֵץ 是、80 行の וְהוֹמַת וּתְלִית אֹתוֹ עַל עֵץ 是、81 行の וְהוֹמַת וּתְלִית אֹתוֹ עַל עֵץ 是、82 行の וְהוֹמַת וּתְלִית אֹתוֹ עַל עֵץ 是、83 行の וְהוֹמַת וּתְלִית אֹתוֹ עַל עֵץ 是、84 行の וְהוֹמַת וּתְלִית אֹתוֹ עַל עֵץ 是、85 行の וְהוֹמַת וּתְלִית אֹתוֹ עַל עֵץ 是、86 行の וְהוֹמַת וּתְלִית אֹתוֹ עַל עֵץ 是、87 行の וְהוֹמַת וּתְלִית אֹתוֹ עַל עֵץ 是、88 行の וְהוֹמַת וּתְלִית אֹתוֹ עַל עֵץ 是、89 行の וְהוֹמַת וּתְלִית אֹתוֹ עַל עֵץ 是、90 行の וְהוֹמַת וּתְלִית אֹתוֹ עַל עֵץ 是、91 行の וְהוֹמַת וּתְלִית אֹתוֹ עַל עֵץ 是、92 行の וְהוֹמַת וּתְלִית אֹתוֹ עַל עֵץ 是、93 行の וְהוֹמַת וּתְלִית אֹתוֹ עַל עֵץ 是、94 行の וְהוֹמַת וּתְלִית אֹתוֹ עַל עֵץ 是、95 行の וְהוֹמַת וּתְלִית אֹתוֹ עַל עֵץ 是、96 行の וְהוֹמַת וּתְלִית אֹתוֹ עַל עֵץ 是、97 行の וְהוֹמַת וּתְלִית אֹתוֹ עַל עֵץ 是、98 行の וְהוֹמַת וּתְלִית אֹתוֹ עַל עֵץ 是、99 行の וְהוֹמַת וּתְלִית אֹתוֹ עַל עֵץ 是、100 行の וְהוֹמַת וּתְלִית אֹתוֹ עַל עֵץ 是。

- 14 見て見ぬ振りをしてはならない⁽⁹⁹⁵⁾。あなたは必ずそれらをあなたの兄弟のもとに返すように。またもしあなたの兄弟があなたの近くにいないときや
- 15 あなたが彼を知らないときは、それをあなたの家へ連れ帰り、(あなたの兄弟がそれを)⁽⁹⁹⁶⁾ 尋ね求めるまで、あなたと共に居るように⁽⁹⁹⁷⁾。

Col. 65

- 01 [אחיכה אותו והשבתו לו וכן תעשה לחמורו וכן תעשה לשמלתו]
- 02 [וכן תעשה לכול אבדת אחיכה אשר תאבד ממנו ומצאתה לוא תוכל]
- 03 [להתעלם vacat לוא תראה את חמור אחיכה או שורו נפלים בדרך]
- 04 [והתעלמת מהמה הקם תקים עמו vac לא יהיה כלי גבר על]
- 05 [אשה ולוא ילבש גבר שמלת אשה כי תועבה היא לי כול עושה]
- 06 [אלה vac לוא תזרע כרמכה כלאים פן תקדש המלאה הזרע אשר]
- 07 [תזרע ותבואת הכרם vac לוא תלבש שעטנו צמר ופשתים יחדו]
- 1 [גדילים תעשה לכה על ארבע כנפות כסותכה אשר תכסה בה (?)]
- 2 [כי יקור|א קן|צפור לפניכה בדוך בכול עץ או על הארץ(?)]
- 3 אפרוחים או בצים והאם רובצת על האפרוחים או על הבצים
- 4 לוא תקח את האם על הבנים שלח תשלח את האם ואת הבנים
- 5 תקח לכה ל[מ]ען יוטב לכה והארכתה ימים vacat כי תבנה בית חדש
- 6 ועשיתה מעקה לגנו ולוא תשום דמים בביתכה כי יפול הנופל
- 7 ממנו vac כי יקח איש אשה ובעלה ושנאה ושם לה עלות דברים
- 8 והוציא עליה שם רע ואמר את האשה הזואת לקחתי ואקרבה
- 9 אליה ולוא מצאתי לה בתולים ולקח אבי הנערה או אמה והוציא

⁽⁹⁹⁵⁾ 原文は、**לוא** 「彼らから自分自身を隠してはならない」。また W は、13 行後半からここまでを、MT ではない他の古代訳からの申 22:1 の広範囲の逐語的引用とする。申 22:1 は、**לא תראה את שור אחיך או את שיו נדחים והתעלמת מהם**、**לוא תראה את שור אחיכה או את שיו או את**、Col. 64:13b-14a は、**השב תשיבם לאחיך לוא תראה את שור אחיכה או את שיו או את**、Col. 64:13b-14a は、**השב תשיבם לאחיכה** である。

⁽⁹⁹⁶⁾ Col. 65 の 01 行目からの挿入。

⁽⁹⁹⁷⁾ W は 14 行後半からここまでを、申 22:2a の広範囲の逐語的引用とする。申 22:2a は、**ואם לא קרוב אחיך אליך ולא ידעתו ואספתו אל תוך ביתך והיה עמך עד דרוש**、Col. 64:14b-15 は、**ואם לוא קרוב אחיכה אליכה ולוא ידעתו ואספתו אל תוך ביתכה** である。

10	את בתול הנערה אל הזקנים השער vac ואמר אבי הנערה
11	אל הזקנים את בתי נתתי ל'איש הזה ^{לאשה} והנה שנאה והוא שם
12	לה עלות דברים לאמור לוא מצאתי לבתכה בתולים ואלה בתולי
13	בתי ופרשו השלמה לפני זקני העיר והיא ולקחו זקני העיר
14	ההיא את האיש ההוא ויסרו אותו וענשו אותו מאה כסף
15	ונתנו לאבי הנערה כי הוציא שם רע על בתולת ישראל ולוא

65 欄

- 01 [それをあなたの兄弟に返すように。あなたの兄弟のロバ、着物についてもそのように行うように。]⁽⁹⁹⁸⁾
- 02 [あなたの兄弟がなくなったすべてについて、あなたが見つけたらそのように行うように。]
- 03 [(あなたは)⁰² 見て見ぬ振りは(できない)⁰²。-空白- あなたの兄弟のロバ、また雄牛が、道に倒れているのを見て、]
- 04 [見て見ぬ振りをしては(ならない)⁰³。あなたは必ず彼と共に起こすように。-空白-(女)⁰⁵ が男の衣装をまもってはならない。]
- 05 [男が女の衣を身につけてはならない。実に(これらの)⁰⁶ ことを行う者すべて、私にとって忌むべきものである。]
- 06 [-空白- あなたのブドウ園に2種類の種を蒔いてはならない。あなたの蒔いた種の満ちた実り]
- 07 [とブドウ園の産物が(聖別され、没収されないためである)⁰⁶。あなたは毛糸と亜麻糸を混紡して織った⁽⁹⁹⁹⁾衣服を身につけてはならない。]
- 1 [あなたは自身を覆う服の四隅に房を作るように。]⁽¹⁰⁰⁰⁾
- 2 [実]に[道であなたの前に、木の上か地の上に鳥の巣があり、]⁽¹⁰⁰¹⁾
- 3 雛か卵があつて母鳥が雛の上⁽¹⁰⁰²⁾か卵の上に伏せているならば、

⁽⁹⁹⁸⁾ Y と CH の復元している 0 行目は、申 22:2b-5, 9, 11-12 に基づいている。

⁽⁹⁹⁹⁾ CH は יהרו。יהרו の誤植。直訳は「一緒にした」。

⁽¹⁰⁰⁰⁾ Q と M は復元していない。Y と CH は申 22:12 をもとに復元しているが、CH は最後の בה を次の行へ持つて行く。

⁽¹⁰⁰¹⁾ Y は כי で、Q と M は ה で、CH は בה でこの行を始める。

⁽¹⁰⁰²⁾ Y は על 「上に」と読み、Q、M、CH は עם 「共に」と読む。

- 4 母鳥と子を共に捕らえてはならない⁽¹⁰⁰³⁾。必ず母鳥を去らせ、子を
- 5 あなたのために捕らえるように。あなたが幸せとなり⁽¹⁰⁰⁴⁾、あなたの(命の)日々を長く
するた[め]である⁽¹⁰⁰⁵⁾。-空白- あなたが新しい家を建てる時、
- 6 その屋根に欄干を作るように。(そこから)⁷誰かが落ちて⁽¹⁰⁰⁶⁾、あなたの家に血(の責め)
を負わせない⁽¹⁰⁰⁷⁾ためである。
- 7 ⁽¹⁰⁰⁸⁾-空白- 人が妻を娶り、彼女の主人となり⁽¹⁰⁰⁹⁾、彼女を嫌いになって、彼女を告発
し⁽¹⁰¹⁰⁾、
- 8 彼女に汚名を着せ、「この女を娶り、(彼女に)⁹近づいたが⁽¹⁰¹¹⁾、

⁽¹⁰⁰³⁾ Wは2行目からここまでを、MTではない申22:6の他の古代訳からの広範囲の逐語的引用とする。MT申22:6は、**כי יקרא קן צפור לפניך בדרך בכל עין או על הארץ**、**אפרחים או ביצים והאם רבצת על האפרחים או על הביצים לא תקח האם על הבנים**である。Col. 65:2-4aは、**[כ]י יקר[א קן] צפור לפניכה בדרך בכול עין או על הארץ(?)**である。4QDeutⁱ frags. 3 i-5 iの9行目には**על האפרחים או על הביצים לא תקח**、4QpaleoDeut^f frags. 27-29の7行目には、**לא תקח האם [על]**とある。

⁽¹⁰⁰⁴⁾ Yは**יוטב**。Q、M、CHは、**ייטב**「上手く行くように」と読む。

⁽¹⁰⁰⁵⁾ Wは4行後半からここまでを、申22:7の広範囲の逐語的引用とする。MT申22:7は、**שלח תשלח את האם ואת הבנים תקח לך למען ייטב לך והארכת ימים**、Col. 65:4b-5aは、**שלח תשלח את האם ואת הבנים תקח לכה למען יוטב לכה והארכת ימים**である。

⁽¹⁰⁰⁶⁾ 原文は、「落ちる者が落ちて」。

⁽¹⁰⁰⁷⁾ 原文は、「血をあなたの家につけない」。YとCHは、**תשום**。QとMは、**תשים**。

⁽¹⁰⁰⁸⁾ Wは5行後半からここまでを、MTではない他の古代訳からの申22:8の広範囲の逐語的引用とする。MT申22:8は、**כי תבנה בית חדש ועשית מעקה לגגך ולא תשים דמים**、Col. 65:5b-7aは、**כי תבנה בית חדש ועשיתה מעקה לגגו**である。この句の**לגגו** **ועשיתה מעקה** **לגגו**「その屋根に欄干を作るように」には、対応する古代訳はない。

⁽¹⁰⁰⁹⁾ ヘブライ語は、**כי יקח איש אשה ובעלה**。MT申22:13は、**כי יקח איש אשה**、**ובא**、SamP申22:13は、**כי יקח איש בא אליה ובעלה**、MT申24:1は、**כי יקח איש**、**אשה ובעלה**である。

⁽¹⁰¹⁰⁾ 原文は、**עולות דברים**。MT申22:14は、**עלילת דברים**。CHによると聖書アラム語では**עלה**は告発を意味し、BHの**עלל**と同義(p. 168)。

⁽¹⁰¹¹⁾ 原文は、**ואקרבה אליה**。MTは**ואקרבה אליה**。SamPも**ואקרבה אליה**。

- 9 彼女に処女のしるしを見なかった」⁽¹⁰¹²⁾と言うなら、その娘の父か母は
- 10 娘の処女の⁽¹⁰¹³⁾しるしを門にいる長老たちに差し出し⁽¹⁰¹⁴⁾、-空白- 娘の父は(長老たちに)¹¹言うように。
- 11 この人に私の娘をこの男の妻として与え、彼は彼女の夫になりましたが、ご覧下さい、彼は彼女を嫌い⁽¹⁰¹⁵⁾、彼女を
- 12 告発し、言いました。私はあなたの娘に処女のしるしを見なかったと。
- 13 しかし(これらが)¹²私の娘の(処女のしるしです)¹²。そして彼らは彼女の衣⁽¹⁰¹⁶⁾をその町の長老たちの前に広げるように⁽¹⁰¹⁷⁾。そして(その)¹⁴町の長老たちは

⁽¹⁰¹²⁾ W は 7 行後半からここまでを、MT ではない他の古代訳からの申 22:13、14 の広範囲の逐語的引用とする。MT 申 22:13、14 は、**כי יקח איש אשה ובא אליה ושנאה ושם לה**、**עלילת דברים והוציא עליה שם רע ואמר את האשה הזאת לקחתי ואקרב אליה ולא כי יקח איש אשה ובעלה ושנאה ושם לה עלות**、**מצאתי לה בתולים**、Col. 65:7b-9a は、**כי יקח איש אשה ובא אליה ושנאה ושם רע ואמר את האשה הזאת לקחתי ואקרבה אליה ולוא דברים והוציא עליה שם רע ואמר את האשה הזאת לקחתי ואקרבה אליה ולוא מצאתי לה בתולים** である。

⁽¹⁰¹³⁾ Y は **בתול**。Q、M、CH は **בתולין**。申 22:15 は MT も SamP も **בתולי**。

⁽¹⁰¹⁴⁾ W は 9 行後半からここまでを、MT ではない他の古代訳からの申 22:15 の広範囲の逐語的引用とする。MT 申 22:15 は、**ולקח אבי הנער ואמה והוציא את בתולי הנער אל זקני העיר השערה**、Col. 65:9b-10a は、**ולקח אבי הנערה או ואמה והוציאו את בתול הנערה אל הזקנים השער** であり、4QDeut^f frgs. 20-23 の 4 行目には、**אבי הנערה ואמה ונהוציאו** とあり、4QDeut^f が 11Q19 と類似している。

⁽¹⁰¹⁵⁾ W は 10 行後半からここまでを、MT ではない他の古代訳からの申 22:16 の広範囲の逐語的引用とする。MT 申 22:16 は、**ואמר אבי הנער אל הזקנים את בתי נתתי לאיש הזה**、**לאשה וישנאה**、Col. 65:10b-11a は、**ואמר אבי הנערה אל הזקנים את בתי נתתי לאיש הזה**、**לאשה וישנאה** である。

⁽¹⁰¹⁶⁾ W は **שלמה**。しかし MT は **שמלה**。

⁽¹⁰¹⁷⁾ W は 11 行後半からここまでを、MT ではない他の古代訳からの申 22:17 の広範囲の逐語的引用とする。MT 申 22:17 は、**והנה הוא שם עלילת דברים לאמר לא מצאתי לבתך**、**הוא שם עלילת דברים לאמר לא מצאתי לבתך**、**ולא מצאתי לבתך**、Col. 65:11b-13a は、**והנה הוא שם עלילת דברים לאמר לא מצאתי לבתך**、**ולא מצאתי לבתך**、**ולא מצאתי לבתך** である。MT は、**והנה הוא שם עלילת דברים**、**והנה הוא שם**、**והנה הוא שם**、**והנה הוא שם** である。MT は、**והנה הוא שם עלילת דברים**、**והנה הוא שם**、**והנה הוא שם**、**והנה הוא שם** である。MT は、**והנה הוא שם עלילת דברים**、**והנה הוא שם**、**והנה הוא שם**、**והנה הוא שם** である。MT は、**והנה הוא שם עלילת דברים**、**והנה הוא שם**、**והנה הוא שם**、**והנה הוא שם** である。MT は、**והנה הוא שם עלילת דברים**、**והנה הוא שם**、**והנה הוא שם**、**והנה הוא שם** である。MT は、**והנה הוא שם עלילת דברים**、**והנה הוא שם**、**והנה הוא שם**、**והנה הוא שם** である。MT は、**והנה הוא שם עלילת דברים**、**והנה הוא שם**、**והנה הוא שם**、**והנה הוא שם** である。MT は、**והנה הוא שם עלילת דברים**、**והנה הוא שם**、**והנה הוא שם**、**והנה הוא שם** である。MT は、**והנה הוא שם עלילת דברים**、**והנה הוא שם**、**והנה הוא שם**、**והנה הוא שם** である。MT は、**והנה הוא שם עלילת דברים**、**והנה הוא שם**、**והנה הוא שם**、**והנה הוא שם** である。MT は、**והנה הוא שם עלילת דברים**、**והנה הוא שם**、**והנה הוא שם**、**והנה הוא שם** である。MT は、**והנה הוא שם עלילת דברים**、**והנה הוא שם**、**והנה הוא שם**、**והנה הוא שם** である。MT は、**והנה הוא שם עלילת דברים**、**והנה הוא שם**、**והנה הוא שם**、**והנה הוא שם** である。MT は、**והנה הוא שם עלילת דברים**、**והנה הוא שם**、**והנה הוא שם**、**והנה הוא שם** である。MT は、**והנה הוא שם עלילת דברים**、**והנה הוא שם**、**והנה הוא שם**、**והנה הוא שם** である。MT は、**והנה הוא שם עלילת דברים**、**והנה הוא שם**、**והנה הוא שם**、**והנה הוא שם** である。MT は、**והנה הוא שם עלילת דברים**、**והנה הוא שם**、**והנה הוא שם**、**והנה הוא שם** である。MT は、**והנה הוא שם עלילת דברים**、**והנה הוא שם**、**והנה הוא שם**、**והנה הוא שם** である。MT は、**והנה הוא שם עלילת דברים**、**והנה הוא שם**、**והנה הוא שם**、**והנה הוא שם** である。MT は、**והנה הוא שם עלילת דברים**、**והנה הוא שם**、**והנה הוא שם**、**והנה הוא שם** である。MT は、**והנה הוא שם עלילת דברים**、**והנה הוא שם**、**והנה הוא שם**、**והנה הוא שם** である。MT は、**והנה הוא שם עלילת דברים**、**והנה הוא שם**、**והנה הוא שם**、**והנה הוא שם** である。MT は、**והנה הוא שם עלילת דברים**、**והנה הוא שם**、**והנה הוא שם**、**והנה הוא שם** である。MT は、**והנה הוא שם עלילת דברים**、**והנה הוא שם**、**והנה הוא שם**、**והね**

- 14 その男を(捕らえ)¹³、彼を懲らしめ⁽¹⁰¹⁸⁾、100 シケルの銀を科し、
 15 彼らはそれを娘の父に与えるように。イスラエルの処女に汚名を着せたから。また
 彼⁽¹⁰¹⁹⁾

Col. 66

- 01 [תהיה לאשה לוא יוכל לשלחה כול ימיו vacat]
 02 [ואם אמת היה הדבר הזה לוא נמצאו בתולים לנערה והוציאו]
 03 [את הנערה אל פתח בית אביה וסקלוה אנשי עירה באבנים ומתה]
 04 [כי עשתה נבלה בישראל לזנות בית אביה ובערת הרע מקרבכה]
 05 [vacat כי ימצא איש שוכב עם אשה בעלת]
 06 [בעל ומתו גם שניהמה האיש השוכב עם האשה והאשה ובערתה]
 07 [הרע מישראל vacat כי יהיה נערה]
 08 [בתולה מאורשה לאיש ומצאה איש בעיר ושכב עמה]
 1 [והוציאו את שניהמה אל שער] העיר ההיא [va]cat
 2 [וסקלום באבנים] ויזמתו את הנערה על דבר אשר לוא זעק[ה]
 3 בעיר ואת האיש על דבר אשר ענה את אשת רעהו ובערתה
 4 הרע מקרבכה ואם בשדה מצאה האיש את האשה במקום רחוק וסתר
 5 מהעיר והחזיק בה ושכב עמה והומת האיש השוכב עמה לבדו
 6 ולנערה לוא תעשו דבר אין לנערה חטא מות כיא כאשר יקום
 7 איש על רעהו ורצחו נפש כן הדבר הזה כי בשדה מצאה זעקה
 8 הנערה המאורשה ואין מושיע לה vacat כי יפתה איש נערה

⁽¹⁰¹⁸⁾ W は 13 行後半からここまでを、MT ではない他の古代訳からの申 22:18 の広範囲の逐語的引用とする。MT 申 22:18 は、**ולקחו זקני העיר ההוא את האיש ויסרו אותו**、Col. 65:13b–14a は、**ולקחו זקני העיר ההוא את האיש ההוא ויסרו אותו** である。SamP 申 22:18 は、**ולקחו זקני העיר ההוא את האיש ההוא ויסרו אותו**、ペシッタ申 22:18 は、**מגביהנהם מכלל המגביההם לבדל מה מגביהנהם** である。LXX 申 22:18 は、**καὶ λήψεται ἡ γερούσια τῆς πόλεως ἐκείνης τὸν ἄνθρωπον ἐκείνον καὶ παιδεύουσιν αὐτόν** である。SamP と LXX が 11Q19 と類似している。

⁽¹⁰¹⁹⁾ W は 14 行後半からここまでを、申 22:19a の広範囲の逐語的引用とする。MT 申 22:19a は、**וענשו אותו מאה כסף ונתנו לאבי הנערה כי הוציא שם רע על בתולת ישראל ולו**、また、Col. 65:14b–15 は、**וענשו אותו מאה כסף ונתנו לאבי הנערה כי הוציא שם רע על**、**ולו** である。また、Col. 65:14b–15 は、**ולו** である。

9	בתולה אשר לוא אורשה והיא רויה לו מן החוק ושכב עמה
10	ונמצא ונתן האיש השוכב עמה לאבי הנערה חמשים כסף ולוא
11	תהיה לאשה תחת אשר ענה לוא יוכל לשלחה כול ימיו לוא יקח
12	איש את אשת אביהו ולוא יגלה כנף אביהו לוא יקח איש את אשת
13	אחיהו ולוא יגלה כנף אחיהו בן אביה או בן אמו כי נדה היא
14	לוא יקח איש את אחותו בת אביהו או בת אמו תועבה היא לוא
15	יקח איש את אחות אביהו או את אחות אמו כי זמה היא לוא
16	יקח איש את <i>vacat</i>
17	בת אחיהו או את בת אחותו כי תועבה היא <i>vacat</i> לוא יקח

66 欄

4Q524 15-22 と平行している

- 01 [彼女は(彼の)¹⁵ (1020)妻となり、生涯の間彼女を去らせることはできない。-空白-]⁽¹⁰²¹⁾
- 02 [しかし、もしこのことが真実で、娘に処女のしるしが見つからなかったら、その娘を]
- 03 [彼女の父の家の入口に(引き出し)⁰²、彼女の町の人たちは彼女を石打にして死に至らしめるように。]
- 04 [実にイスラエルにおいて彼女は淫売することで、自分の父の家に愚かなことを行ったからである。あなたはあなたの只中から悪を除き去るように。]
- 05 [-空白- ある人が(夫)⁰⁶のある女と寝ているのを見つけられたなら、]
- 06 [女と寝ていた男とその女、彼ら2人を死に至らしめるように。]
- 07 [イスラエルから悪を(除き去るように)⁰⁶。-空白- ある]
- 08 [人と婚約している処女の娘がいて、町で他の男が彼女と出会い彼女と寝たなら]
- 1 [彼らは2人を]その町の[門に引き出し、]-空[白-]⁽¹⁰²²⁾

⁽¹⁰²⁰⁾ Col. 65:15 の **ולוא** を **ולו** と読み、ここに入れる。MT 申 22:19 参照。

⁽¹⁰²¹⁾ Y と CH の復元している 0 行目は、申 22:19-23 に基づいている。

⁽¹⁰²²⁾ Q と CH は申 21:19 と 22:24 を基に復元しているが、微妙な違いがある。まず CH は以下のように復元。[**והוציאו את שניהמה אל זקני העיר ההיא ואל שער מקוממה**]「[彼らは2人を]その町の[長老に、また門の彼らの場所に引き出すように]」。Q は、脚注では CH と同じ復元だが、テキストは、[**ער מקוממה**] を欠く。M は、[**שער ההיא ואל שער**]「[...]その町、また〜」と復元。

- 8 彼女を救う者がいなかったからである⁽¹⁰²⁸⁾。-空白- もし人が
- 9 婚約していない処女の(娘を誘惑し)⁸、また彼女は彼にとって定めによってふさわしいので彼女を捕らえこれと寝て、
- 10 見つけられたら⁽¹⁰²⁹⁾、彼女と寝た男は娘の父に、銀 50 (シエケル)を与えるように。
- 11 彼女は(彼の)¹⁰ ⁽¹⁰³⁰⁾妻となり、彼が彼女を辱めたので、生涯彼女を去らせることはできない⁽¹⁰³¹⁾。
- 12 人は自分の父の妻を(娶ってはならない)¹¹。また自分の父の裾をあらわにしてはならない⁽¹⁰³²⁾。人は(自分の兄弟)¹³の妻を娶ってはならない。
- 13 また自分の兄弟の裾をあらわにしてはならない。自分の父⁽¹⁰³³⁾の息子または自分の母の息子にもである。それは不浄である⁽¹⁰³⁴⁾。

⁽¹⁰²⁸⁾ W は 7 行後半からここまでを、MT ではない他の古代訳からの、申 22:27 の広範囲の逐語的引用とする。MT 申 22:27 は、**כי בשדה מצאה צעקה הנער המארשה ואין מושיע לה**、Col. 66:7b–8a は、**כי בשדה מצאה זעקה הנערה המאורשה ואין מושיע לה** である。

⁽¹⁰²⁹⁾ W は 8 行後半からここまでを、出 22:15a の広範囲の逐語的引用と、申 22:28 の広範囲の逐語的引用と、自由作文とする。MT 出 22:15a は、**וכי יפתה איש בתולה אשר לא**、MT 申 22:28 は、**כי ימצא איש נער בתולה אשר לא ארשה**、**וארשה ושכב עמה מהר**、Col. 66:8b–10a は、**כי יפתה איש נערה בתולה אשר לוא**、**ותפשה ושכב עמה ונמצאו** である。

⁽¹⁰³⁰⁾ CH は Col. 66:10 の **ולוא** を **ולו** と読み、ここに入れる。

⁽¹⁰³¹⁾ W は 10 行後半からここまでを、申 22:29 の広範囲の逐語的引用とする。MT 申 22:29 は、**ונתן האיש השוכב עמה לאבי הנער חמשים כסף ולו תהיה לאשה תחת אשר ענה**、Col. 66:10b–11a は、**ונתן האיש השוכב עמה לאבי הנערה**、**לא יוכל שלחה כל ימיו** である。

⁽¹⁰³²⁾ W は 11 行後半からここまでを、申 23:1 の広範囲の逐語的引用とする。MT 申 23:1 は、**לוא יקח איש את**、Col. 66:11b–12a は、**לוא יקח איש את**、**אשת אביו ולא יגלה כנף אביו** である。

⁽¹⁰³³⁾ ヘブライ語は **אביה**。Q は **אביהו** の音韻変形とみている。

⁽¹⁰³⁴⁾ W は 12 行後半からここまでを、申 23:1 とレビ 20:21 およびレビ 20:17 のミドラッシュとする。MT 申 23:1 は、**לוא יקח איש את אשת אביו ולא יגלה כנף אביו**、MT レビ 20:21 は、**ואיש אשר יקח את אשת אחיו נדה הוא**、レビ 20:17 はここでなく次の行と関係する。Col. 66:12b–13 は、**לוא יקח איש את אשת אחיהו ולוא יגלה כנף אחיהו בן אביה**、**או בן אמו כי נדה היא** である。なお、1QpaleoLev-Num^a frgs. 3–4 の 2 行目には、**אחיו**

- 03 [בת בתה כי תועבה היאה vac לוא יקח איש את האשה ואת ואחותה כי] תועב[ה]
- 04 [היאה vac כי ישבו אחים יחדו ומת אחד מהם ובן אין לו לוא תהיה אשת]
- 05 [המת החוצה לאיש זר יבמה יבוא עליה ולקחה] לו [לא]שה ויב[מה והיה הבכור]
- 06 [אשר תלד יקום על שם אחיהו המת ולוא ימחה שמו מי]שראל[ל vac ואם לוא]
- 07 [יחפוץ האיש לקחת את] יבמתו ועלתה [יבמתו השערה אל הזקנים ואמרה מאין]
- 08 [יבמי להקים לאחיהו שם בישראל]ל לוא[ן אבה יבמי וקראו לו זקני עירו ודברו אליו]
- 09 [ועמד ואמר לו]א חפצ[תי לקחתה ונגשה יבמתו אליו לעיני הזקנים וחלצה נעלן]
- 010 [מעל רגליו וירקה בפניו וענתה ואמרה ככה יעשה לאיש אשר לו]וא [יבמה את בית]
- 011 [אחיו ונקרא שמו בישראל בית חלוץ הנעל]

67 欄⁽¹⁰³⁹⁾

- 01 人は[自分の息子の娘を、ま]た[自分の娘の娘を]娶ってはならない。[それは忌むべきことである。-空白- 人は自分の⁰²]
- 02 [息子の妻を娶ってはならない⁰¹。それは忌むべきことである。-空白- 人は妻とともに彼女の娘、また彼女の息子の娘、また]
- 03 [彼女の娘の娘を娶ってはならない。それは忌むべきことである。-空白- 人は妻とともに彼女の姉妹を娶ってはならない。それは⁰⁴忌むべきことである。]
- 04 [-空白- 兄弟たちが共に住み、彼らの内の一人が死に、彼に息子がなかったなら。その死者⁰⁵の妻は]
- 05 [外に出され他人の妻になってはならない。彼女の義兄弟が来て、彼自身のために妻として娶るように。彼は義兄弟の義務を果し、また]

⁽¹⁰³⁹⁾ この欄は CH (pp. 402–403) による。11Q19 Col. 67 は、4Q524 frags. 15–22 の 5–10 行で再構成されている (01–011 行)。4Q524 frags. 15–22 は、11Q19 Col. 66 と重複している。よって、4Q524 が 11Q19 Col. 67 を保存していることは十分考えられる。また、11Q19 Col. 66 が途中で終わっていることから考えて、CH 版の 11Q19 Col. 67 を挿入した。また Q の 2010 年版も 4Q524 に基づき、行の分け方と復元の範囲が短いことを除けば、同じ復元をしている。Q の復元は以下の通り。

- [1] א]ו את ב]ת ב] כי [תועב]ה היאה]
- [2] [כי ישבו אחים יחדו ומת אחד מהם ובן אין לו לוא תהיה אשת המת החוצה לאיש זר יבמה יבא]
- [3] [עליה ולקחה] לו לאשה ויב[מה והיה הבכור אשר תלד יקום על שם אחיהו המת ולוא ימחה שמו]
- [4] [מי]שראל[ל ואם לא יחפוץ האיש לקחת את] יבמתו ועלתה[יבמתו השערה אל הזקנים ואמרה מאן יבמי]
- [5] [להקים לאחיהו שם בישראל]ל לוא[ן אבה יבמי וקראו לו זקני עירו ודברו אליו ועמ]ד ואמ[ר לו]א חפצ[תי]
- [6] [לקחתה ונגשה יבמתו אליו] לעיני הזקנים וחל[צה נעלו מעל רגליו וירקה בפניו וענתה ואמר]ה ככה
- [7] [יעש]ה לאיש אשר לו]וא [יבמה את בית אחיו ונקרא שמו בישראל]ל ב]ת חלוץ הנעל]

- 06 [彼女が生む長子に彼の死んだ兄弟の名を起こすように。彼の名をイ]スラエ[ルから消してはならない。-空白- しかし、もし]
- 07 [人がその]義姉妹[を娶ることを欲しないなら]彼の[義姉妹は(町の)門の長老たちの所に上り言うように。]
- 08 [私の義兄弟はイスラエル]ル[において彼の兄弟の名を起こすことをせず⁰⁷、彼は私の義兄弟であることを望み]ません。[彼の町の長老たちは彼を呼び、彼に言うように。]
- 09 [彼は立ち、言うように。私は彼女を娶ることを欲]しません。[そして長老たちの目の前で彼の義姉妹は彼に近づき、彼のサンダルを彼の足⁰¹⁰から脱がせ、]
- 010 [彼の顔に唾を吐くように。そして彼女は答え言うように。自分の兄弟⁰¹¹の家を立てない男は、このようにされる。]
- 011 [彼の名は、イスラエルの中で、サンダルを脱がされた者の家と呼ばれる。]

『神殿の巻物』語彙集

אב	①父 ②父祖。15:16. 25:16. 42:14. 53:17, 18, 20. 54:13, 19. 55:12. 57:16, 17, 19. 59:12, 15. 60:15. 63:13. 64:2, 3. 65:9, 10, 13. 66:10, 12, 13, 14, 15.
אביב	①新鮮な穂。19:7.
אבן משכית	①姿を彫った石。pl אבני משכיות 52:2.
אות	①徴。54:8, 9.
אזכרתה	①記念の部分。8:10. 20:11.
אזרעה	①前脚。20:16.
איל	①雄羊。14:1, 4, 6, 12, 16. 15:3, 3a, 4, 5, 11. 17:13, 15. 18:2, 9. 19:16. 20:02, 03, 05. 22:4, 12, 13. 23:6. 24:7. 25:5, 13, 15, 16. 27:3. 28:04, 09, 3, 7, 9, 10. 29:01, 02, 03, 05, 06, 07, 09, 011, 1. 35:14.
איל (אייל)	①雄鹿。52:11. 53:5.
אליה	①脂尾
חאריה	①その後
אלף	①氏族 19:16
אמת	①真実。55:5, 20. 56:4. 57:8.
אנח	①מתאנחים 呻く。59:5.
אנפה	①鷺 サギ。48:1.

אסר	①アスル 物断ちをする。34:6. 53:15, 16, 18, 19, 21. 54:4.
אצל	①アツル 脇、傍ら、そば。26:9. 32:12. 34:12. 37:7, 9. 38:6. 42:7. 44:11.
ארבה	①アロバ トラノサマバッタ。48:3.
ארון	①アロン 契約の箱。7:12.
אשה	①アシャ 火に焚く供犠。15:13. 16:10. 20:8. 23:17. 28:02, 2, 5. 34:14.
אשם	①アサム 償いの供犠。35:11. ②動詞 処罰を受ける。59:9.
אשמה	①アシュマ 罪責。18:17. 26:12. 32:6. 35:8, 12, 14, 15. 51:14. 58:17. 59:9.
בגד	①アガド 衣服。15:16. 32:11. 33:7. 35:6. 40:1.45:8, 9, 16. 49:16, 17, 20. 50:8, 13, 14, 15, 16. 51:3, 5.
בהמה	①アハマ 家畜。47:7. 48:6. 52:16. 55:8. 60:2, 3. 62:10.
בוא השמש	①アハマシム 日暮れに。20:13. 45:9. 50:4, 15. 51:3. 55:18.
בז	①アバズ 略奪品。59:8. 60:5, 8.
בין	①アハイン 間。② בין דם לדם 流血。 בין דין לדין 権利をめぐる争い。
בין נגע לנגע	①アハイン ナגע レナגע 暴行障害に関わる裁き。4:4. 34:2, 3, 4. 37:3. 38:15. 39:13. 40:10, 13. 41:17. 42:4, 17. 46:10. 48:8, 13. 58:14.
בכור	①アハコル 長子。②家畜、初子。52:7, 8. 60:2.
בכורים	①アハコリム 初物、初穂。11:11. 18:14. 19:5, 6, 9, 12. 21:16. 37:10. 43:3, 6, 7.
בליעל	①アハיעル 邪な者たち。55:3.
בנה	①アハナ 築く。12:10. 30:4. 37:3. 42:9. 51:21. 55:10. 65:5.

בער	①除き去る。54:17. 56:10. 61:10. 63:7. 64:6. 66:3.
בצע	①不当な利得。57:9.
בקר	①牛などの家畜。43:15. 52:7. 53:3.
ברית מלח לעולם	①永遠の塩の契約。20:14.
גבור	①勇敢な人。גבור־חיל 勇士。57:9. 58:16.
גדר	①切る。התגדר 自分自身を傷つける。48:8.
גדיל	①房。65:1.
גוי	①他国民。גוֹי 48:11. 51:19. 56:13. 57:7, 11, 16. 58:3. 60:17, 21. 62:12. 64:7, 10.
גזרה	①גזרה ארץ infertile soil: to cut off from water; מְדִבְרָה = infertile land 不毛の地。27:01.
געל	①拒絶する。54:9.
גרד	①こすり落とす。49:12.
דבק	①随き従う。54:15. ②留め置く。55:10.
דבר	①語る。31:9. 54:9, 15. 55:12. 61:1, 3, 4, 15. 62:3, 5.
דבר יום ביומו	①それぞれの日に定められた。29:4.
דגל	①連隊。21:5. 22:2. 57:3.
דגן	①穀物。38:4. 43:3, 6, 14. 60:6.
דוכיפת	①八頭。48:1.

דלת	①扉。 6:8. 13:4. 36:11. 39:3. 41:16. 49:12.
דרש	①求める。 53:11. 56:1. ②調査する。 61:9. ③尋ね求める。 55:5, 19 60:19. 64:15.
היכל	①本殿。 33:5, 7, 8. 31:6, 7. 35:8, 10.
זבח	①動詞 犠牲を捧げる。 17:7. 53:3. ②家畜などを屠る。 2:13. 37:11. 47:7, 11, 14, 16. 51:20. 52:4, 5, 6, 10, 13, 15, 18, 20. 53:10. 60:7. ③名 詞 犠牲。 37:5, 10, 11, 12, 14.
זרון	①不遜。 56:8. 61:4.
זהר	① הזהר Hif 警告する。 51:5.
זוב	①漏出。 45:15. ②漏出のある。 46:18. 48:15.
זכרון	①記念。 10:5. 19:9. 25:3. 27:5, 9. 39:9.
זולל	①大食い。 64:5.
זמה	①悪徳。 66:15.
זקן	①長老。 15:18. 42:13. 63:4. 64:4. 65:10, 11, 13.
זרק	①打ち掛ける。 16:17. 22:5. 23:13. 34:8. 52:21.
זג	①祭。 11:10, 13. 17:11. 19:9. 42:13, 17. 43:6, 7.
זגב	①羽長蝗。 48:4.
חדל	①やめる。 53:12.
חדר	①小部屋。 42:3, 5, 9. 44:6, 8, 10, 12.
חולד	①もぐら。 50:20.

חוס	①憐れむ。61:12.
חוק	①定め。39:8. 50:6. 66:9.
חוקה	①掟。9:14. 18:8. 22:14. 24:8. 25:8. 27:4. 59:16.
חטאת	①浄罪の供犠。16:12, 13, 18. 17:14. 18:4. 25:14, 15. 26:9, 10, 12. 28:4, 8, 11. 35:11, 12, 14. 37:14.
חכם	①賢者。51:14.
חלב	①脂肪。15:7. 16:7, 8, 13, 15. 20:5, 6. 22:6, 7. 23:14, 16. 26:7. 52:21.
חלה	①ゲーキ。8:8. 18:15.
חלל	①殺された者。50:5. 63:4.
חמד	①欲する。2:8. 57:20, 21.
חמט	①砂とかげ。50:21.
חנה	①宿営する。45:5.
חסידה	①鶴、コウノトリ。48:1.
חסם	①Muzzle. 口籠をかける。52:12.
חרב	①劍。50:5. ②לפי חרב 劍の刃にかけて（直訳 劍の口で）。55:7, 8. 58:12. 62:9.
חרגול	①こおろぎ。48:3.
חרם	①聖絶。2:10, 11. 55:11.
חרם	①החרים 専心する。55:7. 62:14.

חרש	①כלי חרש 陶器。49:8. 50:18.
חרש	①耕す。חרש 52:13.
חשק	①欲する。63:11.
טבעת	①車輪。34:6.
טמאה	①穢れ。45:10. 47:5. 48:16, 17. 50:8. 51:6, 9. 53:17.
טף	①幼子。62:10.
ידה	①Hit התודה 告白する。26:11.
יום	①生涯。45:13, 51:16. 57:1, 18. 59:15. 66:11. ②כול הימים すべての日々。29:10. 46:4. 50:10.
יונה	①鳩 בני יונה 鳩の雛。38:10. 60:9, 10.
יצהר	①最上の油。11:12, 21:16. 22:16. 43:9. 60:6.
ירא	①畏れる。46:11. 54:14. 56:11. 61:11, 13. 64:6.
יסוד	①基部。23:13. 34:8. 52:21.
יסר	①諭す。64:3. 65:14.
ישר	①真っ直ぐ。53:7. 55:14. 59:17. 63:8.
כבר	①取り除く。49:11. 聖書ヘブライ語にこの意味はない。ミシュナヘブライ語にこの意味が存在する。タミード 3:9.
כבס	①（衣服などを）洗う。45:8, 9, 15. 49:13, 16, 17, 18, 20. 50:8, 13, 14, 15. 51:3. 51:4.

כבש	①子羊 エベンシヨシヤンによるとこちらを羊全般と理解し、 שה を羊や山羊の子としている。現代ヘブライ語もそのように 理解している。ただしレビ記など1歳のכבש という表現から岩 波訳の子羊をここでは採用した。14:6, 12, 18. 17:13, 15. 20:15. 21:2. 22:3, 12, 13. 23:6. 25:5, 13, 15. 28:1, 5, 7, 9, 10. 29:012.
כוננה	①柄杓。33:14.
כח	①おおとかけ。50:21.
כי אם	①むしろ。3:6. 52:14. 53:11. 57:16. 58:10.
כיור	①洗盤。31:10. 32:12, 13. 33:5, 8, 9, 11. 35:8. ②台。5:10. 6:5. 36:10.
כלאים	①2種類。65:06.
כלי	①器。3:8. 49:8, 14, 15, 19, 20. ②器具。33:13. 45:4. 50:12. 51:05. ③衣装。65:04.
כליל	①全焼の供物。55:9.
כרע	①脛。24:4. 34:11. 48:5.
כסה	①覆う。23:14. 52:12. 53:5.
כסל	①腰。15:8. 16:9. 23:16.
כפר	①浄める。14:11. 16:14. 17:2. 22:15. 36:7. 36:9. 32:6. 63:6, 7.
כפרת	①贖いの蓋。3:9. 7:9.
כתית	①すり潰された。21:15.
לבר	①別に。29:5. ②のみ。14:11. 16:13. 24:8, 10, 14, 15, 16. 25:14. 29:5. 57:7, 18. 60:15. 66:5.

לבונה	①乳香。8:10, 12. 20:10. 38:8.
לבש	①身につける。15:16. 35:6. 40:1. 65:05, 07.
לחי	①頬。לחיים 両頬。22:10.
לטאה	①とかげ。50:20.
מדה	①寸法。5:4. 12:8. 33:8, 10. 36:13. 39:14. 40:8, 15. 42:10.
מום	①欠陥。42:10, 17. מום רע 重大な欠陥。5:4. 42:4, 10.
מועד	①定められた祭。11:12. 29:2. 42:16. 43:8, 9, 10, 11, 15.
מופת	①不思議。54:9.
מורה	①反抗的な。64:2.
מושב	①居住地。17:4. 18:9, 13. 21:9, 14. 27:9. 37:8, 9. 39:9.
מושקה	①飲み物。47:7. 49:7, 9.
מזרק	①小皿。23:12. 26:6. 33:13. 34:7.
מחלה	①穴。32:13.
מחתה	①火皿。3:12. 33:13.
מטה	①支族。18:16. 19:14, 15. 21:2, 15. 22:12, 13. 23:7. 23:10. 24:10. 57:6.
מלא ידו מלא את ידו	①彼の手を満たすように。②聖職者の地位への任職行為。15:15. 35:6.
מלואים	①任職式。15:14.
מלח	①塩をまぶす。34:10, 11.

מלילה	①柔らかい穂。19:7.
מלאכת עבודה	①なすべき仕事。14:10.
מנחה	①捧げ物。11:11. 13:15. 14:2, 5, 15, 17, 15:9. 16:9, 18. 17:7, 14. 18:13. 19:11. 20:8, 9. 23:17. 24:5, 8. 25:6, 14. 26:7. 28:1, 4, 8, 11, 12.
מנעול	①錠。49:13.
מנקית	①水差し。Milon Even Shoshan によるとブドウ酒を注ぐための器具。3:12, 12:15.
מס	①強制労働。42:18.
מסבה	①螺旋状階段。30:4, 5. 31:8. 42:8.
מעלה	①階段。30:4, 10. 31:9. 42:7. 46:7.
מעליל	①行い。59:7.
מעקה	①欄干。65:6.
מצבה	①石柱。11:6. 51:20. 52:2.
מצוה	①戒め。55:13. 59:14, 16.
מקרא	①天井。5:6. 6:4. 33:9. 34:15. 36:6, 10. 39:2.
מקרא קודש	①聖なる集会。17:10. 25:3. 27:8.
מקרה לילה	①夜間遺精。45:7.
מקצוע	①端。30:8. 36:3, 7, 12. 37:13. 44:11.
משיסה מושוסה	①戦利品。59:8.

משמר	①見張る者。45:5.
משפט	①規定。29:4. 50:6. ②裁き。51:12, 13, 17. 57:13, 19, 20. 58:18, 20, 21. ③刑。64:9. כמשפט 規定にしたがって。15:3, 9. 17:15. 18:5. 19:4. 22:10. 23:5. 25:6, 15. 27:3. 28:5, 8. 50:7, 17. 56:6.
משקוף	①鴨居。36:9, 10. 41:15. 42:2. 49:13.
משרת	①奉仕者。40:2.
מתנה	①贈り物。29:6.
נבלה	①死骸。48:6. 51:4. 64:11.
נגד	①Hif הנגיד 告げる。51:7. 55:18. 56:1, 2, 3, 4, 7.
נגע	①触る。32:15. 45:18. 49:21. 50:5, 8, 12, 21. 63:14. ②疫病。48:15. ③障り。48:14.
נדבה	①自発的な捧げ物。29:5. 53:05
נדה	①不浄。48:17. 49:18. 66:13. 月経。45:10. 48:16.
נדח	①הריח Hif 迷わす。54:17. 55:06, 3. ②迷う。64:14.
נדר	①満願の捧げ物。53:04, 9. ②動詞 נדר נדר 請願を立てる。53:04, 10, 11, 12, 14. ③請願。53:17, 19, 20. 54:2, 4.
נוכח	①向き合う。33:10.
נוכרי	①異国人。48:6. 56:15.
נורא (ירא)	①恐るべき。2:1.
הניף נוף	①差し上げる。19:4. 20:16.

נזה	①振りかける。16:3. 49:18, 20. 50:3, 14, 15.
נטע	①据える。51:20. 52:1.
ניחוח	①宥め。14:7. 15:13. 16:10. 20:8. 22:8. 23:17. 28:02, 6. 39:14.
נכון	①確かに。55:5, 20.
נכה	①Hif הכה 打つ。52:6. 55:6, 8. 58:12. 62:9.
נכר	①Hif יכירו פנים=יכירופנים 人を偏り見る。51:12.
נכר	①異なった。גויי נכר 異国民。57:11. 64:7.
נסך	①灌奠。18:12 ^a . 14:14. 15:9. 16:9, 18. 17:14. 18:5, 6. 19:14. 20:8, 9. 21:10. 22:7. 23:5, 17. 24:5, 8. 25:6, 14. 26:8. 28:010, 8, 11. 29:1, 3, 6. 34:13. ②動詞 灌奠を注ぐ。21:10.
נפש	①自身。15:14. 25:11. 39:8. 51:9. 53:2, 6. 15, 16, 18, 19, 21. 54:4, 20. 60:13. ②命。59:19. 61:12. 66:7. ③魂。54:13. 59:9, 10. ④精神。48:9.
נשא	①ישא 娶る。57:19. 63:11. ②運ぶ。43:14. 51:4. ③負う。26:13. 35:7, 14. 54:1.
נשיא	①指導者。21:5. 42:14. 57:12.
נשכה	①部屋。41:17. 42:3, 5, 9. 44:6, 8, 10, 12. 45:6.
נתן	①置く。9:12. 16:2. 17:1. 20:13. 26:12. 48:14. 51:11. 51:21. 56:15. 58:4. ②塗る。16:16. 23:12. ③与える。22:11. 34:1. 51:16. 53:3. 54:8. 55:2. 55:11. 55:16. 56:12. 58:12. 59:19, 20. 60:16. 62:9, 11, 13. 63:10. 64:13. 65:11, 13. 66:10. ④彫る。48:9. ⑤負わせる。63:7.
נתר	①跳ねる。48:5.

סביב	①周囲。13:14. 30:10. 32:12. 34:8. 35:8, 10. 38:12. 40:7. 46:5, 9. 52:18. 56:13.
סוכה	①仮庵。42:12. 44:6, 8, 10, 12. חג הסוכות 仮庵の祭。 11:13. 42:13, 17.
סולת	①上質の小麦粉。13:12. 14:2, 15. 18:5, 15. 34:12.
סור	①逸れる。56:7, 19. 57:04. ②Hif 取り去る。8:11. 20:6. 23:16. 63:12. ③סרה 背信。61:8.
סורר	①頑な。64:2, 4.
סלעם	①ヒシバッタ 48:3.
סלף	①歪める。51:13.
סמך	①手を置く。15:18.
סף	①敷居。36:9.
עדה	①会衆。39:6. 42:14. 50:3
עוד	①まだ。50:7. ②再び。43:11. 50:18. 55:10. 56:11, 18. 61:11. ③も はや。50:3. 59:15. 61:11.
עולה	①燔祭。3:14. 13:14. 14:13. 15:6, 14. 16:10. 17:13. 19:2. 20:3. 21:16. 23:3, 8, 10, 13. 24:10, 11, 12, 13, 14, 15, 16. 25:7, 12, 16. 26:8. 27:4. 29:3, 4. 32:8, 15. 42:16. 52:15, 21.
עולם	①永遠。8:13. 9:14. 18:8. 19:8, 9. 21:9. 22:14. 25:8. 27:4. 29:7. 29:8. 39:8. 47:3. 50:19. 53:7. 55:10. 59:15, 18. ②代々限りなく。 ועד לעולם 29:8. 35:9. 45:14. 46:3.
עומת / עומה	①近くの。20:7. ②対して。30:6. 40:10.

עון	①咎。26:11, 13. 35:8. 51:14. 54:2. 58:17. 61:6.
עוף	①羽のあるもの。35:15. 38:10. 46:2. 48:3, 4, 6. 60:4, 8.
עור	①מעורר Piel 目をくらます。51:13.
עזרה	①台座。עזרת המזבח 祭壇の台座。16:17. 23:13, 14. 37:4.
עטרה	①冠。17:1. 40:11.
עיר	①エルサレムを指す場合 都。44:2.45:13, 16. 46:10, 13, 14, 16, 17. 47:3, 8, 9, 10, 13, 14, 15, 16, 17, 18. 52:19. 他は 町。45:11. 48:14, 15. 49:4, 5. 55:4, 7, 9. 57:5. 58:4, 9, 11, 15. 59:4. 62:6, 10, 12. 13. 63:1, 4. 64:4, 5. 65:13, 66:1, 3, 5.
עכבר	①ねずみ。50:20.
עלייה	①階上の部屋。6:6. 31:6, 7.
עם הקהל	①集会の民。18:7. 26:7, 9.
עמוד	①柱。10:4, 11. 30:9. 31:9. 34:2.
ענה	①苦しめる。25:11. 27:7. 46:3, 11. ②תתעה 自身を苦しめる。25:12.
עצה / עזיה	①尾骨。15:8. 20:7.
עצם	①骨。20:16. 50:5. 51:4. ②עצם היום הזה ちょうどその日。25:12.
עצרה	①祝会。11:13. 17:16. 29:01.
פגול	①不適當な。47:14, 18. 52:18.
פדה	①贖う。54:16. 59:11, 12. 63:6.

פנה	①隅。12:9, 13. 16:17. 23:13. 30:6. 36:4, 12. 37:6. 39:14. 40:8. 41:7, 11. 44:8, 9, 15.
פנימה	①内側に。3:13. 32:9. 36:14. 41:13, 17. ②内側で。33:11. ③内側の。37:8.
פסח	①足が不自由。52:10.
פרוכת	①垂れ幕。7:13, 14.
פרור	①柱廊。5:13. 35:9, 10. 37:6, 9. 42:4, 8, 9.
פרח	①花卉。9:2, 5.
פרר	①הפר 破る。54:3. 59:8.
פרש	①汚物。16:11. 26:8.
פשט	①剥ぐ (革などを剥ぐ)。32:13. 34:9.
צב	①とげ尾とかげ。50:20.
צבי	①ガゼル。52:11. 53:4.
צואן	①羊などの小家畜。43:15. 52:7, 9. 53:3.
צוד	①捕らえる。60:5.
צפה	①覆う。5:11. 13:6. 31:8. 36:11. 39:3.
צרוע	①ツァーラアト。45:17. 46:18. 48:17.
צרעת	①ツァーラアト。48:15, 17. 49:4.
קהל	①集会。16:15, 16, 18. 18:7. 26:7, 9.

קורבן	①捧げ物。20:13.
הקטיר קטר	①焼いて煙にする。15:13. 16:6, 9, 18. 20:4, 7, 11. 22:6, 7. 23:10, 11, 14, 16. 24:4. 26:8. 32:7. 33:15. 34:11, 13. 52:21.
קרא	①呼ぶ。59:6. 62:6.
קרב	①内臓。16:7, 13. 20:5. 23:15. 33:14.
הקריב קרב	①（捧げ物などを）捧げる。13:8, 17. 17:12. 18:16. 19:15. 20:9, 10. 21:14. 23:9. 25:1, 4, 12, 15, 16. 28:03. 29:5. 43:10. 45:18. 61:14. 62:6. 65:8.
קרה	①天井をつける。36:10. 41:15. 42:11. 46:14.
קשוה	①鉢。33:13.
ראישון	①初め。15:18. 16:15. 17:6. 21:4, 5. 23:10, 11. 24:12. 45:4, 6, 9. 49:17. 50:14. 51:7.
ריב רב	①係争。61:8. 63:4.
רובר	①テラス。4:4, 5. 46:5.
רוח	①側面。30:10. 31:10. 36:5. 38:13, 14. 40:8.
רחוב	①広場。55:9.
רחים	①碾臼（ひきうす）。49:14.
רחץ	①沐浴する。26:10. 34:10. 45:8, 9, 16. 49:17, 18, 20. 50:8, 14, 15. 51:3, 5. 63:5.
ריח	①香り。13:15. 15:13. 16:10. 20:8. 23:17. 29:6. 28:02, 2, 6. 34:14.
רצון	①受け入れられる。29:6. ②欲するところ。59:20.

שאל	①尋ねる。55:5. 58:18, 20. 60:18.
שבה	①捕虜を捕らえる。63:10.
שבי	①捕虜。63:10, 13.
שבט	①部族。18:16. 60:10.
שבע	①Nif נשבע 誓う。שבועה שבע 誓いを立てる。53:14.
שבתון	①厳肅な安息。25:3, 9. ②特別な安息日。שבת שבתון 27:6, 8.
שה	①羊。52:4, 5, 6, 13, 19. ②שיו 羊の複数形+ 3人称単数男性人称代名詞。彼の羊。64:13.
שוחד	①賄賂。51:12, 13, 17. 57:20.
שוטר	①役人。pl שוטרים 51:11.
שומה	①恐怖。59:2, 4. エレ 25:18、51:37 参照。ושרקה שמה 恐怖と罵倒の的。
שופט	①裁判人。51:11. 56:1, 10. 61:9. 62:2, 4.
שוק	①腿。15:11. 20:15. 22:9.
שוש	①喜ぶ。59:12.
שחט	①屠る。22:4. 23:11. 26:5.
שכם	①肩。20:16. 22:11. 60:7.
שלך	①鵜。48:1.
שלל	①分捕り品。55:8, 9.

שלם	①和解。זבחי שלמים 和解の犠牲。20:1. 37:5, 11, 12. 52:15. 63:15.
שלמה	①סלמה 衣。49:18. 63:13. 65:13.
שמן	①油。15:10. 21:14, 15. 22:15. 24:5. 43:10, 15. 47:6, 12. 49:12.
שער	①門。5:8, 9. 6:6. 10:8, 9. 13:7. 31:2, 6, 7, 8, 12, 13. 33:10. 36:2, 4, 7, 8, 12, 13, 14. 37:7. 38:6, 9. 39:11, 13, 14, 15, 16. 40:10, 11, 12, 13, 14, 15. 41:3, 5, 6, 8, 9, 10, 12, 14, 17. 42:4, 5, 7, 17. 44:4, 5, 6, 7, 9, 11. 12, 13, 14, 15, 16. 45:1. 46:2, 6. 65:10. ②町 שעריכה あなた たの門 pl. 意味 あなたの町々 51:11. 52:10, 14, 17. 53:03, 04, 06, 4. 54:4, 55:15. 56:06.60:12. 64:4.
שק	①袋。44:16.
שר	①隊長。22:2. 42:15. 57:4, 5. 58:4. 62:5.
שרף	①焼く。16:11, 12, 13. 29:9. 43:11. 55:9.
שרץ	①群棲するもの。48:3, 4. 50:20.
שרקה	①罵倒。59:4. ושרקה שמה エレ 25:18、51:37 参照。恐怖と罵倒 の的。
תא	①側室。36:6. 38:15. 40:10.
תבואה	①産物。65:07.
תוך	①中。只中。27:7. 30:8. 32:9, 13, 14. 36:14. 42:7, 8. 44:2. 45:14. 46:3, 4, 10, 12, 14, 15. 47:5, 8, 11, 14, 15, 18, 48:12, 13, 16. 50:11, 13. 51:1, 3, 8. 52:14, 19, 20. 63:9, 12. 64:10, 15. ②中央。30:9. 55:8.
תולע	①深紅。10:10, 14.
תועבה	①忌むべきこと。48:6. 52:4, 5. 55:6, 20. 60:17, 19, 20. 62:16. 66:14, 17.

תור	①コキジバト。 35:15. 38:10.
תורה	①律法。 29:4. 50:7, 17. 56:3, 4, 7, 21, 67:1, 14. 59:9, 10.
תחתון	①下。 5:11. 6:8. 37:6. 42:9, 10.
תירוש	①ブドウ汁。 11:8. 38:4. 43:3, 8, 9. 60:6.
תנופה	①差し上げる捧げ物。 15:12. 20:16. 22:9. 60:2.
תנשמת	①カメレオン。 50:21.
תרומה	①供え物。 15:11. 20:14. 60:4.
תרועה	①角笛の響き。 25:3.